

『川崎支部便り』

～足で見つめた川崎の隠れた魅力～

「変わり続ける遺伝子」川崎支部の思い

第 1 回



2022年5月

発行 東京都市大学 校友会 川崎支部

目 次

序 文	3
第1章 川崎支部の活動拠点	5
第1.1節 川崎市点描	5
第1.2節 校友会と川崎支部	7
第1.3節 二子玉川周辺と夢キャンパス	9
第2章 南武線	11
第2.1節 生まれは南武鉄道	11
第2.2節 シン・ゴジラと南武線	13
第2.3節 南武鉄道の国有化と 小田急線への乗り入れ	15
第2.4節 南武線の歴史 と相互に影響しあう鉄道	17
第2.5節 南武線の支線今昔	21
第3章 二ヶ領用水と円筒分水	25
第3.1節 二ヶ領用水と円筒分水	25
第3.2節 二ヶ領用水のキーマン小泉次大夫	27
第3.3節 二ヶ領用水の位置と散策	29
第3.4節 二ヶ領用水今昔と六郷用水	31
第4章 梶が谷貨物ターミナル	33
第4.1節 武蔵野線	33
第4.2節 川崎は環境先進都市	35
第4.3節 川崎市における家庭ゴミの処理	37
第5章 武陽玉川八景	39
第5.1節 八景いろいろ	39
第5.2節 近江八景と琉球八景	43
第5.3節 水戸光圀と武陽玉川八景	47
第5.4節 武陽玉川八景界隈	51
第6章 世田谷ゆかりの人	57
第6.1節 用賀村の名主 飯田平兵衛	57
第6.2節 伊福部昭と井伊直孝	59
第6.3節 石川達三	63
第6.4節 井上準之助	67
第6.5節 「墮落論」、代沢小学校の代用教員一坂口安吾	73
第6.6節 「自然の中の教会」一賀川豊彦	77
第6.7節 放浪記一林美美子	81
第7章 帆船日本丸90歳と私	83
第7.1節 国指定重要文化財一帆船日本丸90歳と私	83

第7.2節 日本丸誕生と太平洋戦争	87
第7.3節 日本丸よ再び世界へ	91
第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）	93
第8.1節 赤穂事件と忠臣蔵	93
第8.2節 赤穂事件の背景	95
第8.3節 忠臣蔵の疑問点	99
第8.4節 古くから続く悪弊 賄賂	103
第8.5節 切腹から赤穂城明け渡しまで	105
第8.6節 赤穂藩廃藩	109
第8.7節 吉良邸討ち入りへの道	111
第8.8節 討ち入り直前	113
第9章 日本の道路のルーツ	119
第9.1節 「道」から「街道」へ	119
第9.2節 日本の道路の歴史について	123
第9.3節 鎌倉時代・戦国時代と道路	127
第9.4節 江戸時代の道	131
第10章 尾山台付近の昔	135
第10.1節 住民の記憶と母校の記録	135
第10.2節 地形と暮らし	139
第10.3節 食生活	143
第10.4節 年中行事	147
第11章 個々に独立した記事	149
第11.1節 お花見一緑ヶ丘霊園	149
第11.2節 東海道中膝栗毛 川崎万年屋とは？	151
第11.3節 台湾新幹線	153
第11.4節 日本の一年間の最後の月、12月の話題のワード①	155
第11.5節 日本の一年間の最後の月、12月の話題のワード②	159
第12章 補足記事集	161

資料編

A. 引用および参考文献	181
B. 川崎支部会則	183
あとがき	188
これまでの活動の一部	189

川崎支部便り発行にあたって

「変わり続ける遺伝子」。川崎支部の思いです。川崎支部発足以来10年に渡り、脈脈と受け継がれてきた理念です。川崎支部役員の結晶です。

川崎市は神奈川県の北東部に位置する人口約154万人で、7区の行政区にわかれています。高津区・中原区・宮前区・川崎区・幸区・多摩区・麻生区です。政令指定都市20市の中で、面積が最も小さく、神奈川県内では横浜市に次ぐ第2の都市です。、都道府県庁所在地の市では最大で唯一人口が100万人を超えてます。古くは東海道、中原道、大山道、津久井道が南北に走り、それぞれの宿場を中心に発達しました。

「川崎支部便り」は毎月の校友会オンラインで、川崎支部会員に配信をしています。執筆前に現地を確認し、写真撮影や近所の方にインタビューをしながら、古地図・歴史本を参考にしての執筆です。本文をはじめ、人生を豊かに（雑学のすすめ）、耳寄り情報の構成です。

その執筆方針は、教科書の様なた苦しいものでなく、例えば「南武線の生い立ち」「尾山台のむかし」の様に、具体的な事実を読者に興味を持っていただけるようなテーマを盛込みました。興味の積み重ねが、知識を深めます。母校を卒業して地方に移動されたり、地元に戻る方にも川崎や世田谷で生活をして良かったとの思い出に触れる様に、母校に関連する箇所を執筆しています。川崎支部会員だけのものではありません。全国分散したOB、OGに共通の話題を取り上げています。歴史を知ることが郷土への知識を深め、それによって皆様が郷土愛を抱くとともに、母校校友会発展の一助としてお役に立つと確信しています。

2年前から企画していましたビデオ撮影による講演会等の行事の配信を2021年から行い、いつでも視聴出来ますので、合わせてご覧下さい。

今回発行する「川崎市部便り」はオンラインで発信した支部便りを基に、製本ベースにまとめたものです。掲載順を統一テーマごとに集約し。すべてのテーマを見開き偶数ページにするなど多少変更を加えたところがあります。

製本版を作る過程でオンライン版を見直すと、各時代の移り変わりで反省すべき点もあります。これまでの歴史を謙虚に省みるとともに、先見性と勇気をもって挑戦・行動する「変わり続ける遺伝子」の原点にあらためて立ち返り、皆様との心の触れ合い、母校、校友会の皆様との共存を大切にしながら、次の10年のステップアップを成し遂げたいと思います。皆様の更なるご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げる次第です

最後に、今回の発行に際して「川崎支部便り製本発行基金」を設立し、多くの方々からのありがたい寄付金を頂きました。特に記してお礼を申し上げます。



川崎市の7区分と川崎市を縦断する南武線

第1.1節 川崎市点描

2021年00月 番外特別号

2018年から毎月母校ホームページで発信してきました川崎支部便りをまとめるにあたり、通常の支部便りでは扱い得なかった情報も必要であろうと、本節では川崎市に下宿されていた卒業生にも読んで頂けるように川崎市に関する簡単な説明を行います。

1.1.1 川崎市の位置

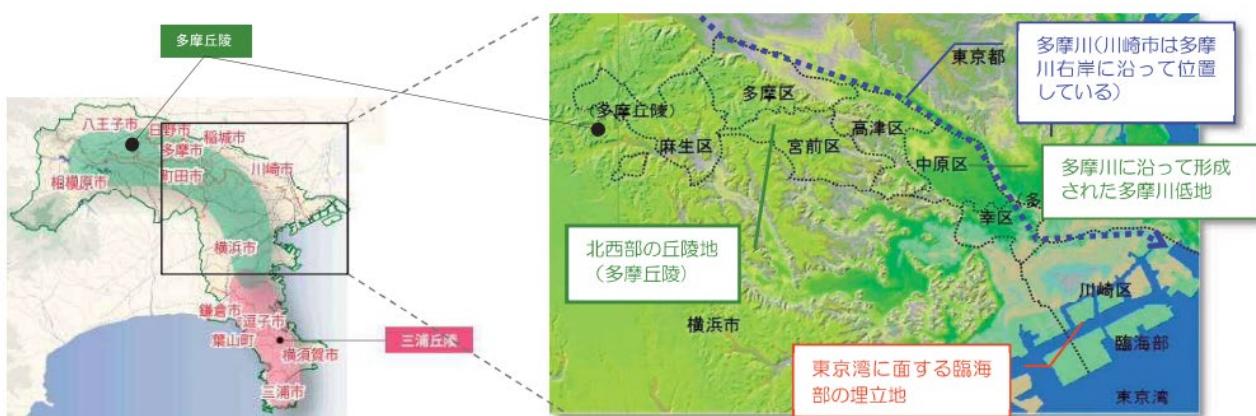
川崎市は神奈川県の北東部に位置し、おおむね多摩川の南側に細長く広がる面積 144.351 km²、東西約31km、南北約19kmで、北西部の一部丘陵地を除いて起伏が少ない比較的平坦な地域で、人口は約154万人(2021年)の都市です。

多摩川の北側は東京都で、東京都世田谷区多摩堤には母校世田谷キャンパスがあり、等々力には等々力キャンパスと総合研究所があります。川崎市麻生区には母校の原子力研究所があり、随時施設の見学会ができます。川崎市の南の横浜市都筑区には母校横浜キャンパスがあります。横浜市の西側には相模原市があり、この3つの市はいずれも政令指定都市です。一つの県に3つの政令指定都市を抱えるのは神奈川県だけです。

川崎市の南東部から高津区あたりまでが昔の海岸線で、高津区橋地区には貝塚があります。縄文時代～中近世にかけての住居跡が80軒以上発見されて新作小高台遺跡（高津区新作1-9-1）に整備され、弥生時代中期の竪穴建物3軒発掘され梶ヶ谷神明社上遺跡（高津区梶ヶ谷4丁目）となっています。とともに、土器・石器・鉄器・玉類等が発掘されています。また馬絹古墳（宮前区馬絹994-10）、西福寺古墳（高津区梶ヶ谷）、野川1号墳（宮前区野川）、子母口富士見台古墳（高津区子母口54-173）などがあります。

この様に、古代の人々にとって生活物資を入手しやすく、住みやすい環境であった地域で、古墳造営が可能な権力者も出るような所だったと思います。また武蔵の国の本庁は東京の府中でしたが、橋樹官衙遺跡は、古代武蔵国の中の1郡を納めた役所の遺跡です。また市の北西部の丘陵地は八王子から三浦半島まで続く多摩・三浦丘陵の一部になっています。

川崎市の位置的な特徴として、市内全域が中世の武蔵の国に属していること。したがって神奈川県を意味する相模の国には含まれていないことです。



(出典) 多摩・三浦丘陵トレイル (多摩・三浦丘陵の縁と水景に関する広域連携会議資料に加筆)

1.1.2 川崎市のイメージ

この土地は戦国時代には合戦の舞台にもならない、内陸部の農業、沿岸部の漁業の田舎でした。現在の市域が完成したのは1939年（昭和14年）です。工業都市への変貌を遂げた端緒は、浅野財閥を築いた浅野総一郎（1848年～1930年）で、財政難の川崎市に代わり川崎沿岸部の埋め立て事業で一大工業地域に発展させました（浅野セメントは、「南武線」の章に出てきます）。

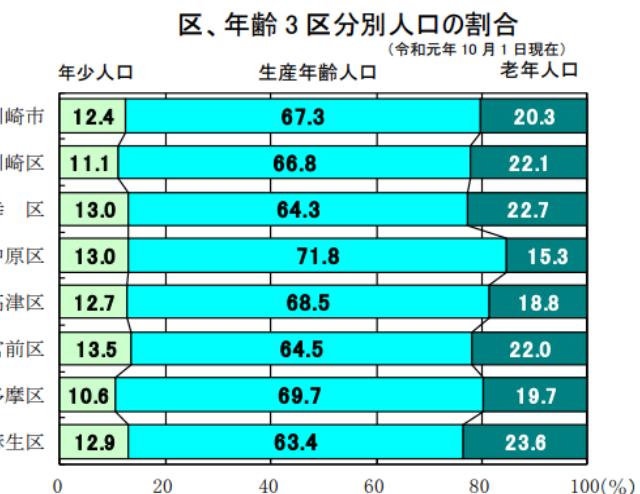
負の面では工業化と人口急増による「川崎公害」、大気汚染、水質汚濁等の公害は1970年初頭にはピークを迎えました。「恐ろしくて汚い街」のイメージがありましたが今は違います。工業都市でありながら、新百合ヶ丘、宮前平、武蔵小杉のタワーマンションに象徴される宅地開発でイメージを一新しました。多摩川も生活排水で汚れ、魚の奇形が報道されるなどで清流のイメージとは程遠い状態でしたが、市民活動や下水道の整備が進んだことと多摩川が日本有数の急流であることなどから徐々に改善されています。

1.1.3 発展する川崎市

川崎市は1972年（昭和47年）に5区を有する政令指定都市となりました。この年には札幌オリンピックが開催され、沖縄が返還されました。1982年（昭和57年）に市北部の2つの区がそれぞれ分割され、現在の7区体制になりました。

川崎市の人口は、1955年（昭和30年）には約40万人、1965年（昭和40年）には約85万人と10年間で2倍以上、政令指定都市の翌年1973年（昭和48年）には100万人を突破しました。2021年9月1日時点で、

755,102世帯、1,541,688人です。川崎市全体と各区別の人口構成図を示しました。中原区の老齢人口が少なく、多摩区で年少人口が少なくなっています。川崎市の人口急増の要因は、東京や横浜などへの通勤・通学の利便性、川崎市が進めてきた新旧の共生で、立地の良さと東西の交通網です。



人生を豊かに（雑学のすすめ）

①川崎市の市章は「川崎」の「川」の字を表すだけでなく、市民の歴史とともに流れ続ける多摩川と、それと同じように発展する「川崎」を象徴しています（大正14年制定）。

②川崎市のブランドイメージは光の三原色をイメージしたロゴマーク。どんな「色」にもなれる多様性や自由をあらわし、市民一人ひとりの思いが多彩な「色」となり、川崎の未来への可能性を広げていく、そんな意味が込められています。（市制100周年に向けて、平成28年7月15日から使用開始）



第1.2節 校友会と川崎支部

(2021年00月 番外特別号)

東京都市大学校友会の地方支部である川崎支部は約1年の準備期間の後、2011年(平成23年)3月5日設立総会を実施しました。当時の武蔵工業会理事長の命を受けて、横浜支部から分離独立した形になります。

川崎支部で特筆すべきことは、当時の東横学園女子短期大学の同窓会も一緒に立ち上げた最初の地方支部であるということです。

川崎支部の活動詳細についての掲載は巻末に譲り、ここでは支部の規模を会員数で見る事にしましょう。集計日は2010年7月です。

1.2.1 設立時の会員状況

川崎支部設立当時入手可能な名簿は武蔵工業会のデータのみでした。当時は年会費制を採用しており、会員は3年に1度3年分を納めることになっていました。また新卒業生は入会時に入会金と3年分の年会費を納めていました。この年会費は武蔵工業会の収入となり、川崎支部の活動の運営面とは直接関係ありませんでした。川崎支部の活動の運営面の基盤は会費ですが、武蔵工業会からの支給金で賄います。

右表には川崎市部のみの数値を示します。

1) 学科別会費納入状況

まず学科別の会費納入状況です。短期学部や大学院は学部の中に組み込んでいます。新しくできた学科や名称変更があった学科は合算せずにそのままの数字を乗せてています。

表中で「納入済」はその年度の会費を納入した人数、「納入歴」は過去に納入した実績のある会員数、「未納」は全く実績がない会員数です。

会員数が200名以上の学科は昔からの工学部6学科で、未納率はそれぞれ

電気 16.7%、 建築 16.1%、 土木 16.7%、 機械 16.2%、 通信 14.1%、 経営 26.3%

となっていて、経営工学科が飛びぬけて悪くなっています。全体の未納率は 19.3%です。全体の納入率は 24.8%でした。

学科	納入済	納入歴	未納	合計
機械	64	220	55	339
機械システム	26	7	14	47
生産機械	4	8	0	12
電気	59	166	45	270
通信	50	145	32	227
建築	60	164	43	267
土木	39	131	34	204
都市	18	4	6	28
経営	24	169	69	262
システム情報	16	5	10	31
エネルギー	14	9	16	39
電子情報	3	10	11	24
コンピュータメディア	32	0	1	33
情報メディア	39	25	5	69
環境情報	46	50	44	140
合計	494	1113	385	1992

2) 行政区分納入状況

次表で「入会金」が出てきます。少し補足しますと終身会費制を採用していた年代もありましたが、

第1章 川崎支部の活動拠点

財政が厳しくなり年会費制に移行しました。そこで終身会費を払ってなお、ある時期から年会費を払うことになった会員も相当数居られました。こうした二重払いについてはさほど問題にならなかったと記憶しています。

次表で「住所判明者」は集計時点での人数ですが、「入会金納入者」と「年会費納入者」は延べ数です。新入会して3年経過すると年会費納入の時期が来ます。したがってこの表で注意することは毎年これだけに人が入会金や年会費を払っているわけではないこと、またこの二つの数字の和が住所判明者とは一致しない事です

さて行政区別の状況では東京湾寄りの二つの区は他の5区に比べ会員数は半数以下であることが分かります。さらに入会金納入率や年会費納入率を調べると東京湾寄りの二つの地区は他の5区に比べて少ないことが分かります（2011年当時）。

	川崎区	幸区	中原区	高津区	多摩区	麻生区	宮前区	合計
住所判明者	155	145	342	329	305	344	372	1992
入会金納入者	119	115	278	273	247	282	296	1610
年会費納入者	29	27	102	79	76	85	96	494

1.2.2 現在の会員状況

次表は2021年11月現在のデータです。この表で「確認済み」は校友会オンラインでつながるメールアドレス保有者、「未確認」はメールアドレスが分かれるが校友会オンラインに未だコンタクトがない人、「空欄」はメールアドレス記入欄に無記入の人のことです。また比率はいずれも合計総数3492人に対するものです。またこの表は総数の多い順に並べています。

「総数」は設立時の1.75倍ですが東京湾寄りの2つの区が少なくなっています。川崎支部では会員との連絡はメールアドレスを主にしていますが、全体の73.8%の会員にはメールが届いていません。また常時連絡がとれていそうな会員は僅か4.7%です。

表中最も大きな値の区のデータを黄色で、逆に最も小さな値の区を茶色で表示していますが、どの区のデータも傾向はほとんど変わりません。メールアドレス開示者を増やす取り組みや校友会機関誌の活用など、会員への他の連絡方法を模索する必要があります。

区分	総数		確認済み		未確認		空欄（名）	
	(名)	(%)	(名)	(%)	(名)	(%)	(名)	(%)
宮前区	715	20.5	31	0.9	155	4.4	529	15.1
高津区	639	18.3	32	0.9	132	3.8	475	13.6
中原区	610	17.5	35	1.0	126	3.6	449	12.9
多摩区	477	13.7	20	0.6	95	2.7	362	10.4
麻生区	440	12.6	22	0.6	104	3.0	314	9.0
川崎区	313	9.0	13	0.4	66	1.9	234	6.7
幸区	298	8.5	11	0.3	72	2.1	215	6.2
合計	3,492	100.0	164	4.7	750	21.5	2,578	73.8

第1.3節 二子玉川周辺と夢キャンパス

(2018年03月 創刊号)

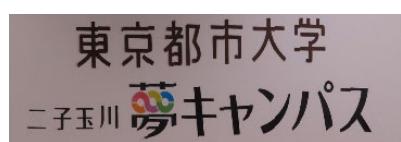
皆様お元気でしょうか川崎支部では「オープンで各自が主役：川崎支部」のスローガンのもと「川崎支部便り」を定期的に発信することになりました。お気軽にお付き合い願います。

なお今後川崎支部便りでは「母校」を東京都市大学、武蔵工業大学、東横女子短期大学を含めた呼び名としています。しかし特に3者を区別する必要がある場合には後ろにカッコ付きで示すか、直接記述する場合もあります。

川崎市東西の中間地点近くで多摩川の東京側には、東京都市大学世田谷キャンパスがあります。母校から多摩川の上流に進むと田園都市線二子玉川駅が見えます。駅改札口を出て右に向かうと広場の両側にRISE（ライズ）のビルがあります。

多摩川寄りには写真出入り口を示す事務所ビル RISE Office があります。ここが東京都市大学二子玉川夢キャンパスへの出入り口ですそこまでは雨に濡れないでスムーズなアクセスが可能です。

広場をはさんで左の RISE Shopping Center には多くの店舗が入っています。この二つのビルは2011年竣工で、地下1階／地上16階です。設計はアール・アイ・エー、施工は東急建設㈱です。



この事務所ビルの8階には「東京都市大学二子玉川夢キャンパス」(TEL 03-5797-9504)があり、フロントスペースには当時水素自動車が展示されていました。

このキャンパスは学生が利用するだけでなく、多彩なイベントも開催されています。その一角には3次元プリンターが設置されていて学生たちが熱心に作品を作っていました。

川崎支部でも講演会を毎年4回ほど開催しています。講演会後の講師を囲んでの懇親会や臨時の役員会は溝の口で開催しています。

夢キャンパスの窓からは前方に右から左に流れる多摩川の流れ、右方向には二子玉川駅とその脇の旧国道246号線（大山街道）の通る二子橋があり、更に右奥（多摩川の上流）には新しい国道246号線の橋が見えます。江戸時代には大山信仰の参拝客が往来した街道で、多摩川の渡しもありました。二子玉川側から対岸へ渡った川崎側には二子宿・溝の口宿として大いに栄えた宿場町がありました。



閑話休題 今から約6,000年前の縄文時代前期の海岸線は、世田谷キャンパスから二子玉川寄りの第三京浜道路の橋付近迄でした。私の小学校の授業で、担当の先生が「溝は川をさし、口は川の水を受け入れる海なので、溝の口という名称になった。」との言葉が印象的でした。今でも思い出します。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

春といえば花見です。日本人は四季の自然を生活の中に上手に取り入れていますが、英語の nature は私たちの自然感とは少し違って、崇める対象ではなく征服する対象だったようです。とはいっても桜祭りが行われるようになり、2007年4月の会では赤坂の芸者4名が話題をさらったようです。この4名の中に母校（注1）（武蔵工業大学）出身者が居りました。写真は2008年私的な会で踊ってもらった時の母校出身者です。



耳寄り情報

1. 2018.01.27（土）に校友会吉田会長、校友会小杉事務局長、湘南支部のご参加を得て青梅市の小澤酒造酒蔵ツアーを開催しました。元禄15年創業というから、今から316年前の1702年です。残雪が残る銘酒「澤ノ井」の蔵元です。出荷前の絞ったままの「亀口酒」や江戸時代の味がよみがえる「元禄」（木桶製法）等のマニア垂涎の利き酒が出来ました。
2. 日本酒お好きな方への耳寄り情報です。一都三県 蔵元との交流会が行われます。

【日 時】 2018年4月14日（土） 1部 13:00～15:00 / 2部 16:00～18:00

【会 場】 銀座フェニックスプラザ 中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館

【チケット】 2018年1月15日（日）より発売 前売り券購入方法：イープラス
前売り券：2,000円（1部、2部各300名限定）
当 日 券：2,300円（1部、2部各20名限定）

【プレゼント】ミニきき猪口、清酒300ml

【主催・問い合わせ先】東京都酒造組合連合会 TEL:042-524-3033

1954年（64年前）の川崎駅前広場（東口）

<https://www.city.kawasaki.jp/main/css/img/wrd.png>



第2.1節 生まれは南武鉄道

2018年05月 第3号

川崎市を縦断するように走るJR南武線。一時期東京の山手線と並び数少ないJRの黒字路線と言われた路線ですが、幾多の糾余曲折を経て今日の姿になっています。まず南武線の発祥過程をたどってみましょう。

多摩川に沿って川崎市の海側から東京都稲城市に入り、多摩川を渡り立川まで川崎市の東から西まで背骨のように走っている鉄道が南武線です。

川崎市の上平間で代々名主を務める家の16代当主秋元喜四郎氏が1919年5月5日(大正8年)に鉄道院へ「多摩川砂利鉄道敷設免許申請書」(川崎駅～東京府南多摩郡稻城村)を出願したのが南武線誕生の始まりでした。

1920年1月29日(大正9年)免許は公布され秋元氏は同年3月1日「南武鉄道(株)」を設立し、同年3月17日には終点となった立川までの延長を追加申請しました。

ところが用地買収の問題から工事着工時期の目途が不透明になりかけたころ、浅野セメント(現太平洋セメント)の創業者浅野総一郎氏が名乗りを上げられました。浅野氏は既に青梅鉄道(現青梅線)を傘下に収めており青梅鉄道から南武鉄道経由で川崎の工場までの石灰の輸送を目指んでいました。浅野氏の息子の泰二郎氏が筆頭株主になり、次のように路線拡張が進みました。

1927年(昭和2年)3月9日 川崎～登戸間と矢向～川崎河岸間開業

11月1日 登戸～大丸(現南多摩)間開通

1928年(昭和3年)12月11日 大丸～屋敷分(現分倍河原)間開通

1929年(昭和4年)12月11日 屋敷分～立川 全線開通

1930年(昭和5年)3月25日 支線の尻手～浜川崎間開通

その後浅野氏は川崎臨海部に大規模工場を誘致、目黒競馬場を府中に誘致(現東京競馬場)。稲田堤の桜や久地の梅林などの花見客を誘致するなどして、南武鉄道の利用客を増やす努力も精力的に行ってきました。南武鉄道が敷設(ふせつ)される以前は、当時、浅野セメントが傘下に収めていた青梅鉄道(現在の青梅線)で立川まで輸送し、現在の中央線に乗り入れ～山手線～東海道線経由で川崎の工場まで、セメントの原料である石灰石を送るのがルートでした。しかし「南武鉄道」が敷設され、使用すれば大巾な石灰石輸送費の削減が出来ると考えました。

JR南武線の旅客線主要駅をたどりますと、川崎駅(川崎区・幸区)から武蔵小杉(中原区)、武蔵溝ノ口(高津区)、登戸(多摩区)を経て稲田堤までが川崎市でその後、矢野口(稲城市)、府中本町(府中市)を経て国立市を通り立川に着きます。7区ある川崎市の4つの区(高津区、中原区、幸区、多摩区)を通っています。ちなみに川崎駅は川崎区と幸区の境に位置します。また尻手から川崎区の浜川崎までは支線が走っています

南部鉄道時代には久地梅林駅(久地駅)と宿河原駅の間に「宿河原不動駅」がありました。この駅



提供：亀井康充氏(非会員)

の開業は1934年(昭和9年)4月1日です。そして1944年(昭和19年)4月1日に南武鉄道が戦時買収私鉄指定で国有化(南武線)されると同時にこの駅は廃止されました。実は、筆者河合の本家が当地に有ります。新明国上教の協会(通称宿河原不動尊)の教祖・関山佐吉氏とは地元で親交があり、「宿河原不動尊駅」を作る時に本家の用地を駅舎用地として提供したと、伝え聞いています。

人生を豊かに(雑学のすすめ)

日本人のDNAに深く根付いた味噌は、生きるために必要な必須アミノ酸が豊富で、美容から健康までサポートする頼もしい素材です。例えば、乳がんや胃がん、生活習慣病のリスクを下げる事が分かっています。また抗酸化力や老化抑制機能、肌を明るくするとも言われていますので、お勧めの食材です。その効果は次の様に発表されています。

- ・1日3杯以上のみそ汁で乳がんの発生率が40%減少(厚生労働省研究班 2003年)
- ・みその塩分は胃がんを促進しない(広島大学・渡邊敦光名誉教授 2006年)
- ・みそは脳卒中、痴呆症、心臓疾患などの発症を低下させる(大妻女子大学・青木宏教授 1994年)
- ・みそ汁のある食事パターンが骨粗鬆症に効果(財癌研究会付属病院・陳瑞東医長 1994年)
- ・発酵によってみそに老化制御機能が生まれる(東京農業大学・小泉武夫教授 1995年)

耳寄り情報

- ① 東横女子短大出身の女優井川遥さんが雑誌「LEE」の表紙を飾っています。手に取って見て下さい。
- ② 春と言えば桜を思い浮かべる方が多いと思いますが、梅も忘れてはいけません。南武線の「久地駅」は南部鉄道時代の「久地梅林駅」であったと話しました。駅名の変更が示すように、この辺の梅林はほとんどなくなり、僅かに久地梅林公園として存続しています。(高津区久地1丁目、地名は久地ですが最寄り駅はJR南武線「溝口」駅です)
また明治天皇が観梅のため御幸されたとの歴史がある幸区の「御幸公園」では「梅香(うめかおる)事業」の一環として梅林の復活を目指した梅の植樹活動が行われています。(幸区古市場、多摩川沿線道路添いの場所で、「川崎駅」や「武蔵小杉駅」からのバスの便が便利。多摩川の対岸大田区からは多摩川大橋の右側です)
- ③ 篓言一則(武蔵高等工科学校第2代校長 猪狩亮介氏(陸軍中将))
猪狩校長が自己の研鑽に有益であった亡父から授かった教えを、1938年(昭和13年)3月の卒業生に対し処世の要諦として送った冊子。

- | | |
|----------------|---------------|
| 第1款 長上に對する心得 | 第2款 服務上の心得 |
| 第3款 朋輩に交わるの心得 | 第4款 部下に接するの心得 |
| 第5款 一身を處理するの心得 | |

から成り、さらに夫々数項目の教えが記されています。時代は変わりましたが現代に活きる言葉として読んでみたいものです。(武蔵工業大学同窓会誌第109号 1979年11月に掲載)

第2.2節 シン・ゴジラと南武線

(218年6月 第04号)

新丸子橋が破壊されました。まるであめ細工の様に鉄橋が赤子の手をねじる様に、いともたやすく曲げられました。これは2016年7月に公開された「シン・ゴジラ」の映画での話です。羽田沖に上陸し南武線をも破壊したゴジラと南武線を話題にします

2.2.1 ゴジラは羽田が好き

ゴジラに関する映画は29本作製されているそうです。そのなかで他の怪獣の助演を得ることなく、ゴジラ1頭（？）だけで暴れまわったのは2本だけです。1954年（昭和29年）公開の第1作と2016年（平成28年）公開の第29作「シン・ゴジラ」です。この2頭はいずれも東京湾から現れました。最接近するまで認識できなかったという設定が疑問でしたが、東京湾の水深図を見ますと太平洋からの深さは東京湾の神奈川県よりに続き。羽田沖で浅くなることが分かります。多分ゴジラはこのコースを進み最初に深くなった羽田沖で姿を現したのでしょうか。



映画シン・ゴジラですが 主演は石原さとみ、長谷川博巳という逢いたくなる様な俳優です。

野村萬斎（狂言方和泉流能楽師）も出演していました。どこに？判りませんよね。シン・ゴジラの中です。（着ぐるみではありません）プロモーションです。今の新丸子橋は2回目の架け替えで、現役です。また関東の鉄道の社名で、武蔵の「武」の上に方角を付ける例は「東武鉄道」と「西武鉄道」、そしてこの「南武鉄道」の三社です。「南部鉄道」ではありません。何故「北武鉄道」が無いのでしょうか。謎です。どなたか教えて下さい。

2.2.2 南武線の北部沿線

南武線は1927年3月9日に開通し、支線を含めて30駅を擁しています。立川を出発し武蔵野台地を走行、立川崖線を経て多摩川を渡り川崎市内に入ると二ヶ領用水と並走します。その本川や川崎堀とはそれぞれ中野島駅・宿河原駅・久地駅・武蔵小杉駅・平間駅の近くで、計5回交差をします。特に宿河原駅近くの交差地点は写真のように川面からガードまでが狭く、名所と言っても良いと思います。

もともと南武鉄道は創業当初府中から分かれて国分寺に達し、川越鉄道



と結ぶ計画でした。これが実現すれば、武蔵野線よりも早く人や物の効率的な輸送線が出来ることになったのです。

さて、2018年3月24日（土）に津田山駅脇の緑ヶ丘公園で行ったお花見は創刊号で紹介しました。ところが風景が以前とは様変わりした感が有ります。溝の口周辺を含め、北西部の久地・宿河原・登戸・中野島・稻田堤辺りは多摩川梨・桃・葡萄等の産地でしたが、現在は宅地に代わり生産量がかなり少ないようです。周辺を散歩すると、高齢の方が自宅農園を守り、慈しむように果実を育てている微笑ましい光景に出会えます。残しておきたい光景ですね。NHKの「小さな旅」に出ても良いのでは。

この津田山駅の開業時の駅名は「日本ヒューム管前」で、国有化の時に「津田山」（1944年4月1日昭和19年）と改称されました。駅の南北には小高い丘があるので駅名は近くの山の名前と思いきや、人の名前です。昔ここに遊園地や空地を作った玉川電車の経営者の名前を付けて「津田山」駅としました。南武線で人名がついているのは、この「津田山」駅のみです。

主として土木工事で使用する大口径のヒューム管の輸送は、南武鉄道から工場まで長い引込線を敷設し、この引込線に貨車を乗入れさせ、貨車で輸送していました。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

池波正太郎作の「鬼平犯科帳」がTVで再放送されています。中村吉右衛門主演版が気に入っています。鬼平役者は、過去何名いたのでしょうか。なんと、4名もいたのです。中村錦之助さん、丹波哲郎さん、そして初代松本白鸚（はくおう）のシリーズです。

原作者の池波正太郎氏は、中村吉右衛門の鬼平が一番のお気に入りで、実在感が有り、原作者のイメージ通りと、生前語っていたそうです。初代松本白鸚（はくおう）は言うまでもなく吉右衛門の実父で、この「鬼平犯科帳」が大当たりしたことから鬼平ブームが今に続いています。

秘話：息子中村吉右衛門が鬼平の息子辰蔵役で出演した、粋な父子共演でした。

耳寄り情報

南武線の車両を見るとモハ、クハ、クモハ等と車両に記載しています。これは電車の型式をあらわす記号で次のものがあります。

- ① ク・・・運転台付き（正しくは制御車で、先頭車です。）
- ② モ・・・中間電動車（運転台は有りませんが、モーター付きの中間車両です。）
- ③ サ・・・モーターも運転台もない車両です。

これを組み合わせて例えば

- ④ クモ・・・運転台とモーター付きの制御電動車です。

のように表します。これに旧1等車（皇室専用）、2等車（現グリーン車）、3等車を区別する記号

- ⑤ ロ・・・グリーン車（特急の他、東海道線の通勤電車にも有ります。）

- ⑥ ハ・・・普通車です。（自由席、指定席等）

を続けてクモハ（運転台とモーター付きの普通制御電動車）のように表現します。さらに客車、機関車、貨車等多くの記号があります。

第2.3節 南武鉄道の国有化と小田急線への乗り入れ

(2018年07月 第5号)

南武線の歴史でも太平洋戦争による南武鉄道の国有化は一大転機だったでしょう。また南武鉄道には多くの支線がありました。そのことについても触れてみます。

2.3.1 南部鉄道の国有化

1930年（昭和5年）以後は日本電気、富士通信機製造（現富士通）の工場が南武鉄道の沿線に進出し人口が急増し、通勤客も運ぶことにもなりました。1934年（昭和14年）までには川崎一溝ノ口間は複線化になりました。この人口増に対応する住宅の供給には、日本光学、東京電気、南武鉄道の三者により川崎住宅株を設立して経営に乗り出しました。（溝口高津小学校の裏手には日本光学の相当大きな敷地に平家の長屋造りの社宅がありましたが、現在はマンション群となっています。）

1941年（昭和16年）に始まった太平洋戦争下で、民間企業初めての徴用令適用事務所となった日本光学を始めとした軍需産業が川崎に集中し、1943年（昭和18年）には全国から一万人の農村の女性が勤労報国隊員として川崎の軍需工場に動員されてきました。軍事施設も沿線に多く造られ、軍事輸送を南武鉄道が担う一方、石灰石輸送で浅野の資本系列の奥多摩電気鉄道・青梅電気鉄道・南武鉄道・鶴見臨港鉄道の合併の協議もありましたが、鶴見臨港鉄道が国有化されました。残る3社は1943年（昭和18年）に合併を決定しましたが、南武鉄道は東海道線や工業地帯と中央線を結ぶ重要路線であること、重要物質の石灰石を輸送していること、軍需施設や重要工場が沿線に存在することなど、軍事上重要路線であることが理由で、1944年4月1日（昭和19年）に戦時買収私鉄指定で国有化されて、国有鉄道「南武線」となりました。

ところが、今の高津区の北、多摩区の大部分であった山林をすっかり変貌させる事態が突然発生しました。陸軍がこの地域に広大な演習場を作る計画を立てたのです。川崎市と横浜市を跨ぐ面積約838ヘクタールの地域が、有無を言わさず買収され、住民が退去させられたのです。昭和16年（1941年）東京から陸軍の部隊が入りました。南部鉄道の武藏溝ノ口駅はその様な兵力の輸送の為に、そのまま施設では運びきれない輸送を強制させられたのです。当時は、総合的な計画が全くない近視眼的な状況でした。

2.3.2 小田急線への乗り入れ

南武鉄道の登戸と小田原急行当時の稻田登戸との間に、連絡線が有りました。ただし旅客を想定したものではなく、多摩川の砂利運搬の専用線でした。

「鉄道ピクトリアル」第568号（1992年（平成4年）12月）の「南部・青梅・五日市線特集」によると、両社所属貨車の相互乗り入れ認可は、1936年（昭和11年）9月11日で、この連絡線の成立が判ります。当時小田急線の東北沢に東京への砂利輸送の基地があり、多摩川で採取された砂利をここまで運搬する手段に使われたものです。

東北沢当りが東京への砂利輸送の基地であった事も興味深いのですが、当時の鉄道は、こうした砂利輸送にかなりの重点を置いていたのです。1967年3月には廃止され、いまの川崎市道が小田急電鉄の

線路に平行している辺りに、電気機関車に牽引された貨車が走る線路が有ったことは、いまは夢物語です。

南武線の支線に関しては他にも存在していました。これについてはまた取り上げます。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

① 列車番号

昔の南武線では、ホームに入って来る電車の前面に二カ所番号がありました。窓の左上にその列車の運行番号を示し、窓の左下には編成番号が掲げてありました。そのころの南武線には青色や黄色の車輌が混在する列車も走っていました。多分京浜東北線や山手線のお下がりだったのでしょう。

最近では写真のように正面から見て窓の左下に2つの番号があります。下の大きな表示が列車番号で、4ケタの数字アルファベット1文字を加えたもので、これは運転業務等で使用します。JR南武線では立川行きが奇数、川崎行きが偶数となっている様です。



② 時刻表の記号やシンボルマーク

最近はスマホの乗換案内などの便利なアプリがあるので、使用する人が少なくなったでしょうが、時刻表に使用する記号も決められています。1964年（昭和39年）東京オリンピックに備えて、町中の案内表示を新しく分かりやすくする運動がありました。どの様な表示が良い表示かを調べる目的で、駅、ホテル、公園などのトイレの表示を写真にとる作業をしていた時、正面から写真を撮った瞬間中から大きな外人が出て來たこともあります。最近の表示は格段に良くなっていますが、国際貨物の天地を示す表示↑をアフリカでは逆に解釈されたとか。温泉マークを外人に誤解されるなど笑えない問題もある様です。

耳寄り情報

毛穴が目立つ原因是、肌が乾燥していること可能性も大きいそうです。なぜ夏の肌は、うるおっていると勘違いしてしまうのでしょうか？ それは「汗」を多量にかくことに関係があります。角層にある保湿成分は水溶性のうるおい成分で、汗も水溶性なので、汗をたくさんかくと汗の水分で保湿成分が一緒に流されてしまうのです。

汗をかいたあとは、肌がガサガザしているように感じませんか？ 汗をかくと、皮膚表面が濡れているだけで、角層内はすでに乾燥に傾いています。皮膚表面がベタベタしているのは、うるおいではなく皮脂だけがそこに残っているからです。水分不足の肌はキメが乱れて、毛穴が目立ちますので、ご注意下さい （今回は女性目線です。）。

第2.4節 南武線の歴史と相互に影響しあう鉄道

(2021年06月 第41号)

南武線の歴史を陰で支えた支線や南武線の誕生に影響を与えた他の鉄道、表面に出た話題や出なかつた南武線の苦労の歴史を紹介します。

簡単に述べると、南武線本線は、神奈川県川崎市の川崎駅から東京都立川市の立川駅を結ぶ 35.5 km の線区です。東京地区の電車特定区間のひとつで、川崎市とその細長い北部地域を貫く鉄道の動脈で、市内は多摩川の西南側をほぼ並行し、南多摩駅～府中本町間で多摩川を北側に渡り武蔵野台地の崖線を上がって立川駅に向かいます。川崎市内では、江戸時代に開削された二ヶ領用水と並行して、その流路と 5 回交差しています。

2.4.1 南武線の歴史

1) 1919年(大正8年)5月5日「多摩川砂利鉄道」として、当時の「鉄道院」に神奈川県橋軍川山町から東京府南多摩郡稻城村間の鉄道敷設の申請を出ました。敷設発起人総代秋元喜四郎を含め、初代川崎市長の石井泰助や近郷の名主達13名が発起人でした。

2) 1920年(大正9年)1月29日に免許が交付されました。

許可内容：区間は川崎町～東京府南多摩郡稻田村までの 23.3 km。目的は「旅客及び貨物の運輸営業を免許する」ことでした。当時の総理大臣原敬の印と、赤文字で「相当の収益が有り、且地方交通上有利起業」と許可理由も記されていて、期待されていたことがわかります。

また、発起人側のPR文の一つに、「本鉄道は武蔵野ノ南部を縦断する最も緊要(非常に重要)なる線路」とあり、武蔵国の南、武蔵野の南に位置する鉄道から、「南武鉄道(株)」の名称誕生の由来と考えられます。

- 3) 1920年(大正9年)3月1日「南武鉄道(株)」と「多摩川砂利鉄道」から名称を変更して、会社を私鉄として設立し、資本金は200円でした。この時の計画は、川崎から稻城まではほぼ直線の計画でした。(右図参照)
- 4) 1920年(大正9年)3月17日稻城から終点立川までの延伸追加申請をする発起人達は、鉄道が産業を興し文化水準を上げ、砂利は片手間との自信がある様でした。



2.4.2 南武線の活動内容

1) 物資輸送の南武線

最初は多摩川から採取した砂利の運搬を目的にした事も大切な点です。明治時代には海外から日本にはなかった多くの知識や技術が入ってきました。1888年3月(明治21年)布告の、「東京市区改正条例」(基本的には幕藩体制下の「封建都市」であった江戸の延長にすぎなかつた江戸の都市構造を、明治国家の「首都」に改装するための事業)によって、明治・大正と大量の建設資材が必要となり、その中でも砂利、砂、石灰石(セメントの材料)が膨大な量を必要とした時代でした。後に紹介しますが、すでに開業していた鉄道が砂利輸送に注目し、更に砂利を採掘して駅まで運搬する砂利採掘・輸送専門

の鉄道が生まれました。これに対して「南武鉄道」は砂利を採掘し、市場に近い所まで自分の手で輸送する新しいタイプの鉄道でした。

1923年（大正12年）9月30日の営業報告書に浅野セメント社長の浅野泰治郎（浅野総一郎の幼名）が5000株を取得し、筆頭株主になったことがさりげなく記されていたとのことです。設立発起人総代の秋元喜四郎達は土地の買収や資金にも苦労をし、工事が思う様に進められませんでした。浅野セメントが筆頭株主に入ったことは、1920年（大正9年）に立川までの延伸申請が提出された時から関与していたのではないかと、私は想像します。また、立川までの延伸申請は砂利輸送だけでなく、旅客輸送も十分に考えていた結果と、私は思います。

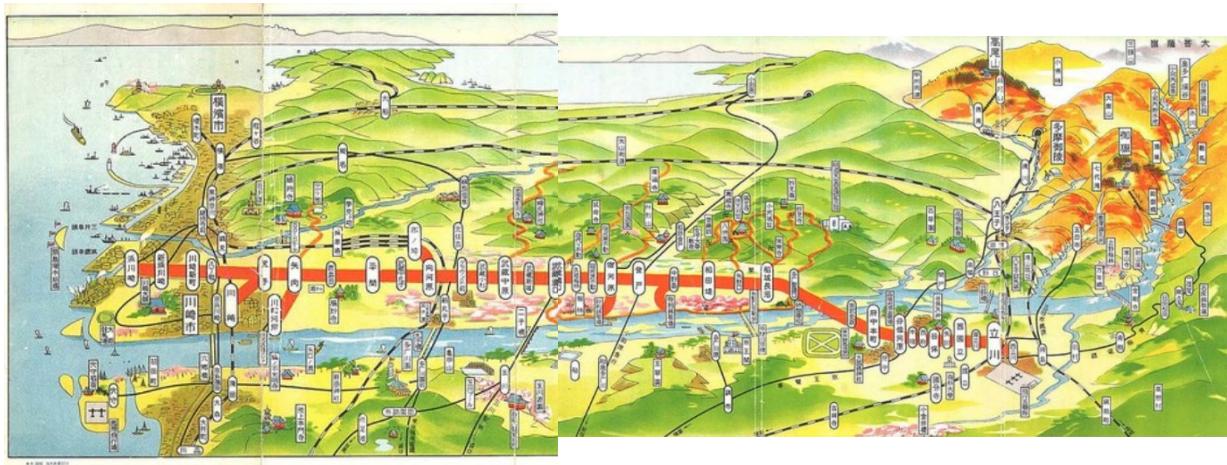
2) 旅客輸送の南武線

南武線の旅客輸送の起点は川崎駅で、東海道線他と接続する駅です。一方、立川駅も中央線他と接続し、それぞれがターミナル駅になります。また、川崎市を横切ったり、接近する鉄道もあり、他線との接続も可能ならば、お互いにメリットが有ります。

南武線の「矢向駅」から分岐し、1.7km進むと「川崎河岸駅」です。砂利を運んできた貨車の終着点で、「六郷支線」と呼ばれていました。現在の矢向駅には待機線はありますが、その先の線路はありません。

「川崎河岸駅」は川崎駅西口の多摩川沿いにある河原町団地近くの川縁にありました。砂利はここから船に積み込み、多摩川を下り、京浜工業地帯や需要の地へ搬送されました。

この時代、川崎市内の南武線を横断し、多摩川を介して接近する鉄道を示します。東海道線（川崎駅で接続）、東横線（武藏小杉駅で交差）、東急多摩川線（多摩川を介している）、東急池上線（多摩川を介している）、大井町線、玉川電気鐵道（多摩川を介している）、小田急線（武藏登戸で交差している）、京王電気軌道（交差と多摩川を介している）。



2.4.3 1930年（昭和5年）頃の南武線と近接の鉄道たち

① 東海道線（川崎駅で接続、乗り換え可能）

1889年（明治22年）新橋駅～神戸駅間を開業。

1914年（大正14年）東京駅～神戸駅間が全線開業。589.5Km。

② 東横線（武藏小杉駅近くで交差、乗り換え可能）

1926年（昭和元年）2月14日 渋谷駅～横浜駅間が開業。24.2Km。

南武線と交差する鉄道で、南武線とトラブル発生。

③ 東急多摩川線（多摩川を介して、近接）

1923年（大正12年）3月11日 多摩川駅～蒲田駅間が開業。5.6Km.

NHK 大河ドラマ渋沢栄一が描いた理想の街で、田園調布駅前ロータリーから放射状の道路の自然を生かしている。高級住宅街の第一回目の分譲後に開通した。

④ 東急池上線（多摩川を介して、近接）

1922年（大正11年）10月6日 五反田駅～蒲田駅間が開業。10.9Km.

⑤ 大井町線（溝の口駅が終点、乗り換え可能）

1927年（昭和2年）7月6日 大井町駅～溝の口駅間が開業。昭和30年代には二子橋の中央を単線で路面電車のように走っていました。

⑥ 玉川電気鉄道（後の東急玉川線・多摩川を介して近接）—最初の目的は多摩川砂利輸送が目的

1907年（明治40年）3月 道玄坂上駅～三軒茶屋駅間が開通（路面軌道）

1907年4月1日 三軒茶屋駅～玉川駅（現二子玉川）間が開通（路面軌道）

1907年8月 道玄坂上駅～渋谷駅まで延伸して、渋谷駅～二子玉川駅間全線開通

（1969年（昭和44年）廃止、新玉川線として田園都市線の一部が地下鉄となる）

1924年（大正13年） 玉川駅～砧駅間

（砧線）間が開通。二子橋上流の砂利輸送が目的。（左図の緑色が砧線）

1925年（大正14年） 三軒茶屋駅～下高井戸駅間（現世田谷線）が開通。

1927年（昭和2年） 玉川駅～溝の口駅間が開通。（1925年二子橋完成）

（1968年（昭和43年） 砧線は廃止）



⑦ 小田急線（小田原線）（小田原線・登戸駅で交差、乗り換え可能）

旅客及び砂利輸送も行っていました。

1927年（昭和2年）4月1日 新宿駅～小田原駅間が開業。82.5Km.

1930年（昭和5年）11月4日 相模厚木駅～東北沢駅間が開業。

昭和2年の開業時から相模川の砂利が東京方面に輸送され、「東北沢駅」の新宿寄りに荷捌き専用用施設が設置されていました。

1966年（昭和41年） 貨物輸送は廃止。

⑧ 京王電気軌道（現京王電鉄京王線）

1913年（大正2年）4月15日 新宿駅～京王八王子駅間が開業。（多摩川を介して近接）

1916年（大正5年）6月1日 調布駅～多摩川原駅（現京王多摩川駅・多摩川を介して近接）

・上記の路線は、現在京王相模線として神奈川県の橋本まで延伸し、全線開通は1990年（平成2年）でした。現在は、南武線稻田堤駅より約250m立川寄りで交差し、歩きますが乗り換え可能です。

- ・大正5年に開業した調布駅～多摩川原駅間の当時の路線は、多摩川で採取された砂利を都心に運搬する支線として開業されました。
- ・1923年（大正12年）9月1日の関東大震災により、東京での復興建設資材のコンクリートに欠かせない砂利の需要は莫大な量でした。その為、砂利採掘は多摩川の環境悪化を招き 1934年（昭和9年）に始まった採掘規制は、第二次世界大戦後の戦災復興の状況を見て、1964年（昭和39年）には多摩川原駅周辺での砂利採取が全面禁止されてしまいました。
- ・この状況になることを予測していたのか、
1927年（昭和2年）多摩川原駅前に京王閣を開業しました。当時は大変珍しい施設を備えた東京近郊屈指の遊園地として栄えたそうです。また、京王閣は砂利の集積場の跡地でした。

⑨ 中央本線（現中央線・JR）・青梅線（開設時は私鉄、現JR）立川駅で接続。（乗り換え可能・貨物は相互乗り入れ可能）

・中央本線

1889年（明治22年）9月11日 新宿駅～立川駅間開通

1911年（明治44年）5月1日 全線開通

東京駅～新宿駅～塩尻駅（長野県）～名古屋駅（愛知県）

・青梅線

1894年（明治27年）11月19日 立川駅～奥多摩駅間開（石灰石運搬が目的の路線、立川駅を介し、貨物列車は直接進入可能駅）

【表1】関東大震災による車両の被害

	破損	焼損
蒸気機関車(タンク型)	11	16
蒸気機関車(テンダー型)	49	30
電車（電動車）	0	20
電車（付随車）	0	20
客車（ボギー車）	55	308
客車（四輪車）	7	116
貨車	281	923
合計	403	1433

典拠：内田宗治『関東大震災と鉄道』55ページ。原典は『国有鉄道震災誌』。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

紀元3世紀末～7世紀ごろまでの期間は「古墳時代」と呼ばれています。およそ400年の間にたくさんの古墳が作られました。現在確認されている古墳の数は、小さいものまで含めるとなんと約16万基！単純計算で、年に約400基も作られていたことになります。ものすごい数ですよね。

古墳の分布は、北は北海道江別市、南は鹿児島県指宿市まで、全国各地に作られています。全長が長いのが仁徳天皇陵の特徴！なんと東京都庁の第一本庁舎(高さ243.4m)2個分です。また、全長200m以上の古墳は全国に約40基ありますが、そのうちの11基は百舌鳥・古市に位置するもの。このエリアに権力者が集まっていたことがわかります。世界遺産登録されたのは、百舌鳥・古市古墳群にある49基の古墳です。

	仁徳天皇陵	クフ王のピラミッド	秦の始皇帝廟
全長	約486m	約230m	約350m
高さ	約35.8m	約146m	約76m
体積	約140万m ³	約260万m ³	約300万m ³

第2.5節 南武線の支線今昔

(2021年07月 第42号)

南武線シリーズを終えるにあたり、特に砂利など物資に輸送のために設置された支線や専用軌道をまとめました。時の需要と供給にあわせ幾多の変遷のあったことが分かります

2.5.1 六郷支線

1927年（昭和2年）3月9日に「川崎駅」～「登戸駅」間17.2Kmの開通とともに、「矢向駅」～「川崎河岸駅」間1.7Kmも開通しました。以前にもご紹介しましたが、この間が「六郷支線」と呼ばっていました。旅客車輛の発着駅「川崎駅」に対して、貨車（砂利運搬）の発着点が「川崎河岸駅」です。

川崎河岸駅は多摩川右岸に造られた船着場の上に、砂利運搬貨車から直接運搬船に積込む設備があり、ここから船（はしけ）等で京浜工業地帯や東京、横浜等大都市の工事現場に輸送する計画をしていました。この頃は多摩川の水深も浅く、大型船で砂利の運搬が出来ないので能率が低いことと、南武鉄道の貨物輸送収益を上げることも有った様です。

南武鉄道の当初の計画は、旅客車輛も貨物車輛も、現在の「川崎駅」を発着の起点と計画をした様です。しかし、南武線敷設の難問の一つが、現在の「川崎駅」の土地確保でした。当時の川崎駅西口の土地は、東京電気（現在の東芝）が所有していました。南武鉄道「川崎駅」の建設には、東京電気と国鉄との連絡が悪くしないように配慮する必要がありました。そこで南武鉄道川崎駅を少し横浜寄りに設置し、旅客車輛の発着起点としました。最初の計画の貨物（砂利運搬）車両も旅客駅と同じ駅を発着起点として、ここから多摩川まで支線を設置する土地の確保が出来ない為、貨物車輛は「矢向駅」より「川崎河原駅」ルートに変更されました。

南武鉄道の敷設計画に浅野セメントが株主として参画してくると、最初の計画にはなかった「尻手駅」～「浜川崎駅」間の貨物線が、1930年（昭和5年）3月25日に運行開始されました。この為、六郷支線は砂利専用支線になりました。

太平洋戦争中は軍用品をこの支線も使用して船積みしたと言われています。更に戦後は砂利輸送もなくなり、1972年（昭和47年）5月25日に廃止されました。

現在、線路のほぼ全区間が「さいわい緑道」と名付けられ、整備されています。現在、線路や駅の跡地の北側は、河原町団地と河原町小学校、そして南側は幸町小学校となり、緑道は二つの学校が挟む形になっています。また、南武線川崎駅西口の東京電気（現在の東芝）の跡地は、「ラゾーナ川崎プラザ」となって開発されています。「川崎駅」周辺は工業都市川崎の時代から大きく変貌しています。是非散策をお勧めします。

2.5.2 宿河原砂利専用軌道

現在の宿河原駅より多摩川に向かって、梨畠の中に弧を描く様に支線が資料地図（昭和12年参謀本部陸地測量部発行地形図登戸 1/10,000）にあることが分かります。多摩川から東に折れて、川筋を川下方向に伸びています。他の地図ではもっと



長く、線路は現在の東名高速の先の多摩区堰（せき）の県立向の岡工業高校の辺りまで伸びていました。昭和2年発行の「南武鉄道図絵」や昭和5年の「南武鉄道沿線図」にも軌道が描かれ、南武鉄道の開業当初からあったことが分かります。

宿河原の河川敷は砂利採取の最も有力な地とされ、線路の長さからもそのことを物語っています。この線路後は現在の地図上でも、見事に線路跡がそのまま弧を描いた道として、宿河原駅北側から稻田中学校の裏を通り、多摩沿線道路まではっきりと残っています

その後、砂利の乱掘によって、多摩川の河床低下、洪水等の問題、金融恐慌によるセメント価格の低落等により砂利採取が衰退し、引き込み線は長く使われず、昭和30年頃まで線路は残されていたと言われています。

（以上、稻田郷土史全機関誌「あゆたか」第25号より）



左は宿河原駅。電車は待機線で出番待ち。
上が登戸方向で、右下歩道マークの右手
が砂利運搬支線のあった方向

2.5.3 中野島砂利専用軌道

中野島駅より二ヶ領用水中野島取入口（上河原堰）付近まで伸びていました。また、地図上で線路の記号が途中で変わっているそうで、おそらく引込み線の先の河川敷内は手押しトロッコの様な簡易軌道が敷かれていたのではないかとのことです。昭和初期の「沿線案内」にも軌道が描かれて「砂利採取場」の名が描かれています。

現在、宿河原の様な軌道跡は留めていないが、当時は現在のカリタス学園辺りの一面桑畑や梨畑の中を、トロッコの様な砂利運搬車が行き来したことが考えられるということ。この軌道も長く続かず、短期間で姿を消したものと思われています。（以上、引用書類は「あゆたか」第25号より）

2.5.4 登戸連絡線

前節で少しふれましたように南武鉄道の登戸と小田急行の当時の稻田登戸（現在の向ヶ丘遊園駅）間に連絡線路が有りました。

1935年（昭和10年）9月

両車の新設協定成立

1936年（昭和11年）9月11日

所属貨車の相互乗り入れ認可

これで両社の連絡線の成立が分かります。この成立で、「登戸連絡線」は1936年（昭和11年）には、現在の小田急線「向ヶ丘遊園駅」（当時は稻田登戸駅）から多摩川方面に向かい、現在の向



ヶ丘遊園駅と登戸駅の中間辺りから、東に（川崎方面）向きを変えて、ゆっくりとカーブを取り、南武線の登戸駅と宿河原駅の間で南武線軌道に接続しました。

この登戸連絡線の目的は、多摩川沿いの稻城長沼方面他で取れた砂利、相模川の砂利を、南武線を利用して、京浜工業地帯方面や、「川崎河岸駅」より船で運搬されたのかもしれません。また、1937年（昭和12年）10月には、小田急線側から南武線に入り、東京の府中市に誘致した府中競馬場への客の輸送にも使われたそうです。

更に、南武線は1947年（昭和22年）の太平洋戦争の終戦後、乗客輸送の車両不足から、小田急線の客車両を借りて運行をしたそうです。これは、1947年の5月～10月の約半年間であったそうです。小田急線の車両が、南武線の軌道を運行した事実は有ったのです。そして、ことによると、この借りた客車の移動が「登戸連絡線」の使用の最後であったかもしれないそうです。その後、軌道は長く放置されていたようですが、1967年（昭和42年）3月、完全に廃止されたそうです。



南武線登戸駅から宿河原方向(直線部分の右側から連絡線が合流)



向ヶ丘遊園駅ホームから登戸方面を撮影

1



中野島方面より登戸駅に向かう列車。
手前に連絡線の線路が写っている



向河原駅のNEC側に用地が残されている

人生を豊かに（雑学のすすめ）

隠れ犯罪者をご存じですか。FBI元心理分析官が教えていました。危険な人たちの特性と行動についての指摘があります。深刻なパーソナリティ障害の一つです。要点を以下に示します。

- | | |
|----------------|-------------------|
| ①上面だけの浅薄な魅力 | ②壮大な自尊心 |
| ③息をするようにウソをつく | ④狡猾で、人の操作に長けている |
| ⑤罪の意識や良心の呵責がない | ⑥感情が薄っぺらである |
| ⑦冷淡で、共感にかける | ⑧自分の行動に責任を負おうとしない |
| ⑨つねに刺激を求める | ⑩現実的な目標を持たない |
| ⑪衝動的 | ⑫無責任 |
| ⑬行動の制御が出来ない | ⑭少年時の非行 |
| ⑮若年での問題行動 | ⑯犯罪にかけては多才 |

如何ですか。あなたのお知り合いの方に、似た行動をとる方はいませんか。他のパーソナリティ障害とはっきり区別出来るのは、良心の呵責や罪の意識を持たない、浅薄な感情、冷淡さや他社への共感の欠如、責任を負おうとしないことです。世間のルールは、自分には当てはまらないと思っているそうです。まるで隠れ犯罪だそうです。「危険な人物の見分け方」（メアリー・エレン・オトオール著（株）学研）を読むと、詳しく記載されています。思わず引き込まれます。

閑話休題 隠れ犯罪者という考え方は「暴力の解剖学」で紹介されているある実験の結果考案されたものです。

一般にこうした実験ではグループを2つに分けます。たとえば犯罪を犯したグループと真っ当な生活をしているグループに分けて、それぞれに属した人について違いを調べるといったように。

ところがある実験者が良く調べてみると、頻繁に日本で言う職業安定所を訪れる人たちが存在すること気が付きました。そこで彼らが頻繁に職探しをする理由について次の仮説を立てることにしました。

- ① 事件にならない程度のトラブルを起こすから長く同じ職場に定着しにくい
- ② かなり優秀であるからすぐ次の職場が見つかる

このグループを隠れ犯罪者と呼びました

第3.1節 ニヶ領用水と円筒分水

2018年8月 第6号

東急大井町線高津駅から府中街道を登戸方面に進み、国道246号線を過ぎると府中街道は旧道と新道に分岐します。旧道を進み最初の信号を左折するとすぐコンクリート製の円筒型の分水桶（久地円筒分水）が見えます。上流から来たニヶ領用水の水を4つの堀に均等に分ける働きを担いました。しかし久地円筒分水のすぐそばにある流れはかなり低い所を流れています。この流れは平瀬川です。

上流のニヶ領用水は平瀬川の対岸にある大きな水門の向こうです。ここから久世川の下をくぐって円筒分水につながっています。水量が多くなると水門を開き平瀬川に流すことが出来ます。

川崎北部市場を源流とする1級河川平瀬川は南側から丘陵を2本のトンネルを通じて多摩川に流れ込みます。

またすぐ近くには久地神社があります。「久地」が「籤（くじ）」に通じるとかで、最近は若い人のパワースポットになっています。

ニヶ領用水は神奈川県下で最古の人工水路で、関ヶ原の戦いの3年前に測量が始まり、14年の歳月をかけて完成したと言われています。この名前は江戸時代に川崎領と稻毛領にまたがって流れていたことに由来します。当時の分水桶はこの用水を四つの水路に分けるもので、あらかじめ計った下流の田畠の必要水量に調節するものでした。

現在の円筒分水は1914年（大正3年）製で、中央の筒からあふれた水を流すサイフォンの原理を利用した「国の登録有形文化財」です。



「命の水」とでもいるべき川崎を育んだこの用水は何故作られたのでしょうか。地形的に日本でも有数な急流である多摩川は勾配が急なので、江戸時代初期（400年以上前）は洪水のたびに流路が変わり、当時の村々が度々分断された様です。このため東京都調布市の「布田（ふだ）」、狛江市の「和泉」、世田谷区の「宇名根・下野毛・等々力」等の地名は川崎側にも存在します。また、大田区の「下丸子」は川崎側では「上丸子・中丸子・新丸子・丸子通り」等が有ります。



豊臣秀吉が天下統一を目前にした1589年（天正17年）や1590年（天正18年）には、多摩川の大洪水で田畠が流されて村々の境界争いが発生した様です。

1590年（天正18年）に徳川家康が江戸に拠点を置くと、川崎は江戸の暮らしを支える重要な役目を担いました。当時、塩は西日本から江戸に届

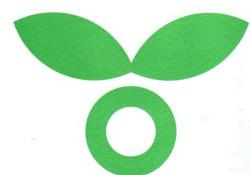
けられていましたが、この経路が分断されることを恐れて千葉市の行徳や川崎市の大師河原で塩作りが始まられました。そして、お米を初め農作物の江戸への安定供給に必要な農耕用水や飲料用水としての供給が必要になったのです。

閑話休題 国木田独歩（1871～1908年）をご存知でしょうか。著書「忘れえぬ人々」の冒頭に、こうあります。「多摩川の二子（ふたこ）の渡しをわたって少しばかり行くと溝口（みぞのくち）という宿場がある。その中ほどに亀屋という旅人宿（はたごや）がある。」

描かれているのは、現在の東京都世田谷区から多摩川を渡った神奈川県川崎市高津区溝口で、大山街道が通っています。独歩は渋谷に住み、近くに暮らす柳田国男（1875～1962年）から亀屋のことを聞いたようです。当時、溝口は風光明媚、独歩の目にも新鮮に映ったのでしょう。

人生を豊かに（雑学の進め）

- ① この辺りは梅の名所でもありました、JR 南武線の前身である南部鉄道に開通 5 か月後久地梅林駅が出来ました。場所はJR の久地駅との事です。
- ② ニヶ領用水を下流に進むと、川崎市市民ミュージアムとの間には春日神社と隣接して常楽寺（マンガ寺）（川崎市中原区宮内4丁目） 本堂の襖にマンガの絵が描かれたから）が見えます。
- ③ 本文で「命の水」と表現しましたが、晩年の横山大観の「命の水」はブランデーと玉露だったそうです。ブランデーと玉露を交互に飲んで、胃の中でブランデーを玉露割りにしていたらしい。自由な楽しみ方です。
- ④ 溝の口駅前広場の円筒形屋根は、久地円筒分水がモチーフです。駅前にはもう 2 カ所円筒分水が描かれています。探してみませんか。
- ⑤ 高津区のシンボルマークを右に示します。2枚の葉の下に描かれた口のような○印は円筒分水のモチーフだそうです。なお高津区の木は梅、花はすいせんなどです。ちなみに神奈川県の木はイチョウ、花はヤマユリ、鳥はかもめ。川崎市の木は椿、花はツツジで川崎駅地下街のアゼリアはツツジの英名です。
- ⑥ 溝口近くのニヶ領用水沿いはしばしばポケモンの出現箇所（？）となったらしく、スマホを見つめてたむろする若者の集団が見られました。



耳寄り情報

興味深い本を読みました。「漂流するトモダチ アメリカの被ばく裁判」（田井中雅人 エイミ・ツジモト 朝日新聞出版）です。

福島第一原発事故に際しトモダチ作戦に従事した空母レーガンの組員約5,000人は大量の放射線を浴びました。東日本大震災から7年が経ち兵士たちは、白血病等様々な病を発症しています。恐るべき被害の補償を求め、元兵士らの原告は400人以上に上ります。

アメリカの原告と東電が裁判で争う中、東電は日本での裁判を主張しましたが、2017年6月22日に連邦高裁は、アメリカの裁判所での審理を認めた連邦地裁命令を是認する決定を出しました。

一般の人が知らない事実が明らかにされています。詳細は本書でご確認ください。

第3.2節 ニヶ領用水のキーマン小泉次太夫

(2018年10月 第8号)

ニヶ領用水は関ヶ原の合戦の3年前に測量が始まり、14年の歳月をかけて完成したと話しました。ニヶ領用水建造を徳川家康に進言したのは、家臣小泉次太夫です。小泉次太夫の足跡は神奈川と東京にあります。川崎側には台和町の「台和橋」(川崎市多摩区生田2丁目19付近)際に、東京側には世田谷区立次太夫堀公園で、小田急線成城学園前駅から徒歩約15分です。(右写真は高津図書館前の「国木田独歩碑」)
今回はこの壮大な土木事業についての話です



多摩川の洪水で苦しむ川崎側と東京側の両地域の開削と新田開発を徳川家康に進言した小泉次太夫は「四ヶ領用水」開発の用水奉行に任命されました。「四ヶ領」とは川崎の二ヶ領と東京の二ヶ領を合わせた呼び名です。したがって彼の足跡も2カ所に存在することになりました。

川崎の二ヶ領とは川崎領(北東地域)と稻毛領(北西地域)で、東京側は世田谷領(北西地域)と六郷領(北東地域)です。400年前に世田谷や六郷の名称が有ったとは、驚きです。武蔵小杉の小杉陣屋町に、用水工事の為の陣屋を構えていました。

当時の多摩川からの取水口は「宿河原堰」のある所です。

閑話休題 1974年9月1日から3日にかけて台風16号のもたらした豪雨で、多摩川が増水し、狛江市では左岸の堤防が260メートルにわたって決壊しました。

宅地3000平方メートルが濁流にえぐり取られ、住宅など19戸が流出しました。防災組織は決壊するなら川崎側だろうと待機していましたが、取水堰の影響で東京側に被害が出る結果となりました。自衛隊による堰の爆破が間に合わなく被害が大きくなりました。

テレビで見た住宅が次々と流される光景は今更ながら水の力を想起させ、昔から暴れ川「多摩川」に翻弄された流域の人々の苦労を考えるきっかけとなりました

工事は農作業の合間に鍤(くわ)、鋤(すき)で土を掘り、モッコ(藁蓆(わらむしろ))等平面の四隅に吊り綱を2本付けた形状の運搬用具)で運びました。この工事を約14年間も続いた辛抱強さには驚きます。

東京側の工事と川崎側の工事は3ヶ月交代なので、測量時には大木や寺院・神社等の障害物で、迂回しながらの進行が目に浮かびます。真直ぐな用水路確保は難しかったでしょう。この東京側・川崎側が交代で掘削し、それぞれのニヶ領用水を合わせて「双子の用水」とも呼ばれていました。



宿河原取水口。宿河原堰

関ヶ原の戦い（1600年10月）があった3年前の1597年（慶長2年）、つまり今から421年前に測量が始まられ、その2年後には開削工事に取り掛かりました。完成は測量開始から14年後の1611年（慶長16年）です。

現在のJR南武線の沿線地域は農村地帯全域に水路が枝分かれするニヶ領用水の完成により、新田開発と相まって農業が大いに発展しました。幹線水路は全長約32Kmで当時の60ヶ村、約1876町歩（約1760ヘクタール）に潤いを与えていました。流域の水田に定期的に水が供給される様になると、稻毛・川崎領流域で栽培された「稻毛米」は徳川將軍家に献上されました。ニヶ領用水の完成は江戸住民の米、野菜、果物、塩等の安定供給に川崎は貢献したのです。

しかし新田開発面積が多くなると、取水口が宿河原堰一ヵ所では賄いきれなくなり、1690年（元禄3年）に上流の菅村の野戸呂島に第二の取水口を設けました。毎年の様に取水口を使用したので破損がひどくなり、東京の六郷用水（次太夫堀）の完成100年後には、田中休愚（きゅうぐ）が行った改修工事に合わせて、北多摩群布田小島の僻地から取水出来る様に改修したのが現在の「上河原堰」です。

徳川家康は、関ヶ原の戦いの3年前に家臣小泉次太夫の進言を受け入れ、工事着手を決断しました。このことで豊臣家臣まとめ役の石田三成や豊臣家恩顧の大名達に、天下取りの強い信念と自信を示したと言えます。

JR南武線中野島駅付近から第三京浜道路の多摩川大橋付近までの多摩川沿いに、途中名前を変えながらも「かわさき多摩川ふれあいロード」が有ります。ここではサイクリングや散歩を楽しむことが出来ます。多摩川を見渡して下さい。対岸は東京都市大学世田谷キャンパスが見えます。地名は世田谷区玉堤ですが、多摩川を上流に進むと等々力キャンパスのある世田谷区等々力となります。多摩川を挟んで川崎市側と東京側両方に「等々力」の地名が残っています。この多摩川は現在の第三京浜道路の辺りまでは、縄文時代前期（約6000年前）頃は海と思われ、多摩川が海に流れ込んだ所が現在の等々力付近でしょう。現在の地形を見ると、堆積土が膨らみ多摩川が中原区側に大きく入り込んでいたのでしょう。

第二の取水口の位置が諸説有りますが、現在の多摩川の「上河原堰」から、約1Km上流にある「菅野戸呂」の地名もあり、最初の堰が「野戸呂島」にあり、暴れ川の多摩川の流れで野戸呂島が消滅して、現在の「上河原堰」が出来たと考えられます。

耳寄り情報 善光寺の元住職が書いた「つもり違い12か条」。

子供の頃、50歳以上はおじいちゃんでした。でも、今は働き盛りですよね。

先日、おもしろいものを見つけました。善光寺の元住職が書いた「つもり違い12か条」です。思わずドキッとします。

「高いつもりで低いのが教養」

「低いつもりで高いのが気位」

「深いつもりで浅いのが知恵」

「浅いつもりで深いのが欲望」

「厚いつもりで薄いのが友情」

「薄いつもりで厚いのが面皮」

「強いつもりで弱いのが根性」

「弱いつもりで強いのが自我」

「多いつもりで少ないのが分別」

「少ないつもりで多いのが無駄」

「長いつもりで短いのが青春」

「短いつもりでないのが老後」

第3.3節 ニヶ領用水の位置と散策

(2018年11月 第9号)

川崎側のニヶ領用水はどこを流れているのでしょうか。その位置は当時とほとんど変わらないようです。今回は開発拠点とされる武蔵小杉とニヶ領用水の流れに沿っての散策ポイントを説明します

1. 小杉陣屋

二ヶ領用水が川崎市中原区に入ると、用水の近くには「小杉御殿町」、少し離れて多摩川に近く「小杉陣屋町」があります。ニヶ領用水工事の指揮監督をした徳川家康の家臣小泉次太夫が武蔵小杉に工事管理の拠点として陣屋を設けたことが「小杉陣屋」の始まりとなっています。一方駿府と江戸を往来する徳川家康の為に、二代將軍徳川秀忠が建造した仮御殿が「小杉御殿」の始まりとされています。将軍が「鷹狩り」(現在のスポーツに相当)を兼ねて民情視察時の休憩所としても使用されました。

閑話休題 東海道が整備されるにつれ、建物は品川の東海寺と上野の弘文院に移築されました。このことから、徳川家康や他の將軍は現在の中原街道を利用していたことが分かります。1590年の徳川家康の江戸城入りにも中原街道が使われていました。東海道の整備は1604年(今から414年前でニヶ領用水工事の測量開始7年後)から徳川幕府によって行われました。

2. 宿河原取水口から久地円筒分水まで

宿河原取水口への最寄り駅は小田急線・JR南武線「登戸」駅または、「宿河原」駅です。取水口から南下してJR南武線と交差する所は、腰をかがめなくては通れない程の高さですが、通行止めではなく立派な遊歩道が整備されています。この交差点からはほぼ南武線に沿って久地駅に達します。そこで新設した上河原取水堰からのニヶ領用水と合流します。

ここまで約2kmはよく整備された遊歩道と両岸に植えられた桜の名所になっています。南武線のガード下は第2章で写真を掲載しています。また中間点より久地駅寄りに八幡下垣樋口(いりひ)と川崎市の緑化センターがあります。緑化センターでは苗の販売や栽培展示もあり、公園のような場所もあります。

ここから府中街道に沿って東名高速道をくぐり、久地円筒分水まで流れますが、両岸はコンクリートで固められ、おそらく川底もコンクリートで固められた殺風景な用水となっています。特に見どころもありません。

3. 上河原取水堰から久地駅まで

上河原取水堰への最寄り駅はJR南武線「稻田堤駅」か「中野島」駅です。取水口から南下して中野島中学校当たりで旧三沢川と合流します。そこから小田急線「向ヶ丘遊園」駅に向かって山下川と合流しながら、ほぼ府中街道に沿うように進みます。

鶴川街道の多摩河原橋から布田の上河原堰堤迄の2kmの堤防は、「稻田堤の桜」が有名で、季節には約1,000本の桜が楽しめます。

閑話休題 作曲家古賀政男は母校明治大学のマンドリンクラブの後輩と稻田堤(川崎市多摩区)の花見で満開に咲き誇る桜を背に酒を酌み交わし、帰り道に学帽について一枚の桜の花びらに気がつき、昭和の名曲「丘を越えて」(歌は藤山一郎)を着想しました。聴いてみると、マンドリンによる前奏が長く、藤山一郎が歌っている時間が方が短いとう、少し不思議な歌ですね。稻田堤に行った際は、お菓子「丘を越えて」を賞味して下さい。

4. ニヶ領用水から平間の分水箇所（旧平間浄水場跡地付近）まで

円筒分水は川崎堀、久地堀、六ヶ村堀、根方十三ヶ村堀の4つの堀に分水したものです。久地堀は現在の平瀬川に沿ってほとんど直線的に多摩川へ流出していたと考えられ、多摩川に一番近い（北側を流れる）水路です。今は跡形もありません。その南側の水路が六ヶ村堀で、高津駅の南側を通り、高津区諏訪あたりで多摩川に流出していたと思われますが、ほとんど暗渠で面影もありません。根方十三ヶ村堀はJR南武線の南側を子母口の方に流れ、中原駅近くで江川に流れ込んでいますが、これもほとんどが暗渠です。一般にニヶ領用水というと神田堀のことで、ここ円筒分水からは再び両側に散策道を備えた水辺が蘇ります。厚木街道（国道246号線）をくぐり東急田園都市線と大井町線を越え、ほぼ府中街道に沿って流れています。第三京浜道を越えたあたりからはしばらく府中街道沿いを流れます。

等々力緑地の近くになると桜並木が中原区役所付近まで続きます。途中の中原街道を多摩川に向かって北に進むと小泉次大夫の陣屋があった小杉陣屋町になります。JR南武線を越えると渋川に分流します。東急東横線・目黒線を越えるとよく整備された桜並木が現れます。さらに進むとJR東海道線、JR横須賀線、JR南武線と立て続けて線路をくぐります。そして旧平間浄水場跡地付近にある平間の分水箇所でニヶ領用水（川崎堀）は大師堀と町田堀に分岐します。しかしこの二つの堀はほとんど埋め立てられてしまいました。

閑話休題 江戸時代の多摩川の代表的な漁は「鮎漁」で淡水魚なので生育に伴い住処を移動します。毎年9月から10月にかけて上河原堰の中野島付近から下流に向かい産卵します。卵は3週間程度で孵化し、流れに任せて海に出来ます。そこで水がぬるむ早春まで過ごし、3月末頃から多摩川を遡上し、6月から7月に掛けて上流の好適地に「縄張り」を作りながら、石についた苔類を食べて成長して住み着きます。産卵のため川を下る鮎を「落ち鮎」「子持ち鮎」と呼びます。多摩川の鮎は大変品質が高く、大消費地である江戸日本橋の魚問屋に流通し、江戸人の好評でした。

人生を豊かに（雑学の進め）

東海道新幹線は東京駅を出発し時速160km前後迄スピードを上げます。しかし、1分もしないうちに減速して多摩川を渡ると左に大きくカーブします。半径550mという非常に急なカーブで、ほぼ直角に進行方向を変えます。さらに横須賀線武蔵小杉駅の横を通過すると、右にカーブして、ようやく新横浜駅に向かいスピードを上げます。

新幹線は原則時速200kmの走行で、当初の計画ルートでは多摩川をかなり斜め横断していました。しかしこのルートの南武線向河原駅付近には日本電気玉川工場や住宅地が密集していたので、ルート変更を計画しましたが技術的に、またかなりの手間と費用がかかるため計画は頓挫しました。

この状況が変化したのは1960年（昭和35年）です。当時の国鉄がコスト削減と工期短縮で東京周辺の特例を拡大しました。この特例とは、東京駅から多摩川付近までは時速200kmが出せない区間も良しとするものです。つまり、東京オリンピックに間に合わせる為に、従来の東京都内限定の特例が「多摩川付近まで」と拡大されたのです。多摩川の前後では時速120kmまでの減速が必要ですが、所要時間の延長は1分間に見込まれ、全体には影響が無いと判断されたのです。不断の努力により、着工から5年3ヶ月の短期間で515.4kmの高速鉄道が完成しました。新幹線で武蔵小杉の大カーブを通過したら、思い出して下さい。

第3.4節 ニヶ領用水今昔と六郷用水

(2018年12月 第10号)

農業用水として開削されたニヶ領用水も徐々に荒廃し、100年後に大改修が行われました。また農地が広がることにより、工業用水をめぐって数多くの騒動が勃発しました。その最大の騒動発生地の今昔と、小泉次大夫が手掛けた東京側の用水に触れてニヶ領用水の最終回とします

3.4.1 ニヶ領用水今昔

1) 大改修

完成後100年経ち荒廃した用水を1725年（享保10年）に多摩川の治水工事と併せてニヶ領用水と六郷用水の大改修が行われました。江戸幕府第8代将軍・徳川吉宗の時代です。工事の指揮をとったのは、後に川崎領の代官となる田中丘隅（休愚）でした。

田中休愚は50歳を過ぎて勉学に励み、60歳でまとめた農政・民政に関する意見書が認められ、62歳で将軍に認められ、「川方御普請御用」に任命されます。その後68歳で亡くなるまでに荒川の水防工事、多摩川の治水、ニヶ領用水・大丸用水・六郷用水の改修工事、富士山の宝永大噴火の影響で洪水を引き起こしていた酒匂川の浚渫・補修などを行いました。すごい人が居たものです。

2) 溝ノ口水騒動

1821年（文政4年）は激しい干ばつに襲われました。溝口村と久地村の農民たちはニヶ領用水の分流桶を操作し、自らの田畠が潤う様に分流を調節していました。こうした事実を知った下流の19の村の農民たちが稻毛領溝口村の名主鈴木七右衛門宅（丸屋）を襲撃した事件です。7月5日川崎領の農民たちは八丁暇（はっちょうなわて）で話し合い丸屋鈴木家に対する打ち壊しなど具体策を決めたそうです。



1966年（昭和41年）当時

この事件現場はニヶ領用水が大山街道と交差する所に設けられた大石橋と、そこから少し北（多摩川より）にある大山街道ふるさと館の中間あたりです。

右の写真は1966年（昭和41年）当時大山街道を南に向けて（多摩川を背にして）撮影したものです。中央に大石橋があります。その手前の大きな看板のある店が丸屋支店で、その向かい側には丸屋本店がありました。写真是2018年10月22日にほぼ上の写真と同じ位置から撮影したものです。

大山街道ふるさと館は写真的手前右側にあります。



3.4.2 六郷用水（もう一つのニヶ領用水）

小泉次大夫が完成させ、田中休愚による大改修が行われた。東京側のニヶ領用水は現在どの様になっているのでしょうか。用水路の状況により3つの区間に大別されます。

1) 最上流部の次大夫堀跡（狛江の取水口～仙川水神橋）

狛江市元和泉の多摩川取水口から仙川水神橋に至る区間です。今ではすっかり埋め立てられて往時の姿を見ることは出来ませんが、流路の一部であった区間が、「滝下橋緑道」と「次大夫堀公園」に残されています。

2) 丸子川と名前を変えて流路をとどめている区間（仙川水神橋～亀甲山）

世田谷区岡本の仙川水神橋から、大田区田園調布の亀甲山までの区間です。この区間は現在の地図では「丸子川」と表示されていますが、今に残る次大夫堀の流路です。亀甲山のふもとに浅間神社があり、この付近の水門から多摩川に放流されています。東京都市大学世田谷キャンパスの北側を流れているのが丸子川です。第3.2節でも紹介しましたが、母校訪問の折は400年前の歴史に思いを馳せてください。

3) 大田区内の再現水路と六郷用水跡

大田区内では、中原街道から下流側に、東急多摩川線の多摩川駅～鶴の木駅付近にかけて湧水を利用した六郷用水の再現水路が作られています。また、これより下流の用水跡地にも、いたるところに案内板が建てられており、かつての六郷用水の面影が偲ばれます。

4) 他の河川との関係

- ① 野川：用水と合流・分流後二子玉川で多摩川に流出
- ② 仙川：用水と合流ご世田谷区砧で野川に合流
- ③ 吞川（のみがわ）：用水と道隆・分流後羽田空港近くで東京湾に流出

人生を豊かに（雑学の進め）

① さあ秋になりました。ちょっと空を見上げてみませんか。子供頃には星空が奇麗に見えましたが、今はなかなか見えません。でも、目を凝らすと見えます。西の空には「夏の大三角」がまだ見え、南西の低い空には火星（-2等級～0等級）が明るく目立っています。南の低い空には、秋の星座でただ一つの1等星ホーマルハウト（みなみのうお座）、天頂近くには「秋の四角」も見えます。さらに、北側には5つの星がWの形に並んだカシオペヤ座を使って北極星を見つけることが出来ます。東の空にはカペラ（ぎょしゃ座）やアルデバラン（おうし座）等、冬の1等星も見られるようになります。

秋の四角はカシオペヤ座の下で、うお座とペガスス座に挟まれています。2018年の天文現象は1/31と7/28は皆既月食 7/31は火星が大接近（2003年以来15年ぶり）、9/24は中秋の名月、12/14はふたご座流星群が極大（12/14夜から15朝にかけて絶好の観測機会）です。

② 映画監督の宮崎駿の作品では、例えば「風立ちぬ」の有名な話ですが、あの映画に登場する九六式戦闘機や零戦などのプロペラ音を始め、蒸気機関車の蒸気、車のエンジン音等の効果音は、すべて人間の声で作られています。この様な「機械を生命的に見る感覚」は「生の感情」（合理的なモノサシでは測ることの出来ない、生きることの実感）です。

ニヶ領用水と池田家についての追加記事を、第12章に収録しました。

第4.1節 武蔵野線

(2019年01月 第11号)

梶ヶ谷貨物ターミナル駅というと、何を思い浮かべるでしょうか。これから数回に分けてお伝えするのは、駅長の渡辺氏との聞き取り調査による実状です。第2章に掲載したJR南武線の南側に走る日本貨物鉄道(JR貨物)は、川崎市民の為に地味ながらも大きな活躍をしています。

4.1 武蔵野南線

梶ヶ谷貨物ターミナルは武蔵野線経路の一部です。武蔵野線という路線名を聞くと、ほとんどの人は府中本町駅～南船橋駅間を走る鉄道路線を思い浮かべるでしょうが、相当熱を入れている「鉄道マニア」や鉄道を本業としている方は「違う」と答えるでしょう。

武蔵野線を厳密に言うと、鶴見～梶ヶ谷貨物ターミナル～府中本町～南船橋を指しています。鶴見から新鶴見迄は東海道貨物線を構成している品鶴線と重複していますが、正式な起点は鶴見駅です。

新鶴見信号場から約1km 強東京方面へ行くと、地下に潜るトンネルが口を開いているこのトンネルこそが武蔵野線の「武蔵小杉トンネル」です。鶴見～府中本町間は旅客営業を行わずに、もっぱら貨物列車が運転されている区間なので、この線路の存在を知る人は少ないことと思います。

武蔵野線でこの旅客営業を行っていない区間がある理由は、武蔵野線の建設に至る経緯があります。鉄道貨物輸送が日本の物流の主役だった1927年(昭和2年)に、武蔵野線は旅客営業を行わない貨物専用鉄道で東京外環貨物線として計画されました。1945年太平洋戦争終結前の計画なので現在の武蔵野線そのものではありません。

当時の鉄道貨物輸送はヤード継走方式(貨物列車を操車場で組替えながら貨車を継送し、各取扱い駅で貨車を解結していく輸送方式)が主流で、多くの貨物列車が運転されました。

首都東京の貨物駅は西の玄関口として汐留駅、北の玄関口として隅田川駅が置かれていましたが、東海道方面と東北・常磐方面を結ぶ貨物列車は、山手貨物線と呼ばれる山手線に並行する形で走る貨物線を使用していました。

ところが、戦後首都圏の著しい人口増加とともに、山手線の旅客輸送量も増加したことで、旅客列車の運転本数も増加の一途を辿り、やがて高度経済成長期の頃になると各方面から流入する貨物列車も増加し、山手貨物線の輸送力も限界に近づいていたのです。そこで、山手貨物線のバイパス線として、1964年に鉄道建設公団の手によって武蔵野線の建設が始められたのです。

4.1 梶ヶ谷貨物ターミナル駅

4.1.1 駅の所在地

武蔵野線(武蔵野南線)「梶ヶ谷貨物ターミナル駅」は新鶴見信号場を起点に約9kmの川崎市宮前区にあります。駅に向かうには新二子橋を渡り国道246号線を厚木方面に進み、約4kmで尻手黒川道路との立体交差になります。駅は尻手黒川通沿いにあるのですが東京方面からの近道は、国道246号線で梶ヶ谷の交差点で左折し、川崎方面に約300mの交差点で右折すると梶ヶ谷貨物ターミナル駅の進入口が現れます。このスロープを登ると目的の駅です。尻手黒川道路を川崎方面からくると、DIYで有名な

ロイヤルホームセンター（7時から20時迄開店し、この駅の賃貸者です。）の入口からもアクセス出来ます。

4.1.2 梶ヶ谷貨物ターミナル駅

渡辺駅長が「川崎市民の為に、地味でありながらも大変活躍をしている。」と胸を張る駅は高台（多摩丘陵の一部）にあるので、道路からは見にくい位置です。このターミナル駅は東京ドーム3.5個分の面積（総面積約16.3万m²）で、1976年3月1日（昭和51年）に開業し、武蔵野南線開通と同時期です。

また日本貨物鉄道（JR）の発足は11年後の1987年4月1日（昭和61年）の国鉄分割民営化時です。

武蔵野線に沿った広い構内南端を武蔵野線の上下線が走り、その北側には10本の引込線路となります。さらにその北側の敷地にはコンテナホームと5本の引き込み線があります。

渡辺駅長の好意で、電気機関車でコンテナを積み込んだ貨車の出発線へと引き込む作業を見学させて頂いたところ、南側の敷地外は住宅地が接近していますが、たいへん静かに肃々作業が進みとても気持ちが良い雰囲気でした。

梶ヶ谷貨物ターミナル駅の管理棟屋上には開業当初からあるコンテナを模した看板があり、時代とともに黄緑6号色から青22号、そしてJRレッドへと変化しています。コンテナホームは1面2線の構造で、有効長はそれほど長くはなく、待機する貨車が停車され、私有コンテナの中でも珍しい地方自治体所有となる川崎市の生活廃棄物専用コンテナも見えます。



人生を豊かに（雑学のすすめ）

昨年は東京タワー（正式名称は日本電波塔）が完成して60年でした。工事期間は約1年半（延べでは543日）と異例のスピードでの工事でした。設計は塔博士と言われている有名な内藤田仲博士で、構造は手計算で行われました。高さ380mの予定でしたが、台風や地震等の影響を考慮して333mになりました（パリのエッフェル塔は312m（現在は324m））。最上部で風速90m、下部で風速60mと大地震時の水平震度は関東大震災時の2倍の設計にしたそうです。

敷地は正方形で最も建物を安定させる形で、4本の塔脚がこれ以上広がらない様に地中で5cmの鋼棒20本を対角線上に結束しています。地上部分には5階建てのフットタウンを設置して重し替わりにしています。1本の塔脚には8本杭（1脚で約4000tonの重量に耐える）が鉄塔の基礎地下9mにまで達し、タワーを支えています。

外観を美しく保つために、5年に1度のペースで塗装をし、施工期間は約10ヶ月。延べ約4500人の職人が約94,000m²の面積を34,000リットルの塗料を使用しています。現在の足場は電波障害を受けないFRP製パイプですが、2007年までは丸太が用いられていました。

第4.2節 川崎は環境先進都市

(2019年02月第12号)

4.2.1 梶ヶ谷貨物ターミナル駅の開設場所

何故梶ヶ谷貨物ターミナル駅がこの場所に出来たのでしょうか。

- ① 工業都市川崎の内陸部（南武線の沿線には多くの企業が集積）にある工場関係の貨物の出荷や到着の期待が出来ること。以前は南武線の大きな駅には○通マークの日本通運が有りました。
- ② 多摩田園都市・港北ニュータウン等、周辺地域の増加した人口で消費する物資の受け入れが期待出来ること。
- ③ JR 貨物はトンネル内走行が多く、小杉トンネルと生田トンネルに挟まれた地上区間なので、貨物の拠点駅に適すること。
- ④ 梶ヶ谷貨物ターミナル駅開業により、南武線稻城長沼駅や武藏溝ノ口駅の貨物取扱いが集約できること。
- ⑤ 尻手黒川道路を経由して、東名高速道路、第三京浜道路、国道246号線とも近く、これらの幹線道路によって東京南西部の駅を勢力内に出来ること等から、実際に山手線恵比寿駅や渋谷駅の貨物取扱いが梶ヶ谷貨物ターミナル駅に集約しました。
- ⑥ 川崎市民の廃棄物を専用列車に積んだ川崎市のコンテナを、多摩川の河口に一番近い埋め立て地である浮島の末広町迄輸送をしています。1995年（平成7年）から2013（平成25年）年迄の記録を見ると、1995年10月2日（平成7年）に川崎市廃棄物鉄道輸送開始（クリーンかわさき号-16両）、1999年4月1日（平成11年）川崎市資源物積替施設使用開始、2011年4月1日（平成23年）川崎市ミックスペーパー輸送開始、2013年9月2日（平成25年）川崎市廃プラスチック輸送開始となります。

4.2.1 川崎市の列車輸送に至る経緯

川崎市は南東の臨海部から北西の自然が色濃い内陸部迄の約30kmの細長い地形です。この川崎市が1990年（平成2年）に「ごみ非常事態宣言」を発した時の人口は約118万人でした。市の人口は1985年（昭和60年）から毎年約5%の増加をして、処理場候補地近くが住宅地として開発され、処理場の拡大は困難でした。更にプラスティック系のごみも急増し、高温処理が出来る処理場も少なかったのです。

一方、川崎市は1995年（平成7年）に1日に900トンの処理能力を持つ「浮島処理センター」を完成させ、北西部で発生した



クリーン川崎号

ごみを南東部で処理することを考えました。しかし、この縦貫する道路が少なく、大量のごみを積載したトラックでは排気ガスが大幅に増加します。交通渋滞も発生するでしょう。そこに鉄道によるごみ輸送が発案されたのです。そして梶ヶ谷貨物ターミナル駅の存在がヒントになり、梶ヶ谷貨物ターミナル駅にスポットライトが当てられたのではないかでしょうか。

近年は北海道の「タマネギ輸送列車」(黒柳徹子のタマネギ頭みたい?)が風物詩としてニュースになり、佐川急便と提携した「スーパーレールカーゴ」やトヨタ自動車の部品輸送列車等が知られています。

川崎市が日本貨物鉄道(株)の協力で、集荷したごみをコンテナの貨物列車で浮島処理施設へ運ぶ輸送専用コンテナ列車を「クリーンかわさき号」と名づけて、1995年10月2日(平成7年)から梶ヶ谷貨物ターミナル駅での輸送を開始し、2018年の10月で23年が経過しました。川崎市のように、鉄道による貨物輸送でごみ専用列車を運行しているのは、現在日本では「クリーンかわさき号」だけです。誇らしいです。さすが、川崎市は環境先進都市ですね。(ここはポイントです。)

更に、この「クリーン川崎号」は川崎市にとどまらず、他県に対しても大変貢献しています。次号をお楽しみにして下さい。



クリーン川崎号川崎市専用コンテナー連結作業

人生を豊かに（雑学のすすめ）

2008年(平成20年)に創設されたふるさと納税による市や区への影響は、過熱する返戻金競争等もあり、年々大きくなっています。ふるさと納税は、本人の故郷やお世話になった地域、地方自治体の取組みを応援することが目的です。これ以上の返礼品競争が大きくなると、市や区民税の減収で、行政サービスに影響を与えます。

例えば総務省のHPを見ると、去年2018年(平成30年度)の減収額の1位は横浜市で約104億円、2位は名古屋市で約61億円、3位は大阪市で約55億円、4位は川崎市で約42億円、5位は世田谷区で約41億円となります。

16.5億円があると園庭付き認可保育園が5園建てられ、31億円あれば学校が1校改築出来ます。お返し品に目を(心を)奪われないようにしたいものですね。

おことわり：この号掲載の「武蔵の国橋樹郡梶ヶ谷村」および「耳寄り情報（美輪明宏の故郷長崎時代のこころに刺さる思い出）」の記述は紙面の関係で第12章に掲載しました。

第4.3節 川崎市における家庭ゴミの処理

(2019年03月 第13号)

環境先進都市川崎市のごみ問題とJR東海が行うリニア新幹線工事への協力についての説明をもって、この章の終わりとします

4.3.1 家庭ごみの処理

1) 家庭からターミナルまで

川崎市北西部の家庭ごみは「パッカー車」と呼ばれる清掃事業用トラックで回収され、王禅寺処理センターや橋処理センター（現在休止中・再稼働は2022年（令和4年）か2023年（令和5年）の予定）に運ばれます。そこで処理しきれないごみは、ごみ専用の鉄道コンテナに積み替えられます。また北西部の処理場排出された焼却灰も川崎市専用のコンテナに詰められます。さらに粗大ごみは専用ごみコンテナに収納し、全てのコンテナは車で梶ヶ谷貨物ターミナル駅に搬入され、貨物列車「クリーンかわさき号」に積み込まれます。

ごみ輸送時の臭気や塵が漏れないはどうしてでしょうか。それは川崎市が臭気や塵が漏れないコンテナを開発したからです。一般ごみ用コンテナは20フィートサイズのUM13A型（全長約6m）、焼却灰用は20フィートサイズのUM11A型（全長約6m）、粗大ごみやプラスティックごみ用は12フィートサイズのUM8A型（全長約3.6m）と用途によって分けています。ごみ積載時はシリアルナンバー付の封印環で、厳重に管理されていますので、安心して下さい。



2) 「クリーンかわさき号」の搬送ルート

「クリーン川崎号」は次のように運行されています。

- ① 「梶ヶ谷貨物ターミナル駅」（始点）を17時52分に出発
- ② JR貨物武藏野線～南武線～新鶴見駅経由～東海道貨物線～川崎貨物駅で一時停車
ここで空き瓶・かん・ペットボトルを積んだコンテナ貨車を切り離し、
コンテナはトラックで南部リサイクルセンターに運び、再資源化します
- ③ 川崎貨物駅を出発～神奈川臨海鉄道浮島線～末広駅（終点）着19時18分

所要時間86分、走行距離29.7kmのルートで輸送されています。末広駅に着いたコンテナは、再びトラックで「浮島処理センター」に運ばれて処理されます。同様に、焼却された生活廃棄物の灰は、車輸送で「浮島埋め立て処分場」に埋められます。「クリーンかわさき号」は一日一往復の運行で、運休は毎日曜日と正月（元旦を含む三日間）のみです。素晴らしい働き者ですね。



3) 災害時の活躍

2007年（平成19年）に新潟中越沖地震時には、柏崎市の震災ごみが大量に発生しましたが、柏崎市の処理センターが被災したので、川崎市が一部の粗大ごみを鉄道貨物輸送で受け入れました。東日本大震災時のガレキ輸送も鉄道貨物で輸送しました。熊本地震のガレキの輸送時には、川崎市は震災用コンテ

ナを製造し、川崎のイメージキャラクター「キレイクン」「かわるん」が描かれたコンテナが大いに活躍をしました。川崎市は自ら交通渋滞、CO₂ 発生を低減する鉄道輸送を実行した先駆者ではないでしょうか。以前に紹介しました「川崎市は他県にも貢献している」とはこのことで、災害は困りますが、今後も川崎市は災害発生時に梶ヶ谷貨物ターミナル駅を拠点に、協力をしていくと思います。



4.3.2 駅北側の工事

現在、梶ヶ谷貨物ターミナル駅の北側で「ある工事」が進んでいます。渡辺駅長の説明ではJR東海のリニア中央新幹線計画による工事です。梶ヶ谷非常口（本設）と資材搬入及びシールドマシンの搬入口（工事中のみ使用）の新設工事で、工事中の発生土は専用コンテナで輸送されます。工事ヤードが武藏野線梶ヶ谷貨物ターミナル駅に隣接しているので、周辺地域の生活環境に配慮しています。

梶ヶ谷非常口の地下構造物は、直径約50m、深さ約80mで、完成後は本線トンネル掘削用シールドマシンの発進地として使用し、新幹線営業後はトンネル内の換気や異常時の対応等に使用されます。資材搬入口は直径約30m、深さ約80mで、直下は本線の保守用車停車施設の予定です。将来は本線の保守用資機材の搬出入に使用する予定です。JR東海が進めているリニア中央新幹線計画工事での発生土の搬送を専用コンテナ列車で輸送し始めています。当工事は「梶ヶ谷貨物ターミナル駅」発で、武藏野南線～尻手短絡線～南武線経由で鶴見線扇町駅に近い三井埠頭に運び、船舶輸送で千葉県内部の民間採石場跡地の埋立てに活用するそうです。

なお神奈川県内のリニア新幹線延長距離は39.4kmで、5か所の非常口を設置し、梶ヶ谷貨物ターミナル駅隣接の非常口はその一つです。市民の目に触れにくい場所である梶ヶ谷貨物ターミナル駅と武藏野線が、市民の為にも大活躍をしていることをご理解願います。

（註：今回の川崎便り作成に当たり、梶ヶ谷貨物ターミナル駅渡辺駅長からの取材に際し、資料提供も合わせて多くのご協力を頂きました。改めてお礼申し上げます。誠実で責任感の強い駅長です。）

閑話休題 30年程前に隅田川に架かる永代橋のたもとで、超高層ビル（高さ約100mで敷地内に2棟同時の建設工事で、搬出土量約17.9万m³（立方メートル）の建設工事を施工した時に、工程計画から搬出掘削土を運搬するダンプカーが延べ120台/日必要でした。計画地には某大手倉庫業の敷地開発工事にともない、運搬船が係留できる杭が残っていました。それを利用すると隅田川に船（だるま船）を横付することが出来、ベルトコンベアで船に直接積み込み、横浜方面の埋立地に搬送を考えました。ベルトコンベア迄の現場内小運搬は数台のダンプカーで済み、船の手配や河川管理事務所の対応等は土木部門の協力を得ました。これにより、交通渋滞も起こさず、環境汚染も少なく、工事が無事に完成で来たことを思い出しました。

おことわり：本号掲載の「武藏小杉（プラタモリ）」と「皇居宮殿造営」は第12章に収録しました。

第5.1節 八景いろいろ

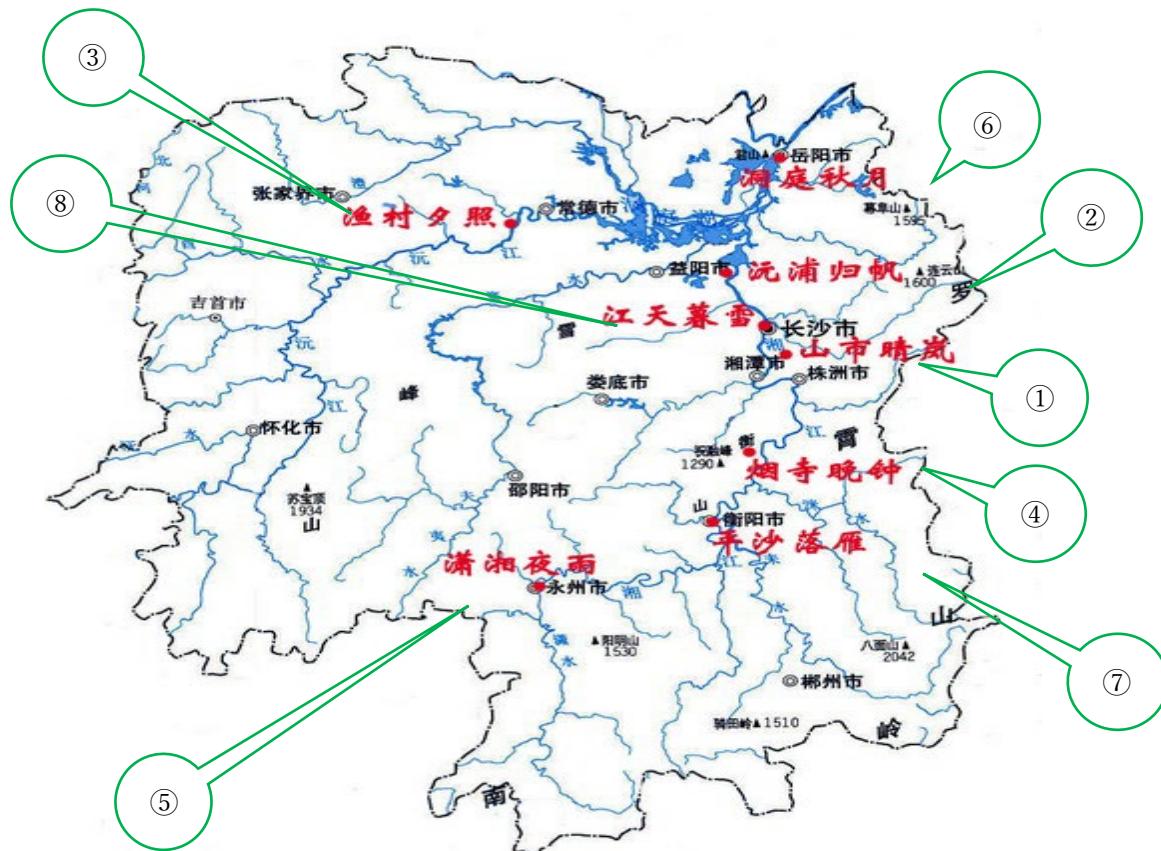
2019年06月 第16号

八景（景色の美しい所）を数回にわたり紹介します。その地域ごとに風光・明媚（めいび 観めが清らかで優れて美しいこと）な個所をまず目で見て、更に山水画や文人達の詩と共に体全体で鑑賞し、その結果が縁起の良い末広がりの「八」（八景）につながるのでしょう。中国にも末広がりの「八」は日本と同様に縁起の良いラッキーナンバーです。

5.1.1 八景の由来

「八景」の意味と歴史をおさらいしましょう。八景の表現は、中国の「瀟湘八景」（しょうしょうはっけい）が始まりとされ、中国の山水画の伝統的な画題であった八つの名所（風景の良さ、史跡、特有の風物、季節の花、特産品等で有名な場所を示す言葉等）と言われています。

瀟湘とは中国の湖南省（こなんしょう）を流れる2つの川の名前（瀟水（しょうすい）と湘水（しょうすい））に基づく地名で、これらが合流して洞庭湖（どうていこ）という大きな湖にそぐ地域をこう呼んでいます。中国有数の景勝地として名高いこの瀟湘の地は古くからさまざまな神話や伝説に育まれ、数多くの詩人や画家たちが訪れました。美しい場所を一目見たいという欲望は、いつの世も変わるものではありません。北宋時代（11世紀）に活躍した画家・宋廸（そうてき）もそんな一人だったのですが、彼はそこで八通りの景観を選び絵画化しました。これが瀟湘八景のはじまりです。



宋廸（そうてき）（11世紀後半頃－没年不詳）は北宋（ほくそう）時代の高級官僚で、瀟湘への赴任時にこの景色を山水画として描いたようです。蘇軾（そしょく（1037年－1101年））らと交友を深め、

画に巧みで平遠山水（平遠は近くの山より遠い山を望む構図）を得意とした画家でもある宋廸は、日頃からこの地への赴任を強く希望していたのではないかと思えます。後に、日本の近江八景や金沢八景は、この瀟湘八景をなぞらえて生まれたものです。

宋廸（そうてき）が選んだ八景を見てみましょう（場所は前ページの図参照）。

- ① 山市晴嵐（さんしせいらん）山里が山霞に煙って見える景色。
- ② 遠浦帰帆（えんぽきはん）帆掛け舟が夕暮れ時に、遠方から戻ってくる風景。
- ③ 漁村夕照（ぎょそんせきしょう）夕焼けに染まるうら寂しい漁村の風景。
- ④ 煙寺晚鐘（えんじばんしょう）夕霧に煙る遠くの寺から届く鐘の音を聞きながら迎える夜。
- ⑤ 瀟湘夜雨（しょうしょうやう）瀟湘の上に、もの寂しく降る夜の雨の風景。
- ⑥ 洞庭秋月（どうていしゅうげつ）洞庭湖の湖上に浮かぶ秋の月。
- ⑦ 平沙落雁（へいさらくがん）秋の雁が鍵状になって干潟に舞い降りてくる風景。
- ⑧ 江天暮雪（こうてんぼせつ）日暮れの河の上に舞い降りる雪の風景。

いずれも心に染み込む独特の情景で、この地域に限定される風景ではなく、味わい（風情）のあるものばかりです。八景の選び方がどの景観も四季や晴雨などの気象や夜などの自国の違いを強く意識して選んでいるところが宋廸の特徴だそうです。彼の意図は瀟湘地方の豊かな自然を表すことにあったようです。そして中国有数の名所への憧れが、日本でも瀟湘八景図が好まれた大きな要因だったと思われます。残念ながら、宋廸が描いた瀟湘八景図は残っていない様です。でも、中国の有名な桃源郷の伝説も、この一帯から生まれたのも、うなずけますね。

（2015年3月17日～2015年4月12日まで、京都国立博物館の名品ギャラリーで展示されていました。）



重文 瀟湘八景図 相阿弥筆 大仙院

5.1.2 近隣諸国の八景

中国は八景発祥の「瀟湘八景」（湖南省長沙市）、「吉林八景」（吉林省吉林市）、「金州古八景」（遼寧省大連市金州区）、「旅大八景」（遼寧省大連市・旅順南路）、「黃山八勝」、「燕京八景」、「西湖八景」、「上海八景」、「新上海八景」、「香港八景」等があります。

台湾は、「台湾八景」（時代によっては含まれる名勝・景勝地が異なる）、「新高八景」、「新竹八景」、「諸羅八景」等があります。

朝鮮半島は、韓国と北朝鮮に分かれているので、両国に分散しています。「朝鮮八景」（朝鮮半島の8か所の景勝地。朝鮮民主主義人民共和国内の白頭山（ペクとさん）と天地・鴨緑江（あむのくがん）・金剛山（くむがんさん）・赴戰高原（ブジョ）・牡丹峰（モランボン）（金委員長好みのモランボン楽団です。）と大韓民国内の智異山・慶州・漢城山の8か所）、「平壤八景」（ヘイジョウ）（李氏朝鮮時代から伝わる平壤（ピョンヤン）の8か所の美しい景色）、「関東八景」（朝鮮の昔の関東地方の景勝地からの八景）、「朝鮮関西八景」（かんせい）朝鮮の昔の関西地方の景勝地の八景）、「丹陽八景」（たんにゃん）（韓国忠清北道北東部の丹陽郡の8つの景勝地）、「丹陽第二八景」です。

5.1.3 日本への伝来と全国の八景

1) 伝来時期

日本へ伝わった時代はいつ頃でしょうか。大阪大学の武氏の論文では、平安時代（794年～1185年）に記録されている「漁父詞屏風」「坤元錄屏風」「和漢抄屏風」等の資料から、瀟湘地域は平安時代にはすでに中国の名所として伝わっていたらうと述べています。理由は屏風絵に描かれていた可能性が高いことが示していると言われています。その後、14世紀初頭の鎌倉時代末に、水墨画家としても名高い中国僧（生没年不明）牧谿（もっけい）（僧名は法常）が描いた瀟湘八景図が日本に伝わり、日本の水墨画や絵画に大きな影響を及ぼしたそうです。牧谿（もっけい）の影響を大きく受けた狩野派等によって、瀟湘八景図が好んで描かれ、日本国内の風景に関心が高まり、江戸時代後半には近江八景や金沢八景等を、葛飾北斎（1760年～1849年）、歌川広重（1797年～1858年）らの人気浮世絵師によって描かれました。これにより、日本各地の八景の誕生に大きく寄与しました。

2) 各地の八景

日本全国の「八景」と称する名勝の箇所は約400か所もあると言われています。例えば、

琉球八景（沖縄県）、平戸八景（長崎県）、別府八景（大分県）、
博多八景（福岡県）、枚方八景（大阪府）、寝屋川八景・新寝屋川八景（大阪府）、
南都八景（奈良県）、甲斐八景（山梨県）、遠海（とうみ）八景（静岡県）、
福原八景（新潟県）、赤湯八景（山形県）、旭川八景・室蘭八景（北海道）、
江戸近郊八景（東京都）、調布八景（調布市）、千波湖八景（水戸市）
近江八景・彦根八景・琵琶湖八景（滋賀県）、
相模川八景・金沢八景・武陽玉川八景（神奈川県）、
玉川八景または行善寺八景（世田谷区）、
水戸八景・新水戸八景（茨城県）、

等です。現実には埋立てや開発で、当時の風景が変化している所もある様です。変わり種は、東京の調布八景です。今から34年前の1985年（昭和60年）に調布市が市制施行30周年の記念に、公募でまとめた八景です。

皆さん今のお住いの地域や地方出身の方々にはその近くにも身近な八景が有るかもしれません。あなたの身近を見渡して、「あなたの八景」を見つけてみませんか。

3) 近江八景 (1)

「近江八景」は、江戸後期の歌人である伴資芳（近江八幡出身の京都の商家）は慶長期（1596年～1615年）の関白近衛信尹（のぶただ）自筆の近江八景和歌巻子を知人のもとで観覧し、その奥書に現行の近江八景と同様の名称と情景の取り合わせに至る八景成立の経緯が紹介され、現在はこの記事について、現行の近江八景の成立は近衛信尹によるものとの見方が有力です。一説には、室町時代後期に近江国に滞在した関白の近衛政家が、当地で和歌八首を詠んだとの説もあります。しかし、現在では、近江八景の絵画の登場が17世紀（1601年～1700年）後期以降であることを考えると、先行すべき和



歌の成立が、17世紀初期なのは自然との説が有力です。

近江八景の絵画を見ましょう。



耳寄り情報

- ・真珠湾やマレー沖海戦で、航空戦略が重要であることが判ります。どの様な巨大戦艦でも、束になった爆撃機には勝てないことが明らかになりました。しかし、当時の日本には、空軍が有りませんでした。海軍と陸軍は「海軍航空隊」と「陸軍航空隊」という形で、それぞれ別個に航空隊を持っていたのですが、両者はまったく別の兵器体系だったので、ネジの大きさもエンジンの規格も違っていました。そうなると、陸軍は陸軍の、海軍は海軍の飛行機の部品しか互換性が有りません。
- ・それに対して、米軍の兵器の規格はみな共通していました。だから戦場で、壊れた機種が何種類かあっても、それらを合わせて一つの航空機を作ることが可能だったのです。これでは、ただでさえ生産力の低い日本が、アメリカと互角に戦えるはずが有りません。しかも、海軍は戦争末期まで資源等の分配を巡って、陸軍と争い続けていました。これは陸海軍共に、セクショナリズム（縄張り意識）が骨の髄まで染みわたっていたからです。
- ・こうしたロジスティックス（兵站）軽視とセクショナルズムが端的に表れたのが、1942年（昭和17年）以降、陸軍が一生懸命に航空母艦を建造したことです。ミッドウェー海戦のあと、海軍が輸送船の護衛をしてくれないからと、陸軍は「あきつ丸」をはじめとする四隻の揚陸艦を航空母艦に改造しました。さらに陸軍は、艦載機まで自力で開発しています。世界の陸軍で空母を造ったのは、おそらく日本だけではないでしょうか。
- ・その時、海軍は何をしていたか。回状を回して「陸軍の作った船であって敵艦ではないので、沈めない様に」と知らせただけです。実際に調べてみると海軍は、陸軍船を敵と勘違いして、何度も攻撃しています。まさに絵に描いたような、自滅する縦割り組織の典型だったのです。（以上 佐藤優著書より）

第5.2節 近江八景と琉球八景

2019年08月 第18号

前号に続けて近江八景の読み方と広重による絵画を紹介し、薩摩藩に組み込まれていた琉球の八景を紹介します

5.2.1 近江八景（2）

まず近江八景の読み方と中国の瀟湘八景とを対比させて示します。

近江八景

- ① 粟津晴嵐（あわつせいらん）（あわつはら 大津市）
- ② 矢橋帰帆（やばせのきはん）（矢橋 草津市）
- ③ 勢多（瀬田）夕照（せたのせきしょう）（瀬田の唐橋 大津市）
- ④ 三井晚鐘（みいのばんしょう）（三井寺・園城寺 大津市）
- ⑤ 唐崎夜雨（からさきのやう）（唐崎神社 大津市）
- ⑥ 石山秋月（いしやまのしゅうげつ）（石山寺 大津市）
- ⑦ 堅田落雁（かたたのらくがん）（浮御堂 大津市）
- ⑧ 比良暮雪（ひらのぼせつ）（比良山系）

中国の瀟湘八景

- 山市晴嵐
遠浦帰帆
漁村夕照
煙寺晚鐘
瀟湘夜雨
洞庭秋月
平沙落雁
江天暮雪

描く情景は全く同じですね。次は広重による八景図です。



石山秋月



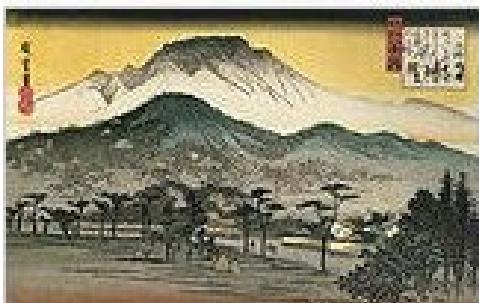
勢多夕照



粟津晴嵐



矢橋帰帆



三井晩鐘



唐崎夜雨



堅田落雁



比良暮雪(下絵)

歌川広重・近江八景図（江戸後期の代表作）

(前号の図を拡大再度掲載しています)

5.2.2 琉球八景

15世紀初めに誕生した琉球王国は、中国との冊封(さくほう)関係の中で独自の文化を育んできたが、1609年(慶長14年)にあった薩摩藩の琉球侵攻により幕藩体制に組み込まれることとなり、徳川将軍や琉球国王の代替わりのたびに、琉球の使者が薩摩藩に伴われて江戸へ挨拶に行く「江戸上り」が義務づけられました。その回数は1634年から1850年迄に18回を数えました。江戸上りの際には、約1,000人の教養人で構成された琉球使節団が、1,000人を超える薩摩藩の役人や護衛に伴われ、瀬戸内海、美濃路、東海道を行き、江戸城へ向かいました。(一説によると、琉球使節団80人～200人、薩摩藩役人800人～950人の資料が有り、合計1,000人以上で、江戸に向かった様です。)

中国風の衣装を身にまとい、路次樂を演奏しながら進むその異国情緒あふれる行列は、大変な評判となり、ひと目見ようとする人々で大騒ぎになり、特に、きらびやかな衣装を身に着けた「樂童子」は注目の的だったそうです。

江戸上りのたびにガイドブックの様な冊子が出版され、行列の様子を描いた図や浮世絵も制作される等、江戸城下は異国趣味の「琉球ブーム」で盛り上りました。そのブームの中で制作されたのが、葛飾北斎(宝暦10年9月23日〈1760年10月31日〉?-嘉永2年4月18日〈1849年5月10日〉)の『琉球八景』で、制作されたのは天保3年・1832年頃(天保3年は、今から187年前)の16回目の江戸上がりにあわせて制作された思われます。

「琉球八景」は琉球の景勝地を描いた錦絵（多色摺りの木版画）全8枚で構成されており、1823年の江戸上りにあわせて制作されたと思われます。ただ、北斎は異国である琉球を訪れてはいないので、1756年に来琉した冊封使・周煌が書いた琉球の見聞録『琉球国志略』に収録された絵図（「中山八景」）を元に描き、想像で着色したものとされています。そのため、描かれているのは実在した場所ですが、幻想的な雰囲気の作品になっています。北斎の想像力で元絵にはない舟や人物も描き加えられ、中には琉球には無い雪や富士山が描かれたものまであります。尚、北斎は琉球を舞台にした滝沢馬琴の伝記物語『椿説弓張月』の挿絵も描いています。

「琉球八景」は次の通りです。

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| ① 泉崎夜月（いずみざきやげつ）、 | ② 臨海湖声（りんかいこせい）、 |
| ③ 杓村竹籬（くめむらちくり）（ちくりとは垣根のこと）、 | ④ 龍洞松濤（りゅうどうしょうとう）、 |
| ⑤ 筏崖夕照（じゅんがいせきしょう）、 | ⑥ 長虹秋霧（ちょうこうしゅううせい）、 |
| ⑦ 城嶽靈泉（じょうがくれいせん）、 | ⑧ 中島蕉園（なかしましょうえん） |

閑話休題 冊封：冊封の原義は「冊（文書）を授けて封建する」という意味であり、封建とほぼ同義である。冊封を受けた国の君主は、王や侯といった中国の爵号（爵の称号）を授かり、中国皇帝と君臣関係を結ぶ。この冊封によって中国皇帝の（形式的ではあるが）臣下となった君主の国のことと冊封国という。このようにして成立した冊封関係では、一般に冊封国の君主号は一定の土地あるいは民族概念と結びついた「地域名（あるいは民族名）+爵号」という形式をとっており、このことは冊封が封建概念に基づいていることを示しているとともに、これらの君主は冊封された領域内で基本的に自治あるいは自立を認められていたことを示している。したがって、冊封関係を結んだからといって、それがそのまま中国の領土となったという意味ではない。



臨海湖声



泉崎夜月



杓村竹籬



龍洞松濤



中島蕉園



長虹秋霧



城嶽靈泉



筍崖夕照

ここまで3種類の八景を見てきましたが、「月（夕暮）」、「海（入江や池）」、「松（竹などの樹木）」、「秋（季節）」など共通していることが分かります。憧れとか懼れや郷愁が美に結び付いている様ですね。昔ロシアの戦争に傷ついた兵士達を描いた絵を見て驚いたことがありました。悲惨なしかも汚い光景を描く絵画を美術といえるのかどうか・・・有名なピカソのゲルニカを写真で見ました。戦争の絵でもあそこまで抽象化比喩化してあるのは「うならされます」。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

A. 「入舞」（いりまい）という美しい言葉

阿弥（1363年？～1443年）が62歳の時に著した「華鏡（かきょう）」に出てきます。舞楽などで舞い手が一旦退場した後もう一度舞台に戻って、名残りを惜しむかのように一舞い舞って舞い取ることを言うのだそうです。

世阿弥のいう「入舞」は、さらに進んで老境に入った能の名手が、もう人生の最後というところ、壮年の役者には及びもつかない芸境の能を演じて観衆を感動させるようなこと指しています。

世阿弥は「花鏡」の「劫之入用心之事（こうのいるようじんのこと）」の章で、「劫（こう一年功のこと）」が大切だが、「劫」に安住して、老後の発展が停滞しないように戒めています。「住劫（じゅうこう）」という過去の栄光にしがみついて何の発見がなければ進歩もないことを嫌っています。どうすれば「住劫」を避けられるでしょうか。「花鏡」の最後の章「奥段（おくのだん）」で優れたアドバイスをしています。有名な「初心忘するべからず」の項です。三つの初心、「是非の初心」「時々の初心」そして「老後の初心」について説いています。「老いの入舞」を可能にする「老後の初心」とは一体何でしょうか。

寿命には限りがあるが芸能には果てが有りません。もう体もきかず、やらない方がましということもあります。しかし、そうなってからこそできる重大なこともあります。それを発見することです。現在や将来の問題を見据えて、理解を深めていくことによって、この時期でなくては出来ない発見に参加することが可能になるかどうかです。600年以上前の気迫ある言葉を耳元でささやいています。

B. 「成田国際空港開港40年（2018年）」

・1962年（昭和37年）から新たな東京国際空港の候補地の調査が開始されました。1965年（昭和40年）6月1日に成立した「新東京国際空港公団法」の検討に着手し、千葉県浦安市沖の埋立地、千葉県富里市・八街市、茨城県浦安沖、神奈川県金沢八景沖の埋立地等が候補地でした。

結果は当時の佐藤栄作内閣が1966年7月4日（昭和41年）に閣議決定をしました。その理由は、国有地（宮内庁の御料牧場や県有林）と、周辺は戦後開拓農民の所有地で、用地買収が容易と考えたそうです。しかし事前説明がないままに買収に伴う移転や騒音問題から地元農民の一部が大反対。「三里塚芝山連合空港反対同盟」に日本の新左翼が支援をし、ゲリラ闘争（三里塚闘争）が行われ、機動隊の投入となりました。犠牲者の発生や列車の放火等が重なり、開港にこぎつけた4日前の1978年3月26日（昭和53年）に管制塔にゲリラが乱入し、開港は約2月延長の5月20日になりました。

・2018年の航空機発着回数は、国際線を中心に年間を通じて新規就航、増便が相次いだことから、前年比1%増の255,003回と、7年連続で開港以来の最高値を更新しました。

・国際線発着回数においては、ノックスクートやマンダリン航空、フィジー・エアウェイズ等の新規乗り入れに加え、アジア線を中心に増便が相次いだことから、前年比3%増の202,953回と、4年連続で開港以来の最高値を更新すると共に、初めて20万回を突破しました。

・国際線外国人旅客数が好調により、前年比5%増の42,601,130人と、5年連続で開港以来の最高値を更新しました。

・国際線の好調さは持続されていますが、国内線の利用者数は前年比4%減、発着回数も前年比4%減となっており、主に第3ターミナルを主体とするLCCが新路線を開設する一方、伸び悩んでいる様子が垣間見えます。

第5.3節 水戸光圀と武陽玉川八景

2019年10月 第20号

17世紀に来日し金沢八景の生みの親ともいえる明國の僧話、更に江戸の庶民活動から武陽玉川八景の誕生に至る経緯を紹介します

5.3.1 東臯心越禪師と水戸光圀

明國の東臯心越禪師（とうこう・しんえつぜんじ）（1639～1695）の来日は1677年（延宝5年）でした。禪師が現在の横浜市金沢の山の上の能楽堂から見た景色を故郷の瀟湘八景になぞらえて漢詩を詠んだのが「武州能見堂八景詩」で、これが金沢八景になりました。1694年（元禄7年）の心越禪師が56歳で亡くなる約1年前となります。

金沢の地に瀟湘八景を擬す試みのあった事が、慶長19年（1614年）三浦淨心（後北条氏の遺臣、三浦五郎左衛門茂正）の隨筆集慶長見聞集でも記されています、ところがこの書には寛永期（1624～44）の内容も含むので、後人の仮託（理由付け）ともされています。中国浙江省金華府浦江县には中国最大の西湖があり風光明媚な場所として有名で西湖十景があります。

東臯心越禪師は中国浙江省金華府浦江县の生まれ、32歳のとき杭州西湖の永福寺に入山しました。17世紀半ばの中国は、明朝が滅び清朝に替わる際の混乱期で、それを逃れるため長崎興福寺の澄一（ちんい）の招きにより日本に渡来しました。いわば、戦争難民のような形での渡来だったのです。

禪師は全国行脚による温泉湯治を行うことが好きだったようです。それが災いし、行脚中に明のスパイと勘違いされ投獄されてしまいました（1683年・天和3年）。その際、禪師の身元引受人となったのが光圀であり、光圀と禪師の親交はそこから始まったといわれています。

浮世絵師として有名な歌川広重も、天保七年（1836）ごろに金沢八景の風景を一枚づつ描いています。金沢八景の浮世絵の中でも金龍院版が最も代表的な作品です。文化人のあいだでは、見る者の視覚に直接訴える作品で、好評であったようです。

陰影を尊重する暗香疎影瀟湘八景は、北宋11世紀末に成立した瀟湘八景に端を発します。この八景型の陰影礼賛は、12世紀には中国から日本に八景の題、また風景の見方として移入されました。



中国・浦江にある心越禪師像

5.3.2 平安な江戸庶民の楽しみ：旅行

江戸時代は安定していたので、旅が盛んになりました。例えば、「お伊勢参り」（三重県伊勢市・伊勢神宮）、関東の「富士信仰」です。「富士信仰」は平安時代以来、山岳修驗道が民間に広まり、江戸時代の富士講の組織後に關東地方で多くの信者が参加しました。一種の信仰ブームです。

更に武陽玉川八景図につながる、「大山参り」は奈良時代（755年）に開山した神奈川県の大山の山頂に祀られた石尊大権現と、中腹の大山寺を中心とした真言密教の修驗道場の発展形です。大山参りは、日本橋～赤坂～三軒茶屋～二子の渡し～二子宿・溝口宿を経由して、大山に向かいました。校友会川崎支部の拠点である溝口は、大山街道（国道246号線）の宿場町でした。当時は大山詣（雨乞い信仰）と

江ノ島詣と一緒に組み合わさっていた様です。

伊勢神宮参り、富士山参り、大山参りは、長期間・中期間の信仰の団体旅行の様なものです。「金沢八景」、「武陽玉川八景」「玉川八景（行善寺）」や川崎大師参りは、日帰り、1泊2日、2泊3日等のプチ旅行ですね。

江戸時代の瓦版（かわらばん）は、世相の時事性や速報性の高いニュースを扱い、街頭で内容を読み上げながら売り歩いたので、新聞報道とラジオ報道を兼ね備えていました。「奥の細道」（松尾芭蕉）、「東海道中膝栗毛」（十返舎一九の滑稽本）（川崎支部便り 2018年9月号川崎万年屋を参照）、「好色一代男」、「曾根崎心中」、「風神雷神図」、「見返り美人」等明治時代、大正時代の生活感に影響を与えたよう思います。

5.3.3 武陽玉川八景

武陽玉川八景之図（川崎市立中原図書館所蔵）

「武陽玉川八景」は多摩川の二子橋（大正時代の末に、現在の二子橋が架かる迄は二子の渡しで多摩川を渡りました）から、多摩川の上流の現在の登戸間を、川崎側からの情景を詠んだ詩と、観光案内図の様な「武陽玉川八景之図」が発刊されました。この聞きなれない「武陽」とは、「江戸表」（えどおもて）の意味で、多摩川は江戸南側



の大事な防衛線でした。その後の最初の二子橋は、1925年7月（大正14年）に架かりました。

1791年(寛政3年)に青陵岩精が作成した「武陽玉川八景之図」は、江戸馬喰町の森屋治兵衛が版元となり、江戸時代に溝口村の名主の丸屋七衛門が、当時盛況だった大山詣の人々に大山街道(国道246号線)往来の人々に販売しました。今日の観光案内パンフレットでしょうね。

この絵図が火種となり、現在の二子玉川の川崎側の「武陽玉川八景」、東京側の「玉川八景（行善寺八景）」が江戸市民のお手軽旅行（日帰りや1~2泊旅行）になりました。また、二子玉川と二子新地の両岸では舟遊びや、將軍家献上の鮎で有名な川魚料亭が並び、きれいどころを揃えた粋な店が増え、江戸近郊の游興行楽地になりました。タイムマシンで体験してみたいですね。

溝口の丸屋が販売した武揚玉川八景之図に添えた佐野渡（さのわたり）の和歌八首を見ましょう。

佐野渡の和歌八首はつぎのとおり

[都筑ヶ丘夜雨] 大松に近き都筑の夏木立 嵐も時に夜の雨かな

〔喜多見ノ晴嵐〕 実を結ぶ梅の雨とて南寄り 喜多見に晴るゝ朝嵐かな

- 〔登戸ノ夕照〕 登戸の口もまっかに夕たりの うつりすぎてや色のさゝ色
- 〔向ヶ丘ノ秋月〕 綱下げる秋の月見を夏の日や あつき利生に祈誓かけたり
- 〔溝ノロノ暮雪〕 六月の雪を沢山なり桶に つゝみ余りたる溝口のくれ
- 〔瀬田ノ落雁〕 近江路をかたゞ（堅田）をせた（瀬田）にうつしけり かりの名つげて人にしらさん
- 〔二子ノ帰帆〕 夕風を孕んで帰るむしろ帆に 月の生まるゝ二子すずしき
- 〔宿河原ノ晩鐘〕 入相のかねには花の江戸っ子も みなちりかゝる宿河原道

「武陽八景之図」の中央やや下に見える「分量樋」は「稻毛川崎ニケ領用水」の久地分量樋（昭和16年に、やや下流側に現在の「円筒分水」として造り替えられている）のこと、大小4本の堀に分かれている様子が良く分かります。

人生を豊かに（雑学の進め）

今回は「とか言葉」（意味不明）と「察し」が主体です。デパートに行くと、「保健所の指示によりペット類の持ち込みはご遠慮下さい」と食品売り場に掲示が出ています。ある大学の教授が「ペット類とありますが、犬猫等のペット以外に何か考えているのですか」とマネージャーに質問したところ、「さあ、別に……」と睨みつけられたそうです。これは「とか言葉」と同じです。

好き嫌いを比較的はっきり言う若い人達も、そういう点になると、昔ながらの日本の思考を持ち続けているのでしょう。バレンタインのチョコレートを本命とアッシー君、ミツグ君、或いは義理チョコと、使い分けるのにくよくよと考えあぐむところは、イエスとノーがはっきり言えない日本人根性丸出しだす。

あるアメリカ人が、日本語の「結構です」という表現が、どうとっていいか難解と言っていましたが、なるほど「それでオーケーです」というのか「ノーサンキュー」と断っているのか、言われた方は迷うでしょう。しかし、日本人はあまり困りません。相手の意思を推測する「察し」の能力を備えているからです。

買い物で、「今、切らしているんですけど」と言われると、アメリカ人は「けどなんだというのだ」「けども何かしましようかと言っているのか」と考えます。あれは、「とか言葉」と説明しても、理解しにくいでしょう。日本人なら「今、切れています」では不愛想で喧嘩腰に響くことを無意識に悟り、文末を和らげるために「が」「けど」「けれど」を使用します。ところが、学校で教える文法の教科書には、この様な文末表現法は記載していません。教室文法でも「察し」が必要なのでしょう。日本人的ですね。

日常生活のレベルでなら、これでも結構ですが、これが国際問題になるとすんなりとはいかなくなります。あの宮沢首相の米国労働者のワークエシックス（Work Ethics－労働倫理）についての発言は、日本で聞くと巧みに用語を選び、慎重な判断の上でなされています。しかし、冗長さを嫌いコンピューターの二進法で割り切ると結果的に、「アメリカ労働者は怠け者」という発言をしたことになってしまいます。竹下首相式に、「といった風に考えられないものかと思っているところなのですが……」といった言い回しは英語に翻訳出来ません。要するに、あれも政治家の「とか言葉」ですから、誰かが文法を書いて、外国人にも詳しく説明する必要があります。

閑話休題 宮沢首相の国会答弁（衆院予算委員会、1992年2月）と海外メディアの発信記事を掲載します。

武藤義文氏の質問：「人間は働くというところに良さがある。働きすぎはいけないが、与えられた間だけはきちんと働くのは正しい勤労の姿だ。米国の人々にわかってもらうよう日本は努力していくべきだ。」

宮沢首相：「確かに今、米国に欠けているのは、ここ10何年、ここに至った所以を見ると、物をつくるというか価値を生むということについての解釈が非常にルーズになってきたと申すか、マネーゲームでも価値を生むには違いないだろうが、額に汗して一つの物を創造していくという勤労の倫理、そういうものが、コンピューターなんかにも関係がありまして、大学を出た若い人が大変な高給を持ってウォールストリートにたくさん入ってしまった。その結果として、物を創るエンジニアがどんどん減っていったことをみている。そういうことでマネーマーケットが進み、ジャンクボンド（信用度の低い高利回り債権）が登場してきた。ジャンクボンドは危険なもので、LBO（買収先の資産を担保にした借りいれによる企業買収）というのも金を持たずに買収し、その結果倒産してしまう。こういった誰が考えても長続きしないことをここ十年余りやってきた。**その辺のところに働く倫理が欠けていたのではないかとずっと思ってきた。**ある意味でわが国のバブルにもそういう要素があった。あれは国民全体に対する教育であったとすら思う。額に汗して価値をつくりあげていくことが大事で、ブッシュさんが教育と言っているのもそのためではないか。」

APの発信：I have long thought that they (Americans) lack a work ethic.

ロイターの発信：Miyazawa asked in the Diet on Monday what he thought lay behind Japan-US. trade tensions, said, “I have long thought that they (Americans) lack a work ethic.”

AFPの発信：Speaking to a Diet committee earlier in the day, Miyazawa had said that “ I suspect that Americans have come to lack a work ethic.”

外務省による英訳は次の通りです。

I have heard your comment, which is easy to understand. [Your point would be] there is something that is lacking in America. Looking at what things have come to over the past 10 years: we might say that the interpretation of producing things or creating value has become very loose; it's that no one doubts that value can be created in the money market. Creating things by the sweat of our brows, a kind of work ethic, is related to various things. There is probably even a connection with computers. People graduating from universities are going to Wall Street for high salaries. As a result, the number of engineers, who actually make things, is shrinking, something Representative [Kabun] Muto and I both see.

While we were debating whether this situation was all right or not, the money market advanced and junk bonds appeared -- junk bonds, just as their name implies, are very dangerous. We have these leveraged buyouts where those without their own money can buy up things, and then, unable to pay the interest on their debts, [the companies] fall into bankruptcy. It should be obvious to anyone that such a situation could not continue long.

Yet, over the past 10 years, this very situation has continued. *I have long felt that this might involve something like a lack of a work ethic.* I think what you are worrying about is related to this situation. In one sense, there are many of those same elements present in what has been called Japan's bubble economy. After this bubble [burst], both [countries] now have a lot to clean up in the aftermath, and all of our people learned a lot from this. It is very important to build things of value with the sweat of our brows. This may sound like a sermon, but what I have said is what I feel. When President Bush talks about education, I believe he is trying to reiterate the above kind of message.

第5.4節 武陽玉川八景界隈

2019年12月 第22号

武陽玉川八景にまつわる綱下げる松と、東京側から見た玉川八景（行善治八景）について述べ、この章の終わりとします。

5.4.1 綱下げる松と松寿弁財天

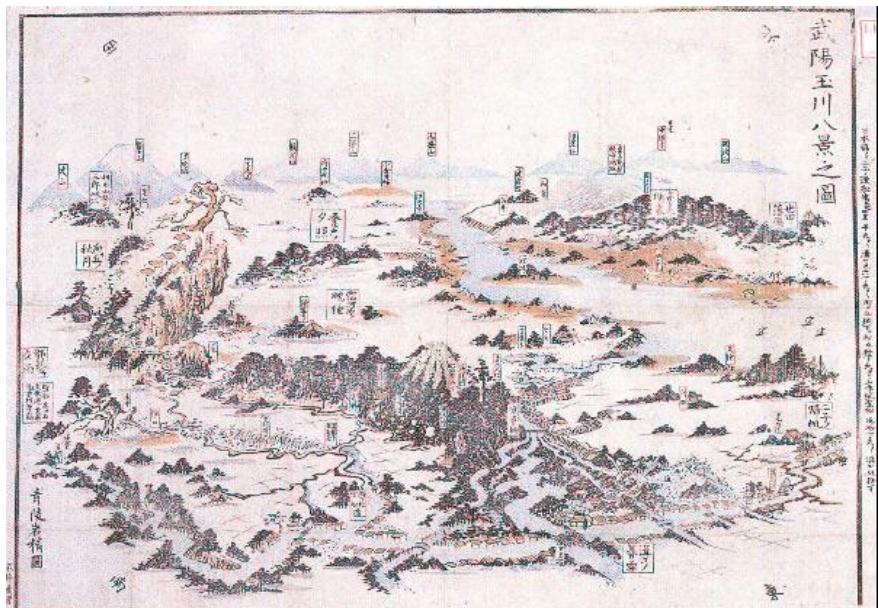
前回佐野渡（さのわたり）の和歌八首をご紹介しました。佐野渡（1762年～1837年 宝暦12年～天保8年）は江戸時代の狂歌師で、「武陽玉川八景之図」の刊行が1791年（寛政3年）なので、詠まれた詩は刊行の前か後か不明です。この絵図の販売から62年後の1853年（嘉永6年）にペリーが浦賀に来航する前までは、明治維新に向かい日本国内が慌ただしくなることは予想もしていない安定した日々でした。しかし、国内では武揚玉川八景之図販売の9年後に、天明の大飢饉（1782年）、天保の大飢饉（1833年）、大塩平八郎の乱（1837年）、天保の改革（1841年）等が発生していました。

詩に詠まれた都築ヶ丘の「都築」は、東京都市大学の横浜キャンパスがある横浜市都築区となり、大山街道（246号線）の二子宿から約7km弱の宮前区から近いので、観光を兼ねて詩を詠みに出かけたのではないでしょうか。

1) 当時の賑わい

玉川八景の詩、向ヶ丘の秋月では、「綱下げる松」の松を取込んでおり、この最寄りの駅は久地駅になります。川崎市営の緑ヶ丘霊園の一角に「松寿弁財天」があり、この弁財天にある松が「綱下げる松」です。ご利益のある松寿弁財天と一本の松の大木が靈験あらたかとの風評が立ち、近隣の村々だけでなく、江戸の文人墨客達が参拝に押し寄せたそうです。

綱下げる松や田畠は彦根藩世田谷代官所で管理し、1832年（天保3年5月）の代官所の記録では「この節枯木靈験これあり、御内府より貴賤老若男女諸侯方ならびに奥方參詣（さんけい）」と記載されています。将軍家までが参拝に来たということは、かなりのご利益があったからでしょう。参拝の多い最盛期には、丘の上や下の下綱には、84軒の茶屋や料理屋がひしめいていたそうです。1791年発売の武揚玉川八景之図には、松の近くの丘の下に、それと思われる建物が見えます。第5.3.3節に掲載した図と比べてください。この図は後述するように風紀の乱れから茶屋や料理屋が取り壊される前の図と考えられます。

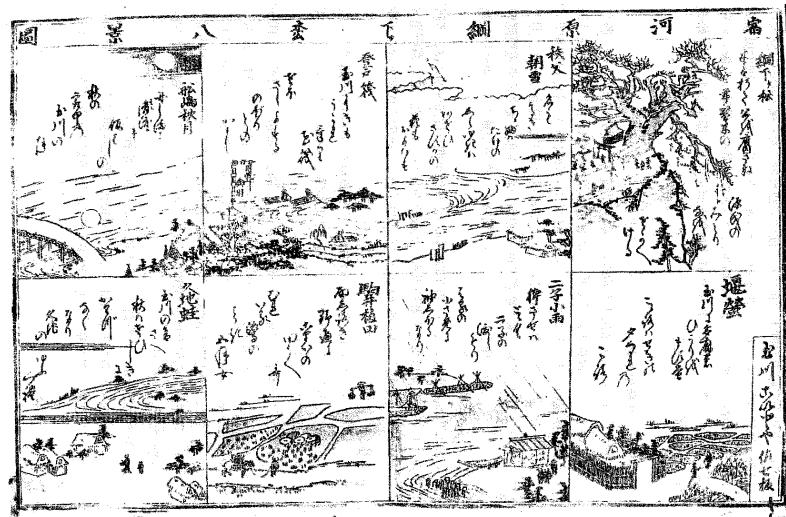


(武陽玉川八景の図)

天保4年（1833年）末には役人の手で綱下げる松を撤去し、天保3年（1832年）の春頃から天保4年末迄の綱下ヶの松詣の大変な賑わいは、僅か2年足らずで終焉を迎えました。いつの時代でもやり過

ぎ、騒ぎ過ぎには注意しましょう。

松寿弁財天は参道の途中に「靈水久地の井戸」があり、方位除けの靈水と言われ、方角の悪い所に靈水を撒いて清めたり、眼病、安産の靈水、防火、水難、金運等の御利益があるそうです。「巳の日」には宿河原駅に近い常照寺が中心で、弁財天護摩供養が行われているそうです。この常照寺には綱下げる松と松寿弁財天の伝説を基に、江戸時代末の安政5年（1858年）

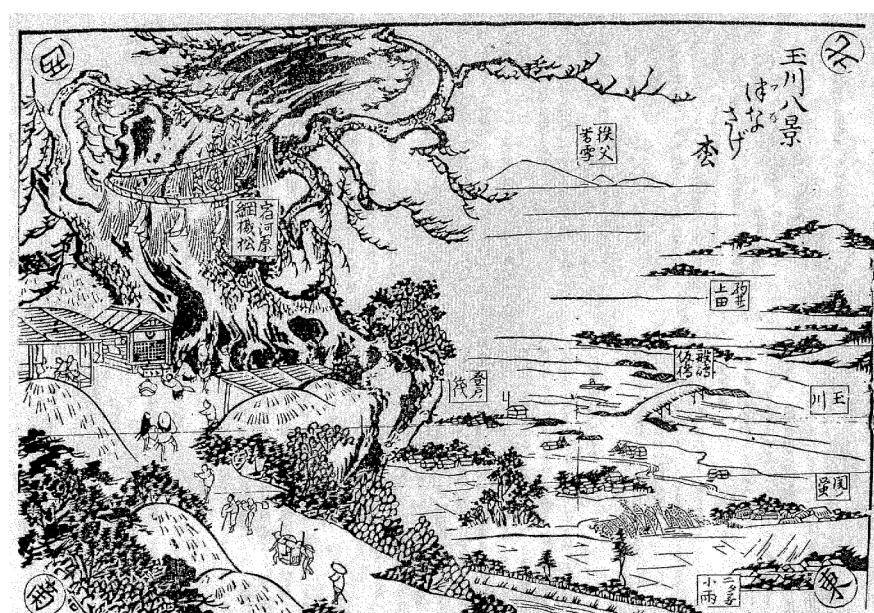


(宿川原綱下ヶ松八景図)

に杜水絵師による紙本墨画着色の「松寿弁財天図」(川崎市歴史記念物)を所蔵しています。寛政3年（1791年）に「武陽玉川八景之図」が発売されてからも、「宿河原綱下ヶ松八景図」の他、江戸からの参拝者向けに案内図（ガイドマップ）が発売されていた様です。

2) 綱下げる松の由来

綱下げる松の由来には、①鎌倉時代（1185年～1333年）の北条政子の妹を持つ舟形山城（現在の登戸）城主の稻毛三郎重成の許に源頼朝が立ち寄った際に、高台に松の杭を打って綱を下げ、御座船を繋いだ杭から自然に枝葉が生えてきて成長した松との伝説。（武州稻毛宿河原村綱下げる松縁起）②豊臣秀吉の小田原の陣の時（1589年～1590年）に八王子にあった神宮寺の城に向かった兵が、この松に綱を結び付けて丘を下りたことからの伝説。③1822年6月（文政5年）多摩川の大洪水が発生し、上流から家屋や畠を押し流し宿河原村に向かってきたので、村人は松のある現在の多摩丘陵の上に避難しようとしたのですが、多くの村人は流されました。闇夜に丘陵の松から光が差し込み、白い布（綱）が一本するすると下がってきて、村人達は「あっ！命綱だ」とその綱にすがって丘の上に逃げたので救われました。一夜が明け、村人が松の所に行くと綱はなく、松の下に白蛇がいたとの伝説。この時に白蛇を祀る弁財天が誕生したかもしれません。



(玉川八景綱下げる松)

この綱下げる松は長尾村、上作延村、下作延村、宿河原村の村境（現在の宮前区・多摩区・高津区）に位置します。

版4
宿河原綱下ヶ松八景図
天保三年（一八三二）頃
（都立中央図書館特別文庫蔵所蔵）

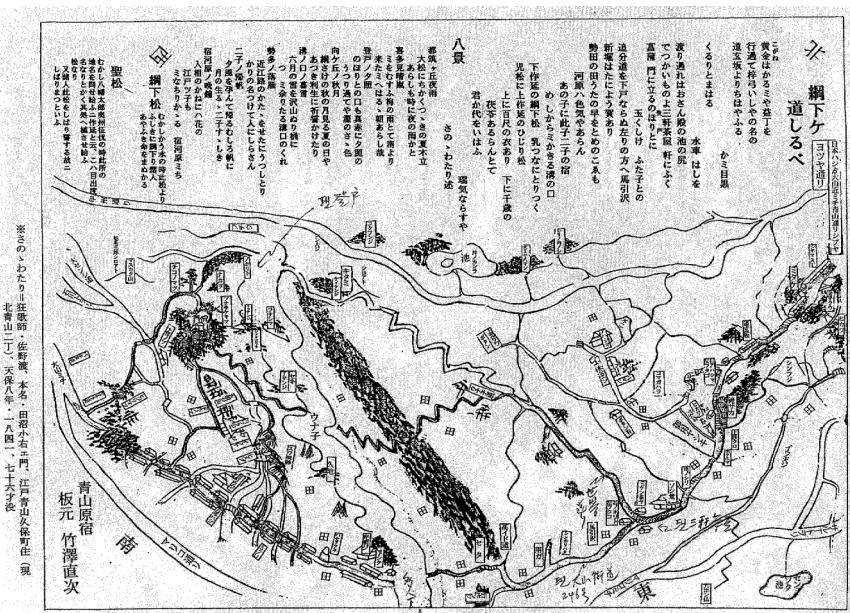
3) 綱下げの松の起源

一方、綱下げる松は古くからあったことが判ります（鎌倉時代の源頼朝御座船説なら 12 世紀末、頼朝の没は 1198 年）、秀吉の小田原の陣説ならば 16 世紀後半には綱下げる松が生息していました）。この地は古代の縄文時代中・後期の集落や古墳や古代の祭祀場が近くにあり、古くから御利益が有る聖松（ひじりまつ）で、蛇は水神様の使いと考えられ、多摩川に近くて松に重ねたことも想像されます。1791 年に発売開始の武揚玉川八景之図では、松寿弁財天の社（やしろ）、祠（ほこら）や鳥居が描かれています。更に、1830 年頃（天保 1 年頃）に出された「宿河原綱下ヶ松八景図」を見ても、社と鳥居が綱下げる松の大樹の下に描かれています。

古からの言い伝えから想像すると、高熱を出した老婆が夢うつつで松の靈のお告げを聞き、切った松の枝を基に戻したところ病が癒え、祈れば願いが叶う話が村人に広まり、有志で松の靈とその使いの白蛇を祀ったのが弁財天祠の誕生ではないかと思います。この話は「武陽玉川八景之図」が発行された1791年以前なことは、間違いないでしょう。社（やしろ）は神を祀ってある所で、祠（ほこら）は神を祀った小さな社のことです。宿河原常照時は綱下げる松と一緒に松寿弁財天の祭事を行う寺で、綱下げる松と松寿弁財天を祀っているお寺です。

松寿弁財天の祠の誕生は、これまでの現地を含めた調査でははっきりした創建年代の明記が見えませんでした。宿河原の常照寺からのお話でも昔のことを知る方がいなくなり、はっきりした資料が無い状態です。鎌倉時代まで遡るのか、この祠は庚申塚の祠の様なものか、想像するだけでわくわくします。どなたか情報があれば、是非ご連絡をお願いします。1832年（天保3年）の夏、徳川家慶を二子玉川遊行で迎える時、江戸幕府は寛政の改革や天保の改革の最中で、この賑わいに目を光らせていた橘樹郡稻毛領の代官中村八太夫が参道で酔いつぶれた婦女子の宿泊、宇奈根（川崎支部恒例のパークゴルフ大会会場の近く）渡し、二子の渡し、溝の口からの近道争い等、目に余る様々な行為から目が離せませんでした。

4) 道しるべ



(綱下げる道しるべ)

通りと表参道交差点付近)に至ります。

この前を通り、笄(こうがい)橋(現在の南青山6・7丁目から西麻布2丁目付近)の同僚(綱下げる松之図の販売協力者か?)の高嶋に立ち寄り、お茶屋で図の売れ行きを見てから再び青山通り(246号線)に戻り、宮益坂へ向かいます。宮益坂の茅屋を過ぎて長い坂(現在の渋谷駅に向かう宮益坂を下った道玄坂と思われる)がある宮益坂の途中に、御嶽(みたけ)神社(現在の渋谷郵便局を横に入った宮益御嶽神社)があります。神社参拝後、札炙り(あぶり)不動で富の倍増祈願をし、更に道玄坂(医者の道玄の名が由来)を登り切り、上目黒村に入ります。坂を少し下がると氷川神社があります。江戸時代に富士山を対象とした民間の信仰が広まり、富士講で富士山登頂や祠を作り信仰をしました。

この氷川神社を参拝したかは不明ですが、更に下ると水車橋(現在の目黒川)を渡ると清姫稻荷を祀る池尻稻荷神社(技芸のご利益が有るお稻荷さん)があり、三軒茶屋に向かいます。三軒茶屋の地名の由来は、江戸中期以降に社寺参拝ブームで多くの江戸市民で賑わった大山道(玉川通り・矢倉沢往還)と登戸道(世田谷通り・津久井道往還)の追分(分岐点)となり、周辺には信楽(しがらき)(後に石橋楼・旅籠・料亭旅館の最後の一軒)、角(かど)屋、田中屋の三軒の茶屋がありました。角屋は明治時代に閉店、信楽は終戦後に閉店、田中屋は現在陶器店として健在です。気候が良い5月初めには、一日で10両もの商いが出来たそうです。

ここで左に曲がると二子の渡し、直進すると登戸方面になります。二子の渡しで二子宿、二ヶ領用水がある溝口宿から下作延の「綱下げる松」、そして上作延の「聖(ひじり)松」です。この松の周囲に出かけると、子供が風邪をひくので、村人が松の根元を縛ったそうです。花粉が飛散したり、松葉を飛ばす風が強いことを表現しているのでしょうか。「しばられの松」は、松の根元を縛ることで風邪が治ったことからの言い伝えでしょう。

一方の登戸方面から向かうと、近くに勝光院(世田谷領主吉良氏の菩提寺)、豪徳寺(彦根藩主井伊氏の菩提寺)があります。豪徳寺を参拝後、勝光院を参拝して宇奈根へ向かいます。用賀村・横根村(現在の環状八号線と世田谷通りの交差点である三本杉陸橋付近)を過ぎ、坂道を下ると宇奈根に入ります。酒・飯を商う家が三軒あり、渡し舟で一竿指せば向かい岸に着きます。船賃は通常1人6銭ですが、夏は12銭になります。左右の丘の上に34軒の飲食店が有りましたが、最高では84軒と増加し、美味しい鮎料理を提供していたそうです。対岸に渡り龍剛寺(JR久地駅近くの多摩区堰3-11-25)を通ると、宿河原村に至ります。少し先の小道を入りと木の鳥居が見え、左右に木綿の織立つていて松寿弁財天と書かれています。「山の高さは78丈(約236m)と見ゆ」と言われているのですが、それほど高いとは思いません。宇奈根の渡しの近道に人が集まり、減った二子の渡しと溝口ルートに参拝者を寄せる為、日本橋から二子の渡し場迄4里半(約18km)、そこから溝口まで拾丁(約1100m)、溝口から綱下げる松迄拾丁(約1100m)、更に上作延の聖松(しばられの松)迄拾丁(約1100m)、そして聖松から溝口迄拾丁(約1100m)、と記載された案内図が溝口の名主の丸屋から出版されました。参拝者を溝の口宿に多く呼びこみ、溝口宿にも多大のご利益をもたらすことを願っていたのでしょうか。

お江戸日本橋を出発し、二子の渡し近くには宇奈根・菅・野毛もあり、二子の渡し～溝口宿～綱下げる松～聖松～溝口宿で22.4kmとなり、健脚な江戸庶民は日帰りか1泊2日の旅行を楽しんでいたのでしょうか。この旅の続きは登戸経由か、宇奈根の渡し経由か、二子の渡し経由か、男女・子供同伴なのか、興味を搔き立てますね。

次は玉川八景(行善寺八景)について、お話ししましょう。

5.4.2 玉川八景（行善寺八景）

現在の瀬田の高台から多摩川対岸方向を眺めると、マンションや商業ビル等が多く立ち並び、樹木が増えていますが、以前の多摩川の対岸方向を見ると、風景は四季を通して大変見事な眺めがあり、多くの文人・墨客（詩文や書画等に優れた風雅な人、墨で書画を描く人）、そして大山詣の人達や一般の江戸庶民も多く訪れたことでしょう。その上、徳川家慶もここを訪れているのです。特に徳川家慶の御膳所（食事所や休憩所）にもなった行善寺からの富士山が望める多摩川の眺めが美しいことから、眺めの良い寺の名前をとて「行善寺八景」とも呼ばれたのです。

多摩川の対岸の川崎側には「武陽玉川八景之図」が1791年（寛政3年）に発売され、添付した詩は佐野渡作です。1850年（嘉永3年）9月、深沢村（現在の世田谷区深沢、後の駒沢町）の歌人、太田子徳に誘われた江戸町内に住む師匠の本間游清（南八丁堀の国学者）と、その門人が玉川遊覧の旅で行善寺のすぐ上の瀬田村の名主・長崎長十郎重行邸に集い、行善寺客殿からの景色を本間游清が八つの題を出して、八首の歌を詠ませました。これが「玉川八景」、「玉川行善寺八景」の源だそうです。この旅行を計画主宰したのは、歌人・書家である江口忠房で、旅行後に紀行文「瀬田之記」をまとめたのです。参加者は歌人が9名、本間游清、夫人と子供、江口忠房の合計13名でした。

舞台となる「行善寺」の説明をしましょう。川崎支部定期講演会場の夢キャンパスがある二子玉川駅から徒歩約8分の、世田谷区瀬田1丁目の浄土宗寺院です。当時の大山道（矢倉沢往還）に面した高台にあり、景色が良く、江戸時代には大山詣の人々を始め数多の人々が訪れました。近くには瀬田遺跡や小田原北条家の家臣・長崎氏が居住した瀬田城跡の一角にあります。永禄年間（1558年－1569年）又は1590年（天正18年）に北条氏直臣の長崎伊予守重光父子がこの地に移住した際、小田原の菩薩所道栄寺を移転したことが発祥の様です。その重光の法号である行善から行善寺と名付けられました。特に、江戸時代中期から幕末の將軍になる前の徳川家治（いえはる）（第10代將軍）、はじめ家慶（いえよし）（第12代）、家定（いえさだ）（第13代）らが訪れ、御小休所や御弁当所になりました。

明治時代に刊行された「東京近郊名所図会」によると、徳川11代將軍家斉（いえなり）も行善寺を訪れ、ここを「觀魚台」にしたそうです。徳川家とは深い関係が有ることが伺われます。その為、行善寺は徳川家の家紋である葵紋の使用を許され、今日でも行事の際に山門に掛けられる紋幕は葵の門の入ったものが使用されています。現地を訪れると、高台の寺の建物からは多摩川沿いに大型商業ビルやマンションが林立していますが、現在でも富士山が見えるので、当時はさぞや絶景であったことでしょう。

行善寺で詠まれた詩を紹介しましょう。

- ① 瀬田黄稻（せたのおうとう） 調布をさらす少女も玉川の せたの稻刈ころはきにけり（佑良（太田子徳））
- ② 士峰（富士山）晴雪（しほうのせいせつ） つらなれるをちの高根に雪晴て 雪をうつせる玉川の水（さえ子（斎田小枝子））
- ③ 大蔵夜雨（おおくらのやう） 雨の夜もにきはひにけり大くらに みつきをさむる時や来ぬらん（高見（渡邊高見））
- ④ 二子漁舟（ふたこのぎょしゅう） 明けわたる空にやかよふ玉くしけ 二子の川の舟のいさりひ（忠房（江口忠房））
- ⑤ 岡本紅葉（おかものとのこうよう） 玉川やさらせる布に岡本の もみじの色を移してしかな（美正（柏木美正））
- ⑥ 登戸宿雁（のぼりとのしゅくがん） たまかはの水上さして登りとに ますかた山を落るかりかね（林斎（岡嶋林斎））
- ⑦ 吉沢暁月（よしざわのぎょうげつ） ゆふくれもありとはいへとよし沢の 月のなかめはあかつきの空（惟艸（黒川惟艸））
- ⑧ 川辺夕烟（かわべのせきえん） たてかはす民の竈の夕けふり 賑ひしるき川のへのさと（游清（本間游清））

玉川八景（行善寺八景）の詩も「夜雨」「暁月」等の「八景」を選定するのは、八景の元祖となる中国の「瀟湘八景」にならい、室町時代以降日本でも行われる様になりました。「武陽玉川八景」と「玉川八景（行善寺八景）」もお互いに多摩川を挟んだ対岸にあったので、東京都市大学も素晴らしい環境に囲まれているのです。考え深いと思いませんか。

中国の瀟湘八景から「八景」が始まり、アジア、台湾、韓国、朝鮮、日本に伝わり、大きな良い影響を与えてくれました。川崎支部の本拠地である溝口地に大変近い武揚玉川八景、玉川行善寺八景、そして綱下げの松詣で等、徳川幕府支配下の泰平の世に誕生した江戸文化と近郊文化が融合したロマン溢れる歴史遺産です。しかし、この数年後の江戸末期になると幕末動乱による徳川幕府と武家統治の終焉を迎えることになります。

5.4.3 江戸近郊八景

「江戸近郊八景」は1838年（天保9年）頃、歌川広重が江戸近郊の景勝地8か所を浮世絵として作成したものです。皆様が良くご存知の身近な場所です。

- ①吾嬬杜夜雨（あづまもりやう） 墨田区立花1-1-15（現在の吾嬬神社の杜）
- ②玉川秋月（たまがわしゅうげつ） 大田区田園調布（現在の丸子橋辺り）
- ③羽根田落雁（はねだらくがん） 大田区羽田6-13-8（江戸時代は湿地帯で、現在の羽田飛行場内に有ったとの事）
- ④飛鳥山暮雪（あすかやまぼせつ） 北区王子1-1（八代將軍吉宗が1737年（元文2年）桜を植樹した現在の飛鳥山公園）
- ⑤池上晩鐘（いけがみばんしょう） 大田区池上1-1-1（平間街道から見た池上本門寺の参道）
- ⑥行徳帰帆（ぎょうとくきはん） 千葉県市川市（行徳の入江）
- ⑦芝浦晴山（しばうらせいざん） 港区芝浦（芝浦の沖から漁港側を見る）
- ⑧小金井橋夕照（こがねいばしせきしょう） 小平市（JR中央線武蔵小金井下車 駅前の小金井街道を小金井カントリー倶楽部に向かう手前 桜上水の桜の名所）



(吾嬬杜夜雨 (あづまもりやう))



(玉川秋月 (たまがわしゅうげつ))

以上の内容は中国の「瀟湘八景」を元にした風景の描写を、歌川広重が1838年（天保9年）江戸から明治になる約30年前に浮世絵として世に送ったものです。昨年は明治から150年（2019年）ですが、2018年から数えると約180年前となります。現在は風景が大きく変化している場所が多いかもしれません、時間を作って散策してみるのもロマンかも知れません。

民法改正・健康、はやぶさ2などは第12章に掲載します。

第6.1節 用賀村の名主 飯田平兵衛

2019年05月 第15号

世田谷が出てくる本を眺めると、「プリズム」(百田百樹著) (成城)、「バー・リバーサイド」(吉村嘉彦著) (二子玉川)、「春の庭」(柴崎由香著) (世田谷線沿線)、「東京隨筆」(赤瀬川原平著) (「世田谷区の16の町」)、「下北サンデーズ」(石田衣良著) (下北沢)、「火花」(又吉直樹著) (三軒茶屋・下北沢・池尻大橋)、「三軒茶屋星座館」(柴崎竜人著) (三軒茶屋のプラネタリウム) 等多数が記載されています。

今回は、毎回講演やパネルディスカッションの開催時にお世話になっている二子玉川夢キャンパスに隣接した用賀にゆかりの人について、お話をします。

6.1.1 飯田家と飯田平兵衛

用賀村の名主は飯田平兵衛（出生年不詳～1763年）といい、用賀出身で名は吉純（よしづみ）です。飯田家が用賀に住み始めたのは飯田図書吉慶（いいだずしょよしやす）（1573年没）で、その父は北条氏の家臣でした。吉慶は用賀村に土着して開発に努め、用賀四丁目の真福寺は吉慶の開基です。代々用賀村の名主を務め、その六代目が平兵衛吉純です。元文4年（1739）飯田平兵衛と大場六兵衛（世田ヶ谷県令）が代官を命じられ、この年から幕末まで世田谷代官は複数制になりました。

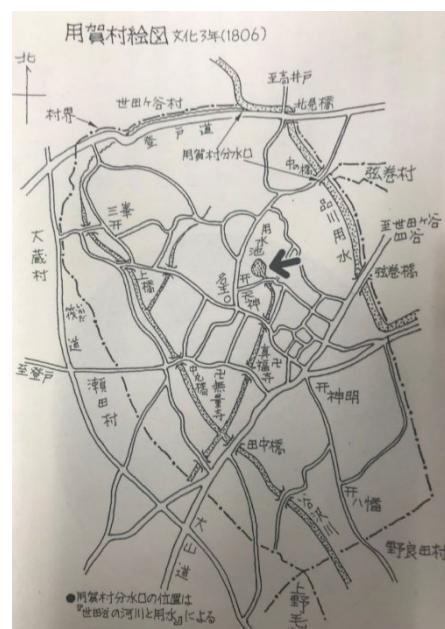
飯田平兵衛は次節で示す農業用水問題を解決したことで知られています。

6.1.2 用賀村の危機

用賀村が灌漑用の水を導水した品川用水の分水口二箇所が閉鎖されたのは、元禄2年（1689年）で、掘割をつくり玉川上水の水を引いたことが始まりです。この品川用水の恩恵に浴したのが、世田谷領の鳥山、粕谷、廻沢、船場葦、横根、弦巻、新町、野沢、用賀の各村です。数か所の分水口から品川用水の水を引き入れましたが、問題が発生しました。上流で水をとれば品川領への引水量は減ります。そこで、元禄2年（1689年）品川領九か村は世田谷領の村々に用水をとるなど苦情を言いましたが、それでは農作業に支障をきたし、当然収穫量も減ることになります。そこで、世田谷領の村々を相手取り、品川領九か村は勘定奉行に提訴しました。

その結果、元禄2年に世田谷領村々の分水口数か所は全部閉鎖され、用賀村の二か所も閉鎖されました。あの分水口を閉鎖されてしまう用賀村の作物は死にます、と奉行に嘆願しましたが、聞き入れてもらえませんでした。さあ、どうしよう…。そのうち他村でも水に困ったものが用水の水を盗み取る事件が発生し、犯人が捕まり手鎖の処分に会いましたが、これを聞いた弥右衛門は、このまでは同じ事件が用賀村でも起こるかもしれないと憂慮しました。

同じ思いの息子平兵衛は天神様脇の谷の様な窪地に、放し飼いの牛が入り、水を飲んでいるのを見つけ、雨水が溜まっていると思い確かめに下りました。彼の眼には、こんこんと水が湧き出ているのが見え、湧き水だ！それも相当量の湧き水、あそこを田畠向け用水地に



すればと興奮して父弥右衛門に知らせました。湧き水を見た弥右衛門は「平兵衛よ、天神様のご加護かも知れない」と声を震わせました。平兵衛は心中、品川用水の漏れ水だ、用水から地中へ浸み込んだ水が窪地に湧き出たと思いました。早速、村の主だったものを集め、池を掘って大きくしようと相談しました。村人総動員です。一方、平兵衛は仕事の合間を見て、飯田家の先祖飯田図書が開基の真福寺（現在地は世田谷区用賀 4-14-4）へ、用水地の無事完成に心を込めて祈願しました。こうして、長い年月と激しい労苦の末に、田畠向け用水地が完成したのが享保5年（1720年）で、分水口が閉鎖されて31年の歳月が流れました。

出来上がった用水地は昭和10年頃まで残っていたそうです。藩も用賀村村民の労苦を多として、お米48俵を贈ったそうです。また、平兵衛は真福寺にお礼の気持ちを込めて、元文3年（1736年）願主飯田吉純、施主村中男女として、高さ3mは有る立派な宝きょう印塔を寺内に建立しました。これは現在も本堂左脇に残り、当時の歴史を物語っています。翌元文4年（1737年）、平兵衛吉純が世田谷代官に任せられたのも、藩が彼の功績を高く評価したからに相違ないからでしょう。

耳寄り情報

辛坊治郎氏の著書で、興味を引くことが目に留まりました。なぜ免疫力を強化しても、ガンが治らないのか。通常成人の体は、40兆個ほどの細胞から出来ています。この細胞はほぼ2年間で全部新しい細胞に入れ替わり、毎日相当数の細胞が体内でコピーされているのです。でも、常に完璧にコピーしているのではなく、1日当たり数千個のコピーミス細胞（がん細胞等）が生まれ、免疫システムによってウイルス等と一緒に駆除されます。だから、そう簡単にはガンにならないのですが、その様なガン細胞の中に免疫細胞に差し込む「鍵」の様なものを持つ細胞があり、そのカギを使用すると免疫組織がガン細胞を攻撃しなくなるそうです。そうなると、免疫力をいくら強化しても無駄になり、これが従来の免疫療法が効かなかった理由です。

ノーベル賞を受賞した本庶先生は、このメカニズムを解明し、大阪の小野薬品をプッシュして、アメリカの研究所に協力を依頼。免疫細胞の鍵穴を塞ぐ薬を開発しました。ガン細胞がカギを使用したくても、カギ穴がふさがっているので、体の隅々に転移したガン細胞が免疫システムで攻撃できることになりました。

問題は、がんに効くメカニズムが確立しても、この薬を一度使用し始めて効果が出ると、基本的に一生使用することになりますが、副作用が現れて使用を中止しても最大約10か月は薬の効果が残ることが知られています。更にこの薬は初に健康保険で認可された時には、日本でわずかに470人しか存在しない特殊な皮膚ガンの薬だったので、患者1人に1年間使用すると、3,500万円という相当な金額になりました。しかも、ほぼ全額公費負担です。薬の価格は原則2年に一度しか改定されないので、この薬代だけで保険制度が破壊されるかもしれません。患者にこの薬を使用するかどうかは医者の判断次第なので、医師の選択が患者の運命の分かれ目です。

ちなみに、この薬は、全身転移のガンが消える効果が出る人は2割程度で、病気の進行が停止する人は約2割、全く効かない人が約6割で、使用しないと効くかどうかが判らない薬です。「運次第」になりそうです。現在は、ステージ3で他の治療で延命出来る患者への使用が始まっているそうです。早く回復すると良いですね。

化学調味料については第12章に掲載しました。

第6.2節 伊福部昭と井伊直孝

2019年07月 第17号

今回は映画「ゴジラ」テーマ音楽で知られる作曲家伊福部昭と、遠州の小国から徳川家に仕え、死後法号が寺の名前となった井伊直孝についてお話しします。

6.2.1 伊福部昭

ゴジラの映画で大きな被害を被る川崎市について一言。令和初日の5月1日時点で、川崎市の人口が152万6630人となり、神戸市（152万4749人）を抜き20政令市中で第6位となりました。川崎市の人口は政令市移行翌年の1973年に100万人に。以降、首都圏での立地優位性や交通利便性の高さ、武蔵小杉駅や新百合ヶ丘駅周辺の開発などを機に人口が増加し、2017年には150万人を超え、平成の人口増加率は29.22%と政令市の中で最も高くなりました。

映画「ゴジラ」のテーマ音楽で知られるのは、伊福部昭（1914年～2006年）です。世田谷キャンパスに向かう途中のナザレン教会のすぐそばが自宅です。伊福部は、ほぼ独学で作曲家となりました。日本の音楽らしさを追求した民族主義的な力強さが特徴の数多くのオーケストラ曲を生み出しました。古事記、日本書紀にも登場する古代豪族の末裔です。1935年にパリのチェレブリン賞にて「日本狂詩曲」で第1位に入賞し、世界的評価を得たクラシック音楽の作曲家でもあります。審査員の中にモーリス・ラヴェルの名を見つけ、ラヴェルに見てもらいたいという一心で、『日本狂詩曲』を賞の規定に合わせて第1楽章「じょんがら舞曲」をカットして応募しました。戦後、東京音楽学校（現東京藝術大学）で芥川也寸志、黛敏郎等を育てた教育者でもありました。1947年に等々力、1948年に奥沢、1950年に玉川尾山町（現尾山台）に転居しました。尾山台2丁目の自宅の庭には、ゴジラの像が置かれています。（右の写真はゴジラと握手する伊福部昭です。）自由が丘駅近くに、伊福部行きつけのうなぎ屋が今も営業しています。



6.2.2. 井伊直孝

井伊直孝（天正18年（1590年）～万治2年（1659年））は静岡県（駿府国）で生まれ、彦根藩（滋賀県）の祖です。慶長8年（1603年）にはじめて徳川家康に出仕し、命により徳川秀忠に従いました。大坂冬の陣、夏の陣でも活躍し、秀忠の没後の佐野と世田谷で2万石を加増され、合わせて30万国の領主となりました。秀忠の遺言により家光を補佐し、名君に育て上げました。豪徳寺は文明12年（1480

年) 吉良政忠が建立し、弘徳院と名付けられましたが、その後、直孝が大檀那になり修復されました。寺名は彼の法号から付けられました。

井伊家は代々、遠州・井伊谷城にあって、中国大名・今川氏真に仕え、名もない豪族でしたが、父・直政が二歳の時、祖父は氏真に殺されました。のちに、徳川家に仕官して忠勤を励むようになりました。直政は各地で戦功を立て、家康子飼いの「四天王」隋一と呼ばれ、宣伝効果を心得た智謀の持ち主でした。出陣には一族郎党に赤い甲冑と武具を付けさせ、華々しく戦場に臨み、敵は「井伊の赤備え」直政を「井伊の赤鬼」と恐れ、戦わないで逃げ出すようになりました。家康亡き後、直孝を父親の様に慕っていた秀忠は寛永9年(1632年)一月病床に直孝を呼び、幕府の執権(後の大老)となり、將軍家光を補佐せよと遺言をしました。直孝は知恵伊豆と言われる松平信綱他の賢候を抜擢して善政を敷きました。

明礎3年(1657年)の振袖火事で江戸大半が焼失、直孝は御金蔵(ごきんぞう)を開いて、大名旗本は勿論、町民に銀一万両を与え、餓死寸前の者には、世田ヶ谷、佐野の領地からコメを運び施しました。大火に懲りた諸侯は、失火者一族を火刑にする案を出しましたが、「仕置は万人等しきもの、大名とて免かれぬ」と戒め、諸侯は肝をつぶして撤回しました。家康、秀忠、家光、家綱と四代に仕え、大老として御用部屋を取り仕切った直孝は、国許の彦根に帰る余裕が無く江戸で暮らしました。当時世田谷は小動物が群生して、絶好の狩場でした。本来巻狩りは、兵馬を鍛錬する催しだが、泰平になるにつれ鷹狩となり、現代のゴルフの様に、諸侯の間で社交化しました。家光は血気に逸る(はやる)将軍なので、鷹狩に誘い余人を交えないで諫言し、神君の生まれ変わりと言われる名君に育て上げました。豪徳寺を舞台とした招き猫の伝説は、鷹狩の途次の出来事と伝えられています。



耳寄り情報

1) テント屋の辛酸

昨年（2018年）は東京ドーム完業30年でした。皆様ご存知の様に、東京都文京区後楽一丁目のドーム型屋根付きのプロ野球読売巨人軍の専用球場です。起工式は1985年（昭和60年）5月16日で竣工（完成）は1988年（昭和63年）3月18日です。

雨天中止がなくなったプロ野球、夢の球場に日本中が驚きました。可能にしたのは、テフロンで強化した布製の膜材を屋根に使う「膜構造建築」技術で、その陰にはテント一筋に生きてきた技術者達の意地をかけた壮絶な物語がありました。

昭和45年の大阪万博で、最も注目を集めた建物は、世界初のエアドーム「アメリカ館」でした。柱を使わず、空気圧だけで膜屋根を支え、工期が短く、コストも安価でした。手がけたのは、戦後ミシン一台で出発したテント会社・太陽工業の技術者達です。しかし、万博終了後「アメリカ館」は、あえなく燃やされたのです。当時の建築基準法では膜屋根は「仮設」扱いなので、恒久建築物には使えなかったのです。「所詮、俺たちはテント屋か。」技術者たちは辛酸をなめました。

それから10年が過ぎ、「テント屋」達に再びチャンスが巡ってきました。プロ野球の檜舞台・後楽園球場に代わる、屋根付き球場建設設計画が持ち上がったのです。オイルショックによる不況、スター選手の引退。新球場は、低迷する興行成績の挽回策だったのです。

2) プロ野球と後楽園球場の歴史

日本でプロ野球が本格的に開始したのは1936年（昭和11年）で、当時の東京府内では明治神宮野球場がありましたが、東京六大学野球リーグの反発で使用出来なかつた様でした。そのため、プロ野球の試合は早稲田大学の戸塚球場を借り、杉並区の上井草球場や深川の洲崎球場を造成しました。上井草球場は収容人数3万人で交通の便が悪く、洲崎球場は満潮時には球場を浸水することがたびたび起こった様です。

日本運動協会の創始者河野安通氏（フランチャイズ制を提唱）や押川清氏らの呼びかけで、読売新聞社の正力松太郎氏や阪急電鉄の小林一三氏の出資協力により、1936年（昭和11年）12月に（株）後楽園スタジアムを設立し、東京砲兵工廠の跡地の国有地を払い下げ、内野2階建てスタンド、グランドの最前線迄スタンドがせり出す形式の野球場となりました。1937年（昭和12年）に開業され、隣接の小石川後楽園にちなんで命名されました。

その後の洲崎野球場や上井草野球場の閉鎖で、後楽園球場が東京のプロ野球の拠点となっています。球場の両翼が78mしかなく、ホームランが頻発されました。

第二次世界大戦末期には軍に摂取され、二階席の高射砲を見上げながら、グランドでじゃがいもやトウモロコシが栽培されていました。終戦の1945年（昭和20年）には早慶戦やプロ野球の東西対抗戦等が行われましたが、GHQ（連合国軍総司令部）から接收命令が出ました。この接收は6日間と短い物でした。

1950年（昭和25年）にはナイター設備の設置や、1958年（昭和33年）には両翼を78mから90mに拡張し、敗戦国日本の楽しみを生み出す努力が感じられます。そして、日本最多の本塁打数を誇る王貞治氏は、節目となる本塁打の多くをこの球場で打ちました。特に、1977年（昭和52年）にはハンク・アーロン選手が保持していたMLB記録を超える756号の達成や、1978年（昭和53年）の800号達成

時には、セレモニーが行われました。

3) 東京ドームの建設

全体施工を担当する竹中工務店と、太陽工業とのプロジェクトは、法律の壁を突破するため、実験棟を建て、台風の中、安全性を証明するデータを集めました。建設省に日参し、やっと建築許可を得たものの、今度は近隣の日照権問題が発生し、やむなく屋根を北側に傾斜させる前代未聞の設計になったのです。一枚一枚異なる布の強度。膜を支えるケーブルの微妙な張り具合。傾斜屋根は、さらに作業を複雑で困難なものにした。

そして迎えた「インフレート（空気圧で屋根を押し上げる最後の作業）」の日。一つ間違えばケーブルが大きく跳ね、膜を破ってしまいます。メンバーは、厚さ0.8ミリの膜屋根の上に乗り、命がけで作業に当たりました。当時は住友ツインビルの建設と重なり、東京ドームの建設会社である竹中工務店の職員が型枠大工（コンクリート（軸体）製の建物を造る時、コンクリートを流し込むための枠を作成し、組立て解体するまでの一連の作業工事をする人）を住友ツインビルに取られて困っていた様です。

4) こけら落とし

初めて東京ドーム公演を行ったのは、ミック・ジャガーです。ただ、開業すぐはこけらおとし期間のようなものが設けられ、TM NETWORKなど日本人アーティストも数組出演し、その中の一組がレベッカです。ドーム特有の苦労話があります。

「ドームは、飛行機と同じように、中と外で気圧が違うんです。そのため、出し入れするたびに気圧を調整しなきゃならない。トラック1台を出し入れするだけで30分かかったんです。しかもドーム公演では11tトラックが60~70台くらい必要で…。それでも、あれだけの広さがあれば、演出のしがいがあるというもの。どこからでも見えるセンターステージとか、空中演出とか、『誰もやったことがないことをやってやる！』と、やる気がみなぎるんです」

「ある意味、アーティストの集大成を見せる場であり、動員数における最高到達点。BOOWY、HOUND DOGらが、東京ドーム公演を最後に解散していったのは、“のぼり詰めると、日本ではその先がなかった”ことを暗示しているかのようです」。

「メガヒットの時代が到来し、GLAY、ミスチル、安室奈美恵、B'zといった、継続的にドーム公演ができるアーティストが出現。さらに各地にドームが造られ、今やドームツアーが当たり前です。嵐を筆頭に新たなライブ演出が続々と生まれ、新時代の熱狂が巻き起こっている。国立競技場も新しくなりますよね。大規模ライブエンターテインメントの今後にも注目です」（音楽ジャーナリスト）

5) 東京ドームのデータ

グラウンド面積 13000m²、両翼 100m、中堅 122m、左右中間 110m

46000人 野球開催時 57000人 コンサート開催時

建築面積 46755m²、建物高さ 56.91m

地上6階 地下2階 外野フェンスの高さ 4.2m

グラウンド面から屋根の高さ 61.69m

6) 野球に関する特別ルール

東京ドームは打球が天井や懸垂物に当たった場合などに備えて特別ルールの「東京ドーム特別規約」が設けている

食品添加物については第12章に掲載しました

第6.3節 石川達三

2019年09月 第19号

今日は作家石川達三に焦点を当て、彼の作品や生きざまについてお話しします

6.3.1 作家 石川達三

石川達三（明治38年（1905年）～昭和60年（1985年））は秋田県出身の34歳で小説家です。

達三の父は英語教師で、良く職場が変わり秋田、岡山、東京と各地を転々とし、達三は大きくなり単身上京してからも、都内を12、3箇所も移動をしました。



この頃まで達三の人生には数多の失敗が多く、府立一中（後の日比谷高校）や岡山の旧制六高を目指しましたが、いずれも試験に落ち入れませんでした。小説を書く様になったのはその頃からです。結局早稲田大学へ進みますが、学費が続かないで退学し、電機業界誌の編集者となりました。社会人になり、実業界の空気にふれた達三は、小説を書く意欲を喪失し人生の転機を求めてブラジル移民の群に加わり、サンパウロ奥地の日本人農園で働きましたが、それも長続きしないで、半年で帰国しました。

ブラジルで達三が見たのは、希望に燃えた開拓者ではなく、国を追われる様にして流されていく貧しい人々でした。なんとしてもこの現実を書かなくてはならないと思いつた、今までの自分の小説は「文学ごっこ」に過ぎなかったと痛感しました。これが転機となり、出国を控えたブラジル移民が集められた神戸の移民収容所を舞台とした小説「蒼茫」を作り上げ、それが第1回芥川賞に輝きました。昭和10年（1935年）のことです。

当時の芥川賞は、たいして世間の注目を集めませんでしたが、この時最終予選に残った新進作家に、後に活躍する太宰治、高見順、外村繁がいたことからわかる様に、この賞はやはり権威のある賞でした。この受賞を契機に達三は猛然と小説を書き始めます。

昭和15年（1940年）世田谷区の奥沢に越してきますが、その三年程前に結婚した達三は、この時34歳で二人の娘の父親でした。以後昭和38年（1963年）まで世田谷区の奥沢に住みました。

家は九品仏駅のそばで、廻りは麦畑、踏切の向こうの玉川聖学院付近は一帯が田圃で、夏には蛙の声がやかましかった様です。近くに有った池ではザリガニが取れ、越してきてから長男が誕生しました。「九品仏は東京でありながら適当に田舎だ。田舎だけれども東京の文化的なものはすべて備わっている。子供を育てる環境としては一番いい所ではないかと思う。」と達三は書いています。

越してきて間もなく、太平洋戦争が始まるとすぐに東京はB29の爆撃にさらされました。その戦火を避けて都心から人々が移転してきました。達三は隣組に駆り出され、東の空が焼夷弾に赤く染まるのを見ながら、近所の消火槽の点検に飛び回り、高射砲から打ち出された砲弾の破片が落ちてきて達三の耳元をかすめたことも有った様です。空襲の炎は自由が丘迄嘗め尽くしましたが、達三の家はかろうじて焼けずに済みました。

戦中から戦後にかけては、都会人も野菜を育てて食料不足を凌ごうとし、達三も庭に5坪の畑を作る、敷地を買いましたが、茅（かや）や薄（すすき）が自生していた荒れ地だったので、すぐに雑草がはびこりました。結局、雑草との戦いに明け暮れ、めぼしい収穫は得られませんでした。

いったん奥沢に落ち着くと、昭和38年（1963年）に田園調布へ引っ越す迄、ここに留まって子供達の成長を見守りました。

6.3.2 奥沢での執筆活動

人口増加に伴い、八幡小学校と尾山台小学校から分離した九品仏小学校が昭和27年（1952年）に誕生すると、その初代PTA会長になりました。「自分の子供たちを、あまり都会的な生意気な人間にしてしまいたくない。また、あまり泥臭い田舎のものにしてしまいたくない。そういう点、九品仏は東京でありながら適当に田舎だ」と言っていました。

達三は長男を何々付属校と言った学校に入学させることが出来ましたが、あえて普通の学校に進めました。じきに、近所の子供たちが遊びに来て、庭の柿の実をもいだり、蝉を取ったりする様になり、九品仏小学校のPTA会長も務めました。そこで、教育現場の実情に触れ、それが「人間の壁」を書く一つのきっかけになりました。

戦前の日本には言論活動を取り締まる厳しい法律や規則が有り、石川達三は裁判にかけられても創作意欲はそがれませんでした。戦争や社会問題以外にも書くことがありすぎて、筆が追いつかない程で、午前中と午後と夜と三種類の作品を平行して書いていました。

小説において奥沢時代の収穫は大きく、戦時下の言論弾圧に取材した「風にそよぐ葦」、教師のあり方を問う「人間の壁」、初老のサラリーマンと若者達のかかわりを描いた「四十八歳の抵抗」等の新聞連載小説は、いずれも奥沢の家で書かれたものです。

6.3.3 達三の生きざま

雑誌の特派員として、日中戦争のさなか中国へ渡ると、「生きてゐる兵隊」を書き、戦争の陰鬱な実状をしつこく書いたので、当局の怒りを買い新聞紙法問われ発禁処分となり、禁固4ヶ月執行猶予3年の判決を受けました。達三は法廷で、「もっと本当の人間を見、その上に眞の信頼を打ち立てなければ駄目だ」と、昂然と言い切っています。当時としては非常に勇気を要する発言であり、眞実を見極めようとする目、ヒューマンな正義感は以後の作家の姿勢にも一貫しています。その作風も『蒼氓』以来ほぼ一貫し、社会性の強いテーマをルポルタージュ手法で描き出すのに特徴があります。

達三は毎晩杯を片手に家族との団欒に加わり、戦前から始めたゴルフはかなりの腕前でした。戦後は油絵にも手を染め、幾度も展覧会を開きました。文壇のまとめ役として、日本文芸家協会理事長、日本ペンクラブ会長等を務め、晩年は芸術院会員になり、一時は政治家を志し、戦後初の衆議院選挙に立候補しましたが落選し、結局作家に専念しました。

次に越した大田区田園調布も、奥沢の隣町で、世田谷区、大田区、目黒区が境を接し、多摩川に出られる一体で、達三は後半生45年を送ったことになります。半世紀もたてば世の中は大きく変わり、多くのブラジル移民の様に、貧しさ故国を捨てる人は殆どいなくなりました。逆に繁栄の日本を目指して外国から「蒼茫」達が流れ込む様になりました。あたりの風景も一変し、もう蛙の大合唱は聞こえません。今は田園が住宅街に替わり、自由が丘にはしゃれた店舗が立ち並び、屈託なく闊歩する若者で賑わっています。

石川達三は2005年のNHK-TV番組「あの人にお会いしたい」で、「広い社会機構にぶつかって掘り下げ、現実をつかみ出す作品を書きたい」との言葉を残しています。

人柄が判ります。昭和のさまざまな世相を描いた石川達三は昭和60年（1985年）1月、79歳の生涯を閉じました。



人生を豊かに（雑学のすすめ）

先日、落語家で人間国宝でもある柳家小三治師匠の弟子、柳家一琴師匠の落語と講演会に参加しました。面白い内容でしたので、内容をかいつまんで説明します。

- ② 落語家の三大原則は「酒・女・博打」。
- ③ 落語家は古典芸能を人に教える商売である。
- ③ 柳家小三治師匠に入門する時に言わされた事は、標準語を覚えること（一琴は大阪出身）、東京弁を覚えること、江戸弁を覚えること、鼻濁音は鼻から抜くこと。破裂音をそのまま発音すると、会話が汚く聞こえる。
- ④ 入門時は身長 160 cm、体重 100kg だったので、見た目は痩せて見える様にすること。入門後は、リバウンドで体重が 110kg になった。
- ⑤ 師匠は小話（隣の垣根と堀等）を覚えないと、落語を教えてくれない。この小話を覚えることを怠ると、落語の一席で大きなしくじりをする。
- ⑥ 古典芸能程、今の時代を取り入れないと残らない。今を知らないと、古典が語れない。
- ⑦ 落語家は持ち時間が重要。
- ⑧ 落語の一席は 15 分程度だが、聴衆や雰囲気を見て、ストーリーの順番を入れ替え、場を盛り上げる。落語は起承転結が大事なので、毎日の稽古を続けることで、話の内容が見えてくる。
- ⑨ 落語は初めて話す様に、話すことが重要。ミュージカルでも初日はうまく出来るが、2 回目はミスが出やすい。初日は緊張をしているからである。だから、毎日が初日の気持ちで高座を務めることが重要。
- ⑩ 毎日のけいこの積み重ねは、裏切らない。
- ⑪ 人間が最初に感じるのは嫉妬である。例えば、兄弟が生まれ、親の愛情が移っていると感じる時等がある。嫉妬してはいけない。落語家は家柄が大事で、たとえ自分よりもヘタでギャラが 10 倍以上貰っている落語家がいても、嫉妬してはいけない。（現在の林家三平を指している）
- ⑫ 相手の落語家が自分よりもヘタと思う時は、相手は自分と同程度、うまいと思う時は自分よりはかなり上手、かなり上手と思う時は相当に上手である。
- ⑬ 小さなごまかしは徐々に膨らみ、收拾がつかない位に大きくなる。
- ⑭ 油断をしないで、毎日新しい気持ちで生きることが重要である。（ポイント）

耳寄り情報

トヨタは 2009 年から 2013 年迄、税金を払っていないことで有名です。巧妙なからくりとは？最大の理由は、「外国子会社からの受取配当の益金不算入」という制度が有るからです。外国の子会社から配当を受け取った場合、その 95% は課税対象から除外されます。例えば、ある企業が外国子会社から 1,000 億円の配当を受けたとします。この企業は、この 1,000 億円の配当収入のうち、950 億円を課税収入から除外出来るのです。つまり 950 億円の収入については無税となります。

何故この様な制度が有るのでしょうか。現地国と日本で二重に課税されることを防止するという建前です。外国子会社からの配当は、現地で税金が源泉徴収されているケースが多いのです。もともと現地

で税金を払っている収入なので、日本では税金を払わなくても良いという理屈です。現地国で払う税金（例えば30%）と日本で払う税金が同額ならばその理屈も良いでしょう。しかし、配当金の税金は世界的に見て、法人税よりも安いのです。

つまり、現地で払う税金は、日本で払うべき税金はよりもかなり少なくて済むのです。例えば、1,000億円の配当が有った場合、現地での源泉徴収額は約100億円ですが、日本で1,000億円の収入が有った場合、本来は300億円の税金を払わなくてはなりません。現地で100億円の税金を払っているとの理由で、日本で支払うべき約300億円の税金を免除しているのです。配当に対する税金は、世界的に約10%前後ですが、途上国やタックスヘイブンと呼ばれる地域では、ゼロに近い場所も多いのです。

アメリカの子会社が日本の本社に配当した場合、源泉徴収額は10%ですが、日本の法人税は国税+地方税で約30%です。日本で支払うべき300億円からアメリカで支払った100億円を差し引き、残りの200億円を日本で支払うべきでしょう。ここが税制の「抜け穴」です。

我々の生活に大きな影響を与えてるのは消費税です。この消費税の創設に、実はトヨタが大きく関わっていました。そもそも消費税の導入は、財界の強い要望で実現しました。消費税の導入時に、大きな税金が一つ廃止されています。それは「物品税」です。物品税は、簡単に言うと宝石、ブランド品、自動車等に課せられる「贅沢税」でした。この物品税は戦後すぐに導入され、国民生活に根付いていました。物品税が有った当時は、国民の消費はおおむね上向きなので、贅沢品に対する課税は、必然的に高額所得者が負担していました。この物品税は税の徴収方法もきちんと管理され、徴税効果が高かったのです。

消費税は該当事業者が膨大で、集計計算も複雑なので、徴税効果が悪いのです。簡単に言えば、消費者が払った消費税がそのまま国庫に納入されないで、事業者のところで漏れることが有ります。それに比べ、物品税は該当事業者が少なく、徴税経路も単純なので、徴税効率はほぼ100%に近かったのです。消費税に比べれば、格段に効率的な税金でした。

何故、物品税を廃止して消費税を導入したのでしょうか。それは物品税に該当する業種の団体が、執拗に政治家に働きかけたからです。物品税を廃止すれば、自分たちの売り上げは確実に儲かります。その業界団体の先鋒にトヨタがいたのです。自動車にかかっていた物品税の税率は、3ナンバー車が23%、5ナンバー車は18.5%、軽自動車は15.5%でした。物品税が廃止されることで、導入時の消費税3%として、トヨタの乗用車は約15%から20%も安くなりました。その後、消費税が3%から5%に引き上げられたのは1997年です。その直後に法人税と所得税も引き下げられました。その法人税の減税の対象となったのは大企業で、所得税の減税の対象となったのは高額所得者でした。消費税による増収は約10兆円ですが、この約10兆円は大企業と高額所得者への減税分で全て無くなりました。

消費税はトヨタの物品税負担をなくしただけではなく、逆に利益をもたらしました。つまり、トヨタは消費税で儲けを得ていました。消費税の仕組みの一つに「戻し税」があります。消費税は「国内で消費されるものだけにかかる」という建前が有ります。だから、輸出されるものには、消費税はかかりません。ところが、輸入されるものは、国内で製造する段階で、材料費等で消費税を支払っています。その為、「輸出する時に、支払った消費税を還付する」のです。それが「戻し税」です。事実上の「輸出企業への補助金」です。というのも大手の輸出企業は、製造段階できちんと消費税を払っていない企業もあるそうです。2007年から2011年迄にトヨタが受け取っていた消費税の戻し税の額は、なんと約2,000億円にもなるのです。

第6.4節 井上準之助

2019年11月 第21号

今回は駒沢に日本人で初めてゴルフ場を造った井上準之助のお話です

井上準之助は明治2年（1869年）～昭和7年（1932年）、大分県出身で、横浜正金銀行の頭取、日銀総裁、大蔵大臣等に就任した政治家・財界人です。日本で初めて、日本人によってゴルフ場を造った人物です。場所は、現在の駒沢オリンピック公園の地で、当時の駒沢は「台切山」（でんぎりやま）と呼ばれた林で、鷹や兔狩りをしていましたところでした。ゴルフ場が出来ると、当時では珍しかった自動車が行き来して、駒沢は上流階級の社交場となりました。



大正12年（1923年）9月1日、東京は関東大震災で壊滅的な打撃に襲われました。その非常事態を、金融界は日本で初めてのモラトリアム（支払い猶予令）によって切り抜けましたが、その英断を下して実行に移したのが、日銀総裁から急遽蔵相に抜擢された井上準之助です。日本人による初めてのゴルフ場を造ることを提案し、実現にこぎつかせたのも彼でした。

明治の末頃迄、日本には神戸の六甲、神奈川県の根岸、長崎の雲仙等にゴルフ場が有りましたが、すべて外国人の経営によるものでした。留学中にゴルフを覚えたとしても、東京からは六甲や雲仙は遠く、外国人所有ということで何かと気使いが多かったのです。そこで、英米帰りの人達から、東京近郊にゴルフ場は造れないものか、としばしば口端にのぼっていました。準之助もその一人でした。彼は東京帝大を卒業すると日本銀行に勤めましたが、その間、ロンドン、ニューヨーク駐在で4年程海外の地を踏んでいました。明治の末に帰国した時は、やはりゴルフの魅力に取つかれていました。

大正2年（1913年）、彼は横浜正金銀行（東京銀行の前身）の副頭取から頭取に就任しましたが、多忙にもかかわらず、仲間に「東京ゴルフ俱楽部を結成し、コースを造ってプレーを楽しもうではないか」と持ち掛けたのです。会員を募り、その出資によって土地を借り、ゴルフ場を造るというので、仲間と方々へ図った結果、創立発起人30人が財界・政界から集まりました。そして選ばれた土地が、東京府荏原郡駒沢村で、現在の駒沢オリンピック公園の地でした。



駒沢ゴルフ場

その頃、駒沢は畠ばかりでした。ただ、玉川電車が走っていたので、その点、東京から出向くのに便利と判断されたのでしょう。しかし、話を持ち込まれた地主達は驚きました。何しろ三万坪という広さでした。それに水利の悪い高台で、この辺りは酒一升も付けなければ買い手が無いと言われていた土

地です。ましてや「ゴルフ」とかいう、見たことも聞いたこともない代物です。それに、借りたいと申し出た井上某についても「横浜正金銀行頭取」とあるが、それは一体どの様な職業・地位なのか・・・。駒沢村の当時の地主達はあまりの突飛さに、彼を山師なのではと疑い、彼らは申し出ました。「仮契約の調印は、是非お宅で」と。

準之助は自宅では迷惑なので銀行へ来てほしいと、一旦は断りました。が、どうしても譲りません。破談になってはと恐れ、しぶしぶ承諾しました。当日、麻布三河台にある井上邸を訪れた地主たちは、準之助の心配をよそに、何事もなかった様にすんなりと調印しました。どうやら、井上邸の堂々とした大名屋敷風の門や家屋を目の当たりにして、準之助を信用し安心しました。当時の駒沢村の地主達にすれば、無理もなかったのでしょう。ましてや、ゴルフ等さっぱり分かりません。

こうして、1坪5厘の借地代が決まり、9つのホールを持つコースが設計され、大正3年（1914年）6月には6つのホールで仮開場となりました。開場当時は芝も植えられていないで、まるで畠そのものでした。白足袋を履いて行った人は、それが真っ黒になったそうです。まだ、クラブハウスも無く、キャディもいません。ゴルフボールも貴重だったので、一つ見えなくなると30分も1時間も探し続ける状況でした。

間もなく、準之助の尽力で上野の博覧会で使われた貴賓室が払い下げられることになり、赤いカーペットに洒落た椅子迄備わった、ゆったりとしたクラブハウスが出来る等、コースは次第に整えられていました。ゴルフファンも予想を上回って増え、「駒沢は上流階級の社交場」とまで言われる様になりました。

公・侯爵から三井・岩崎といった富豪、政治家、学者とあらゆる分野の人々が駒沢の地に集まり、芝生を賑わせました。大正11年（1922年）にはプリンス・オブ・ウェールズと皇太子（平成時代の天皇－令和の上皇）の日英親善ゴルフも、ここで開催されました。準之助は設立当初から会計を受け持ち、その後、日銀総裁、大臣となつても名誉会計として携わっていました。クラブ員は、「日本の財務長官と俱楽部の会計長が同一人物だ」と誇りしていました。

ところが、国家を代表する偉大な財界人も、借地代の値上げを、毎年要求する地主達には頭を痛めていたのです。ゴルフ場の盛況ぶりを見ている彼らにとっては、正当な値上げ理由に映りました。加えて、開場後4、5年として三越百貨店が、すぐ近くの土地・3,000坪を坪当たり3銭5厘で借りたことは、十分な値上げ理由と言えました。

地主達は「わしらは井上さんに一杯



日本最初のゴルフクラブ

食わされた。こんな田舎は10年経っても同じ田舎。発展する見込みなんてない、と言われた。ところ

が今や人家もたつほどではないか」と主張し、結局坪2錢5厘に値上げすることになりました。準之助は、「片や3,000坪、こちらは3万坪。しかも、ここは道路からかなり離れた利用価値の低い所」と話してみても受け入れなかったそうです。このことが有って、借地ではなく俱楽部所有のゴルフ場を造ろう、との声が高まり、昭和6年（1931年）には朝霞コースの建設に着手しました。

その後、駒沢の土地は、昭和15年（1940年）にアジアで初めてのオリンピック大会会場になるはずでしたが、世界戦争のあおりで取り止めになったのです。しかし、戦後の昭和39年（1964年）のオリンピック東京大会ではバレーボール、重量挙げ等の会場となり、名称も「駒沢オリンピック公園」となりました。

ゴルフ場が朝霞に出来る頃の昭和7年（1932年）、右翼団体である血盟団の青年の3発の銃撃で、彼はこの世を去りました。政・財界になくてはならない井上準之助でしたが、日本ゴルフの発祥の地・駒沢を生んだことは忘れられない功績です。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

その距離、実に38万4400km。それは人類が成し遂げた最も長い旅で、その記録は今も破られていません。彼らを乗せた強大な宇宙船に詰まれたコンピュータの性能は、今なら小学生も持っているiPhoneにすら及びません。演算速度は1メガヘルツを少し超える程度でしかなかったのです。今はギガ単位なので、桁が違います。

これは宇宙船の話題です。ジョンソン宇宙センターの管制塔ではもっぱら、昔ながらの道具（人の頭脳と紙と鉛筆）を頼りに働いていました。現在のスーパーコンピューターは秒単位で軌道計算を処理しますが、当時は気の遠くなる様な時間がかかりました。1969年7月20日にニール・アームストロングが人類として最初に月面を歩いてから50年が経ちました。月に行った人間は彼を含めて24人で、月面を歩いた人は、12人を数えるのみです。

月への旅は、本人たちの想定以上に宇宙飛行士を変え、月の地平線から青い地球が昇る姿を見たのも、この地球がいかに小さく儂い物かを体感したのも彼らが最初でした。彼らが月の軌道を周回している頃、地上ではベトナム戦争が続き、米ソ両国は軍拡競争に明け暮れていました。アポロ計画自体も冷戦の落し子だったのでしょう。

1969年7月16日～24日にニール・アームストロング、バズ・オルドリンと共にアポロ11号に登場し、司令船の操縦士として史上初の月面到着を見守ったのは、マイケル・コリンズです。彼は国務省を第2の職場に選び、国立航空宇宙博物館の館長を務め、現在はフロリダ州で読書と運動を楽しむ生活を送り、今年6月にはボストン・レッドソックス戦の始球式を務めました。

耳寄り情報

宇宙への民間人旅行は、2024年に1週間で約100億円/名で予定しているそうです。ZOZOTOWNの前社長の前澤友作氏（1975年11月22日生（47歳））も手を挙げていました。5分間の無重力を体験するのに1700万円もするそうです。スペースシャトル用に米国が開発した船外活動用宇宙服（Extravehicular Mobility Unit: EMU）は、1着で10.5億円（背中の生命維持装置類が9.5億円、スーツが1億円）で、生地を14枚重ねて紫外線や宇宙ゴミからの損傷を防止しています。もう少し詳しく言うと開発費は、宇宙服アセンブリ（Space Suite Assembly: SSA）43セット、生命維持システム（Life Support System: LSS）13セットを製造するのに1億6,700万ドル（1ドル=120円換算で約200億円）かかりました。なお、船外活動用宇宙服はパーツ毎にいくつものサイズが用意され、宇宙飛行士の体格に合わせて、パーツを交換します。また、グローブは宇宙飛行士毎に用意され、片方20,000ドル（約220万円）します。宇宙服の下には水を循環するチューブを組み込んだ冷感スーツを着ています。チューブは何と84mにもなるそうです。

はやぶさがイトカワに着陸して試料を採取するのは、日本からブラジルの直径6cmの的を射る程の確率だそうです。我々の身近なところでも宇宙の技術が応用されています。例えば、

- ① カーナビ（GPSの応用）。
- ② サングラス（宇宙服のヘルメットに使用している紫外線カット技術の応用）。
- ③ エアバッグ（火星探査機を着陸させる時に開発した技術を応用。これは折りたたんだ部品を火星等に着陸させ、瞬間に組み立てる技術で、探査機本体をエアバッグに包み込むことで、本体を保護しています）。
- ④ 缶コーヒー（缶表面の凹凸模様を応用）。この凹凸模様は缶の強度を保持しながら軽量化する技術で、太陽光パネルの為に開発された技術です。缶コーヒー1缶当たり5g軽量化出来たので、2018年には約2900トンの材料削減に成功しました。

宇宙服を着ると、自分では服の前面や周りが見えないので、腕の手首に小さい鏡を貼付けて見ます。だから宇宙服に記載している文字は鏡文字になっているのです。宇宙飛行士の採用試験（不定期）の一つにホワイトパズルがあり、文字や景色等が無く白色のみなので、チップを組み合わせるのに忍耐力が要求されます。また、宇宙船を模した閉空間に約10名が1週間缶詰めになり、共同生活をしながらミッションを達成します。2008年の採用試験では、受験者963名中合格者は3名（倍率321倍）ですが、宇宙飛行士の給与はどの位でしょうか。JAXAの大卒初任給19.9万円と同じです。ロマンを求める人達なのですね。

東京都市大学の講演会（2017.06.18（土）開催）で山崎直子氏（千葉県松戸市出身）の講演を聴きました。「地球自身がまるで生きているかの様な輝きを持っている。」と述べていました。宇宙船は地球の周りをマッハ25で飛行しているので、45分毎に昼夜が切替わるので、1日16回もの日の出・日の入りを味わいます。宇宙船内の暮らしで困ったのは、歯を磨く時に普通の歯ブラシに市販のペーストを付けて磨きますが、流し台が無いので口内の物を吐き出すことが出来ません。呑込むことに慣れたそうです。

現在では宇宙食は美味しくなり、通信販売でも購入が出来ます。300種類もあるので、柿の種、羊羹やカレー等も有ります。例えば、1食当たりカレーは540円、ミニ羊羹は380円です。船内活動で擦り傷をすると血が出ますが、直りが遅くなるそうです。先日のインタビューでは、「宇宙とは「ふるさと」で、太陽も地球も私たちの体も、宇宙の星のかけらで出来ている。また、私たちの体にもつながっている。」と述べていました。

【マリナーズの救世主】

イチローの引退会見で述べた「外国人になったことで、人の心を慮り、人の痛みを想像し、今までなかった自分が現れた」「孤独を感じて苦しんだことは多々あった。その体験は未来の自分にとって大きな支えになるだろうと、今を思う」の言葉を覚えてますか。「ザ・スロー (The throw)」(レーザー光線の様)と呼ばれた伝説のプレーです。2001年4月11日でアメリカ大リーグ1年目の対アスレチックス戦で、敵地のオークランド(カリフォルニア州)の時で、くしくも引退試合と同カードです。敵意むき出しのアスレチックスファンで埋まる右翼席の前で、8回の守備に就きました。

日本からの新参者に対し、敵地の人々は遠慮が有りません。イチローの背中に罵声を浴びせ、汚い言葉に乗せて物まで投げ入れ、そのうち、イチローの後頭部に硬い何かが当ったといいます。(頭に有ったのは25セント硬貨でした。)一死一塁、相手打者の右前打がイチローの前に転がり、一塁走者は二塁を蹴り、三塁へ向かいました。熱狂した右翼席は、一瞬で言葉を失いました。右腕をしならせたイチローの送球は、お辞儀をすることなく最短距離で三塁手のグラブに納まりました。余分なものを一切そぎおとし、怒りと毒を含んだ直線の軌道を描いて、一塁走者はタッチアウト。「ICHIRO」の名が全米に鳴り響いた瞬間です。

今年の9月に親しい友人が、娘が生活しているカナダ、そして北米を訪ねた際、シアトリマリナーズ球場を訪れました。下記の写真に有る様に現地の説明員が1992年の任天堂元社長の功績を未だに語り継いでいたのです。1992年に任天堂元社長の故山内溥氏が米国任天堂がお世話になったシアトルへの恩返しとして、成績が低迷し経営も振るわずチームの移転の危機にあったマリナーズに7500万ドルの出資(1992年平均130円/ドルとして約97億円)をしました。友人は30年近く前に一人の日本人が行ったことを、シアトルの人々が今も記憶し、感謝の気持ちを持ち続けていることに心を打たれ、日本人として誇らしい気持ちと、それを知らなかつた自分自身に恥ずかしい思いをしたと語っていました。筆頭オーナーとなり、日本人として初めて大リーグ球団のオーナーに就任しました。山内氏はマリナーズの経営には一切口をはさみませんでしたが、ただ一つ注文をつけたのは、「イチローを獲れ」とのことでした。

1992年にマリナーズの筆頭株主となった日本のゲーム会社が球団に残した功績として、地元メディアは2001年にオリックスから獲得したイチロー外野手(現マーリンズ)の補強を挙げています。ESPNが報じたのは、米4大スポーツ各チームの強さ、強化費、チケット代の安さなどファンの満足度をアンケート調査し、全122球団を格付けする企画を行ったことです。マリナーズは前年度から26位もランクアップし、全体の78位となりました。優勝争いでは115位、オーナーの評価は85位、コーチの評価

は88位、選手の評価は95位など低評価となったマリナーズですが、本拠地セーフコ・フィールドの「スタジアム体験」では14位と高評価をゲット。全体では2015年シーズンよりも順位を上げました。

地元の特集では、「新しくなったこと」という項目で、任天堂オーナー時代を振り返り、任天堂は地元の17のオーナーグループに持ち株を譲渡しましたが、シアトル在住のオーナー体制が生まれたのは、1981年以来だといいます。任天堂が1992年に買収したこと、マリナーズはシアトルからの移転を免れることができたと解説していますが、それ以外の功績として、今季メジャー史上30人目の通算3000安打を達成したイチローの獲得が登場したのです。「任天堂はマリナーズにとっても様々な良いことをしてきた。例えばチームのレジェンドであるイチロー・スズキとの契約だ」と広く広報されました。

マリナーズは2000年11月、オリックスからボスティングシステム(入札制度)でメジャー挑戦に踏み切ったイチローとの交渉権を獲得。3年総額1400万ドル(約14億5000万円)で契約を結びました。イチローは1年目の2001年に圧巻の活躍でMVP、新人王、首位打者、盗塁王を獲得。この年から10年連続でシーズン200安打、オールスター出場、ゴールデングラブ賞獲得も達成。2004年にはシーズン262安打のメジャー記録を打ち立てたのです。球団の“レジェンド”となったイチローの獲得は、任天堂の大きな功績だと振り返っています。マリナーズはイチローだけでなく、佐々木主浩投手、長谷川滋利投手、岩隈久志投手、川崎宗則内野手、青木宣親外野手ら多くの日本人選手を獲得しました。

しかし、任天堂は2016年8月22日に、米子会社が保有する米大リーグ球団シアトルマリナーズを運営する会社の持ち分の一部を売却することが正式に決まったと発表し、売却額は6億6100万ドル(約660億円)。今後の連結業績に与える影響額については、計算と確認に時間がかかるため確定後に開示するとしたのです。



第6.5節 「墮落論」、代沢小学校の代用教員－坂口安吾

(2020年3月 第25号)

後世に名を残す人にはとくに破天荒な人が多いようです。こうした偉人の生き様を垣間見るのは如何でしょうか。勿論そうでない人も多く居られるでしょう。

6.5.1 小説家 坂口

1) 食の好み

私のオジヤでは、鶏骨、鶏肉、ジャガイモ、人参、キャベツ、豆類などを入れて、野菜の原形がとけてなくなる程度のスープストックを使用する。三日以上煮る。三日以下では、オジヤがまずい。(略) このスープストックにご飯を入れるだけである。「わが工夫せるオジヤ」より) お判りでしょうか。これは坂口安吾が、酒で胃を痛めてから考案した、特製オジヤです。ご飯はとろける様に柔らかくなるまで30分間も煮込み、スープでご飯を食べる時に、キャベツとベーコンを少量刻んで入れます。味は塩・胡椒で整え、最後は卵をとじ入れ蓋をして蒸します。そして京都の「ぎぼし」の昆布を乗せて食べます。このオジヤで安吾は体調を整え直したそうです。安吾のもう一つの朝食献立は、魚肉サンドイッチで、トーストにバターを塗り、生鮭を焼いて熱いうちに醤油に投げ入れ、3日程漬け込んだものを食べるのです。「魚肉とバターが舌の上で混合する味がよろしいのである。」とも書いています。

2) 略歴

坂口安吾は明治39年(1906年)～昭和30年(1955年)、新潟県出身の小説家、評論家です。安吾は新潟の中学校から東京の私立中学校(現・日大豊山高校)に編入しました。そこを卒業する2年前に政治家であった父が死亡し、その財産整理で約10万円の借金が残っているのを知りました。安吾は責任を感じて、教員になることを決意しました。

大正14年(1925年)3月、安吾は卒業と同時に、荏原尋常高等小学校(現・若林小学校)の代用教員に採用され、勤務はその分教場(現・代沢小学校)でした。



(ゴミに囲まれて執筆中)

2年間掃除をしないで紙くずで埋もれた部屋でペンを走らせている安吾が目に浮かびます。「負ケラレマセソ勝ツマデハ」(税金滞納により差押えを受けた安吾が、何が正しくて何が間違っているかを世に問おうとした日記体のルポー税務署対策ノートは5冊にもなった)と叫ぶ安吾の声が聞こえてきませんか。

大正14年(1925年)3月31日から1年間、荏原尋常高等小学校(現・若林小学校)の分教場(現・代沢小学校)(註1)の代用教員を勤めました。当時としては全く珍しい汽車を使った遠足を行う等ユニークな教育手法で人気があったようです。その後、東洋大学印度哲学倫理学科を卒業し、アテネ・フランスでフランス語を習得しました。戦後「墮落論」によって文壇に華々しく登場し、「白痴」「外套と青

空」「女体」等は好評を博しました。)
坂口が流行作家として華やかに活躍したのは昭和20年代で、早くから小説家を目指しましたが、時代の脚光を浴びたのは戦後になってからです。

3) 作風

新文学の旗手として矢継ぎ早に発表された作品は、混乱した世相に衝撃的な反響を呼びました。当時の作品「墮落論」や「白痴」を改めて読み返してみると、人間の裸を見つめ、そこから翻つてくる人間の復元力に信頼と希望を寄せていたのではないかと思われます。破滅型の作家として薬物中毒、発狂、入院等で自らを追い詰めました。その八方破れの生命の燃焼の中で、昭和30年に49歳の若さで急逝しました。

6.5.2 代用教員 坂口

1) 教育哲学

作家としての安吾について多く語られていますが、若い頃に1年間だけ代用教員の職にあったことはあまり知られていません。その時代の出来事は彼の自伝的作品「風と光と二十の私と」(「本当の美しい魂は悪い子供がもつてゐる」「どうしても悪いことをせずにゐられなかつたら、人を使はずに、自分一人でやれ。善いことも悪いことも自分一人でやるんだ」)の中に描かれています。受け持ったのは男女合わせて70名もいる5年生。しかし仕方なく先生になった割には、この主人公は子供の心を掴み取り、その生徒がどんな場面で才能を發揮できるかを見抜く力を持っていました。「本当の美しい魂は悪い子供がもっているので、あたたかい思いや郷愁をもっている」「こういう子供に無理に頭の痛くなる勉強を強いることはない」など坂口安吾による子育ての哲学も綴られています。そこには安吾の青春の屈折した悩みと、悟りの境地に憧れて静穏な生活を保とうとする精神とが奇妙に交錯した光景があります。と同時に人間の内面に注ぐ目の鋭さを感じさせます。同僚教師に対しても。小学5年の子供に対しても、それは同じです。人間の本能的な姿勢や動きを見逃していません。安吾の完成の自然な動きが見事に捉えられたのでしょう。それだけに、安吾の人間を見る目の温かさを感じさせる好短篇となっています。



(くわえ煙草で外野を守る)

特記するのは授業には新しい試みを取り入れていました。その一つはドッジボールという球技です。安吾の持参した革製の大きいボールが卒業生に強い印象を残した様です。ルールは簡単ですから、生徒はすぐに慣れて熱中しました。次は走る生徒のタイムをストップウォッチで正確に計測しました。対外

的な試合では珍しいことでは有りませんが、授業の中で実施したのは安吾が初めてでした。全生徒が対象だったので、卒業生は今でも牛乳屋の子供が一番早かったと覚えているそうです。そうした背景には安吾が学生時代に野球・柔道・水泳・陸上等の万能選手として活躍し、分教場の体育主任だったことが考えられます。

また、授業には直接関係しませんが、電車（渋谷一逗子）を利用した遠足を実行したのは安吾の時が初めてで、それ迄はすべて歩く遠足だったのです。その時の記念写真を見ると、場所は逗子海岸です。初夏を思わせる季節なのに、安吾だけが少し暑苦しそうな服装をしています。鳥打帽を被り、真っ白なワイシャツとネクタイが目を惹（ひ）きます。それにレインコート？まで着ているのです。遠足にしてはきちんとし過ぎている感が有ります。当時は羽織に袴（はかま）の多かった時代だったので、洋服ではこれが普通だったのでしょう。安堵の性格や身辺の事情から察すると、無造作に毎日着ている洋服を身にまとったのでしょう。小説を読むと、下宿にはわずかな着替え位と書いています。そして襷（ふんどし）を壁に掛けたりする変わった整理方法を取っています。この事は笑い話として父兄の間に広まったそうです。

2) 坂口（阪口）、安吾（炳吾）

現在も保存されている安吾の履歴書から、いくつかのことが分かります。氏名が「坂口炳吾」となっているのも有ります。今はその真偽は別にして、安吾という名前がいつ頃から使われたのか、はっきりしていません。しかし、学校の記念誌等に坂口安吾と記載されていることから察すると、かなり早くから使用していたのはないでしょうか。更におかしなことは履歴書の印の欄が「坂口」ではなく「阪口」となっています。ただ貴重な文書なので見とがめられそうな気がするのは、今の感覚かもしれません。当時は問題にするほどのことではなかったのかもしれません。小学校5年生の時に直接教えを受けた方がインタビューで、「炳吾」という安吾の本名を生徒達は知らなかった様です。学校生活では「坂口先生」で要は足りるし、正確な本名を知る必要はなかったのでしょうか。現在でも事情は似ているのではないでしょうか。次に「阪口」という印は、通信簿にも使用していました。履歴書と全く同じもので、文字の欠けた部分も合致しています。ここにも時代の暢気さが有る様で、安吾も平氣で「安吾」と署名し、「阪口」という印を使用していたのでしょうか。

（写真家の坂口綱雄は晩年に生まれた一人息子です。）



（お酒でいい気持ち）

人生を豊かに（雑学の進め）

映画「カサブランカ」を覚えてますか。あの幕切れの場面で、死刑のリスクを冒して、リック（ハンフリー・ボガード）が、かつての恋人（英格リット・バーグマン）とその夫ラズロを亡命させるところは人の心を捉まえてやみません。あの亡命するラズロは、反ナチスの地下運動のリーダーで、米国

に逃避しようとしている設定です。実は、あのモデルは、カレルギー・クーデンホフで、有名なクーデンホフ光子の次男です。ヨーロッパ合衆国を提唱し、ヒットラーに嫌われ、米国に亡命したEUの生みの親とも言われている人でした。クーデンホフ家は代々美男子の家系で、カレルギー夫人は有名映画俳優でした。

光子は、明治時代に社交場として評判の高かった芝の料亭紅葉館の女中として働いていましたが、紅葉館を辞して自宅で暮らしていました。ある冬の日、オーストリアの外交官が、乗っていた馬が氷で滑った際に落馬して負傷した際、彼女の手厚い看病にその外交官が感激して、結婚することになりました。その外交官は、オーストリアの駐日外交官ハインリッヒ・クーデンホフ伯爵で、光子は伯爵夫人としてオーストリア社交界の人となりました。 ゲラン社の発売している香水「ミツコ」は、彼女の名前をとって命名されたと言われています。

耳寄り情報

高嶋ちさ子（バイオリニスト 知佐子 1968年8月24日生）の父の話です。

ある日、オールスタッフの岩崎さんが、1本のテープを持ってきました。彼女は映画評論家・岩崎昶さんのお嬢さんで、東芝のディレクター時代は、いずみたく。永六輔と組んでデュークエイセスの日本の唄シリーズを作りあげたギリシャ系美人です。そのテープの中には、いずみたくが作曲するCMソングを数多く歌っている女性の声が入っていました。聞けば、元・童謡歌手で名前は安田章子です。テープの声は申し分なく美しく、すぐに彼女と会ったところ20歳を少し超えた頃に見え、ジュンや若い学生を手掛けた私には、ずいぶんと大人の歌手に見えました。しかし、とても上品なので、流行歌主として続くかなと思いました。

面会時の彼女はピンクがさした笑顔で、東芝の裏手の電気工業会館でのことです。企画の打合せで、いずみたくさんは上品なお色気の歌を作りたいと主張し、2曲を彼女にあてました。3曲目はいずみさんのリクエストで、当時TBSの番組「夜のバラード」のテーマを入れて、上品なお色気の歌が出来上がりました。しかし、ピンと来ませんでしたが、色気は自然と滲み出るもので、狙って出せるものではありません。狙って出せるのは、下品なお色気です。

初めはあまり当てにしていなかった「夜のバラード」のテーマが浮かび上がってきました。番組で評判を呼んでいましたが、演奏物で流れていました。安田章子の企画なので、歌なしではなく、結局ワン・コーラスをルルルとしました。三曲完成したのを聞いても、やはり「夜のバラード」しか勝負曲が有りませんでした。タイトルは岩崎さんと考え、ワン・コーラス歌詞がないので、「夜明けのスキヤット」としました。1926年頃に録音中のルイ・アームストロングがとっさの機転で編み出したといわれるジャズの一つの唱法スキヤットとは少し違いますが、雰囲気は「よかったです。芸名の由紀さおりは岩崎さんが命名しました。

当初はTBSから放送されましたが、不思議なことに他局からも流れ出し、初回5,000枚だった「夜明けのスキヤット」はプレス・オーダーを増やしながら、とうとう発売日には20万枚に膨れ上りました。ついにミリオン・セラーになりましたのは、ご存じと思います。

第6.6節 「自然の中の教会」－賀川豊彦

(2020年05月 第27号)

6.6.1 キリスト教社会活動家

賀川豊彦。1888年（明治21年）～1960年（昭和35年）。兵庫県出身で、キリスト教社会運動家です。彼は学生時代に徳富蘆花の講演を聴き、訪れても会えなく、手紙を出しても返事を頂けませんでした。彼の自伝小説「死線を越えて」を読んだ徳富蘆花は加賀豊彦に手紙を出し、1924年（大正13年）の八王子講演に行く途中で粕谷の賀川を訪れました。その時の徳富蘆花の熱心な勧めで松沢（世田谷区上北沢3-8-19）に居を設けましたが、落ち着かず、伝道・労働運動・協同組合活動に飛び回りました。

1905年（明治38年）賀川豊彦は中学校卒業を目前にして、軍事教練の時間、突然銃を地面に投げ出して、「人殺しのまねはいやだ」と叫んだことがあります。怒り狂った教官は、その顔をなぐりつけ、足蹴にし、校庭に倒れ、血に染まってうめいていた賀川は、自己を平和主義者の一人として任じて悔いは有りませんでした。

賀川豊彦は1914（大正3年）年にプリンストン大学へ、ハル夫人は横浜共立女子神学校へ神学研究のため入学し、1916（大正5年）年にプリンストン大学からB.D.を受けました。

1917年（大正6年）アメリカから帰国すると、直ちに神戸のスラムにもどって、キリスト教伝道と社会事業をはじめた。プロテスタントの熱心な牧師だったので、説教壇からキリストの教えを説き、人間の魂の救済に熱弁をふるいました。大正時代の日本は貧しい人々が数多いました。都市にはスラム街があり、貧困と犯罪と疫病が巣食い、農村は貧しく、ひとたび凶作に襲われると、多くの農民が日々の食料にも事欠く有様でした。労働者の待遇は、今とは比較にならない程、悪かったです。しかし、社会福祉の言葉すら、当時には有りませんでした。人も国家も貧しかったのです。



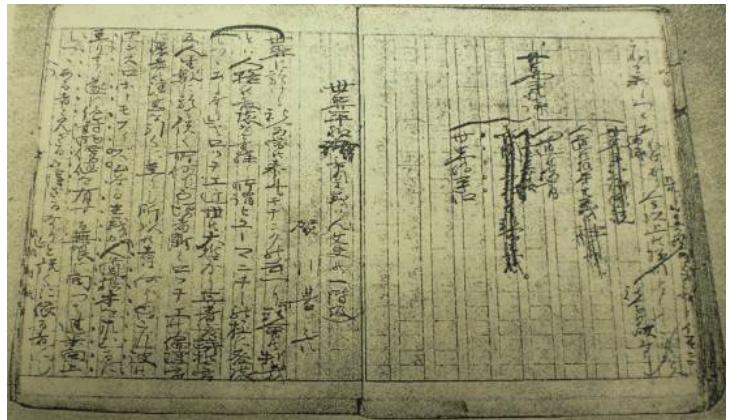
(神戸のスラム街)

賀川豊彦はこのような状態を看過出来ませんでした。社会の底辺で苦しむ人々の中で働くのが、宗教家としての自分の務めと考えていました。そこで加賀豊彦はスラムの街角で伝道し、貧民救済事業を起こし、日本の労働組合の母体である友愛会の役員として活躍しました。また、日本農民組合の結成に参加したり、生活協同組合や保険制度の基礎を築きました。

6.6.2 小説家

賀川豊彦は、単なる行動の人ではなく、小説の一つ「死線を越えて」はベストセラーになり、神戸新川のスラム街での伝道生活が描かれ、売春、ゆすり、賭博等の罪悪と戦い、信仰を広める捨て身の体験が身に迫ります。1920年（大正9年）にこの小説が発表されると、読者の心を大きくとらえ、発行部数は数十万部に達し、十数か国語に翻訳された名著です。

賀川豊彦の世田谷とのかかわりあいは、1924年（大正13年）に遡ります。この年3月、賀川は北多摩郡千歳村の徳富蘆花が田舎生活をしている粕谷を訪れました。徳富蘆花の小説「不如帰」は、結核の為引き裂かれる夫婦の悲劇を描き、多くの読者を得ました。賀川豊彦が貧困という社会の病を描き、大正期で最も売れた著者になったのに対し、徳富蘆花は結核という当時の不治の病を描き、明治時代のベストセラー作家になりました。



賀川豊彦も若い頃、「不如帰」を読み、心を動かされた一人で、明治学院大学で神学を学んでいる時、勉強の無理がたり、肺結核になりました。そこで、死を覚悟し、短い生涯を有益に送る為、神戸のスラム街で伝道に従事したのです。そこで得たのは、「死を飛び越えて、神秘の世界に突き込んでいると云う一つの信念」で、これにより病を克服したのです。

その活躍ぶりを徳富蘆花は、賀川豊彦の著作を読んで知り、若い頃受洗してキリスト教の伝道に出たことを思い出しました。徳富蘆花の信仰は常にぐらつき、父に対する憎しみ、兄・徳富蘇峰との確執等によって、徳富蘆花の心は内向しました。そこから見ると、破産した実業家の私生児に生まれながら、まっすぐな信仰の道を歩む賀川豊彦は、見所が有る人物でした。徳富蘆花は仲睦まじい夫婦に子供が生まれないことを、以前からかなり苦にしていたので、後継ぎを探していました。

1922年（大正11年）、神戸湊川（みなとがわ）教会で聖書の講義をしていた賀川豊彦を、徳富蘆花は不意に訪れ、「僕の顔を覚えているか。親の顔を見ろ。親の顔を知らんものがあるか」徳富蘆花の奇妙な挨拶に、賀川豊彦は戸惑うばかりでした。翌々年の粕谷での再開の時、賀川豊彦は35歳で、神戸で自ら始動した川崎・三菱両造船所の労働争議が敗北したこともあり、社会運動の一線から退いて伝道活動に重点を移す頃でした。

1923年（大正13年）の関東大震災の時に上京して、下町の被災者の救済をきっかけに、消費組合運動を東京に広げました。結核で死にませんでしたが、肺の調子は依然悪く、スラム街で感染したトラホームが悪化して失明の危険が有りました。更に、腎臓にも障害が有ったのです。しかし、活動の意欲は衰えないで、全国を巡り「百万人救靈運動」を始めようとしていました。

徳富蘆花を訪問したのも、旅の途中に立ち寄っただけのことでしたが、徳富蘆花に熱心に勧められた隣の村、荏原郡松沢村に引越し、1926年（大正15年）迄住みました。当時、この村は人口七千人程の近郊農村で、十年程前に開通した京王電車が田畠をまっすぐに突っ切っていました。賀川豊彦は近くの祖師谷に武蔵野農民福音学校を開きました。これは賀川豊彦が全国に作った一種の寺子屋で、聖書を講読し、農業技術の指導と共に同組合の復旧に当たりました。

1927年（昭和2年）に徳富蘆花は旅先の伊香保で死去し、その翌々年、ふたたび松沢村に戻った賀川豊彦は、現在の上北沢に教会堂を建てました。また、武蔵野の面影を残す小さな森陰（もりかげ）に住居を構えました。

全国各地を巡り、荒廃した農村も見ては胸を痛めた賀川豊彦にとって、伝道の合間に体と心を休め、また信仰を求める人々を迎える場所として、この場所はうってつけでした。賀川豊彦の足跡は国外にも及び、海外伝道の旅は戦前戦後を含め18回にもなり、戦後は世界連邦政府の樹立を訴え、その名は海外にも知られ、晩年にはノーベル平和賞の候補と目されました。

森陰の自宅の周りの森の新芽を見かけると、ハル夫人が摘み、火で煎って新茶をたました。賀川豊彦は宗教・哲学・文学・自然科学・農林水産や小説以外にも、詩集や歌集を出し、生涯に200以上の著作を著しました。1959年（昭和34年）1月、老体に鞭打って伝道に出た賀川豊彦は、高松で心筋梗塞に倒れ、自宅で療養生活に入りました。30年住むうちに、自宅周囲の風景は変わり、住宅が立ち並び茶の木は切り倒されていました。

だが、春になると、庭の八重桜の木の下に1本だけ茶の木が生えているのを夫人が見つけ、賀川豊彦は久しぶりに手製の新茶を味わいました。そして、「私は一杯の茶碗に盛られた茶をすすりながら、神の与え給う新しき春の香りに酔うた」と書き記しました。賀川豊彦の永久の休息が訪れたのは、1960年（昭和35年）の4月のことでした。



（バートランド・ラッセルと賀川豊彦）

賀川記念館(かがわきねんかん)は、1909年に始められた賀川豊彦とその仲間たちによる働きと志を引き継ぎ、コミュニティセンターとして地域福祉に努め、平和を望み、共に生きる社会をつくることを目的として設置されました。（神戸市中央区吾妻通5-2-20）

（参考：永瀬淑子氏 写真はYahoo JAPANから引用）



風の旅人 (松沢教会内部)

人生を豊かに（雑学の進め）

スーパーに買い物に行くと、入口に野菜を陳列している場合が多いですね。野菜⇒魚⇒肉⇒加工食品⇒惣菜⇒レジが多いでしょう。その日の献立が決まっていない時は、反対の総菜コーナーから買い物を始めると良いです。最初に野菜を見て、買っておくと使えるかなと思いながら、つい安売りの野菜を買っていませんか。まず、惣菜コーナーで献立を考えてから買い物を始めると無駄が有りません。

東京ガスが行った「生活分野別調査」（2015年）では、主婦の8割が「毎日の献立を考えることは面倒」と回答しています。子育て、家事パートと、かなり忙しいのです。その合間に献立を考えることは、苦痛でしょう。

献立を考えないでスーパーに行くと、美味しそうに見えませんか。スーパーではネット販売が増え、イトーヨーカドーではオーダー後、最短4時間で約3万項目の中からオーダーした品物を届けてくれます。16時から17時を除く23時間営業です。そこに申し込みをすると、入会金や年会費は無料です。

配達料金は330円/回（税込み）ですが、子育て中のママは102円（税込み）です。nanacoポイントは付きますが、IYカードのポイントは付きません。自分のゆっくりした時間が持て、買い過ぎも防げます。チラシで特売品も選べます。是非、お試し下さい。（参考：萩原博子氏）

第6.7節 放浪記—林芙美子

(2020年08月 第30号)

故郷と言える場所を持たず、飢えと絶望に苦しむ自伝的小説の作者が一時世田谷の太子堂に住んでいました。その人となりを紹介します。

生前、色紙等に好んで描いていたのは、有名な『花の命は短くて苦しきことのみ多かりき』です。林芙美子は明治36年(1903年)～昭和26年(1951年)の生涯を小説にかけた山口県出身の小説家です。大正14年(1925年)に世田谷区太子堂(三軒茶屋駅下車)円泉寺の近くに居(世田谷区太子堂3-29)を構えていました。

閑話休題 太子堂の名は、円泉寺境内にある聖徳太子像(伝・弘法大師作)を安置した太子像に由来する。文禄4年(1595)、大和国(現・奈良県)の久米寺(今奈良県橿原市)より太子像と十一面觀世音像を背負って関東に下った真言宗の賢恵僧都は、この他の民家に一泊した際、夢に聖徳太子が現れたという。夢のお告げを受けて賢恵和尚が本堂と聖徳太子堂を建てたのが、円泉寺の由来とされている。今は泉が湧き出でていないが、名前の通り、この辺りはかつて靈泉の湧き出る清浄な地だった。また、太子像は難病を治す靈験があるといわれ、参詣する人でにぎわったとされる。

閑話休題 三軒茶屋の名は、江戸中期以後、今の世田谷通り・玉川通りの分岐点の三叉路にできた「しがらき(のちに石橋楼)」「田中屋」「角屋」の三軒のお茶屋に由来する。民衆の間で「大山詣」が盛んになった頃の話である。不動明王座像を乗せた三叉路の道標は、今も同地に残されている。

大正14年(1925年)の世田ヶ谷町(当時)の人口は8,600人余で、太子堂界隈は畠と竹藪だらけの所でした。当時は農業が主の町で、肥桶(こえおけ)を乗せた牛車がゆっくり通う農道の延長には、少しの雨でも露地裏は泥んこになるので、まさに泥沼の船の様な太子堂の家とも感じ取れますね。当時は安普請の貸家が多く、お金が少ない文士達が住むには格好の場所でしょう。文士の生活は更に貧しかったと容易に想像出来ます。そして、昭和5年(1930年)、暗い人生経験を日記体で記した小説「放浪記」がベストセラーになりました。

実父は宮田麻太郎、母はキク。麻太郎が認知しなかったので、娘は『林フミ子』として、母方の叔父の戸籍に入りました。麻太郎は下関で安売りやテキ屋で当て、明治40年(1907年)若松市(現・北九州市若松区)へ移って繁盛ましたが、浮気して母子は明治43年(1910年)、番頭の沢井喜三郎と家を出ました。養父と母は北九州の炭坑町を行商して回り、芙美子の小学校は長崎・佐世保・下関と変わり、喜三郎は下関で古着屋を営んで小康を得ましたが大正3年(1914年)倒産し、11歳の芙美子は本籍地の鹿児島に預けられたのち、旅商の両親に付いて山陽地方の木賃宿を転々としました。大正3年(1914年)10月(11歳)、石炭産業で栄えていた現在の福岡県直方市に移り住んでいます。

林芙美子が世田谷の太子堂に大正14年(1925年)頃住んでいたことを知る人は、案外少ないので

ないでしょうか。小説家壺井栄の「はたちの美美子」には、太子堂の二軒長屋に美美子と隣同士に住んでいた頃のことが書かれています。美美子は詩人野村吉哉と住み、彼女自身詩や童話を書き、貧乏なその日暮らしをしていました。平林たい子の小説「林美美子」(1969年新潮社刊)にも貧乏生活のことは克明に記されています。

「放浪記」を読むと、坂道やモーターの音の記述が有り、尾道を思い出させるのでしょう。尾道は坂と海の見える街で、美美子の郷愁の原点です。美美子は半ば現実を見、半ば想念世界を眺める夢多い少女でした。玉川電車を見ると、「電車に乗る人か何かのように立ってはいたけど」と書いてありますが、間違いなく玉川電車を見ていたのです。美美子は鉄道ファンでした(今で言う「鉄女」)。汽車で各地へ行商して歩いた過去は、汽車への愛着を深くしました。行商していた彼女の義父は汽車旅の名人で、車窓から街を見ただけで自分の商品が売れるかどうか判ったそうです。儲かると思って下りた尾道、そこに放浪者はしばし居着いたのです。坂と海と寺のある尾道は、美美子にとっては忘れがたい街でした。

最後に、「放浪記」の冒頭です。「私は宿命的に放浪者である。私は古里を持たない」と語った様に、九州各地を点々とし、そして尾道にたどりつき、彼女は女中や帆布縫製のアルバイトをしながら尾道高女に通いました。高女に通うというのはまれな時代で、やっと卒業して上京しました。若い情熱がほとばしる、男性との恋を重ねるが、うまくはいかない。下足番、宛名書き、夜店の手伝い、代書、女中、売り子、女給という職業遍歴を重ねる。その間、詩や童話を書きました。

何冊かの粗末な日記帳を、美美子は23歳で結婚した画家である夫手塚緑敏にさえ、終生読まれぬよう隠し、いつか処分したようで、死後も出てはこなかったそうです。幼少の折から恐ろしき貧しさを強いられた美美子の、心身に染み付き渡った貧困回避欲求がもたらした勤勉さの生涯だったのでしょう。



1951年4月に撮影（47歳）



おことわり 御存知でしたかは 北条重時の家訓として第12章に掲載しました

第7.1節 国指定重要文化財-帆船日本丸90歳と私

(2020年01月 第23号)

海の貴婦人とも称される帆船日本丸、青少年時代にあこがれた方も多いものと思います。そんな少年の一人でした私の思い入れを含めてお話を勧めます。

7.1.1 日本丸との因縁

平成31年（2019年）の年明けの話題は平成天皇退位による新年号でした。

1月25日（金）には東京都市大学（旧武蔵工業大学）校友会の新年会（神奈川三支部・横浜支部・川崎支部・湘南支部合同）が横浜崎陽軒本店で行われました。新年会の開催前も小雨がそぼ降る中、大好きな日本丸に思いを寄せながら小走りで繫留（けいりゅう）ドックに向かうと、マスト越しに見えたのはドックで海水が抜かれた日本丸で、甲板から下部はシートで覆われていたので、宝物を探す様に注意深く1周しながら写真を撮りました。



海水が抜かれた日本丸は、どの様にして背筋を伸ばして雄姿を見せているのでしょうか。ドック内の転倒防止策は、甲板のレベルから水平に設置された鋼材がドックの壁面に固定され、あの大きな帆船が水平を保っていました。

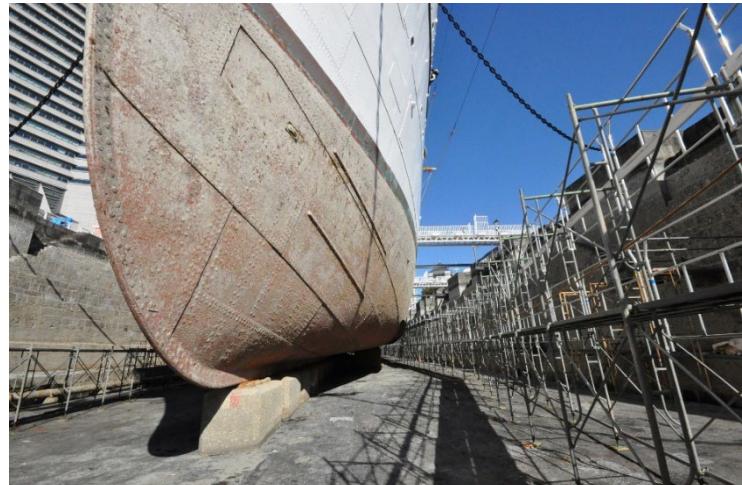
閑話休題 私は平成25年（2013年）から毎年1回「横浜みなと博物館」での帆船模型展を鑑賞が楽しみで、思い起こすと横浜伊勢佐木町の有隣堂の展示会の頃に遡り、その頃の展示会には帆船日本丸がほぼ毎回展示されていました。これからも元気なうちは展示会に向かいます。私の青春時代には船舶に乗船する仕事に就く夢を持っていました。もしかすると帆船日本丸で訓練を受けていたかもしれません。それくらい帆船日本丸が好きなのです。夢は叶わず、物つくりが高じて建設業に就き、仕事でのストレスを解消するのがプラモデル作りでした。帆船新日本丸は組み立てを開始してから約1年後の平成6年（1994年）に完成しました。25年前なので、今ではパーツの接着部が剥がれています。



日本丸は美しい帆船の練習船で、胸の高鳴りを押さえながら「横浜みなと博物館」の扉を開けると、日本丸保存維持の寄付が目に留まりました。早速寄付をさせて頂き、公益財団法人帆船日本丸記念財団の総務部課長が出てこられ、感謝の言葉を頂くと同時に大規模改修作業中の日本丸の見学の案内を頂き

同行もして頂きました。わずかな寄付ですが、大きな驚きと感謝で胸が一杯になりました。(帰宅後、少し体重が増えた気がします。気のせい?) 織田信長時代の人生50年をとうに超えた77歳で予想もしなかったマンツーマンでの案内に甘えました。

ドッグの壁面の階段を降りドックの底部に着くと、船底中心の「キール」(船の竜骨)や曲げ加工された鉄板がリベット((英: rivet)は、頭部とねじ部のない胴部からなり、穴をあけた部材に熱したリベットを差し込み、専用の工具でカシメることで反対側の端部を塑性変形させて接合させる部品)で固定されている状態や大きなスクリュー等、普段は見ることが出来ない水面下が見えたのは、本当に生涯で二度と無い体験です。日本丸を改修していること、博物館に入らなければ寄付も知らなかつたこと、そして改修中の現場が思いがけなく作業休止で見学が叶つたこと等が重なり、その夜は興奮してなかなか寝付けませんでした。



ドック内日本丸周囲全体に足場を増設－(公財)帆船日本丸記念財団所蔵)

帆船日本丸は4檣(じょう一帆柱のこと)バーカ型の帆船(4本のマストがあり、最後尾のマストに縦帆が、他のマストには横帆がある)で、定員138名(練習船時代196名)、総トン数2,278トン、全長97m(ハウスブリットー船首樓甲板の前に出ている突起ーを含む)、幅13m、平均喫水(喫水は船体の一番下から水面までの垂直距離のこと)5.3m、総帆数29枚(畳1,245枚ー練習船時代35枚)、最高マスト高さは水面から46mとなります。

7.1.2 改修作業中の日本丸

船の外壁鉄板を曲面に加工する「技」、曲線の船底の鉄板を2枚、3枚と重ねてのリベット止めは、内・外側の職人たちの意思合わせ(打音か?)が必要です。相互にリベットを打つ時の受け側がしっかりと受け止めないと、リベット穴が完全充填出来ないで漏水を引き起こします。また、満載喫水線より下の船底は赤く塗られていることが多いのは、フジツボなどの海洋生物の付着を防ぐための塗料として使われる防汚剤で、その主成分には赤色系の成分の多い亜酸化銅が多いことが理由と言われています。

閑話休題 私は昭和40年(1965年)に建設会社に入社後、最初に従事した建物が鉄骨・鉄筋コンクリート造の某大学記念館でした。柱鉄骨の接合方法がリベット工法で、真っ赤に焼かれた長さ6~7cmのリベットを2階の高さ(約7m~10m)迄投げ上げ、上部でそれを受ける人が素早く鉄骨と鉄骨の穴に差し込み、職人が治具で押し入れ、もう一方の職人がエアハンマーで叩きながら充填します。日本丸のリベット作業も同様と思われます。リベット打ちは短時間で行わないと、リベットが冷めるので充填が出来なくなり密着しません。私は約47年間も建設の管理業務をしましたが、リベットを使用したのはこの建物のみなので、日本丸船体のリベットを見ていると、当時が懐かしく思い出されました。

現在では船舶の鉄部の接合は最新の接合技術を使用し、船をブロックで建造し、施工時間がかなり短縮されているのでしょう。建築はハイテンションボルト（一般的な鋼材よりも引張強度を向上させた「ハイテン鋼」や「高張力鋼」と呼ばれる鋼材で作られた高力六角ボルト）での接合と溶接接合ですが、溶接機が機械化され自動的に高品質の溶接結果が得られますが、人間が確実にセットすることが必要です。

日本丸を見学した2日後の1月27日の朝日新聞に「日本丸89歳「技」を知る好機」と大きな見出しで紹介されました。横浜市西区のみなとみらい21地区で保存展示されている「帆船日本丸」は、東京オリンピック開催の令和2年（2020年）1月



足場内の船尾のプロペラ

27日には昭和5年（1930年）1月27日の進水（誕生日）から90歳になります。

「太平洋の白鳥」「海の貴婦人」と呼ばれ、半世紀以上に渡って活躍した日本丸が、約20年ぶりの大規模修繕が行われているとの内容でした。改修場所は日本丸メモリアルパーク第1号ドックで、改修の概要是船体や船底の鋼板等の腐食部分尾の修繕、甲板や漏水部分の木甲板の張替えやエントランスからの漏水防止処理、ひび割れたヤード（帆桁）の交換、老朽化したワイヤーの塗装・交換・防錆処理、搭載機器や居室の修繕となります。事業費は約6億円が見込まれました。

7.1.3 過去の改修作業

過去には平成2年（1990年）11月24日～平成3年（1991年）3月11日、平成11年（1999年）1月14日～平成11年（1999年）2月20日にも大規模改修が行われました。主な改修の流れは、

① ドックの排水：排水はドックの壁（渠壁）や底部（渠底）に大きな圧力がかからない様に、ドック内の海水とドック周辺の地下水のバランスを考慮しながらゆっくりと行い、ドック内の海水は、約5万m³にもなります。平成2年度の工事では、排水スピードは水位低下1日約1.3m、8日間かけて排水しました。

②船体据え付け：ドック内排水により水位の低下が進むと、船底のキールがドックの底部にある盤木（支持台）に乘ります。盤木に正確に据え付ける為に、ダイバーによって船底と盤木の位置を確認しながら、排水を進めました。

③ドックの壁・底部の清掃と船体の高圧洗浄：ドックの底部に降ろした高所作業車を利用して、フジツボや海藻、船体の塗装や錆などを高圧水で洗浄しました。

④外板補修：外板の板厚を計測し、摩耗や腐食が進んでいる部分の補修を行いました。平成2年度は、船尾の唐草模様部の外板の張り替えを行いました。

⑤塗装：一連の船体の補修工事後、下地処理後に船体全体の塗装を行いました。

⑥ドックへ注水：塗装工事の終了後、ドックへの注水と船体浮上の準備作業として、船内へのバラス

ト注水や扉船の点検等の確認作業を行いました。その後、扉船下部2か所の注水口から注水を開始し、1日目は、船体浮上の約1m手前で注水を終了し、漏水箇所点検を実施しました。注水2日目にドックが満水になり注水を終えました。

⑦平成2年度のその他工事：甲板上では、ウェルデッキ両舷のピン・レイルの取り換え、木甲板の張り替えを行いました。また、メインマストのトップゲルンマストの取り換え工事や木製ヤードを取り外しての下地処理、塗装処理、船体内部では、操舵室や実習生居住区の木甲板の張り替え、船内の総塗装を行いました。その他、船尾の唐草模様や扉船の補修なども行いました。



7.1.4 私との不思議な縁

今回日本丸が昭和5年（1930年）誕生の記事で不思議な縁と思わざるを得ないのは、東京都市大学が昭和4年（1929年）の創立校で、令和元年（2019年）で創立90年となるので、日本丸よりも1歳お兄さんです。

筆者は中学生の頃、帆船日本丸についての深い知識は持っていました。単純に美しい帆船であり、船員養成の練習船である程度でした。2019年1月27日の「日本丸大規模修繕」の記事を見て、高校生の頃からの青春時代に描いた夢が実現出来なかったことを思い出したのです。更に、日本丸についての多くの歴史を知ったことで、私が日本丸と多くの「縁」があったことに改めて驚きました。

日本丸の浸水（誕生日）は1930年（昭和5年）1月27日の神戸です。私は1942年（昭和17年）4月27日の東京生まれで、太平洋戦争が勃発（1941年（昭和16年）12月8日）から約5か月後の誕生です。午年です。日本丸も一回り上の同じ午年で、私のお姉さんにあたります。

私は戦時下の東京から疎開しないでそのまま居続けましたが、空襲による被害は有りませんでした。日本丸は戦時下の中で、訓練船だけではなく、運搬船として苦労をしていましたが、被害を受けないで生き残ったのです。

私は終戦の翌年に川崎市に転入し、1946年（昭和21年）、そして1949年（昭和24年）に小学校に入学しました。当時はラジオが大きな情報源であり、流れてくるテンポの良い明るい歌謡曲が子供心に残っています。その一曲が「憧れのハワイ航路」（昭和23年キングレコード発売・歌岡晴夫）で、現在でも旋律ははっきり頭に残っています。映画も上映され、戦後の苦労の多い時代に、外国には船で行くとの思いが強くなり、船に関する仕事に将来就きたいと思うようになりました。

一方、モノつくりも好きだったので、「造」ことで造船の道、または船を運行する側の仕事を求め、工業系の学校に進みました。この頃、美空ひばりの「港町十三番地」（昭和32年コロムビアレコード）が大ヒットし、川崎市川崎区を走行する京急大師線の「港町駅」から誕生した歌でした。この歌で益々船に関する仕事に憧れが強くなりました。しかし、当時は東京商船大学（現在の東京海洋大学）を目指す夢も有りましたが、残念ながら諸事情で夢を心に收めました。

「スカルノ夫人の声」および「平均寿命」については第12章に移行しました

第7.2節 日本丸誕生と太平洋戦争

(2020年02月 第24号)

明治後期の世界の状況から海運業育成の必要性を認識した政府による、日本丸建設計画から、実際の運用までを見てみましょう

7.2.1 帆船日本丸の誕生

1) 当時の状況

帆船日本丸歴史を調査すると、船員を養成する官立の学校「東京高等商船学校」と「神戸港等商船学校」は専属の練習船を持っていました。その船は「大成丸」2,423トンと「進徳丸」2,792トンでした。しかし、他の北海道函館を始めとする11校の公立商船学校は、専属の練習船を持たず、多くは民間の船会社に依頼して航海実習をしていたのが実情でした。使用した練習船は総トン数が1,000トン以下で、小型船が多く、海難事故が相次ぎました。日本は海に囲まれた国で、当時は飛行機による物資の輸送より時間がかかるでも、大型船による輸送は大量輸送が可能で、コストも安価だったのでしょうか。日本は島国なので、船舶の重要性は現代でも同様です。当然船員の需要が高かったのでしょうか。その為に、共同で使用出来る大型練習船が造れないかとの強い要望で、「日本丸」「海王丸」の姉妹船が建造されることになりました。1928年(昭和3年)文部省の提出予算は1隻91万円、2隻で182万円なので、現在に換算するとどの位の金額になるのでしょうか。

2) 日本丸の設計とエンジン開発

日本丸の帆装設計は洋式帆船の経験が少ない日本国内では無理なので、上記の大成丸、進徳丸の設計をした英国ラメージ&ファーガッサン社に依頼をしました。しかし、設計に欠陥が見つかり、数か所の改造が必要となりましたが、竣工5日前に実験を行い、マストと連結するヤードの金具等を全て作り変えたそうです。現代の様にコンピューターを駆使して、設計・加工・製作が出来る時代では無かったと思うと、昭和初期の技術的に優れた職人達が「造船国日本」を支えたのでしょうか。

進水は1930年(昭和5年)1月27日で、文部省への引き渡しは同年3月31日に川崎造船所(神戸)で行われました。引き渡し迄の約2ヶ月間は、水面下の漏水確認や艤装工事が行われました。内装工事等は進水式後に行うことが多いと聞きますが、船舶の誕生日は進水時ですね。たとえ欠陥を発見しても、日本企業だから、迅速に対応して完成にこぎつけることが出来たのでしょうか。

日本丸のエンジンは、焼玉エンジンを製作していた池貝鉄工所に開発を依頼をしたそうで、埼玉県の川口工場では数多の試作品からやっと完成したのが日本初の船舶用大型ディーゼルエンジンとなり、日本丸の中で54年間も働き続け、世界一の稼働年数記録を樹立したそうです。

現在の埼玉県川口市の鋳物工場は映画でも有名な「キューポラのある街」で有名です。屋根から突き出たキューポラの姿は鋳物工場のシンボル的存在で、鋳物産業が盛んだった1980年代ごろまで



の埼玉県川口市には多く見られます。屋外に見えているのはキューポラに付属する排煙筒（83ページの写真を参照）で、キューポラ本体が屋根から突き出していると炎や燃焼した細かいコークスが飛び散り、周辺の延焼の原因になります。キューポラ以前の甑（こしき）全盛の時代では、工場群の屋根からコークスの炎が立ち上る風景が川口のあちこちで見受けられ、これにちなんでか、川口オートレース場では例年「GI 日刊スポーツキューポラ杯争奪戦」（優勝賞金300万円）が行われています。

閑話休題 帆船日本丸のエンジンを開発した池貝鉄工所が、東京都市大学川崎支部の本拠地である高津区溝の口の地に有りました。現在はKSP（神奈川サイエンスパーク）となり、隣は計測器の一種であるノギスで世界的に有名なミツトヨが有ります。中学校への通学時に、煙を出さない工場が有ることが思い出されます。この様に振り返りますと、日本丸を介して「池貝鉄工所と川口工場」、「池貝鉄工所・溝口工場（通学した高津中学校のそば）」、そして「東京都市大学（校友会川崎支部拠点が溝口）」、最後に、日本丸のエンジンを開発した池貝鉄工所の川口工場が有った川口駅のそばで社会人になってから、「某信用金庫本店の敷地内で建物の建設に携わった事」等など。これらの事が、何か私の人生の中に不思議な繋がりが有ることに、いまさらながら驚きを禁じえません。

3) 帆船練習船日本丸

日本丸は文部省に引渡された昭和5年（1930年）6月31日に神戸港を出発し、船籍港である東京に向かい、同年10月4日に南洋群島（現ミクロネシア）のポナペに向けた太平洋上主体の訓練航行に出発しました。翌年昭和6年（1931年）から昭和16年（1941年）迄の11年間で、年間2~3回もの太平洋上主体訓練航海を実施しました。行き先はハワイのホノルル、トラック島、ヒロ、カフルイ、サイパン、サンフランシスコ、パラオ、タヒチ、アモイ、上海等数多の外国を訪問しながらの訓練を積み重ねました。

7.2.2 帆船日本丸と太平洋戦争

1) 終戦

昭和16年（1941年）アソガウル（パラオ共和国）～基隆（台湾）～アモイ（中国）～上海（中国）の遠洋航海を終えて東京に寄港したのが同年9月5日でしたが、12月8日には太平洋戦争が勃発し、日本丸の外洋訓練は中止になりました。その上、帆などの帆走帆装が外され、白かった船体は「鼠色」に塗り替えられました。瀬戸内海、大阪湾を中心に石炭等の緊急物資の運搬をし、その間にも訓練を継続したそうです。訓練生は資材の積み降ろしの手伝いもしていたのでしょうか。

4年後の昭和20年（1945年）8月15日に終戦を迎えました。『鞍馬天狗』シリーズや『パリ燃ゆ』等を執筆した人気作家の大佛次郎（おさらぎじろう・1897~1973年）は当時、鎌倉（神奈川県）に住んでいましたが、日記に天気とその日の出来事を書いています。「8月15日／晴。朝、陛下自ら放送されると予告。（中略）予告せられたる12時のニュース、君ヶ代の吹奏あり主上観（みづか）らの大詔（おおみことのり）放送、次いでポツダム会議の提議、カイロ会談の諸条件を公表す。（中略）世間は全くの不意打のことなりしが如し。人に依（よ）りては全く反対のよき放送を期待しありしと夕方豆腐屋篠崎來たりて語る……」（『終戦日記』）大佛は「終戦の詔（みことのり）」を庶民はどう受け取ったかを書い

ていて、興味深く感じます。

ポツダム宣言受諾が公表された玉音放送からおよそ半月後の1945年9月2日、東京湾上のアメリカ戦艦ミズーリの甲板上において調印されました。連合国軍最高司令官ダグラス・マッカーサーが調印の式場にミズーリの艦上を選んだのは、洋上であれば式典を妨害されないこと、ミズーリが時の大統領であったハリー・S・トルーマンの出身州であり大統領の娘が艦名の命名者であったこと、海軍側に花を持たせたいと考えたことがその理由とされています。降伏文書は2通作成されましたが、そのうちの1通（外交史料館所蔵）はカナダ代表が署名の箇所を誤ったため、以後の代表は署名欄を一段ずつずらして署名し、調印式終了後に国名が訂正されています。

戦争中は不沈戦艦と言われた大和を始め数多の船が沈められ、ミッドウェー海戦では米軍の空母1隻が喪失したのに対し、日本は主力空母4隻（加賀・赤城・蒼龍・飛竜）とその搭載機約290機を喪失した大敗戦でした。敗因は、米国が日本軍の暗号をほぼ解読し、待ち伏せをしていたからです、当時はミッドウェーと確定出来なかったので、米軍はニセ暗号を発信して、ミッドウェーと判明しました。

2) 戦後処理と帆装復帰

その中で日本丸は戦禍に巻きこまれないで終戦を迎えるました。戦後は中国、東南アジア、南方諸島に約600万人～700万人もの残された日本兵がいたので、昭和21年（1946年）12月から上海を皮切りに、釜山、シンガポール、台湾等を回りながら2万人以上の引揚者を帰国させたそうです。

以前の日本丸の定員は138名（練習船時代は196名）でしたので、戦中は船体を軽装にして、数多の物資の輸送をしていた様です。今度は物資運搬や引揚者の搬送等に大きな活躍をしていました。更に、昭和26年（1951年）サンフランシスコ対日平和条約が調印されると、遺骨収集、慰靈碑建立等と献身的に日本に尽くしました。この時の乗組員や実習生達は、戦争の爪痕が残る熱帯のジャングルや洞窟に分け入って作業をしたそうです。この作業は昭和28年（1953年）3月迄継続しました。ご遺族の感謝は大きかったと想像出来ます。今回の調査でいかに日本丸が献身的な貢献をしたかを知り、感謝の気持ちが溢れました。

敗戦国の練習用帆船は、アメリカ等の連合国へと所有権が移っていた様ですが、日本丸、海王丸の姉妹船も駐留軍の手に移るのではないかとの噂が流れた様です。しかし昭和25年（1950年）朝鮮戦争が勃発し、両船は特殊任務を命じられ、約3,000人ものアメリカ軍人、韓国からの避難民等を、釜山等から輸送したそうです。この様な状況下でしたが、航海訓練所は各方面に練習帆船を残す様に働きかけました。帆船は時代遅れと言われながらも、帆船の必要性の意義を説き続けた結果、復活が実現したそうです。この根気強い説得の努力が無ければ、現在の日本丸は横浜にはいなかっただろう。

太平洋戦争の空襲の最中、横浜の浅野ドックには、開戦と同時に帆装を撤去した日本丸の鋼製ヤード



鋼板厚の計測作業

は残っていましたが、残念ながら木製ヤードやマストは、戦後の燃料不足で燃やされてしまいました。日本丸復興の為に、和歌山県の紀州材を手配したそうですが、材料が入荷する迄には半年以上が必要でした。それ迄は実習生達も帆船日本丸の復活に向けた準備その他の工事に着手し、昭和27年(1952年)6月に日本丸は帆装復帰し、元の美しい姿に戻りました。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

「墨東奇譚」で有名な永井荷風は受け取った手紙が毛筆書きでなければ、読もうとしないで破り捨ててしまう、と噂されていました。ペン書きの手紙を読むことあつたらしいけれども、荷風は毛筆書きの手紙が正式で礼儀正しいと思っていたのでしょうか。

以前、旧ソ連のフルシチョフ書記長が威を振っていた頃、ある米国市民がフルシチョフにファンレターを送ったところ返事が来ました。ところが、これが手書きの手紙だったので誰にも読めませんでした。方々の大学のロシア語科に問合せて、長いこと掛かって、やっと読めたそうです。実は、フルシチョフは、ウクライナの炭鉱夫上がりの人だったので、親しみを籠めて特にウクライナ方便を使って手書きしたことことが判明しました。親愛の情が籠められていたのでしょう。

フランス語には、口臭について「独りダンスする」とか「口とダンスする」と言った言葉があるそうです。口が臭いとダンスの相手になってくれる人がいない、口の臭い人はその口とダンスしていればよい、と言った厳しい言葉です。米国でも、「君は口が臭い」というのは、相手に致命的な侮辱の言葉になるそうです。

以前の時代の中国では、帝王に拝謁する時、口に丁子（ちょうじ 肉料理によく使われる香辛料で、花蕾は釘に似た形をしている）を含んで出たというし、あの楊貴妃も、口の中にスミレの香を漂わせて人に接したと言います。

耳寄り情報

日本企業（東京証券取引所及び大阪証券取引所に上場している企業）で外国人の割合は、日本を代表するトヨタ自動車では約半分、ソニーは64%、「無印良品」の良品計画は67%です。株主に占める外国人の割合はトヨタが 約1/5、花王は48%、ソニーは58%、良品計画は約半分以上です。

日本型の人事システムは現場に強くなりますが、部長以下で構成される組織とすると、おそらく世界一でしょう。但し、「40代迄実務をする」ことは、この間に経営に必要な素養を一切積まないことを意味します。現場だけに強い人が経営者になった途端、足りないものだらけになります。 創業型経営者（経営型）と操業型経営（管理型）を比較しましょう。【経営】操舵：管理、【戦略】独創：計画、【目標】独走：規模、【情報】巡視：新聞、【実行】率先：委任、【言語】理想：数字、【趣味】経営：球技。

創業経営者は独創と独走で、他を寄せ付けない抜きん出た経営を目指します。ところが、操業経営者の頭に有るのは規模、限られた業界の範囲内でどれだけ自社が頑張っているかを意識しています。ファーストリテイリングの柳井正氏や日本電産の永守重信氏の様に創業経営者の中には国際競争の舞台に上げても全く引けを取らない経営者がいます。問題はサラリーマン経営者の方で、操業経営者は創業者の作ったものを墨守するだけのモードに入れています。このネガティブな姿勢が、世界における日本企業の圧倒的な弱さを生んでいるのでしょうか。

第7.3節 日本丸よ再び世界へ

(2020年04 第26号)

帆装復帰した日本丸の活躍を検証し、建造の中心となった旧横浜船渠株式会社第一号船渠（ドック）について詳しく説明します。

7.3.1 帆船日本丸よ！再び世界へ

昭和28年（1953年）6月に戦後初めて、12年ぶりの遠洋航海にハワイ島ヒロへと出航し、アメリカの独立記念日と重なり、実習生達は街頭パレードに参加したそうです。翌昭和29年（1954年）5月から昭和59年（1984年）9月迄の30年間、太平洋を中心にアメリカ、カナダへの船員養成の遠洋航海を重ねて来ましたが、昭和59年（1984年）6月～9月のアメリカ、ハワイへの航海を最後に、帆船日本丸の船員養成の任務を退き、「新日本丸」に船員養成の任務を引き継ぎました。

日本丸は昭和5年（1930年）1月27日に進水し、昭和59年（1984年）まで戦前・戦中・戦後を通して約54年間の活躍で、地球を45.4周（延べ約183万km）もの航海と11,500名もの実習生を育てました。その後、10都市からの誘致要請が有りましたが、今後の活用計画と約83万人の横浜市民からの誘致の署名の結果から横浜に決定しました。

帆船日本丸が係留されている旧横浜船渠（せんきょ）株式会社第一号船渠は平成12年（2000年）12月4日に国指定重要文化財に、平成19年（2007年）11月30日には経済産業省の近代化産業遺産に認定されました。そして係留されている帆船日本丸も平成29年（2017年）9月15日に国指定重要文化財になりました。帆船日本丸が国重要文化財に指定されたのは、次の4点です。

- ② 約11,500人の船員養成と国際親善や海事思想の普及に貢献
- ② 現存船が極めて少ないリベット構造、鋼材の残存率が7割
- ③ 比類ない使用実績を有する国産初の大型ディーゼル機関
- ④ 概ね全期間の日誌が残されており、工事関係図面類が多数残存

令和2年（2020年）1月27日に90歳になる日本丸を、数多の人々の力で「太平洋の白鳥」「海の貴婦人」の姿を永く維持出来る様に、皆様のご協力をお願いします。

7.3.2 旧横浜船渠株式会社第一号船渠（ドック）の補足説明

安政5年（1858年）の日米修好通商条約がアメリカと調印され、貿易の拡大に伴い港湾の建設が必要になりました。港に必要な施設の一つに修理用ドックが有ります。旧横浜船渠株式会社第一号船渠は英国人技師H.S.パーマーの計画を基に日本海軍技師恒川柳作の設計・監督で、明治29年（1896年）7月に起工、明治31年（1898年）12月に竣工しました。その後、大正期に船渠の内陸方向に延長され、現在は係留されている日本丸の検査、修理に使用されています。ドックの敷地は、比較的固い岩盤のある地点が良く、軟弱地盤上に建設すると掘削時に大規模な土留工が必要となり、ドックの自重で不同沈下が起き、ドックの底面や側面に亀裂などの問題が生じます。恒川柳作は明治27年（1894年）5月から、埋め立てが許可されている日本郵船横浜鉄工所の沖合いの海底地質調査を改めて行い、その結果、地盤が良く改良の必要がなかったのです。

建設当初の第一号船渠は、総長約168m、上幅約34m、渠底幅約23m、渠内深さ約11mの規模を有していました。このドック建設には神奈川県真名鶴産の新小松石（安山石）を使用しているそうです。この新小松石は江戸城の石垣や昭和天皇武蔵野陵にも使用された優美で堅牢な石です。

その後、大正7年（1918年）に第一次世界大戦が終了すると、造船業界は総じて不況に陥りましたが、横浜船渠は艦艇も手がけていたので多忙を極め、1号ドックは船の大型化に対応する為に総長約204m（約34m延長）となりました。しかし、1921（大正10）年11月11日から1922年（大正11年）2月6日迄アメリカ合衆国ワシントンで開催されたワシントン会議で、海軍の軍縮問題について討議の上、ワシントン海軍縮条約が採択されました。しかし、軍備拡張に伴う経済負担は各国の国家予算を圧迫していました。

旧横浜船渠株式会社第一号船渠は、建設当時、最大規模を有した明治期の代表的乾船渠の一つで、大正期に築造された躯体延長部分も土木技術の時代的特色をよく示し、乾船渠築造技術の変遷を知る上で価値が高い作品です。また、第一号船渠は官民の協調により実現した横浜港修築第一期工事の掉尾を飾る土木構造物で、近代横浜の社会基盤形成史上も重要です。構造は石造、煉瓦造及びコンクリート造乾船渠（ドライドック）、左右翼壁附属です。

ドライドックの設計には敷地、規模、構造や材料の選定が重要で、常に吹く風の向きにドックの中心軸を合わせます。これは船の出入りの際に横風が当たるのを防ぎ、排水後に船体が乾く時間を短縮でき、修繕の作業効率を上げる為です。

一方、1865年に江戸幕府が始めた横須賀製鉄所は、1868年に明治新政府に引き継がれ、明治4年（1871年）には横須賀造船所と改名し、やがて鎮守府が横須賀に置かれると造船所は海軍の主力工廠になりました。第1号ドックはフランソワ・レオンス・ヴェルニー（Francois Lence Verny（1837年～1908年））が慶應元年（1865年）から明治9年（1876年）迄滞在した時の作品です。来日して、すぐに建設計画を作成し、その年にすぐに着工しました。いずれも石造で背面にコンクリートを打った半重力式と見られます。渠内部の底厚や壁厚は渠口部とほぼ同じで、揚圧力や水圧を大幅に少なくした設計とはなっていない様です。また背面に使ったコンクリートは、当初セメントは高価だったため、焼成した石灰と火山灰を混合したものが使われたと思われます。輸入したフローティングゲートを設置して外の海と締切り、蒸気式ポンプで排水したそうです。

日本にとって大変な幸運だったのは、ヴェルニーが優秀な技術者であると同時に、緻密な構想力と経営能力を兼ね備えていた人物だったことです。その力は、造船所の建設だけでなく機械器具の設置や購入といった技術的なものから、工場の事務処理などソフト面に迄發揮され、技術者養成学校に象徴される教育の実践は、最も大きな功績といえます。自らの構想を実現するため、わざわざフランスから技術者、税理士、医師らも人選して呼び寄せ、その数は40数人にも達しました。日本に近代化の種をまいて技術立国、造船大国の礎を築いた恩人といわれる所以（ゆえん）です。ちなみに横須賀ではすべての工事が尺貫法ではなく、メートル法で行われたのはフランス科学技術の影響を反映し、日本の建設史上、エポックメイキングです。

豆苗と新嘗祭（にいなめさい）は第12章へ移行します。



第8.1節 赤穂事件と忠臣蔵

(2020年12月 臨時増刊号)

江戸時代の中期に起きた赤穂藩主浅野内匠頭長矩（ながのり）の刃傷（にんじょう）事件に対して、幕府は「赤穂事件」として処理していました。江戸庶民はこの討入り行為を称賛する声が多く、「仮名手本忠臣蔵」（1748年初演）が人形浄瑠璃や歌舞伎の演目として人気を博しました。主君を思う義士達による主君の仇討ちは、広く知られていますが、川崎市との「ゆかり」は意外と知られていないと思います。しかも内容が脚色され、実際とは異なる箇所もあります。「赤穂事件」として、真実やあまり知られていない話題をご紹介します。

8.1.1 事件の概要

事件は1701年4月21日（旧暦元禄14年3月14日）に播磨（はりま）（または播州（ばんしゅう）-現在の兵庫県）の赤穂藩第3代藩主の浅野内匠頭長矩（たくみのかみながのり）（53000石）が、江戸城内の「松之大廊下」（松の廊下とも表現一皇居東御苑の現地には「松之大廊下跡の石碑」がある）で、吉良上野介義央（きらこうづけのすけよしひさ（よしなか））に切りかかったことに端を発した事件でした。

事件発生後の午後1時50分頃、浅野内匠頭は芝愛宕（あたご）下（新橋4丁目付近一日比谷通りに面して浅野内匠頭終焉の石碑あり）の奥州一関（岩手県）藩主田村建頤（かちあき）の屋敷にお預けと決まりました。午後3時50分頃には不淨門（罪人や城内での死者を出す）である平河門を出て、現在の新橋田村邸に移送されました。午後6時頃に田村邸の庭先で、武士としての死に装束の流儀や尊厳もなく、ましてや申し開きの時間も与えられない即刻の切腹の様です。享年35歳でした。（私は江戸城を出発するまでは、十分ではないが事情聴取はあったと思います）

更に藩主を務めた播州赤穂の浅野家は改易、赤穂城は幕府に明け渡す様に命じられました。事件発生から切腹までわずか7時間前後の短時間で、浅野内匠頭はこの世を去ろうとは思っていなかったと思います。浅野内匠頭は刃傷に及んだ訳を臣下に伝えたかったと思いますが、結局真実は不明のままです。

「松之大廊下」で刃傷に及んだ時、浅野は吉良に「この間の遺恨覚えているか？」と声をかけ、切りかかった様です。その場に居合わせた梶川与惣兵衛が刀の鐔を押し留め、駆け付けた方々に取り押さえられ、柳之間に運ばれる時に浅野内匠頭が繰り返した言葉は、「上野介此間中（このかんちゅう）、意趣これあり候故、殿中と申し、今日の事かたがた恐れ入り候へども、是非におよび申さず討ち果し候」との言葉だったそうです。現代風にすると、「上野介には、ここしばらくのあいだ、遺恨があったので、殿中であり、大事な儀式の日でありながらやむをえず討ち果たしました」と言っていたそうで、切りつけた時の言葉と合わせて、唯一本人が残した理由の発言でした。

一方、吉良上野介は、やはりその場に居合わせた高家衆に御医師之間に運ばれ、手当後、江戸城内の自分の部屋にいることを命じられたそうです。そして吉良が斬りつけられた時には吉良は抜刀をしてい

第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）

ないので、この事件は「喧嘩」として幕府は扱わず、吉良にお咎めはありませんでした。「喧嘩両成敗」は成立しませんでした。

8.1.2 江戸城の様子

当時の江戸城の様子を絵や写真で紹介します。



(浅野内匠頭長矩)



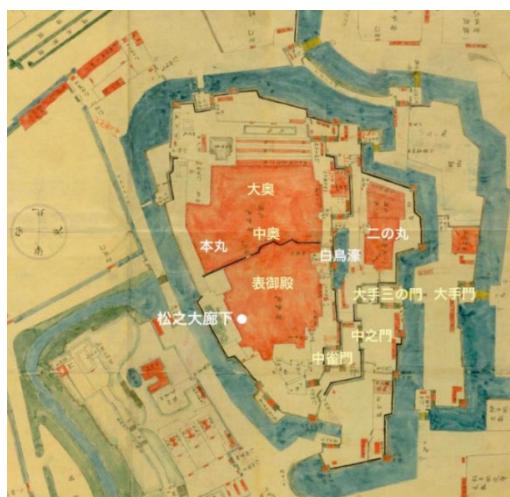
(江戸城本丸 松之大廊下跡（皇居東御苑）解説板)



(江戸城本丸 松之大廊下跡（皇居東御苑）標石)



(歌川国貞（三代目歌川豊国）『忠雄義臣録第三』)



(松之大廊下：本丸表御殿の大広間から將軍との対面所である白書院に至る西へ19m、北へ31m、幅5m、畳敷きの廊下で、江戸東京博物館には、松之大廊下の模型が展示されています)

(古地図で見る松之大廊下一左記黄色の枠)

霞が関ビルと童門冬二の実践健康法は

第12章へ移行しました

第8.2節 赤穂事件の背景

(2020年02月 第37号)

事件への川崎市とのかかわりを話す前に、事件の背景や謎についてお話しします

1) 内匠頭辞世の句

多くの映画で浅野内匠頭の切腹が描かれるのは、辞世の句を詠みながら満開の桜の花が美しい場面ですが、辞世の句は「風さそふ花よりもなほ我はまた春の名残りをいかにとせむ」です。桜の花びらがはらはらと散る下で、白装束を着て切腹する場面が多いのですが、当時は旧暦（現在の4月20日頃）なので、桜は既に散っていたと思われる説があります。

事件から切腹まで短時間で辞世の句を残せる余裕がなく、後に上記の辞世の句が付け加えられたとの説がある様です。以前に述べた様に、死に装束の流儀も尊厳もない切腹で、一国の藩主大名の威儀がある切腹装束でなさうなので、第5代将軍徳川綱吉がなぜ激怒して切腹を急がせたか、その裏には何か訳があったと思います。

浅野家筆頭家老の大石内蔵助にこの刃傷事件の事実を知らされたのは、早駕籠での4日半後で、赤穂にいた大石はじめ家臣たちは遺恨が残るのは、当然の事件であったと思います。

2) 浅野内匠頭と吉良上野介

江戸幕府は毎年正月、朝廷に年賀の挨拶をしています。朝廷もその返礼として使者を幕府に使わし、3月11日には江戸に着いて接待を受けていました。こうした朝廷とのやり取りを担当していたのが、高家であった吉良上野之介でした。元禄14年に高家肝煎（こうけきもいり）の立場だったので、朝廷の挨拶や朝廷の使者の接待を受け持っていました。

閑話休題 高家肝煎とは？（きもいり：世話をすること）

江戸幕府の典礼に関する職制は、開幕後段階的に整備されました。1603年（慶長8年）徳川家康の征夷大將軍の宣下の式典作法を大沢基宿（もといえ）（安土桃山～江戸前期の武将・旗本）に管掌させたのが、役職の「高家」の起源です。1615年徳川秀忠が足利一門である石橋家・吉良家・今川家の三家を高家として登用しました。主な職務は伊勢神宮・日光東照宮・久能山東照宮・寛永寺・鳳来山東照宮（愛知県）への将軍の代参、幕府からの朝廷への使者、京からの勅使・院使の接待や饗應役の大名への儀典指導役、高家の中で特に知識や礼儀作法に精通した3名を高家肝煎としました。1683年大沢基恒・畠山義里・吉良上野介（義央）たちが任命されました。

一方の浅野内匠頭は同じく元禄14年に、高家吉良上野介の接待補佐役に任命され、今回は2回目の補佐役でした。（第1回目は1683年（天和3年）で、八百屋お七事件があった年でした。前年には井原西鶴が好色一代男を発表）今回の接待役は、浅野内匠頭の他、伊予吉田藩（現在の愛媛県宇和島市）の3代目藩主伊達村豊も接待役でした。今回の朝廷接待は特に大事で、徳川綱吉の母である桂昌院に対して、朝廷から「従一位」という女性としては最高位となる官位を得る為、徳川綱吉が朝廷との儀式に

第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）

神経を使ったと思います。そのうえ刃傷事件が起きたのが奉答の儀式（朝廷の使者が將軍の願いを聞く式典）の当日で、儀式直前の最悪の状態でした。

浅野内匠頭も十分に当時の状況が分かっていた上での刃傷であり、よほどの理由が有ったと思います。しかし、松之大廊下の刃傷が、元禄14年3月14日に起きました。当時、殿中の刃傷沙汰は理由の如何を問わないで死罪と決まっていました。まして、朝廷の使者達との接客中であり、幕府の権威を朝廷に示すことでもあったので、幕府は即時に対応したと思います。徳川綱吉の生母桂昌院は、翌年元禄15年に女性最高位の「従一位」の官位と藤原光子（または宗子）の名前を賜っています。

事件後、浅野内匠頭が刃傷に及んだ理由を本人が説明していないので、本当の原因是今日でも不明ですが、想像を含めて諸説を紹介しましょう。

3) 刃傷を誘発した理由 ①遺恨説（梶川与惣兵衛の日記）との仮説

1701年（元禄14年）3月14日の松之大廊下での浅野内匠頭が吉良上野介に殿中の松之大廊下で刃傷に及んだ現場に居合せた梶川頼照（通称、与惣兵衛（よそべい））が、この事件の詳細を「梶川与惣兵衛日記」に残しています。詳しくは次号で紹介しますが、要約すると次のようにになります。

- ① 当日朝廷の勅使への奉答の儀式は、御台所（みだいどころ）信子（第5代將軍綱吉の正室）の担当であった
- ② 吉良上野介からの伝言で、勅使の都合で儀式の刻限が早まったと浅野内匠頭に告げられたが、直接確認が取れなかった
- ③ その時、勅使接待役の浅野内匠頭殿の姿が見えたので、梶川は「諸事宜しくお願ひいたします」と挨拶、浅野内匠頭は「心得ております」と答えた

つまり、時間が早まったという事実が御台所や内匠頭に正確に伝わっていない可能性があります。

4) 刃傷を誘発した理由 ②江戸家老安井彦右衛門の失敗説との仮説

仮名手本忠臣蔵では、浅野内匠頭からの謝礼が少ないと腹を立てた吉良上野介が、意地悪く嘘を教えたり足をひっぱったりした結果、恥をかかされた浅野内匠頭が腹を立て、殿中に刃傷に及んだことになっています。しかし、浅野内匠頭が接待役を仰せつかったのは、今回が初めてではありません。わずか17歳で大石内蔵助の叔父である江戸家老の補佐、そして吉良上野介に指導を仰ぎこの大役を大過なくこなしています。にもかかわらず2度目の時に、なぜ大きな失敗をするでしょうか。

ここで浅野家の江戸家老が登場します。江戸家老安井彦右衛門は失敗を重ね、浅野内匠頭への言い訳として、吉良上野介に嘘を教えられたとの言い訳を繰り返したのではないでしょうか。そして浅野内匠頭の切腹後の国許への報告書に、この主張をさらに膨らまして吉良上野介が嘘を教え、浅野家の評判を貶める噂を広げたことに憤怒した浅野内匠頭が殿中に刃傷沙汰に及んだと主張したのでしょうか。この江戸家老は討ち入りに参加しないで、江戸を出奔しているようです。

第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）

閑話休題 播州赤穂浅野藩(五万三千石)には四人の家老がいました。筆頭城内家老・大石内蔵助(1500石)、国家老・藤井宗茂(又左衛門)(800石)、江戸家老・安井彦左衛門、財政担当の城内家老・大野九郎兵衛(おおのくろべえ)です。しかし、大石内蔵助を除く三人の家老は討ち入りには参加しませんでした。安井彦右衛門(やすいひこえもん、生没年不詳)は、赤穂藩浅野氏の江戸家老で、650石(江戸扶持9人半)。長く江戸家老を任されていた様です。1701年(元禄14年)2月に藩主・浅野内匠頭が勅使饗応役を拝命した際に、上席家老藤井宗茂と共に補佐役を担っていました。同年3月14日に浅野内匠頭が刃傷に及んだ2日後の3月16日に、鉄砲洲上屋敷から退去した後、上屋敷近くの築地飯田町(現在の中央区築地7丁目東部あたり)に藤井宗茂、槽谷勘左衛門(用人・150石役料20石)、早川宗助(藩大目付・200石役料10石)達と生活をしていました。

5) 殿中での刃傷沙汰の真偽に関する仮説

歌舞伎や映画では、吉良上野介が浅野内匠頭を足蹴にして、「この田舎侍！」とのシーンが描かれています。この行為に我慢出来なくなった浅野内匠頭が抜刀し、吉良上野介に斬りつけています。しかし、これは本当でしょうか。

吉良家は直参旗本、高家筆頭、肝煎(きもいり)の大名格。さらに徳川家、上杉家、島津家との姻戚関係が有ります。しかし、どんな肩書きがあろうとも、4200石の旗本に過ぎません。一方、赤穂浅野家は、戦国大名浅野家の分家であり53,500石の大名で、格や所領の大きさからも浅野家の方がはるかに上です。

松の廊下ですれ違うときも道を譲るのは、吉良上野介であって浅野内匠頭ではありません。しかし、朝廷からの官位は浅野内匠頭が従五位下、吉良上野介は従四位下で、吉良上野介が格上でした。

なぜ刃傷沙汰は起きたのでしょうか。吉良上野介はもうすでにかなりの高齢で、小言が多くなります。朝から朝廷の使者の饗応で失敗を繰り返す浅野内匠頭は、ストレスでかなり鬱積していたと思います。

いよいよ事件現場松の廊下です。こちらから松の廊下を吉良上野介と同僚が歩き、向こうから浅野内匠頭が歩いてきます。浅野内匠頭は江戸家老から嘘八百吹き込まれているので、吉良上野介への態度もかなり硬直したようです。まさか浅野内匠頭が嘘八百吹き込まれているとは思わない吉



第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）

良上野介は、同僚に対して、「最近の若い侍は礼儀を知らないものが多くて困りますな」（どこかで聞いたことが有るセリフです）と、世間一般の話をしていたとすると、このセリフを聞きつけた浅野内匠頭は瞬間にストレスが爆発して吉良上野介に切りかかったとも考えられます。浅野内匠頭は7歳で家督を継いだので、忍耐力がなかったのでしょう。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

円覚寺の管長横田南嶺氏（筑波大学卒業）の言葉です。

亡くなった先代の足立老師がよく仰っていました。

「坊さんというのは、三つの言葉だけでいいのだ」ということです。檀家さんなり、誰かが寺に訪ねてきたら、まず相手の話をよく聞く。そうして途中で、「ああ、そう」「ああ、そう」と相槌を打ちながらとことん聞く。そして全部話終わった時に、うれしい話だったなら、「よかったね」と言う。悲しい、辛い話だったら、「困ったね」という。

この「ああ、そう」と「よかったね」と「困ったね」の三つの言葉だけでいい。これを三語族とうと話してくださいました。

決して、途中で口を挟んだり、ああしたらしい、こうすればよかったなどと言ってはいけないと説かれていきました。なかなか簡単なようで難しいことがあります。

耳寄り情報

【認知症にならない為に】

70代になると出来ないことが増えて、イライラして、うつ症状が現れる方が多くなります。肉類はその予防や改善が出来る食材です。うつ症状から認知症へと進むことが有るので、肉類は欠かせません。「筋肉を作る力」は年齢と共に低下し、20代を100%とすると、50代で57%、70代で48%になります。

食品100grに含まれるたんぱく質の含有量を比較しましょう。

鶏ささみ（生）	23.0gr、	プロセスチーズ	22.7gr、
しろさけ（生）	22.3gr、	牛もも肉（脂身付き・生）	19.5gr、
豚ロース（脂身付き・生）	19.3gr、	さんま	17.6gr、
鶏卵（全卵・生）	12.3gr、	枝豆	11.7gr、
ヨーグルト（脱脂加糖）	4.3gr、	ブロッコリー（花序・生）	4.3gr、
普通牛乳	3.3gr		

となります。

近年はコレステロールが低すぎるのは良くない、適度に保っている人が長寿へと変わってきています。細胞の新陳代謝に欠かせないコレステロール値が低いほど、肺炎等感染症の死亡率が高くなる傾向になります。

第8.3節 忠臣蔵の疑問点

(2021年04月 第39号)

前号で紹介した梶川与惣兵衛の日記を詳しく説明し、事件に関する疑問点を考察します

8.3.1 梶川与惣兵衛の日記

1) 登城直後

梶川は当日いつもの様に登城して大奥に行ったそうです。その日の朝廷の勅使への奉答の儀式で、御台所（みだいどころ）信子（第5代将軍綱吉の正室）が対応の役目でした。しかし、吉良上野介からの伝言を受けて、勅使の都合で儀式の刻限が早まった事を告げられていたので、その詳細を直接吉良上野介殿に確認しようとした。吉良上野介殿を探したところ、松之廊下に面した下の部屋にいた茶坊主に、吉良上野介殿を「お呼びせよ」と命じたところ、「吉良上野介様は御老中に呼び出されました」との答えでした。

その時、勅使接待役の浅野内匠頭殿の姿が見えたので、茶坊主に「浅野内匠頭殿をお呼びせよ」と命じました。それを受けた浅野内匠頭殿が自分の方に参られたので、梶川は「諸事宜しくお願ひいたします」と挨拶したそうです。浅野内匠頭は「心得ております」と答えたそうです。そして下（しも）の部屋の自分の席に戻られました。
まだ内匠頭は平常心の様です。

2) 突然の事件

その後、大広間から白書院を見てみたら、吉良公上野介殿が白書院の方からこちらへ来るのが見えたので、梶川は再び茶坊主に「吉良殿をお呼びせよ」と命じました。茶坊主は直ぐ吉良殿のもとに行きそのことを伝え、吉良殿は梶川の方へ向かって来られましたので梶川も吉良殿の方に近づき、松の廊下を曲がったところにある角柱から六間（約10.9m）から七間（約12.8m）位のところで、吉良と梶川が対面しました。梶川は、「本日の勅使様の刻限が早まったのでしょうか」と吉良殿に尋ねると、突然誰か分かりませんが、吉良殿の後ろから「この間の遺恨を覚えているか」と声をかけて、吉良殿に斬りかかった者がいました。大きな太刀の音が聞こえましたが、後に聞いたところでは傷はそれほど深くなく浅手でした。

3) 内蔵助の取り押さえ

自分たちも驚いて良く見れば、なんと勅使接待（御馳走）役の浅野内匠頭殿でした。上野介殿は後ろへ逃げようとしたが、また2回ほど斬られ、うつむきに倒れました。梶川たちは内匠頭に飛びかかりました。内匠頭との間合いは、二足か三足（一足は約25cm）の近距離で、すぐに組み付く形になったと記憶していると、梶川は記述に残しています。そして内匠頭殿の刀を取り上げ



歌川国貞（三代目歌川豊国）『忠臣蔵第三』

第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）

るとともに、床に押し付けて動けなくして、近くにいた高家衆や接待役の伊達左京亮（さきょうのすけ）殿、茶坊主も来て、次々と取り押さえに加わりました。

後の話で、上野介は高家の品川豊前守殿と畠山下総守殿が、御医師の間に運んだそうです。一方、内匠頭殿は大広間の後ろに連れていかれ、「上野介には怨みがある。殿中であること、また今日は儀式があることに対して恐れ多いと思ったが、仕方なく刃傷に及んだ。討ち果たさせて欲しい」と、幾度も大声で繰り返し言っていました。しかし、高家衆はじめ、取り囲む人々から、「もはや事は終わったのです。おだまりなさい。あまり大声では如何なものかと思って言いますよ」と言われ、以降内匠頭殿は、何も言わなくなりました。

4) 元禄世間咄風聞集について

元禄世間咄（話）風聞集を見てみましょう。この風聞集は1694年（元禄7年）～1703年（元禄16年）の間の江戸の噂話を書き留めた書で、浅野内匠頭の刃傷沙汰を始め、生類憐みの令に触れ処刑された事件、旗本の乱心等々の話を収めています。

刃傷事件に居合わせた茶坊主の話とされる文章によると内匠頭は「小用に立つ」と言って席を立ち、大廊下を通り「覚えたか」と言って、上野介に切りかかったとされています。これを信じれば、上野介から悪口を言われた直後に刃傷に及んだ訳ではなく、多少なりとも時間が経過した後に、刃傷に至っている様です。



8.3.2 事件に関する仮説を伴う疑問点

1) 亂心ではない？

充分な聴取ではなかったと思いますが、浅野内匠頭は「乱心ではない、その時なんとも堪忍出来ないことが有り、刃傷に及んだ」と答えているそうです。また、田村邸に預けられた時に、内匠頭は家臣に「このことはあらかじめ知らせておくべきだったが、今日やむを得ざる事情で知らせることが出来なかった。不審に思うだろう。」と伝える様に言っています。浅野内匠頭は相当以前から何かを思い詰めていたと想像できますが、真実はここでも不明です。当然吉良は全く身に覚えがないと言っています。

さて刃傷に至った理由の一つには、伝奏屋敷（古い風習や言い伝えを教えたり、江戸下向（げこう）したりする宿所）で、吉良が内匠頭に武士道が立たない様なひどい言葉を言われ、そのままにしておくと後々まで恥辱と思い、刃傷に至ったことが考えられます。

堀部弥兵衛は「悪口は殺害同様の御制禁」と書いております。吉良がその御制禁を犯したので内匠頭はそれに応じたまでのことでしょうか。

2) 内匠頭の持病が原因

浅野内匠頭は、自分には「つかえ」という持病があると、事件後に話している様です。この病は胸がつかえて息苦しくなり、朝廷の接待としてストレスが高まり、上野介が天敵に見え、厳しく受けた指導

第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）

を「いじめ」と受けたか判断が難しいのですが、当時の立場として、上下関係が厳しい封建社会の中で、持病と重なり堪忍袋が切れて頭が真っ白になり、刃傷に至った可能性もあります。

3) 塩の生産をめぐる対立

浅野内匠頭と吉良上野介の確執の原因は、赤穂（岡山県赤穂市）と吉良地方（愛知県西尾市吉良町一三河湾に面している）における塩の製法や販売路の問題で対立があった事が原因とする説があります。

史実においても、当時赤穂が塩田の技術で全国をリードしていたのは事実で、この技術は秘密にされていた訳ではなく、赤穂の製塩技術者は瀬戸内海各地に広がっていて、仙台藩が塩業技術者を依頼しに来た時も、赤穂藩はこれに応じ、赤穂の塩は大阪、吉良産の塩は三河等東海方面で売られていて、直接競合関係にはなかった様です。しかし 1947 年（昭和 22 年）に、田村栄太郎の書いた「裏返し忠臣蔵」では塩での対立を扱っています。眞実はどこにあるのでしょうか。赤穂藩の塩田技術に上野介は嫉妬していたのではないでしょうか。

4) 饗応予算が原因か

饗応予算を浅野内匠頭が「けちった」ことが刃傷の発端かも知れません。当時の饗応の費用は接待役となった藩が負担することになっていました。今回の饗応予算は、1,200 両とされていたのですが、浅野内匠頭が高家肝煎（きもいり）の指南役の吉良上野介に無断で予算を削り、700 両しか当てなかつたことに対し、吉良上野介が浅野内匠頭を「叱責」、意地悪をし、そのことを恨んで刃傷に及んだとの話もある様です。

浅野内匠頭は今回 2 回目の接待役であることは以前にご紹介しましたが、前回（1683 年）の時、400 両を使ったとされていました。今回 1701 年の松の廊下の事件時は 700 両としましたが、実際、増額して赤穂藩も対応して、数字上は 300 両の増額となっていました。前回から 18 年経過して、米の物価は 2 倍となっていました。前回の倍の 800 両ではなく、700 両では「減少」になります。藩の財政が苦しい事情も有ったと思いますが、この様な予算設定にしたことが、今でも不明の様です。

今回は将軍徳川綱吉の生母・桂昌院の官位を得るための特別な接待で有り、この当たりの考え方や、浅野内匠頭の予算取りの考え方方が、筆者には分かりません。

8.3.3 事件の復習

- 元禄 14 年 3 月。江戸城では時の将軍徳川綱吉の元へ天皇、上皇からの使者が遣わされ、年始の詔（みことのり）を伝える典礼が行われようとしていました。そのすべてを取り仕切っていたのが、吉良上野介です。そして、上野介の指示に従う勅使饗応役の浅野内匠頭でした。しかし、35 歳の内匠頭は、何度も言ても過ちを繰り返したそうです。
- 不安を抱えたまま、3 月 12 日に儀式はいよいよ始まりました。儀式の最終日の午前 11 時半頃、江戸城・松の廊下で事件は起きました。ご法度である殿中での抜刀、しかも重要な儀式の途中、前代

第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）

未聞の行為でした。上野介は背中と額に傷を負い、額の傷口は14cm、骨まで達する深手を受けました。

3. 松の廊下事件から3週間後、吉良邸をこっそり窺う者達がいました。堀部安兵衛ら江戸詰めの赤穂浪士です。主君と碌を突然失った彼らは、納得できる理由を求めていました。喧嘩両成敗のはずが、片手落ちの裁定ではないか。
4. 少し先の経過をお教えします。吉良上野介にある通達が届き、江戸城下・呉服橋の現在の屋敷から、隅田川を超えた本所へ転居せよとの幕府の命令でした。お楽しみに。

【おまけ】

- ・饗応役には主に3万石から6万石で、主に6万石前後の外様大名が任命されました。
- ・浅野内匠頭は勅使饗応役を2回行っていますが、複数回任命されることがあります。筑前直方藩黒田長清は2回、津和野藩の亀井茲親（かめい これちか）は3回任命されています。
- ・年齢別にみると、20代が5回、30代が6回、40代が2回、50台が4回任命され、浅野内匠頭は35歳でした。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

新型コロナウイルスの集団感染が発生したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の除菌作業をした「日本特殊清掃社」江連秀夫氏のアドバイスです。

- ①噴霧はしない。アルコールでもウイルスが不活性化するのには2~5分かかると言われています。空間に噴霧してもあまり効果はない。布巾に吹きかけ、拭き取ること。
- ②拭く時は必ず一方向に。布巾でウイルスをはぎ取るイメージです。クルーズ船内では、「上から下、上から下へと一方向に」と説明したそうです。

耳寄り情報【赤穂の塩】

1971年（昭和46年）に日本国内で塩田が全面廃止となって以来、一部の限られた地域でつくられる少量の塩を除き、国内では「塩田産の塩」は生産されることがなくなりました。そのため、「塩田産の塩」は100%近くが輸入となりました。とはいえ、海外でつくられた塩をそのまま販売するのではなく、輸入した塩田産の原塩を、国内で加工するという方式がとられることが多い様です。

「赤穂の天塩」の場合は、生産の最終拠点は赤穂（赤穂化成）ですが、原塩はオーストラリアのシャークベイでとれる天日塩（てんびえん）を輸入して使用しています。それを赤穂の伝統の技術を生かして国内生産しています。

シャークベイは、西オーストラリア州で初めて世界自然遺産に指定された美しい海洋です。清浄な海にしか存在しない古代生物ストロマトライトが群生し、多数のジュゴンやイルカが生息している地域として有名です。そこで太陽と風の力を活用して採取する天日塩は、素晴らしい質をもっています。

※差塩製法・・・濃い海水を煮詰めて塩を取り出す過程で、あえて“にがり”を含ませる（差す）製法。

第8.4節 古くから続く悪弊 賄賂

(2021年05月 第40号)

本号まで事件の原因を探ってきましたが、現代社会にも蔓延する賄賂について考えましょう

1) 謝礼の風習

指南役の吉良上野介に対して、「御馬代」（おうまだい）として納めていた「賄賂」は大判一枚（約120万円相当）です。そして、無事に接待を終えた後に、もう一枚贈るのが通例だったようです。浅野内匠頭も、前回の1回目に指南を受けた18年前は、前記の様にしていたようです。今回は2回目であったこともあり、大判一枚と巻絹1台、鰯節1連（2本）を贈っただけの様です。

今回同じく接待役であった伊予吉田藩・伊達村豊は、吉良に大判「100枚」を贈ったとされています。現在なら約1億2000万円です。この話が本当なら、吉良上野介が浅野内匠頭に対して、意地悪したこととも納得します。また、伊達がこの様に高額を贈ったことも不思議です。

2) 「赤穂鐘秀記」（あこうしょうしゅうき）の記述

赤穂鐘秀記（元禄16年元（もと）加賀藩土杉本義鄰著）に、史実と俗説を取り交えて描かれた中で、吉良上野介は元来、必要程度を超えた暮らしをし、驕り、思い上がりがあり、利欲深く、いつも過言し、「付届」（つけとどけ）の少ない者にはいい加減に指導し、陰口をいう人物であったと記されています。

浅野が吉良に付届けをしなかったので、吉良は不快に思い、浅野が勅使をどこで迎えるべきか吉良に聞くと、「そんなことは前もって知っておくべき」と嘲笑、更に「あの様な途方もないことをいう人間は接待役が務まるか」と声高に雑言したと書かれています。また、勅使が休憩する芝の増上寺宿坊の畠替えを吉良が指示しないで、浅野が危うく失態を招きそうになった話は、昔映画「忠臣蔵」で江戸の畠職人を集め、一夜で畠替えをした場面が思い出されました。

3) 室鳩巣（むろきゅうそう）の「赤穂義人録」

浅野内匠頭の親友の加藤遠江守から、「吉良から無礼なことをされても堪忍すべき」と忠告されていたとの話が載っているそうです。江戸時代中期に室鳩巣（武藏国谷中村（現在の東京都台東区谷中）で生まれの儒学者）（1658年～1734年）の「赤穂義人録」（元禄16年10月著・宝永6年改訂）では、吉良が儀式作法を伝授する時、「賄賂」を受取っていたと書かれています。この本によれば、浅野は公私をわきまえず、贈り物をする気は全く無かったことが、吉良との不和の根本原因になったと言っています。

松の廊下の刃傷の時に居合わせた梶川与惣兵衛が「勅答の礼が終わったら連絡が欲しい」と浅野に伝えると、吉良は横から口をはさみ、「相談は私にすべき、そうでないと不都合が生じる」と浅野を侮辱し、更に「田舎者は礼を知らない。またお役目を辱めるだろう」と追い打ちをかけた。それが浅野の刃傷に及んだと言っています。先程の梶川与惣兵衛の描いた「梶川与惣兵衛日記」との記述矛盾があり、梶川記述は吉良側に有利で、他の多く出されている本は反吉良の内容です。江戸の住民も本の内容を知って、吉良が行っていたいじめに関して、当時から公然と認知されていたことが伺えます。

第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）

4) 徳川実記の記述

更に、江戸幕府の公式史書である「徳川実紀」の1701年（元禄14年）3月14日の文章には、吉良は高家として力を持っていて、指導を受ける大名たちも吉良の顔色を伺い、機嫌を取り、吉良に従い指導をしてもらったのです。賄賂の貪りや吉良のいじめに関して、当時から公然と認知されていたことが読み取れるようです。

閑話休題 「徳川実記」とは、御実紀（ごじっき）、通称『徳川実紀』（とくがわじっき）は、19世紀前半に編纂された江戸幕府の公式史書です。全517巻です。編集の中心人物は林述斎と成島司直で、起稿から35年近い事業の末、天保14年12月（1844年1月から2月）に正本が完成しました。

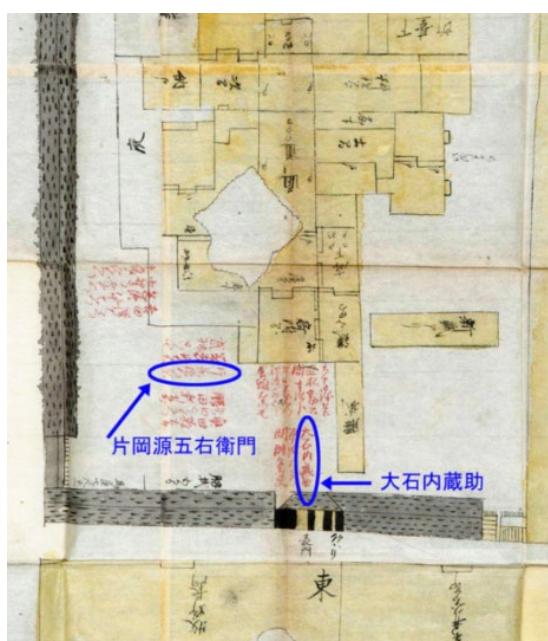


徳川家康から10代将軍徳川家治（天明期、1786年）までの事象を日ごとに記述しています。それぞれの記録は、歴代将軍在任時の出来事を日付順にまとめた本編と、その将軍にまつわる逸話を集めた附録からなっています。

徳川実紀の記事は、幕府の日記を基礎として記述されていますが、明暦の大火灾による各種史料の焼失など、開府から実紀の編纂が開始されるまでの長年の間に散逸が見られます。日記の欠落した期間は、別の史料を寄せ集めて記載した旨が、編者の註として記されていますが、記事の利用にあたっては、文中に記された出典の史料名に留意すべきです。

閑話休題 （討ち入りは午前4時、引上げは午前6時が有力）

約80名いた吉良家家臣のうち、死者16名、負傷者23名で、赤穂浪士側は死者0名、負傷者2名と圧勝でした。吉良上野介は炭小屋に隠れ、浪士に発見されて庭に引き出される場面を想像しそうですが、実は台所に潜んでいました。台所内の物置に隠れていましたが槍で刺されて絶命。集まってきた浪士たち20名に代わる代わる太刀を受け、その死体には20数か所の傷があったそうです。上野介は門番に本人と確認されました。



討ち入りの時の浪士の配置が記された「吉良上野介屋敷」の写本（宮内庁が公開）

スリランカからの恩恵は第12章に移行しました

墨田区観光協会の資料は省略しました

第8.5節 切腹から赤穂城明け渡しまで

(2021年09月 第44号)

忠臣蔵の連載を始めたところ、嬉しいことに読者からの質問が届きました。今回はこれまでに読者から頂いた疑問にお答えし、内匠頭切腹以降についてお話しします。

8.5.1 読者からの素朴な疑問に答える

1) 質問

- A. 吉良邸討ち入り時の、江戸市内はどんな警備状況だったのでしょうか。
- B. 江戸市中の夜間警備は各町の責任になるので、各町に自身番が警備等の仕事をします。
時間の告知、火災予防、不審者への警戒等はどうなっていたのですか。
- C. 夜間は木戸を出して、出入りが出来ない様にしていたと聞きました。この木戸は町毎に設置するので、町内は木戸だらけになります。この中を47人の武装集団が、木戸が無いかの如く容易に本所の吉良邸に辿り着けるのでしょうか。
- D. 翌朝未明に、吉良上野介の首を槍の先に掲げて、高輪の泉岳寺まで行進出来るのでしょうか。
- E. 木戸番や自身番が木戸を開放する権利はないので、権利が有る町奉行、老中等の決断が必要ではないでしょうか。
- F. 城内に住んでいた吉良を城外に出したのは、仇討ちのチャンスを与える柳沢吉保の意図的工作だと思います。

2) 筆者からの回答

- A. 江戸の町の「木戸」は表通りに対して、例として間口8間×奥行15間の敷地の中央に1間ほどの通路が有り、表通りには「表店」があり、敷地の中央に1間巾の通路を挟んで、裏長屋が左右に有り、井戸、トイレも共同です。この裏長屋の入口に「木戸」が有るのが標準的な例です。この標準長屋が多く集合して町が形成され、町の「木戸・木戸番屋」が有ったのです。冬季と夏季では、町の木戸の開閉時刻が違う「不定時法」ですが、討ち入りは冬ですが、木戸を開ける時間は明け六つ(午前6時頃)、閉めるのは夜四つ(午後10時頃)と考えます。
- B. 討ち入り前の集合場所は、豊川沿いの下級武士や庶民が川沿いに住んで居るエリアであり、川沿いの道には「木戸」や「木戸番屋」は無かったと思います。江戸時代の古地図でも記述がありません。吉良邸に一番近い集合場所は前原伊助邸、吉良邸まで約1.1kmの堀部安兵衛邸と杉野捨平次邸の2ヶ所も下級武士や庶民達の家、もちろん商店も有ったと思いますが、川沿いで木戸の制約は受けにくいと考えます。木戸の閉まる夜10時前に集合場所には行けます。
- C. 「木戸・木戸番屋」も墨田川を挟むと江戸城から遠くになるので、管理上、多少甘いのではないかとも考えられます。その理由の一つが、吉良の屋敷替えは江戸城より遠い松坂町で、討ち入りを予想して江戸城より離したと考えます。
- D. 引き上げには「両国橋」を渡りませんでした。討ち入り時間の説は多々ありますが、
 - ①先ほど記した集合場所を出発したのが寅の上刻(午前3時頃)吉良邸が深い眠りに入っている頃。
 - ②吉良邸到着午3時15分頃(遠い距離で約1,100m)、この間豊川沿いを行き「木戸」は関係なしで行けたと私は考えます。

第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）

③即討ち入り開始後、終了午前5時頃（卯の上刻前）約2時間弱。

④吉良邸出発 午前5時頃（卯の上刻頃）、鎖帷子着装して、刀・ヤリ等持つて、途中休憩もして、泉岳寺まで約12kmを時速4km前後で泉岳寺に向かう。

⑤泉岳寺着午前8時頃（辰の正刻頃）

E. 前書きが長くなりましたが ①5時頃両国橋を渡ると「木戸や木戸番屋」が開いてない事も有る、
②吉良の長男が婿入りしている「上杉藩の追っ手」と出くわすかもしれない、又③「下級武士」達の登城時間帯となり、出くわすかもしれない、（午前8時に江戸城の見附門が開く）等の理由で、墨田川沿いの木戸も心配無い道を選び、永代橋で渡れば「木戸」も開くしトラブルを避けたのではないかと思います。

④それとトラブルに巻き込まれない早い内に、永代橋に近い浅野家の江戸屋敷のそばを通り、浅野内匠頭はいないが、討ち入りの報告を心でしたと、私は考えます。

F. 当然映画等でも竹に書面を挟んで、掲げています。大石はこの「討ち入りの理由書」を持って討ち入りをしています。途中二人が離れて、幕府に討ち入りを報告を行っています。当然書状を持参していると思います。口頭だけの報告ではないはずです。
この先は、海沿いの東海道を品川の泉岳寺に向かったと思います。いずれにしてもアップダウンの比較的無い道乗りで、早く主君に報告をと行軍したと想像します。

3) 江戸の木戸についての補足説明

①「江戸における木戸・番屋の成立と機能」（波多野 純氏）の論文（国立歴史民俗博物館研究報告 第60集（1995年））を見ると、

- ・神田連雀町の木戸は、皮付きの丸太を柱として両側に立て、頂部を同じく丸太の貫でつないだだけの簡単な仕様です。
- ・河岸地の木戸は、製材された材木を用い、建具が有ります。
- ・なぜこの様に場所により異なるのは、設置者の経済力の差が有る様です。河岸地に関わる者は、経済的に豊かなことが影響している様です。
- ・山王祭のルートから外れる脇道では、矢板を仮設的に木戸代わりにしています。

②狭い路地では移動式の柵を木戸代わりにしている場所があり、映画に出る様な立派な木戸が有るのは、大通りや経済基盤が豊かな地域だと思います。

③木戸は、「江戸の安全を確保するために、柱の間に両開きの扉、道路際までの柵や板塀で各町内の入口と出口設置。夜四つ時(午後10時)から朝六つ時(午前6時)までの夜間は閉じられ、木戸番の監視のもとに、脇の小木戸(またはくぐり戸)からのみしか通行出来なかった。」大型の移動式の柵の様なもの・現代のバリケードの様なものもあったそうです。

④「古地図で楽しむ江戸・東京講座」（株）ユーキャン の冊子で「町の内部（町人地）」、「江戸の町の自治」を見ると、庶民の住環境の長屋構成は表通りに面した表店に挟まれて、表通り寄り少し引っこんで1間ほどの狭い路地に木戸が有る図表示があります。この木戸の開閉管理は、その長屋の住民が、長屋の木戸の開閉管理をしていた様です。

⑤いくつかの長屋をまとめて町内として地主や家主（大家）が詰めていた「自身番屋」が有り、町内の警備や事務処理をしていました。現在の集会所の様なところで、消火用の道具や捕り物道具も供えられていたのです。

第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）

⑥町の出入り口には木戸があり、夜間は閉じられました。「木戸の開閉をする番人は町で雇用したが、その収入が低く、番屋で日用雑貨を販売しながら副収入にする事が許されていた。」と記されています。

8.5.2 浅野家の動き

浅野内匠頭は現在の東京都港区にある泉岳寺（曹洞宗）に埋葬されました。

1701年（元禄14年）3月14日（旧暦）、松の大廊下の刃傷事件発生後、赤穂に早駕籠が二度に渡り向かいました。第一の早駕籠は刃傷沙汰のみの伝達で、14日の午後3時半、第二の早駕籠は浅野内匠頭の切腹、赤穂藩の取り潰しの件を伝達するため、14日の夜にそれぞれ出発しました。通常では1週間程度かかるところ、昼夜連続で駆け続けて4日半程度で赤穂に到着したのです。

藩士総登城で大石を上座に据え、連日対応の議論が行われました。浅野親族の大名家からは穩便に急ぎ開城をとの使者が送られてくるし、藩士達は吉良が処罰なしなので、抗議の為に籠城をする考えの者が多かったと言われています。家老の大石は、内匠頭の弟浅野大学を立てて藩の再興を考えると、籠城は不利になるし、大学に迷惑をかけてしまうと考え、藩内での議論と同時に吉良の処分の嘆願書も幕府に出していました。

議論の結果を大石が出したのは、赤穂城の前で皆が切腹することでした。切腹の時、自身の思いを述べれば幕府も吉良への処罰を考えてくれるのではないかと考えたと言われています。しかし、大石は、その後切腹を口にしなくなりました。切腹という方針を出したことで、本当に味方する藩士を見極めようとしたのではないかと思われています。

最終的に切腹の結論が出ると、切腹に同意する「起請文」（神文一しんもん）（神仏に呼びかけて、もし自己の言が偽りならば、神仏の罰を受けることを誓約する文書）を60余人が提出しました。議論がすぐ収束しなかったのは、次席家老の大野九郎兵衛等による反対意見もあり、大野は主君の弟の浅野大学が大事で、稳便に赤穂城を幕府に明け渡すのが大切と考えていたからでした。

切腹の「起請文」（神文）を出すことになり原惣右衛門が、「同心されない方は、この座を立っていただきたい」と発言すると、大野をはじめとする10名が退出しました。原惣右衛門はもしこの時、大野が退出しなかった時には、大野次席家老を討ち果たしているところであったと、後に回想していたそうです。また、この時に江戸から来て参加した片岡源五右衛門、磯貝十郎左衛門、田中貞四郎の3人は切腹をしないで、吉良を討つとの旨を述べて退出したそうです。

大石は1701年（元禄14年）4月12日（旧暦）に赤穂城の明け渡しを決意し、4月18日（旧暦）に明け渡されました。浅野内匠頭切腹から、約1か月後のことでした。しかし、大石は城明け渡しの際にも、浅野大学によるお家再興を上使（じょうしー江戸幕府から諸大名などに將軍の意（上意）を伝えるために派遣した使者）に嘆願し、江戸に帰り次第、その旨を老中に伝えるとの上司から返答をもらいました。

そして取り潰しによって家臣達や商人達が路頭に迷わない様に、赤穂に残った財産を家臣達の退職金と商人達の半札への支払いに分配する作業に入りました。江戸高輪の泉岳寺では、1701年（元禄14年）4月12日から3日間、浅野内匠頭の法要が行われました。幕府からの許可が下りたためでした。

第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）

領内に発行していた藩札は、現在の金額で約18億円と、赤穂藩の年間予算に匹敵した額の様です。大石は藩札額の6割を返還することで解決しました。更に、300名の藩士には退職金総額23億1500万円（平均780万円/人）、足軽は約800名です。藩士からもらうのでしょうか。残った691両（約8200万円）を、大石はどの様に使用するかを考えていきました。後ほど、解答が出てきます。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

- ・甘酒とは、日本に昔から伝わる甘い飲み物のひとつで、米麹と米、または酒粕を原料に作られます。はじめに知っておきたいことは、この2つの甘酒は、作り方も、栄養価も、全く違うということです。
- ・酒粕で作る甘酒は、酒粕を水で溶いて煮詰めて作ります。一方、米麹で作る甘酒は、米麹に水を加え発酵させて作ります。
- ・酒粕は甘みが薄いのですが、米麹は発酵時にできるブドウ糖により甘くなるので、砂糖を添加しなくとも、しっかりと甘さを感じます。
- ・特筆すべきは、その美肌効果です。麹を発酵させた甘酒には、保湿効果の高いビタミンB群が豊富に含まれているので、美肌の基本となる"うるおい"をサポートしてくれるのがうれしいですね。そのほか、肌への効果としては、甘酒にはコウジ酸が豊富に含まれていることから、美白効果も期待できます。そして、健康効果も抜群です。
- ・米麹の甘酒は発酵食品なので整腸作用があり、内臓が活性化し代謝アップに役立ちます。また、食物繊維やオリゴ糖も含まれているため、腸の働きを良くして便秘を改善する効果も見込めます。さらに、ダイエット効果が高いことも見逃せません。

ご存じですか

少年院生活の17才の少年が書いた「なりたい」という詩から、外出自粛の時間の使い方を考えます。

心がこわれるほど 苦しくて やさしい言葉を掛けてくれる人　　捜したけど どこにもいない ふと思　　捜すような人間やめてやさしい言葉を掛けられる そんな人間になりたい。（八街少年院刊『生活詩集 若い木の詩』より）

人生は思い通りになりません。今回の感染症問題もその一つ。外出自粛により私たちの生活環境は一変しました。しかし、その変化に心がついて行けません。その理由は、心が今までの生き方に引きずられているからです。詩の作者は17才の少年。制限された環境の中で自省し、人生を大転換させました。この詩に出会ったのは24年前、体は出家したものの、心が出家しきれず苦しんでいた時でした。詩を読んで大泣きました。そして救われました。その時から「どんな自分になりたいの」が口癖になりました。生活環境の変化は苦しみを伴います。でも間違いなく人生の好機に出来ると、私は信じています。合掌　　人気僧侶大谷徹奘（てつじょう）から。

第8.6節 赤穂藩廃藩

(2021年10月 第45号)

廃藩とされた赤穂藩士は御家再興に望みをかけます

1) 江戸諸藩士と国元藩士達との意見・意志調整

江戸詰めの家臣の堀部安兵衛をはじめとした高田軍兵衛、奥田孫太夫らは、吉良を打ち取る事に強く拘（こだわ）る強硬派（江戸急進派）で、吉良邸に討ち入る事を試みていたとのことですが、吉良の実の息子で出羽国（現在の山形県と秋田県）第4代藩主上杉綱憲（吉良上野介の長男・上杉家に養子入り）が吉良家を訪問する等警戒が厳しく、少人数では討ち入りが難しかった様でした。先程の三人は、以前国元に戻った時、籠城を強く進言した人達でしたが、大石は賛成しないで城を引き渡しました。

後に討ち入りを決定するまでは、大石達の上方の主流派（上方漸進派）の最大目標は、浅野内匠頭の弟の浅野大学を擁立し、浅野家再興にありました。これには訳が有ります。上方漸進派の代表の大石は代々浅野家に仕えており、浅野家とも親戚関係にあるので、浅野内匠頭個人に仕えるというより浅野家そのものに仕える意識が強く、お家再興に拘ったのです。

一方、江戸急進派の藩士達は堀部をはじめ、高田郡兵衛や奥田孫太夫等は、浅野内匠頭の代から浅野家に仕えた人が多く、このため浅野家よりも浅野内匠頭個人に対して仕えているとの意志が強く、内匠頭の宿敵である吉良を討つ事、そして武士の面子を立てることに拘っていたと考えられます。

閑話休題 「高田郡兵衛」は江戸時代前期の武士で、宝蔵院流高田派槍術開祖の高田吉次の孫と見られて槍の名手といわれていたようです。最初は三河吉田藩（現在の愛知県豊橋市）の小笠原長重（旗本であり後の三河吉田藩の第4代藩主、その後武藏の国岩槻初代藩主）に仕えました。その後、浅野家の家臣となり、刃傷事件後は堀部らと江戸急進派の一人でしたが、この年の12月に突然脱盟しました。理由は旗本内田元知の養子となるか、断われば「討入り」を訴えると言われ、仕方なく「討ち入り計画」を口外しないとの条件で養子を受け入れたそうです。結果47士の中には入っていません。

2) 大石山科に隠棲（いんせい）

大石内蔵助（1659年～1703年）は、1701年（元禄14年）6月（旧暦）、家族と山城国山科（京都）に隠棲しました。ここでも大石は幕府に対して、赤穂の遠林寺の僧祐海（＊2）を通じてお家再興の嘆願書を出しています。他の藩士達は、赤穂に近い大阪・伏見・京都等に住んでいた様です。

幕府の許可を得て赤穂にとどまった藩士も多かったが、百姓や町人として住むことになりました。一方、江戸詰めの藩士はそのまま留まるものも多くいましたが、借家住まいとなりました。この頃までには、大石に起請文（きしょうもん）（人が契約を交わす際、それを破らないことを神仏に誓う文書）を出した同士は93人に増えていたそうです。

閑話休題 内蔵助の夫人阿久利（瑠泉院）が行った御家再興への取り組みや、吉良邸に討ち入りで吉良の首級を挙げた「義士」たちの助命を乞う試みについては佐々木裕（広島県三次市出身）の「義士切腹忠臣蔵の姫 阿久利」（小学館）をお勧めします。

第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）

3) 当時の江戸の町民生活

江戸幕府の中間期に入った時代で、町民達の生活は徐々に安定してきた段階で発生した江戸城の中での刃傷沙汰事件でした。事件当日中に切腹までさせられた事は江戸での大事件であったと思います。

事件当初は浅野内匠頭の軽率な行動に非難の声が向けられた一方で、幕府による裁定の厳しさに対し、同情の声もあったのです。浅野が吉良に対して「遺恨（いこん）（うらみ）」があり、それが「堪忍できぬもの」なら浅野の行動は「乱氣」でも「不行跡」（ふぎょうせき）（品行の良くないこと）でもないはずと、浅野の行動に理解を示していることが「易水連快録」にあるとのことです。また、武士道の観点から言うと、売られた喧嘩を買わずに逃げるのは、武士にあるまじき不名誉な行為と、幕府に対する多くの批判もあった様です。

以上の様な世評があったので吉良は世間の目を意識して、高家肝煎（こうけきもいり）の辞職願を出さなければならなくなり、1701年（元禄14年）3月26日（旧暦）にお役御免となります。1701年（元禄14年）8月13日には屋敷替えを拝命し、東京呉服橋の屋敷を召し上げられ江戸郊外の本所松坂町に移り住むことになったのです。

幕府も浅野家に対し一方的な断罪を下した事の反省なのか、世論の浅野家への同情の声が高まった事もあったのか実態は不明ですが、大名屋敷の多い呉服橋より、人気の少ない本所は仇討に適した場所であり、世評の声の「討入り」に幕府が選んだ場所であったかもしれません。

また、「江赤見聞記」（田中光郎著・赤穂城開城過程から討入り、切腹までを書いたもの）によると、呉服橋の吉良邸の隣りの蜂須賀飛驒守は、赤穂浪士の討入りをすでに警戒をして、その為の出費が嵩むという理由で老中に屋敷替えを願い出ていた事情が影響した可能性があると記しています。また、1701年（元禄14年）12月11日に、吉良上野介が幕府に出していた隠居願いの許可も下りました。

なお梶川も刃傷現場に居合わせ、浅野を取り押さえて諫めたことから、この行動が幕府に評されて500石加増になり、旗本になりました。しかし、浅野の不幸をもとに旗本になったので、世間の評判は悪化しました。この為、梶川は後に、浅野の無念を慮（おもんばかり）るべきであったと後悔したことを、記しています。そして方々から睨まれていては耐えられないと、子供に代を譲り自ら隠居したといいます。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

【新型コロナウイルスに有効な消毒・除菌方法】

新型コロナウイルスはエンベロープという脂質製の膜に覆われています。アルコールや界面活性剤でエンベロープを壊せば、感染力を失います。

手洗いの効果を見ると、手洗い（約100万個）⇒流水で15秒の手洗い（約1万個）（1/100なので99%除菌）⇒ハンドソープで10秒間もみ洗い後、流水で15秒すすぎ（約100個）（1/10,000）⇒ハンドソープで10秒間もみ洗い後、流水で15秒すすぎ（2回）（数個）（1/1,000,000）

（注意）手荒れを放置すると黄色ブドウ球菌が増えて、消毒剤が効きにくくなることがあります。

（森 功次他：感染症学雑誌、80：496-500 より）

外国人が日本に学んだ10のこと は第12章に掲載します

第8.7節 吉良邸討ち入りへの道

(2021年12月 第47号)

赤穂藩士たちそれぞれの立場での葛藤や苦悩には想像を絶するものがあった事でしょう。その中で御家再興の望みが立たれた事で事態は討ち入りへと進みます。

1) 江戸急進派と赤穂・上方の斬新（ざんしん）派との江戸調整会議

吉良の屋敷替により堀部らの江戸急進派は、討入りの好条件と考え、大石に討入りを迫りました。大石は急進派を説得するため、9月の上旬に赤穂浪士の原惣右衛門、潮田又之丞、中村勘助の3人を、更に10月には浪士の進藤源四郎と大高源五を江戸に向かわせましたが、江戸の急進派に同調させられてしまいました。そのため大石は自ら11月2日、江戸に下り急進派を説得するため、会議（江戸会議）を行いました。しかし、上方から派遣した同志たちは、早期の討入り派の堀部達に同調してしまったこともあり、議論は堀部達の望む方向に一方的に進み、堀部達は討入りの日の期限を決断する様に大石に迫った様です。大石は浅野内匠頭の一周年には結論を出したいと約束をしたのです。

12月11日に吉良上野介が提出した隠居の許可が下りたことで、江戸急進派の堀部達は焦り始めたのです。理由は幕府から吉良へのこれ以上の処罰は望まれず、更に吉良が米沢の江杉家に引取られたら討入りも不可能となるので、江戸の急進派は浅野内匠頭の一周年までの討入りを主張しました。

一方、大石内蔵助は浅野内匠頭の弟、浅野大学によるお家再興を願う事にも影響すると懸念し、吉良上野介を討つ事が無理なら吉良の息子の吉良左兵衛義周を討てば良いとの考えもあり、大学の閉門が解ける3年をみて、主君の内匠頭三周年まで討入りを待ってお家再興にならなかった時に、討入りを実行しても後悔をしないと考えていたのです。大石は浪士の調整が大変でした。

この様な中で、事件の翌年1702年（元禄15年）2月15日から京都の山科で、今後の進む方向を決める会議が数日間にわたり開かれました。「山科会議」です。この会議は直ぐの討入りの意見は少数で、しばらく様子見の結論になりました。

2) 筆頭家老大石内蔵助の苦悩と行動

山科会議で討入りの延期が決まり、大石内蔵助はお家再興の嘆願書を再度出しました。大石の背後には再興を願う家臣達がいて、簡単に再興を諦めるわけには行かない事情もあったのです。また、この頃から大石の頭には討入りは不可避との覚悟もあったと思います。この行動に累が及ばない様に妻の「りく」を離縁し実家に返しました。この時大石は息子の主税に「寝ても覚めても吉良を打取る事を考えよ」と言った事が「江赤見聞記」に残されています。

実は大石は浅野大学を擁立した討入りを考えていたのです。浅野大学の閉門が解かれたら、直ぐに大学に討入りの許可を取った上で、吉良を討とうと考えていました。今まで何度も嘆願書を出し、討入りの時期を主君浅野内匠頭の三回忌まで待つ考えを持っていた事を、家臣達は読取る事が出来なかつた様です。

3) 江戸急進派、ますます大石を窮地に追い込む

しかし江戸の急進派は山科会議で討入り延期の話合いを行ったのに従いませんでした。原惣右衛門達が堀部らに、大石を見捨てて江戸急進派を中心として吉良を討つ提案をしたのです。しかしもし失敗したら2回目の討入りは無くなりますし、吉良「憎し」と思って討入りに参加しよう思っている残された藩士達の思いはどの様に考えていたのでしょうか。

堀部はこの進言に賛同し、上方に向かい賛同志たちと計画を練り、1702年（元禄15年）7月24日

第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）

～25日に再び江戸に帰ろうと考えていました。

4) 浅野大学閉門と円山（まるやま）会議での重大決定

江戸急進派が討入りの打合せをしていたまさにその時、1702年（元禄15年）7月18日に大石の描いた浅野大学を擁立し、浅野家再興を願っていた夢が絶たれました。浅野大学が閉門の上、本家の広島藩浅野家に引取られることが決定しました。これはお家再興が事実上なくなったことを示しているのです。大石の主流派と堀部の江戸急進派の対立点であったお家再興の道が閉ざされたので、彼らは1702年（元禄15年）7月28日に、京都円山にある安養寺の塔頭（たっちゅう）「重阿弥」（江戸時代民衆へ席を貸す貸座敷・京都市東山区）で円山会議を開き、大石は10月に江戸の下り、「吉良邸に討入することを正式に表明」しました。

この円山会議は前もって予定したものではなかったので、参加者は偶然に京都周辺にいた浪人達だけでした。この会議に参加出来たのは19人で、内17人は後に仇討ちに参加した人達でした。そして会議は当然秘密であったため、議論の詳細は一切わからないのです。今日伝わる円山会議の内容は、初期の実録本「赤城義人伝（せきじょうぎじんでん）」で創出されたものです。



赤城義人伝

閑話休題 (註) 討入り事件は1702年か1703年か?

討入り事件が起ったのは「元禄15年12月14日」です。「元禄15年」は西暦の「1702年」に相当しますが、この「12月14日」は、当時日本全国で使われていた「貞享暦」（現代日本で言う「旧暦」とほぼ同じと考えて差し支えありません）による日付で、グレゴリウス暦（現代日本で言う「新暦」）では翌年の「1月30日」になります。川崎支部便りでは、「貞享暦に従い1702年」として記載しています。

この事件は海外でも関心を持ったらしく、1870年にミッドフォードが「47RONIN」（2013年公開のアメリカ合衆国のファンタジー・アドベンチャー映画。忠臣蔵をモチーフとし、四十七士にキアヌ・リーブス演じる架空の人物であるカイが参加）というタイトルで赤穂事件を英訳しています。その後には、F. V. ディキンズが『仮名手本忠臣蔵』を全訳（1971年にドナルド・キーンによる新しい英訳を発表）し、日本文化の特徴を表すものとして外国に知られています。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

スコットランドで6週間を過ごし帰国したら、首、肩のこりがひどくなり、目は疲れてぼやけ、集中力は無くなり、腰まで痛くなったのは田中ランディ（1959年生まれの作家）です。友人から即回復の秘訣を教わったそうです。「医者自身が困った時に使う方法が一番効くのです。」それは「温める」ことです。ただ、それだけ。

「身体は、火傷と急性の炎症以外は、ほぼ温めると良い。年と共に軟骨が固くなつて血流が悪くなる。特に首だ。耳の後ろを通っている筋肉が固くなると脳に血と酸素が行かなくなつて脳機能が低下し、目も霞むし、喉や口が乾き、手が痺れる。」

どうすれば良いか。「ゆっくりと耳の後ろの筋肉をほぐして使い捨てカイロを手拭いで首に巻いて温めるだけ。」試してみました。本当に良く効きます。「使い捨てカイロは遠赤外線が出ているので、皮膚の奥まで温まるから。低温火傷には注意してね。」身体が楽になります。是非お試しあれ。

第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）

第8.8節 討ち入り直前

(2022年01月 第48号)

計画が漏れても達成できない仇討ち。緊迫した事態が続きます。

1) 仇討ちの意思決定と大石の思惑違い

大石が行った山科会議の頃までの同志は120名ほどいましたが、円山会議で討入りが決定すると、残念ながら脱盟する人が続出しました。この時、大石内蔵助の親戚で、これまで大石を支えてきた奥野将監、小山源左衛門、進藤源四郎の3人が脱盟しました。大石としては、討入りの時まで支えてくれると思っていた親戚であり、家中の主で位の高い3人が脱盟したこと、大石は描いていた仇討ちの計画を変更しなくてはならないと思った様です。

京都に来ていた堀部達は江戸に戻ると、隅田川で二艘の船を借り、月見の宴を装って、船中で江戸の同志たちに「円山会議」の報告をしました。(船中会議)

2) 大石の「神文返し」と藩士達の気遣い

同志達の脱盟を受けて、大石は赤穂浪士の貝賀弥左衛門と大高源吾を派遣して、連判状から切り取った血判を返して回ったのでした。いわゆる「神文返し」です。近い将来、仇討ちした後に、血判状に名前が残っていると、討入り後に参加しない人達に災い(わざわい)が及ぼぬ様にとの大石の気遣いと、私は思っています。

大石は討入り日決定で、脱盟者がいる事は予想していたと思います。しかし一説では、討入りはなくなったとの偽りで神文を返し、受け入れた者は戦力から外し、反論して受け取らなかったものは本当に命を捨てる覚悟で、主君を思う「同志」として厳選するための方法と考えたと伝えられています。対に仇討ちを成功させなくてはとの、大石の思いが表れている話です。

3) いよいよ大石内蔵助、討入りに江戸に向かう

大石内蔵助は垣見五郎兵衛と名乗り、京都円山会議での約束通りに1702年(元禄15年)10月7日に京都を出発し、10月26日に現在の川崎市「平間村」の赤穂浪士の隠れ家とか、宿泊場所と言われている「称名寺」に入りました。

閑話休題 12月14日は、当時日本全国で使われていた「貞享暦」(現代日本で言う「旧暦」とほぼ同じ)の日付で、グレゴリオ暦では翌年の1月30日になる

京都を出立して約20日で川崎市平間村に入りましたが、途中箱根を通り、仇討ちで知られている曾我兄弟の墓を詣で、仇討ちの成功的祈願をしました。この時、墓石を少し削り、懷中に納めたと言われています。

閑話休題 赤穂浪士の討入り、曾我兄弟の仇討ち、渡辺数馬と荒木又右衛門が数馬の弟の仇であった河合又五郎を討ち取った鍵屋の辻の決闘が「日本三大仇討ち」と言われています

第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）

4) 川崎市の平間村の「称名寺」

大石は平間村での約10日間、討入りの計画を練っていたことと思います。江戸急進派との連絡のため、人との往来もあった事でしょう。江戸に行くには「丸子の渡し」に近いし、「小向いの渡し」「矢口の渡し」「平間の渡し」と多くの選択肢がありました。

江戸の町中では、「高家でありながらずるい吉良には咎（とが）めなし、一方の眞面目にやっている人が即切腹させられ損する時代である」と多くの人が思っていたと思いますし、幕府も江戸庶民もことによると「討入り」を予測する噂も多く流れていたかもしれません。

約18か月と時が経ていますから、仇討ちも出来ない浅野の藩士達や、主君が氣の毒と思っていた人々が多かったかもしれません。いずれにしても、江戸より川崎平間の方が目立たなかったと思います。

ここから同志達へ第一訓令を発したそうです。討ち入りの注意事を記載した同志宛の「討ち入り十ヶ条の訓令」です。

「称名寺」は川崎市の真宗大谷派寺院で、赤穂浪士ゆかりの寺として知られます。赤穂浪士が江戸に入る前に平間村に逗留したことは史実であるのに余り知られていません。それは赤穂事件から約15年後に初演の「仮名手本忠臣蔵」が有名で史実と思われたためです、そのため数ある赤穂浪士討ち入り映画でも、平間村逗留を描いたものではなく、取り上げたのは史実に沿ったNHKの大河ドラマ赤穂浪士だけです。（川崎市立下平間小学校の裏に有ります）

遺品としては、大石良雄愛用のおかめの面と書／山鹿素行の書／富森助右衛門愛藏の銚子と盃／他には浪士の書簡／日上幸川筆の「紙本着色四十七士像」などあります。四十七士像は1985年（昭和60年）12月に川崎市文化財の指定を受けて入るもので、これらの遺品は毎年12月14日に一般公開しております。（川崎ロータリークラブ温故知新 本田 和氏筆）

また、2021年になり、大石内蔵助以下10名ほどの浪士が、平間村に滞在した史実を扱った映画が見つかったそうです。「日本映画誕生100周年記念作品」として東宝の威信を賭けて製作され、市川崑監督、高倉健主演で、1994年10月22日に公開された「四十七士人の刺客」です。原作は池宮彰一郎（新潮社）。

またこの寺には赤穂浪士の遺品を所蔵しています。



第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）



称名寺本堂



（川崎市幸区下平間 183—JR 南武線鹿島田駅下車 徒歩 10 分）

5) 討入り日近し、大石内蔵助の最後の諸々の対応

1702年（元禄15年）11月5日に大石は川崎平間村を出立し、江戸に入りました。討入り40日前になります。江戸は日本橋近く、石町3丁目の小山屋の裏店（うらだな）に住み、小山屋の後見のため江戸に出てきた叔父ということにして、垣見五郎兵衛と名乗っていました。

映画の一シーンで、大石が京都から江戸に向かっていた時に、本物の垣見五郎兵衛と対面する場面がありました。これは造り話です。

刃傷沙汰から約18か月たっています。同志達は困窮していました。秋も過ぎ寒くなるのに着物が買えない者、家賃が払えない者等の同志が出ました。大石はこれらの同志の金銭援助もしました。すでに赤穂藩の残金も少なくなり、討入りに対する猶予もなくなっていました。

6) 元禄15年11月29日

大石は最後の詰めである、大石が預かった討入り費用の使途が細かく記録された「預置候金銀請払帳」（あずかりおきそうろう きんぎん うけはらいちょう）を、切腹した浅野内匠頭の未亡人である瑠泉院（ようぜいいん）へ渡すため、瑠泉院の用人である落合与左衛門に送り届けさせています。この時の落合宛の手紙の中で、大石内蔵助は討入りが近いことを知らせているのです。そのうえ、これを届けたのは大石本人ではなく、近松勘六（赤穂浪士47士の一人）の下僕甚三郎が届けたと言われています。この時瑠泉院は、赤坂にあった実家に引取られていました。現在の港区赤坂にあります。

閑話休題 江戸元禄時代のこの地は、備後国（広島県東部）三次（みよし）藩浅野家の江戸下屋敷が有ったところ。三次藩は1632年（寛永9年）に安芸国広島藩から5万石を分知された支藩で、浅野内匠頭長矩の正室の阿久里（出家して瑠泉院）の実家です。瑠泉院は1714年（正徳4年）に死去するまで、幽閉されていました。第4代、第5代藩主が早死にしたので1718年（享保3年）に藩は断絶となり、氷川神社は1730年（享保15年）に赤坂一つ木台地から現在地へ遷宮されたそうです。

第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）



* 南部坂を上った坂上の氷川神社の入口。右側の石垣の内部は、アメリカ大使館の宿舎。石垣に沿って進むと、氷川神社に着きます。

7) 討ち入り費用の明細

討入り費用の明細の「預置候金銀請払帳」（箱根神社所蔵）には、要した軍資金の使い道を厳正に記録したことが残っています。大石内蔵助が預かり管理してきた金額を、まず藩札への支払い、そして藩士達に支払った退職金の残りの391両と、預かっていた瑠泉院が浅野家に嫁入りした時に持参した化粧料の300両の計691両が討入りの軍資金となり、現在の金額で約8200万円になります。

支出（端数は省略）

①旅費・江戸逗留費	248両（2970万円）（同志：江戸・京都・大阪・赤穂にて）
②生活費補助費	132両（1587万円）
③仏事費	127両（1533万円）（京都瑞光院に内匠頭の墓建立の寄付に100両使用）
④江戸屋敷購入費	70両（840万円）
⑤御家再興工作費	65両（783万円）
⑥討入り装備費	12両（144万円）

第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）

⑦会議費 11両（132万円）

⑧その他 33両（379万円）

以上の内容で、討入り費用との差は7両（約77万円）不足となり、大石内蔵助が自腹を切って負担したのです。討入りを悟られない為の芝居であったのか、映画でも京都の遊里で遊興したと言われた大石内蔵助ですが、その費用は軍資金からは一銭も出されていない事が分かっている様です。

大石は父良昭が1673年34歳の若さで他界し、そのため祖父の世話をになりますが、1677年内蔵助19歳の時に祖父良欽も他界し、その遺領1500石と、内蔵助の通称を受け継ぎました。そして、大叔父・良重の後見を受けました。1679年（延宝7年）21歳の時に正式な筆頭家老になりました。平時における大石内蔵助は凡庸な人であった様で、「昼行燈」（ひるあんどん）と言われていて、藩政は老練で財務に長けた家老の大野知房（赤穂藩の末席家老・「忠臣蔵」では不忠臣の代表格・）に任せました。大石内蔵助は「昼行燈」と言われても、良くも悪くも先を見極めて確実に対応出来る人物と思われます。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

中原街道がいつごろから存在していたかについて、研究者の間で古墳時代（250年～600年）から、飛鳥時代（592年～710年）から、そして平安時代後期（794年～1186年）からの3世紀、5世紀、7世紀であるとする「753論争」と言われています。

現在の神奈川県の平塚中原から多摩川の「丸子の渡し」の間は、昔は東海道の一部として早くから使われていました。川崎市宮前区にある創建740年の影向寺（ようごじ）の近くには、橘樹郡の郡家（ぐんか）跡もあります。このことから、古くから中原街道はあったのです。

戦国時代小田原城主であった後北条氏（北条早雲は元・伊勢宗端）は父早雲から平定した相模を継承し、小田原入り後に姓を伊勢から北条に改めました。北条氏も北上するのに重要な街道と考えていたのか、直線的に整備をしました。徳川家康も豊臣秀吉の命で、駿府から江戸への移動「関東移封」「関東入国」「江戸入り」等と言われたのが1590年（天正18年）で、中原街道を使って江戸に入りました。平間村で大願成就を願っていた大石内蔵助と一行は、「平間の渡し」を渡り、どのルートで江戸に入ったのでしょうか。

耳寄り情報

日本の地域資産（温泉）①

温泉はその泉質だけではなく、その地の人々や訪れた人たちが築き上げた文化や景観があります。各地の温泉近くから縄文遺跡が発見されたのは約2400年前の縄文時代です。道後温泉には聖徳太子が温泉の効用を讃える碑文を作ったそうです。「伊予國風土記」（いよのくにふうどき）の逸文では、聖徳太子が596年に道後温泉を訪れて、道後温泉の効用と風光明媚さを讃える碑文を作ったとされています。思うに、飛鳥時代には皇族を受け入れる施設が道後温泉には有ったと思います。

第8章 忠臣蔵と川崎市の縁（ゆかり）

清少納言の「枕草子」が完成した1001年には、三名泉が記されています。「枕草子」第117段に「湯はななくりの湯、有馬の湯、玉造の湯」とうたわれ、七栗の湯（現在の神原温泉：三重県津市又は別所温泉：長野県上田市）、有馬の湯（現在の有馬温泉：兵庫県神戸市）、玉造の湯（現在の玉造温泉：島根県松江市）が日本三名泉とされています。しかし、枕草子の原文は存在しないので、鎌倉時代以降書写されたものが現存するのみで、多くは誤植や加筆が加えられ、枕草子（三巻本）には日本三名泉の記述すらありません。



日本の地域資産（温泉）②

905年（延喜5年）に奏上された「古今和歌集」（奏覽後に内容に手を加えた跡があるので912年（延喜12年）の説もある）を見ると、詞書（ことばがき）に「但馬（たじま）国の湯」の文字が有るので、志賀直哉で有名な城崎（きのさき）温泉（兵庫）と見られています。源氏物語にも道後温泉が登場します。

武田信玄等の戦国武将は領地内の温泉地を確保し、リハビリセンターとしていたことはよく知られています。1582年（天正10年）に京都の山崎の戦いで明智光秀を破り、1583年（天正11年）に賤ヶ岳の戦い（しづがたけのたたかい）で勝利してから豊臣秀吉の有馬温泉通いが始まります。丸腰で温泉に入ることは、平和の時が在ったことです。また、徳川家康は江戸幕府を開いた翌年（1604年）には、熱海温泉（静岡県）に7日間逗留した記録が残されています。徳川家康は熱海の湯を樽に詰めて、各地の大名に贈ったそうです。4代將軍家綱は、新しい檜の樽を用意させ、紋付き袴の係りが、長柄杓（ながびしゃく）で熱海の大湯の源泉を汲み入れました。封をされた湯樽は「御汲湯（おくみゆ）」と呼ばれ、昼夜を分かたず江戸城に運ばれました。江戸時代には各地の温泉を紹介した「旅行用心集」（1810年）には、諸国温泉292か所が紹介され、「温泉番付」も登場しました。

長野県の野沢温泉を好む墨客（ぼっかく）は多く、代表的なのは芸術家の岡本太郎で、毎年の様に訪れたので、野沢温泉村の名誉村民になりました。太郎の母である岡本かの子（本名は岡本カノ）の文学碑は、川崎市高津区の二子神社（高津区二子一丁目－田園都市線の二子新地駅下車徒歩3分）にあります。境内には揺らぐ炎のような白い「夢幻の白鳥」が迎えてくれます。全国の愛慕者によって1962年11月に建てられ、彫刻の台座には「この誇りを亡き一平とともにかの子に捧ぐ 太郎」という制作者で長男の岡本太郎の銘が刻まれ、その横に「としあとにわが悲しみは深くしていよよ華やぐいのちなりけり」という歌が、かの子の筆跡から拾字されて御影石に刻まれています。是非ご覧下さい。



第9.1節 「道」から「街道」へ

(2020年06月 第28号)

住宅地の区割りから県境に至るまで、実は古くからの「道」が基本となっています。普段何気なく通行している「道」について考えてみましょう。

9.1.1 はじめに

私たちの暮らしに身近な住宅地の区割りや町・市境線、区界線、県境線などが、実は古街道だったことが最近わかっています。つまり、日ごろ何気なく歩いている市街地の道や、近所の丘陵地帯のハイキングコースが、実は古代に都人が往来していた官道や、武士たちが馬駆けた鎌倉街道であることが十分にあり得るのです。

古い道といっても、そこにはさまざまな種類があります。飛鳥～奈良時代の古代律令国家によって整備された官道や江戸時代の街道・脇往還（わきおうかん）といった、当時の治世者が造った国道。あるいは、軍用路として整備された道や集落内の生活道路。いずれも、かつてその土地に生きた人々が造り、歩いた道です。「古街道」の定義とは「江戸時代より前、縄文から戦国時代までにできた街道」となります。それ以降、江戸時代から近代にできた道、主に徳川幕府が整備した街道は「旧街道」と呼んでいます。

「江戸時代の街道はせいぜい270年ほどの歴史しかありません。一方、古街道は縄文から戦国時代までが範疇なので、約5～6000年というものすごく長い時代背景があります。古街道は歴史的に古い道であるため、地中に埋没し、畠や林の中に連続する緩やかなくぼみとしてのみ痕跡を残している場合もあります。周辺の土地が変わり、現在は歩けない場所や私有地になっているところもあります。そのため、一部の古街道跡には“線”として正確にたどることが難しく、推定する箇所も有ります。

川崎市の街道には次のものが知られています。

- ① 府中街道：東海道・甲州街道が東西路とすれば、府中街道は南北路の代表
- ② 津久井道（つくいみち）：津久井・愛甲の絹を江戸へ送るいわゆる「シルクロード」として利用されると同時に、黒川炭などの特産物も運ぶ
- ③ 大山街道：古くから、大山詣りの道として知られ、駿河の茶や真綿、伊豆の椎茸、乾魚などの物資を輸送する商業ルートとしても重要
- ④ 中原街道：名の起りは、平塚の中原に徳川家康が御殿をつくり、そこを通って江戸へ向かうために中原街道と呼ばれた
- ⑤ 東海道：慶長6年（1601）いち早く伝馬制がしがれ、寛永12年（1635）に53宿が整う

- ⑥ 大師道（だいしみち）：東海道 53 宿の 1 つ川崎宿から、厄除けで知られる川崎大師に至る道



9.1.2 日本の道路のルーツは獣道？

一口に「道」と言っても、日本では様々な呼び名や使用目的により内容の表現が異なります。「道」は地球の誕生、2本足や4本足の動物類、人類の誕生等、生物が生きていくのに必要な設備であり、道具です。この生活の手段が、人間の開発、整備、発展に繋がったのです。人類の誕生を見ましょう。

- 猿人以前は人間とよく似た「サル」がいますが、人間は靈長類あるいはサル目（もく）と呼ばれ、人は靈長類から分化して現れた生物種と考えられています。1億年から7千年前に地球上に最初に靈長類が現れました。
猿人で有名なのはオストラロピテクス（南のサルの意味）で、ピテクスとはサルの意味です。ルーシーの名で人類学者に有名なオストラロピテクスの女性の一体は、中東アフリカで発見され、400万年～300万年位前に生存したと考えられています。
- 原人はホモ・エレクトスとも言い、猿人の次の段階になります。猿人の身長は140～150cmですが、原人は160～180cm位です。約180万年前から猿人が進化した様です。原人の初めての化石はインドネシアのジャワ島で発見された「ジャワ原人」です。そしてアフリカを超えてアジア迄に広がったのは、原人が最初です。60万年前から氷河期に入り、原人は毛皮を身に着け、天幕を張ったシェルターや洞窟で暮らしていた様です。
50万年位前には、原人による「火の使用」の痕跡が中国の北京で発見されたのが「北京原人」です。火が使えると、暖はもとより明かりがとれ、猛獣を遠ざけたり、食べ物を加熱調理する事が出来ます。子供の歴史本の絵に描かれていたことが、思い浮かびませんか。
- 旧人類は原人の次です。ネアンデル人が良く知られています。旧石器時代の石器の製作技術を持ち、火を積極的に使用した旧人類で、約50～30万年前に登場しました。新説では約4万年前に絶滅した様です。

人類の期限を見てきましたが、サルが起源の1億年から7千年前に最初の靈長類が人類の始発で、中東アフリカのアウストラピテクスや原人がヨーロッパ、アジアの人間の祖となるのでしょうか？

- 4) 「道」とは人間が生きる為の重要な設備であり、手段であり、道具であったと考えます。現代でも同じであります。「道」には次のように様々な呼び方が有ります
- ① 「獣道（けものみち）」山野において獸（野生動物）が通る道。大型の哺乳類が日常的に使用している経路のこと。森林内に人が作った林道や山道等を、他の動物が利用することも多い。人が作る道路のルーツを辿れば、自然な「獣道」であり、それに手を加えられて歩きやすく幅広く作られて路（みち）となり、更に改良して道路となりました。太古の人間は、動物が作った獣道を辿れば歩きやすく、獲物となる動物を見つけやすいと考え、獣道を辿って歩く様になりました。やがて、人間が歩く為の道路が作られていったとも考えられます。
 - ② 「踏み分け路（ふみわけみち）」荒野や丘陵地帯に大雑把に切り開かれた小道や跡。類語・同義語は、小みち、小道です
 - ③ 「農道（のうどう）」。日本の農村地域において、農業の用に供するために設けられた道路。農作物の運搬等の為に耕作地や田畠の間に作られた道で、一般には「土地改良法」（1949年（昭和24年）6月6日法律195号土地改良について定める日本の法律）の農業用道路で、所轄は農林水産庁です
 - ④ 「あぜ道（あぜみち）」田と田の間の細い道。畔（あぜ）、畦道とも書きます
 - ⑤ 「田圃道（たんぼみち）」田圃の間にある道で、上記の畦道と同じ
 - ⑥ 「田舎道（いなかみち）」田舎にある道で、多くは未舗装の荒れた道を言う
 - ⑦ 「林道（りんどう）」森林の整備・保全を目的として森林地帯に設けられる道路の総称で、森や林の中、特に林産物を運搬する為、森林の内外に設けられた道。「森林法」（1951年（昭和26年）6月26日法律249号森林生産力向上を目的とした森林行政の基本法）の規定に基づいて設置される
 - ⑧ 「道（みち）」。古来を通して自然発的に生じ、人や車等が往来するための所、どこかへ行く時に通る・通った場所であり。人・ものだけでなく目的を達成するための「方法」も含みます。英語では road、way、route、street、track、path、pass と表します
 - ⑨ 「通り（とおり）」。通り（go）、通り抜ける（through）からできた名詞です。人が通るところで、英語では street（通り・街路）、大通りは avenue（大通り・並木道）です
 - ⑩ 「道路（どうろ）」。車が通るために人工的に築造（古代では石貼、敷石、砂利敷、現代では舗装等々）

し、管理されているもので、道の中でも一定の要件を満たすもので、多くある「道」の中でも目的があつて法令で決められたものだけを「道路」と言います

人生を豊かに（雑学のすすめ）

文豪たちが送るお祝い状は、名文が多い様です。有島武郎は1920年（大正9年）、41歳の時京都の定宿の若女将に送った出産祝いは、夫など周囲の関係者の喜びまで想像して共感し、産後の肥立ちへの注意を促す等、教科書通りで文句が付けられません。

頼まれてもいらないのに、名付け親になろうとした文豪もいます。夏目漱石です。漱石の「道草」「明暗」の装丁でも知られ、親交のあった画家・津田清楓（せいふう）に1913年（大正2年）、男児が生まれた際、46歳の漱石は次の命名案を送っています。8月3日の生まれなので八三（はちぞう）は如何、安々と生まれたから安丸（やすまる—やすくうまれる）は如何、一人が生まれたから一人（かずと）またはイチニンは如何、大分長く待ったから長松は如何、高田老松町で生まれたから高松は如何、等です。命名権がないのに勝手に先走り、しかも非常に安易。適當な隠居の様です。

そもそも漱石は命名に関しては意外に淡泊な様で、出世作「吾輩は猫である」も、本人は「猫伝」としました。それでは面白みがないとアドバイスしたのが、当時の編集者であり、俳人として名をはせた高浜虚子です。また、漱石の長女「筆子」は、妻の境子の字があまりうまくなかったので、上手になる様の気持ちで付けたといわれています。

お祝い状が素晴らしいのは、我が事の様に満ち、どの様な丁寧な言葉を尽くすより、ともに喜ぶ姿勢が何よりの祝福です。ところで清楓の子のなは、結局どうなったのでしょうか。なんと漱石のおふざけ候補の一つ「安丸」が採用されました。あなたならどうしますか？

耳寄り情報

七五三は「11月15日にお参りをする」ものだと思われている方がいますが、この日が選ばれるようになったのは、江戸時代に五代將軍・綱吉の子、徳松（とくまつ）の「髪置」のお祝いをこの日に行つたから、と言われています。江戸時代の前は、11月以外に行われることもあった様で、江戸の終わりになって、11月に統一されていきます。

でも、どうして七、五、三という数字が選ばれたのでしょうか？ 昔の日本は、医療も未発達で、乳幼児の死亡率が高く、「七つ前は神のうち」と言われました。親からすると、七歳を超える迄が心配だったのです。この年迄生きていて良かったと神様に感謝し、これからの方にお祓いをした。そういうことではないでしょうか。その中でも、三、五、七の数字が選ばれたのは、これが「聖数」（せいすう）（陽数）だからです。縁起の良い数字が選ばれたのでしょうか。

第9.2節 日本の道路の歴史について

(2020年07月 第29号)

道の起源が獣道や踏み分け道である事が分かりましたが、日本の道はどの様な経緯で形作られたのでしょうか。時代ごとに見ていきます

1) 原始時代

原始の時代（旧石器時代・縄文時代・弥生時代・200万年前～西暦250年）に狩猟や採取を行っていた原始社会（人類の歴史の始まりの、まだ文明を持たない社会で、都市も国家もなく、分業（例えば江戸時代の土農工商や階級を持たない社会）では動物の移動に伴って出来る「けもの道」が狩猟する民によって利用される場合も有りました。

もう一つは、「踏み分け道」でした。人が生きて行く為に木の実や魚の採取や、狩猟をしながら、何度も同じ所を行き交うことを繰り返すうちに、地面は踏み固められて自然に草が減り、土が出た筋状の「みち」になりました。彼らは動物の水飲み場とか、糞をする場所等を良く掌握していた様で、新しく分け入る時は木の枝を折って目印として新しい道を拓いて行った様です。

2) 飛鳥時代まで

日本に稻作が伝わったのは、今から約3000年前の縄文時代後期です。それよりも古い時代に、原始的農耕が行われた可能性も有る様です。稻が日本にもたらされた最も古い証拠は、縄文時代後期末迄遡り、福岡県や熊本県の遺跡の土壤からプラントオパール（イネ科植物の葉身にあるケイ酸を含む細胞）が検出され、イネの痕跡が確認されています。

人々が農耕を始め、稻作が日本国内に広まり、次々と集団で定住した場所には集落ができ、集落間で物品の交易や情報の交換、婚姻等が行われることが頻繁になり、人の往来が増えると、はじめは一人がやっと通行出来た道幅が自然に踏み分けられ、幅が広い道へと変化していきました。

それ以外の場所では、獣道や踏み分け道が次第に踏み固められ、川沿いや尾根伝い、低い峠等に、自然発的に主要な道路が形成されていきました。2000年（平成12年）に国の特別史跡に指定された三内丸山遺跡（青森県）には、幅12m、長さ420mの舗装された道路が発見され、すでに縄文時代の中頃（紀元前3500年～2000年頃）には、人力で道路が作られたことが判り、それまでの通説が覆った様です。

日本書紀（720年・養老4年）の神武東征の折に、河内国から大和国に兵を進めた様子を描いた記述で、「皇師兵を勅（ちょく）へて歩より龍田に赴く。而（しか）もして其の道嶮しくして、人並み行くを得」が日本の書物の中で道路についての最も古い記述であるとされている様です。

当時の道路が、人が2列で行進することが出来ない程、狭いものであったことが判る文だそうです

3) 奈良時代

7世紀当初、飛鳥地方の大和政権（4世紀～7世紀半ば頃迄）が誕生し、大和（奈良県）を中心とする畿内政治勢力の連合体で、従来は大和朝廷と呼ばれていましたが、最近では大和政権又は大和王権と呼んでいます。奈良盆地東縁を通る山辺の道や、聖徳太子が通ったとされる太子道、南北に通る上ッ道（かみつみち）、中ッ道（なかつみち）、下ッ道（しもつみち）（古代大和盆地を南北に縦貫する様に造られた幹線道路）、これに直行する横大道、竹内街道等が作られました。日本書紀の第33代推古天皇（在位593年1月～628年4月）の613年（推古21年）11月の記事に、「難波より京に至る大道を置く」とあり、これが日本における道路整備の最初の記述だそうです。当時の「京」は飛鳥に有り、竹内街道は現在の奈良県葛城市と大阪府堺市を結び、現在の国道166号線にはほぼ相当するそうです。



645年（大化元年）「乙巳の変」（いっしのへん）の翌年646年（大化2年）に、第36代孝徳天皇から発布された「革新の詔」（かいしんのみことのり）（政治運営に邪魔だった蘇我氏を排除後、天皇主権国家を造るための基本方針）により、天皇を中心とする中央集権国家の建設を目指し、律令制が制定されました。

閑話休題 以前の歴史では645年（乙巳の変）が大化の改革と教育されていましたが、現在では646年発行の「革新の詔」により改革されたことが「大化の革新」と修正されています。

- それぞれの条文で、1条は公地公民制、2条は国郡制、3条は班田制、4条は税制についての記載が有り、これら条文は、律令国家となる1歩で、のちに律令国家完成となる大宝律令につながるものとなります。

その中に広域地方行政区画として五畿七道（ごきしちどう）が定められ、日本で最初の計画的な道路網の整備が始まられました。

「革新の詔」により、地方に国司・郡司を置き、中央（①大和国・奈良県、②山城国・京都府、③摂津国・大阪府北西部、④河内国・大阪府、⑤和泉国・大阪府南部の五畿）と地方の官庁とを結ぶ「駅路」（えきろ）が整備されることになり、七道駅路（しちどうえきろ）とも呼ばれました。この駅路の全長は6500km迄になり、30里（約16kmは古代中国の1里=500mからの換算か？）毎に駅が設けられて、輸送機関として、駅夫・駅



馬が置かれました。駅路は京（畿内）を中心に、放射状に作られ、特に山陽道・東海道・東山道・山陰道・北陸道・西海道・南海道の7線路を「七道駅路」として、重点的に整備しました。

閑話休題 駅路とは古代律令制時代に、駅馬に乗用することが許された公的な駅使が通行する官道と定められました。幅は最小で6m程度、最大では30mを超えていたことが判明しています。

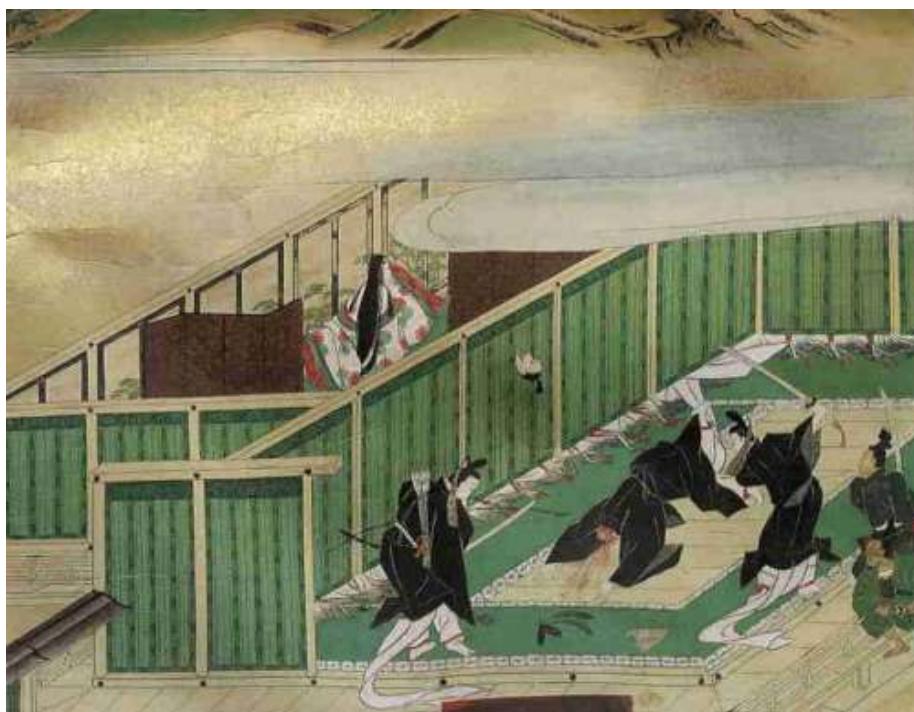
これら七道の呼称は道路を指すだけでなく、その道路によって結ばれる国の地域的集合区分として用いられました。この中で京と太宰府を結び、最重要視されていた山陽道と西街道の一部が「大路」（おおじ）、東国へ向かう東海道・東山道を「中路」（ちゅうろ）、その他を「小路」（こうじ）と呼びました。これらの道路の特徴は、小さな谷を埋めて峠付近を切通にする等、出来るだけ直線的で平坦になる様に造られ、集落からは遠く離れた箇所を通っていました。

閑話休題 日本は西暦50年代には中国に遣使を送り始めていますので、ヨーロッパの情報はシルクロード～中国経由で紀元前のローマ帝国の情報も入手出来ました。すべての道はローマに通じると同時に、日本もすべての道は畿内に通じていると、ローマを参考にしたものでしょう。

七道駅路は中国の隋や唐代の道路制度に倣い、中央の情報をいち早く諸国に伝えるために地形の起伏よりも距離を重視しました。

所沢市の東山道武藏路遺跡の発掘調査状況の結果では、当初12mあった道幅が、平安時代に入ると9m、さらには6mにまで縮小されていたことが判明しています。

奈良時代には僧行基の指導により、平城京と各地を結ぶ奈良街道等の整備や、神社・寺院が各地に建立された為、高野街道、熊野古道等の信仰の道も整備されました。



(乙巳の変)

人生を豊かに（雑学のすすめ）

- ① 人を恋うる歌（与謝野鉄幹）に「妻をめとらば才たけて みめ麗しく情けあり 友を選ばば書を読みて 六分の侠気四分の熱・・・」があります。よい友を得られることは幸せです。
- 「絶対うそを言えない人をひとり、友人に持つと良い。」あるお坊さんの言葉です。先日物故された女優の樹木希林さんは、「おごらず、人と比べず、おもしろがって生きれば良い。」といわれました。あなたならどうしますか？
- ② 原産国とは最終加工地のことです。原材料表示の下段に記載されている「販売者」がそれにあたります。ここに日本の会社が有り、所在地が国内であれば原産国は「日本」です。でも原材料原産地が記載されていなければ、どこで作られたかはわかりません。原料原産地とは原料が作られた国や地域のこと、原材料名の後ろの（かっこ）内に記載されます。表示されていないものは、外国産かも知れないし、産地が特定出来ないものかも知れません。
- さらに食料品の場合は輸入後日本で何日か育てる事で日本産と表示できるなど、食品中の危険物質が取りざたされる中、余程注意が必要です。
- これもあるお坊さんの言葉で「近くで遠いものを食べなさい」と云うのがあります。（産地が近く、生物分類上遠いもの）

耳寄り情報

- ・焼き肉料理で、焼き肉のたれを親の仇の様に、多量にかけている方を見ました。焼肉のたれの成分の約1/3は糖質です。次は中濃ソースで、大匙1杯の糖質は5.4gr、ウスターソースは4.8gr、ケチャップは4.7gr、和風ドレッシングは0.8grです。
- ・日常使用しているドレッシングを糖質が多い順から並べてみましょう。

① 焼肉のたれ	② 中濃ソース	③ ウスターソース	④ ケチャップ
⑤ 減塩みそ	⑥ ぽん酢醤油	⑦ 濃口醤油	⑧ 薄口醤油
⑨ 和風ドレッシング	⑩ マヨネーズ		
- ・減塩みそは、塩分を抑えるために使用する米麹や麦麹に糖質が多いのです。
- ・醤油は、小麦が製造過程でアルコール等に変化するので、糖質は少なめです。
- ・ぽん酢醤油は、果汁・みりん・砂糖等を多く含むので、以外に糖質が多めです。
- ・和風ドレッシングは、材料が醤油と糖質ゼロの油なので、糖質が少ないのです。

第9.3節 鎌倉時代・戦国時代と道路

(2020年09月 第31号)

源頼朝が鎌倉幕府を開くと、山陽道に代わり、都が置かれている京都と鎌倉を結ぶ東海道が重要視されました。この時代は頼朝が支配圏を拡大する為、道路の整備を積極的に行っていきました。特に、関東武士が鎌倉に集結する為に、関東各地と鎌倉を結ぶ鎌倉街道が切り開かれました。今回は鎌倉幕府についておさらいしましょう

9.3.1 鎌倉・室町幕府

1) 初代・第2代将軍

鎌倉幕府は148年間続きましたが、建久3年7月（1192年）に「源頼朝」が第一代将軍につき、7年後の建久10年1月（1199年）に、将軍任期6年6か月の享年53歳で死亡しました。その後、第二代鎌倉幕府の将軍には、源頼朝の子である「源頼家」が建仁2年7月（1202年）18歳で家督を継ぎ、征夷大将軍に就任しました。母は北条政子でした。



この第二代将軍源頼家は、後ろ盾であった比企（ひき）氏（比企氏の一族の比企尼（ひきのあま）が第一代将軍源頼朝の乳母を務めた）と北条氏との対立が起り、このため比企氏は滅亡し、第二代将軍源頼家は後ろ盾を失いました。

第二代将軍源頼家は、将軍に宣下された建仁2年（1202年）から約一年後の7月半ばに急病に罹（かか）り、8月末には危篤状態になり、後のこと自分の一幡に任せることになりました。しかし頼家が存命中にも関わらず、都（朝廷）に死亡が出されました（子供一幡も一時は難を逃れましたが、のちに北条時政に謀殺されてしまいました）。

その後、回復した頼家は病気中の北条家の対応に激怒し、頼家を母政子が無理やりに押しとどめて伊豆国修善寺に幽閉させましたが、元久元年（1204年）7月18日の入浴中に北条氏の手兵（しゅへい・北条が直接指揮する兵）により暗殺されました。享年23歳でした。

この結果、北条氏が鎌倉幕府の実権を握ることになりました。

2) 第3代将軍

第三代将軍になった「源実朝」は、鎌倉幕府を開いた頼朝の嫡出の次男（頼朝の子としては第6子で四男、北条政子の子としては第4子で次男）として兄の頼家が追放されると、12歳の建仁3年（1203年）9月に征夷大将軍に就きました。

政治については、最初は執権を務める北条氏等が主に執りましたが、成長するにつれて関与を深め、官位の昇進も早く、武士として初めて右大臣に任命されています。しかし、その翌年の建保7年（1219年）1月に任期15年4か月の時に、第二代将軍頼家の子公暁（頼家の次男または三男と言われている）によって、鎌倉の鶴岡八幡宮で暗殺されました。享年28歳でした。

鎌倉幕府148年間で、源家が将軍として付いた任期は、3名で合計22年11か月でした。

3) 唐船建造の夢

第3代将軍の逸話に、北条義時（北条政子の弟）や側近の大江広元の諫言を退けて強行したのが、唐船の建造があります。事の発端は、奈良東大寺を再建した宋の僧・陳和卿の実朝への拝謁でした。実朝に拝謁した陳は、はらはらと涙をこぼし、不審に思った実朝が訳を尋ねると、「將軍は宋の医王寺の長老の生まれ変わりです。私は門弟の一人でした」と語ったのです。にわかには信じられない話ですが、実朝には思い当たることがありました。以前、夢の中で高僧から聞かされた話と同じだったのです。実朝は前世ゆかりの宋・医王寺を訪れることを思い立ち、陳に唐船建造を命じました。建保5年（1217）、船は完成し、海に曳き出されますが、しかし浮かぶことはなく、実朝の渡宋の夢も潰えます。

第三代将軍源実朝の期待した唐船は完成したものの、夢はかなわず、更に2年後には暗殺されることになる自分の生涯を、思ってもいなかつたと思います。

4) 暗殺者

第三代将軍の暗殺を行った公暁は、第二代将軍源頼家の次男または三男に当たり、母は源為朝（源頼朝、義経兄弟の叔父）の孫娘です。暗殺した実朝は叔父にあたります。建永元年（1206年）に母北条政子の計らいで実朝は亡兄、第二代将軍の遺児となる善哉（幼名ぜんざい）を猶子（ゆうしー兄弟・親類や他人の子と親子関係を結ぶ制度）としました。ここで実朝とは親子関係となりました。そして建歴（けんりゃく）元年（1211年）に善哉は鶴岡八幡宮別当の下で出家をし、公暁となりました。公暁はおじである第三代将軍実朝を「父の仇」として暗殺しましたが、実朝は義理の父親の殺害者でもあったのでした。公暁自身も直後に討ち取られました。

5) 執権北条氏

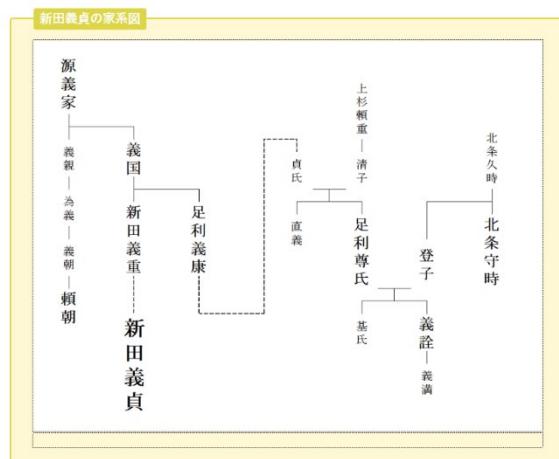
その後は北条氏が執権となり、北条氏の権力確立に努めましたが、北条義時（北条政子の弟）は対抗勢力である和田義盛に計略をめぐらしました。この和田義時は、平家滅亡後に奥州合戦に従軍して武功を立てました。源頼朝の死後、梶原景時の変での景時弾劾追放では中心的な役割を果たし、比企能員の変や畠山重忠の乱等の御家人の乱では北条氏に与しました。しかし、2代執権・北条義時の挑発を受けて挙兵に追い込まれ、挙兵に際して最も頼りにしたのが、本家に当たる三浦氏の当主・義村でした。義村は挙兵への同心を約束し、起請文まで書きましたが、義村は弟の胤義と相談して、変心して義盛謀反を義時に通報しました。1213年幕府軍を相手に鎌倉で戦うが敗死し、和田一族も滅亡しました（和田合戦）。これにより、幕府の実権を執権北条氏が掌握しました。和田合戦ではその単純・愚直さを北条義時に利用され、挑発を受けて挙兵に追い込まれる結果となりました。

6) 鎌倉・室町時代の道

元弘3年（1333年）上野国（群馬県）の新田義貞は、鎌倉幕府を倒す為挙兵し、「小手指の戦い」、「久米川の戦い」、「関戸の戦い」を経て鎌倉に攻め込み幕府を倒し、同年鎌倉幕府滅亡に至りました。

室町幕府は通路や交通に対する目立つ様な施策はほとんど見られず、数多の関所を設けて通行人から通行税を取る政策しか行われていませんでした。

7) 戦国時代の道



戦国時代には、各戦国大名にとって物資の往来、敵からの防御が死活問題だったので、領内の道路整備や峠の開削が行われました。特に、武田信玄は「棒道」(ぼうみち)と呼ばれる軍事的な輸送目的の道路を、積極的に整備しています。

領国の境には関所が設置され、通行税の徴収がされるようになってきましたが、その様な中、織田信長は全国統一を目指して道路整備の方針を制度化したことが江戸幕府にも引き継がれてきました。

織田信長・豊臣秀吉は天下統一の為の支配圏拡大を進めるに当たり、交通路整備を重要視し、道路改修や橋の整備を怠らないで、国境の関所を廃止しました。

閑話休題 棒道（ぼうみち）は、武田晴信（信玄）が開発したとされている軍用道路。八ヶ岳南麓から西麓にかけての甲信国境（甲斐国（山梨県）と信濃国（長野県）の境）を通る。甲斐国北西部の逸見筋（現在の北杜市域）にあたる山梨県北杜市（旧北巨摩郡小淵沢町、長坂町）や長野県富士見町には現在でも上の棒道、中の棒道、下の棒道の三筋が残されており、それぞれ市・町指定の史跡となっている。

地元では信玄棒道と呼ばれています、「棒道」の由来は、荒野にまっすぐ一本の棒のように存在していたので棒道と呼ばれるようになったとされる。別名は大門嶺口（だいもんとうげぐち）。

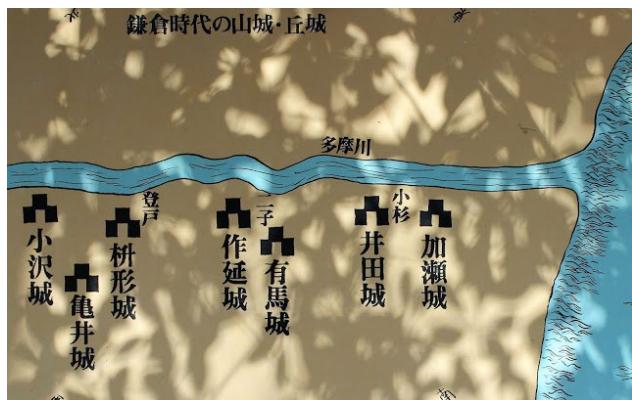
「棒道」に関する確実な初見資料は江戸時代初期の慶安4年（1651年）「逸見筋小淵沢村四ヶ村山論裁許絵図」（北杜市教育委員会所蔵）である。これは、小淵沢村（北杜市小淵沢町）と周辺諸村の間で発生した山論に際して作成された裁許図で、小荒間村（北杜市长坂町）から西へ延びる「ぼう道、中道」の二筋が朱筆で記されている。

江戸後期に編纂された甲斐国地誌である『甲斐国志』には棒道は三筋あると記されている。

9.3.2 源頼朝と川崎市との強い関係

「八景いろいろ」でご紹介した様に、「武陽玉川八景」の中でも、特に鎌倉時代に川崎市高津区・多摩区を治めた稻毛三郎重成と源頼朝の大変強い関係があります。現在の川崎市登戸にあった舟形城主稻毛三郎重成は、以前平家の出身でしたが鎌倉幕府の傘下となり、源氏になりました。

稻毛三郎重成の正室は、頼朝の正室である北条政子の妹です。稻毛三郎重成は頼朝の挙兵当初から源頼朝に従い、武功をあげて有力御家人となりましたが、他面大変な愛妻家であり、妻の病没に際しては別離の愁いに耐えかねて出家し、追善のためにと莫大な費用を投じて相模川に橋を架けています。（川崎の玉川南岸に所領を持っていた稻毛三郎重成にちなんで、スーパーマーケットの「いなげや」は命名された。）



更に、津田山の縁が丘霊園内にある武陽玉川八景の一つ松寿弁財天にあった綱下げる松に、源頼朝が乗ってきた船を係留したので、綱下げる松と言われているそうです。稻毛三郎重成が相模川に橋を架け、その完成式典に源頼朝が出席し、その帰途中の落馬が原因で死亡したと言われています。

これまで中世、特に鎌倉幕府を背景として道路のルーツの説明をしましたが、鎌倉幕府を興した源頼

朝と「校友会川崎支部」の拠点の地が、強い関係があること、また後半に出てくる鎌倉幕府の滅亡を左右する戦の話題があることは、大変感慨深い「川崎」です。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

ゴボウのポリフェノールの含有量は、根の皮部分が最も多いです。皮は実の2倍以上含まれています。

ゴボウの先端には、約8倍の鉄分が含まれ、鉄分が多い順に、先端の皮部>根の皮部>中央の皮部。一番少ない中央部でも、皮は実の6倍以上、先端部は実に約8倍です。根の先端は捨てないで下さい。

もったいない切り方のNO.1は「ささがき」です。抗酸化力根本と皮がポイントです。ゴボウに含まれるポリフェノールには、風邪予防、老化防止等高い抗酸化作用が隠されています。「ささがき」よりも「輪切り」が有用です。

ささがきのゴボウを茹で料理した場合、ゴボウのポリフェノールの主成分であるクロロゲン酸が8%にまで減ります。皮ごとの輪切りなら、残存率は最大72%にもなります。

カルシウムやマグネシウムも、ささがきや細いせん切りでは、その多くが消失します。また、皮が命の野菜なので、真っ白になるまでこすり洗いをすると、皮に含まれるタンニンがほとんど消えるので注意しましょう。

耳寄り情報

戦時中、日本国内には、空襲を絶対に受けない安全な場所が二か所だけありました。軽井沢と箱根です。

軽井沢にはスイス公使館、スウェーデン公使館を始めとする、西ヨーロッパ各国の公使館が疎開していたからです。そして箱根には、ソ連の大使館がありました。

日本はアメリカに対し、中立国のスペインを通じて連絡していましたが、途中でうまくいかなくなつたので、スイス公使館を通じ、軽井沢周辺の地図をアメリカに送っています。ここには中立国の大使館がありますから空爆はしないで下さい、とお願いをしておくわけです。そうすれば、絶対空爆されません。

ちなみに、ドイツ大使館は河口湖にあったため、河口湖周辺は空爆されています。日本人で外交事情に詳しい人や金持ち、官僚たちは家族を軽井沢や箱根に疎開させました。情報格差が命の格差になっていたのです。

アメリカファーストと言いますが、現実はみんな「我が家ファースト」ですね。（佐藤優 宗教改革者から）

第9.4節 江戸時代の道

(2020年10月 第32号)

1) 五街道

関ヶ原合戦の後、徳川家康は江戸を全国支配の拠点にすべく、江戸と各地を結ぶ道路網を整備しました。3代・家光の時代に諸国大名の参勤交代が行われる様になると、街道や宿場も整えられました。4代・家綱が、日本橋を起点として放射線状につくった幹線道路が、五街道（東海道・中山道・日光街道・奥州街道・甲州街道）です。街道は軍事目的だけでなく、幕府の役人や大名が往来する重要な道となりました。物流にも欠かせず、また庶民が移動する生活道路もありました。

・その中心となったのが、幕府直轄の五街道でした。

五街道は、皆様も良くご存じの江戸（東京）日本橋を起点として



廃止直前の都電 1971年

①「東海道」（五十三次は京都三条大橋迄で、大阪迄加え五十七次とする説もあります。）

②「中山道」（本州中部の山道を経由する道で、中仙道とも表記しましたが、1716年徳川幕府は中山道と、名称を統一しました。

経由は、日本橋⇒国道17号線⇒群馬県高崎市⇒国道18号線⇒長野県佐久市⇒国道142号線⇒長野県諏訪市⇒国道20号線⇒長野県塩尻市⇒国道19号線⇒岐阜県土岐市⇒国道21号線⇒滋賀県米原市⇒国道8号線⇒滋賀県草津市⇒国道1号線東海道⇒三条大橋。日本橋を出発し、板橋から近江の守山迄67宿ですが、東海道と合流する草津、大津を加えて六十九次が通例です。）

③「甲州街道」（内藤新宿・日本橋から最初の宿場で、青梅街道の起点⇒八王子⇒甲府⇒信濃国の下諏訪宿で中山道と合流する迄、38の宿場が置かれました。）

④「奥州街道」（正式には奥州道中と言うそうです。宇都宮迄は日光街道と重複し、白川以南を指し、道中27の宿場が有りました。

江戸時代には江戸と陸奥国（むつのくに、りくおうのくに=現在の福島県、宮城県、岩手県、青森県）を結ぶ街道。陸奥国は古代律令国の一等級区分の一つで、大国（たいこく、たいごく）でした。国道4号線が奥州街道とほぼ同じルートで、日本橋から青森迄の約855kmです。

⑤「日光街道」（日本橋を起点とし、日光防中（にっこうぼうちゅう：下野国都賀郡日光東照宮、現在の栃木県日光市の中、寺の中、寺院の中、寺の中の人々等のこと）に至る街道。道中には21の宿場が置かれています。

宇都宮迄は奥州街道と共に走りました。この区間はもともと古道奥州道が有りましたが、日光街道開通で、日光街道と称される様



になりました。日光街道は五街道のひとつで、江戸から日光までの約140kmを結ぶ街道で、幕府の公道として日光道中と言いました。日光には東照大権現と崇められた徳川家康の墓があり、歴代将軍や諸大名の社参の道として整備され、江戸から宇都宮までは東北へ向かう奥州街道と重複しているため、参勤交代の大名の通行も多かったそうです。

2) 「脇往還」または「脇街道」

五街道に繋がる街道（附属街道）のうち、主要なものを「脇往還」または「脇街道」と言います。川崎市でいうと、中原街道・大山街道・津久井道の3本が東海道の脇街道と呼ばれてきました。後程、ご紹介します。江戸時代は五街道と脇街で、本州中央部のかなりの地域を網羅していたのです。五街道沿いは原則として、天領・親藩（徳川家康の男系男子の子孫が始祖の藩）・譜代大名が配置されていました。また、交通上重要な個所には 関所や番所も置きました。1604年（慶長9年）第2代將軍秀忠の時に日本橋を五街道起点と定め、江戸城本丸再建の1659年（万次2年）以降には、五街道と脇街道は幕府の道中奉行（五街道及び五街道の附属街道として、主要街道を支配下にしました。）の管轄となり、それ以外の街道は勘定奉行が管理をしていました。道中奉行の様な直接管理ではなく、沿道の藩に実際の管理を行わせました。その理由は、五街道と脇街道以外の街道が外様大名の大藩の領地であったことに関係が有るそうです。



3) 道の整備

軍事・警察上の必要から、街道の要所には関所を配置して検問が行われた他、一里（約4km）毎に一里塚が設けられ、一定間隔毎に開設した宿場には本陣・脇本陣・旅籠等が立ち並びました。江戸時代の街道は一般民衆の通行も多くなり、旅人は道路を見てその藩の状況を評価判断するだろうと、各藩は道路の整備に気を配っていた様です。当時は馬や駕籠は使われていましたが、まだ馬車は無く交通の大半が歩徒だったので、道路の傷みは馬車交通で破壊された歐州諸国の道路様に酷くはありませんでした。

日本を訪れていた西欧人（フランス・ドイツ・オーストリア・スイス・ベルギー・オランダ他）の旅行記には、この当時の日本の道路の印象について書かれていて、ヨーロッパの道路と異なり、整備状況が大変よく行われていると評価されているそうです。平戸や長崎にはオランダ人の手によって、石畳による日本初の舗装道路が造られたそうです。

4) 七里の渡し

東海道を良く見ると、江戸を出発してから小田原を経て津の近くの宮で線がとぎれています。これは、東海道の宮の宿場と次の宿場の桑名（現在の三重県桑名市）との間が、海路で結ばれていたためです。

この宮は、現在の名古屋市熱田区、熱田神宮の付近です。旅人はこの川岸で船に乗り現在の三重県の桑名市、揖斐川の川岸で再上陸しました。小学生の地図帳を見て頂くと、桑名市付近で、「史跡・名勝」の記号があり、「七里（しちり）の渡し」と説明があります。ここが再上陸地点です。この宮宿は、東海道でも最大の宿場であり、1843年（天保14年）には本陣：2軒、脇本陣：1軒、旅籠屋：248軒を擁し、家数：2924軒、人口：10,342人を数えたそうです。古くからの熱田神宮の門前町、港町でもあり、尾張藩により名古屋城下、岐阜と並び町奉行の管轄地とされました。

この宮の宿場と桑名宿の間は陸路では木曽三川と言われている「木曽川」「長良川」「揖斐川」をはじめとして、大川が旅人の進行を遮断するように流れています。このため、東海道は宮（熱田）から桑名宿（三重県桑名市）までは海路となっています。その航海距離は7里（約27km）でした。（陸路の佐屋街道の距離は、宮宿～桑名宿迄は、「約35km」）

しかしこの「七里の渡し」は天候悪化などにより、海難事故がしばしば発生する東海道の難所のひとつでした、又船酔いや犯罪に巻きこまれる事を嫌った人達は、東海道の脇往還の陸路の「佐屋街道・さやかいどう」を利用して宮の宿から岩塚宿～万場宿～神守宿～佐屋宿～三里の渡しで桑名宿まで行き、「七里の渡し」より距離がありました。



大正期の宮「東海道（東海道五拾三次 広重と大正期の写真）」より

大阪城の再建を始めた2代将軍・徳川秀忠が、豊臣秀吉の制定した京街道（京都～大阪）を加え、新たに4つの宿駅を置きました。歌川広重が江戸時代後期に手がけた浮世絵「東海道五十三次」は江

戸～京都間でしたが、実際は江戸～大坂間を結ぶ「五十七次」の街道だったと考えられます。江戸時代の「宿駅制定証文」では、元和2(1616)年に守口宿が制定されたことが記されています。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

「炭酸飲料で歯が溶ける？」「炭酸飲料を飲み過ぎると、何故歯が溶けるの？」。ご存知でしょうか。水のイオン指数は「pH7」ですが、それより値が小さいものは酸性飲料、大きいものはアルカリ性飲料です。歯の表面のエナメル質は酸に弱いので、口内環境が「pH5.4」以下の酸性になると溶け始めます。炭酸飲料だけでなくスポーツドリンクや天然果汁飲料等は「pH7」より値が小さいので、だらだら飲んでいると口の中は常に酸性になって、歯が溶けやすい環境になります。



勿論、一度飲んだ位では歯が溶けることは有りませんが、それは唾液が口の中の酸を中和してくれるからです。唾液には歯から溶け出したカルシウム成分を、歯に戻す再石灰化の働きがあるからです。炭酸飲料を飲んだ時は、口をよくすすぐ、歯磨きをする等で口内環境を中性に保つようにしましょう。

「知覚過敏」は歯が溶け始める合図です。虫歯の原因にもなります。自分の歯を守りましょう。

耳寄り情報

日本のロボット研究は進んでいます。現実の人間は、囲碁や将棋だけに特化して生活しているわけではありません。囲碁だけに特化しているロボットは、同時にそれ以外の事、例えば掃除も出来るでしょうか。「ルンバ」と同じことは出来ないでしょう。日本のAI研究に重要なのは、そうした何かに特化したロボットではありません。そこで注目されるのは「東（とう）ロボくん」の実績です。東大に合格するロボットを作るプロジェクトで、2011年から2016年迄行われました。

- ・実はAI技術はすでに、MARCH（明治大学、青山学院大学、立教大学、中央大学、法政大学）の一部の学科での入試の合格可能性は80%を超えています。AIは問題文の意味を理解していないにもかかわらず、です。膨大なデータベースの中から、AIは問題に合う答えを見つけてきます。AIが意外と苦手なのは、物理の問題だそうです。
- ・例えば、設問に滑車が描いてあると、その滑車が良く分からぬうです。滑車の図が手書きで、ひもが途中でかすれたりすると、何が描かれているのか判断できない為に、質問の意味が全く分からないのです。
- ・ある汎用ロボットの研究者は、熱心なあまりロボットに感情移入して、自分はロボット一本で行きたい。このロボットがいれば一緒に生きたいからと、一生シングルで過ごすことを希望する研究者が、増えていると言います。そうなると、ロボットに人格があるかないかという問題は、有ると思っている人にはあるのでしょう。（佐藤優「宗教改革者」から）

第10.1節 住民の記憶と母校の記録

(2020年11月 第33号)

1988年12月20日（昭和63年）宇佐神社で行われた尾山台在住の住民の座談会を収録しています。その住民の子供時代を思い起こしての貴重な記憶です。

10.1.1 住民の記憶

尾山はその昔、地名を荏原郡玉川村字尾山と言い、江戸時代に吉良領から彦根藩伊領に替わると、大場代官の直轄する村になりました。広い奥沢村・等々力村と隣り合わせ、早くから城が築かれて開けた奥沢村に比べると、尾山は大地主もいない小じんまりした集落でした。集落の中は、東原（ひがしはら）・北原（きたはら）・南根（みなみね）・西根（にしね）の四つの区画に分かれ、戸数の少ないところでは番地もなく、例えば南根吹上ヶ下等という呼び方で通用しました。

尾山は大変起伏の激しい地形で、東側には荏原郡の中でも一番の高所と言われる天慶塚（海拔45.6m）（村の人は「てんけいづか」と呼び、歴史家は「てんぎょうつか」と言う）を控え、西にはキツネ塚が有り、その中程の少し南には八幡塚（宇佐神社の東側）が有りました。これらの塚は言うまでもなく古墳で、今から約1,500年前のものと推定され、この周辺からは様々な遺跡や遺物も出土され、この地にはかなり昔から人々が住んでいたことを示しています。

尾山が台地だという事は川の流れを見ても分かります。尾山の湧き水や雨水等は、坂下の六郷用水と、一部は西を流れる谷沢川へ注ぎ込み、逆川（さかさがわ）と名付けられていました。逆川のいわれは中国の故事によるもので、中国では昔から川の流れは必ず西から東へ流れるのを自然現象と考えていました。ところがこの川は東から西へ流れているので、逆川と言いました。江戸時代中期に書かれたといわれる「名残常盤記」（なごりのときわき）の中で、吉良頼康の家臣であった橋本天王丸は主君の命令で短冊の主を探す道すがらここにたたずみ、「こなたよりして問ふ事を貴殿に問はれし逆様事、先程よりもこの川水西方かけて流れ行く、ふしげと存じ候へばこの川水に名を付けて、逆川とは申すべし。」とつぶやいたと記されています。

尾山は村全体の広さの約60%が台地と言われ、この台地から急な坂道を下って行くと、その下に六郷用水が有り、そこから先は多摩川による河川敷が広々と続いていました。六郷用水は別名を次太夫堀（じだゆうぼり）とも呼ばれ、江戸時代の初期、小泉次太夫と言う代官が、徳川家康に進言し開削した人口の用水です。1597年（慶長二年）に測量を始め、1599年（慶長四年）から工事を開始し、15年余りの長い歳月を費やして完成しました。延々と23kmにも及ぶ用水が作られたことによって、この沿岸の田畠が潤ったことは言うまでも有りませんが、その陰には地域同士の水争いも有った様で、用水組合等が作られた時代も有りました。

昔は多摩川には堤防が無く、川原は限りなく川崎の方まで広がっていました。そこで一旦大雨になると、川の水はたちまち溢れ出て河川敷の田畠は水浸しとなり、また橋が流される等の被害に遭うことがしばしばでした。多摩川に護岸工事が始まったのは大正9年（1929年）で、それからは水害も少なくな

り、昭和8年（1933年）に15年がかりで堤防が完成した後は、戦後迄ずっと水害に遭うことなくなりました。

六郷用水には天慶塚の東を下った坂下に天慶橋、そこから西の方へ八幡橋、北原橋、中ノ橋、浄楽橋、稻荷橋等が架けられて人々の往来に利用され、近くの家では洗い場を作つて水を利用した様です。この用水の周辺一帯は孟宗竹の生い茂る竹やぶや木の茂る森で、雀達の住処でもありました。朝は一斉に雀のさえずる声で村は明け、また春先になると田んぼにはレンゲの花が咲き、夏は蛙の大合唱が聞かれ、村のあちこちを蛍が飛び交う自然風物に富んでいました。



1879年（明治12年）東京府発行の地券（地券は土地権利書に相当）です。ここに記載されている武藏国荏原郡等々力村第1492番字中丸下は、現在の尾山台駅周辺です

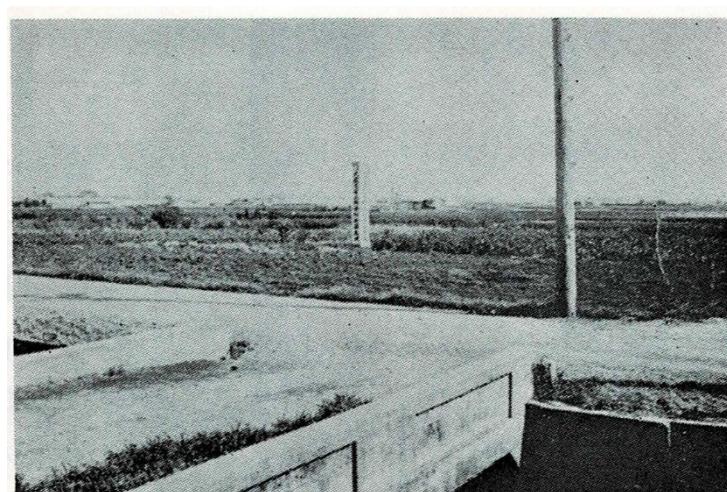
10.1.2 「武蔵」（武蔵工業大学同窓会誌）の記録

武蔵工業会（武蔵工業大学同窓会の名称）が母校創立50周年を記念して、同窓会誌第109号を特集号として扱っています。その中に古い写真が掲載されており、紹介します。写真の原板もきれいな物でなく、さらに印刷したもの複写ですので、雰囲気を感じていただければと思っています。

1) 世田谷キャンパスとなる敷地

手前に大きく映っている橋は二ヶ領用水の章でお話しした次大夫堀を渡っています。

写真はこの堀と多摩川に挟まれた場所を昭和14年に写しています。堀の北側の急な坂を登ると尾山台駅に行きます。夏の写真と思われますが、稻作地（田圃）というよりも畑作地のような感じがします。



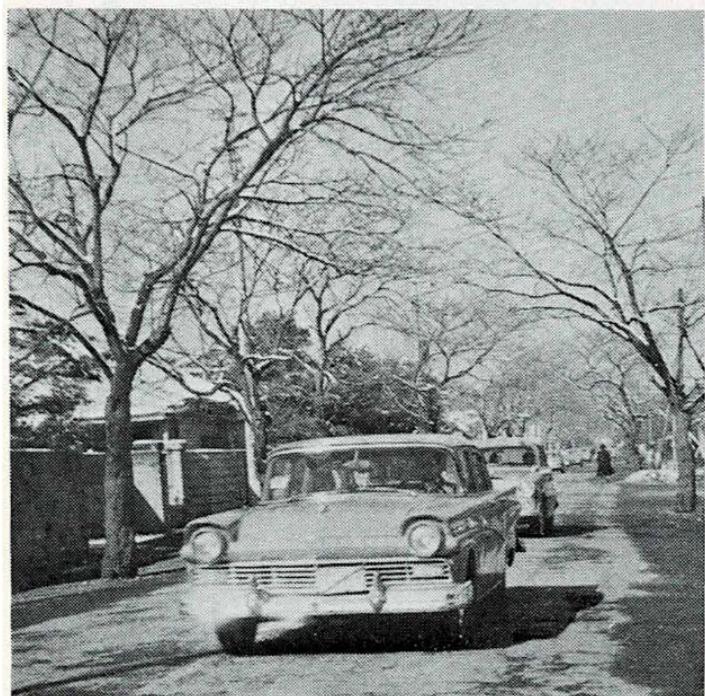
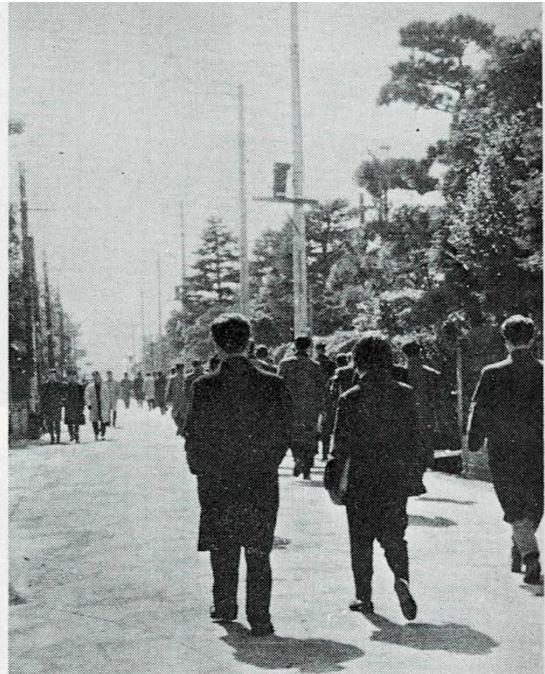
新築敷地
正門前の小さい橋は、現在も
淨樂橋として残っている。

2) 通学路

尾山台駅からキャンパスに向かう学生たちです。坂道ではない様ですので、多分駅から環状八号線までの場所でしょう。

高い電信柱が林立し、トランスが載せてあります。また道沿いには大きな植木がみられます。綺麗に刈り込まれた植物や松も植えられています。昭和34年頃の写真ですが田園調布が近いこともあり、この辺も既に高級住宅地になっていたものと思われます。

道路は未舗装らしく、学生たちは右側通行を守っている様です。

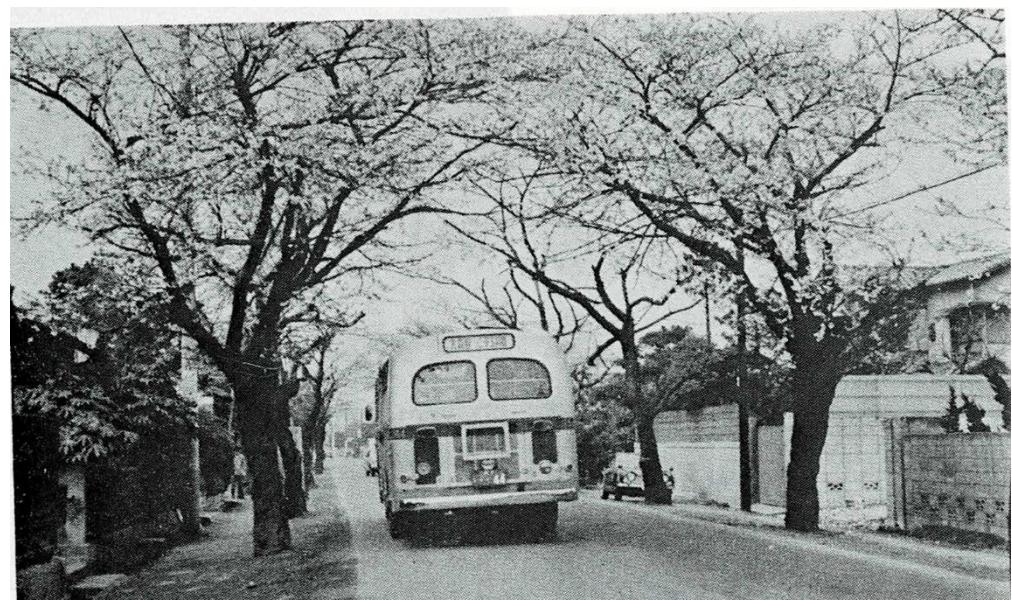


側、木の後ろに駐車中の乗用車が見えます。桜の木から民家の塀までの距離を考えると、とても歩行者を優先しているとは思えません。

なお影の方向から上の写真は田園調布方面に向かう車だと分かります。

昭和34年および昭和44年当時の環状八号線を紹介します。左の写真はアメリカ車の後ろに国産車が続いています。また中央線らしきものが写っていて、2車線の道路のようです。しかし道の両側に街路樹が植えられていますが、歩道用のスペースは特に設けてはいない様です。

満開の桜並木を走るバスです。バスが大きいので1車線のように見えますが、バスの右



人生を豊かに（雑学のすすめ）

ノーベル文学賞候補の作家村上春樹氏が、読者からの質問メールに答えています。

（質問）「無駄に話が長い上司」、上司の話を延々と聞かされています。話の長い人の話を短くするはどうしたら良いでしょうか。

（回答）話の長い人の話を短くすることは不可能です。あれは不治の病です。死ぬまで治らない。僕もよく「退屈な人って、自分に退屈しないのかな？」と思うんだけど、しないんですね、ぜったいに。気の毒だけど、あきらめてください。「退屈さには神々も旗を巻く」とたしかニーチェも言っています。神様でさえかなわないんだから、あなたに勝てるわけはありません。（村上さんのところ 村上春樹著 新潮社）

耳寄り情報・ジャパネットたかた創業者の、思わず納得する言葉。「伝えたつもり？」

ジャパネットたかた（長崎県佐世保市日宇町に本社を置く、日本の通信販売会社—1986年設立）の創業者である高田明氏（1948年11月3日生—大阪経済大学卒）がWBSの番組でコロナに想うでメッセージを発信していました。

経営が良い時に最悪を予測して、先手、先手の対策を練っていくことが本当に大事ということを学びました。危機が大きくなればなるほど、効率化だけでなく、無駄を覚悟で最善の対策を立てなければ、後々さらに大きな取り返しのつかないほどの代償を払うことになるかも知れません。

そして危機を乗り越えていくには、社員やステークホルダーの皆さんの協力が無ければ、社長一人では絶対乗り越えていけません。協力を得るには、納得のいく説明を、分り易く、より具体的に社員たちに説明をし、一致団結して問題解決に当たっていくことが必要だと思います。「結構説明したのになあ」という話を耳にします。でも、その説明を伝えたつもりで、伝わっていないということが起こっていませんか。

皆さん！ 初めの頃は何度説明しても、皆さんの反応が無かったんです。そこで、ふと気が付きました。伝えたつもりになっている自分がいて、伝わっていなかったんです。それでは、「伝わった世界」を作り出すために私が一番大事にしていること。

1番目：紹介する商品を徹底的に勉強しました。何を伝えるのかということを理解していくなくて、相手に伝わるわけがないのです。

2番目：伝える時には、伝え手の本気度と情熱が大事です。その本気度と情熱が相手に伝わった時に、一体感が生まれると思います。

そして最後に、伝えるための技術、テクニックが来るんです。伝えるのは言葉の巧さだけではありません。指もしやべるし、手もしやべるし、体もしやべるし、目もしやべるし、顔全体がしゃべるという「非言語」の力も大事な伝えるための要素だと思います。

（現社長の高田旭人（東京大学教養学部～野村証券～ジャパネットたかた）は、2012年7月、1商品を1日限りで特価販売する「チャレンジデー」を企画（第1回目の商品はエアコン）。当初、父高田明からは「在庫が残る」などの理由で反対されたが結果的に大成功し、大量販売のモデルを築いた。）

第10.2節 地形と暮らし

(2021年03月 第38号)

暴れ川と言われ日本有数の急流である多摩川に侵食された河岸段丘に位置するため、坂が多く住居向きではなかった様です

坂は至る所にありましたが、一番険しい坂は何といっても寮の坂でした。寮の坂と言う名前はその昔、伝乗寺の尼さんたちが住んでいた寮がこの傍に有ったことから名づけられたという事です。また坂の上の家を堂の上という言い方も残り、堂の坂とも言われています。明治35年(1902年)頃は多摩川で砂利の採集が盛んで、砂利運搬にはこの坂道を利用したと言われています。当時、運搬の足は馬ですから、この急な坂を上がることによって馬の力(馬力)を試し、ばくろう達はその馬力によって馬の値段の取引をしたと言われています。



寮の坂

一方、天慶塚の東側、今の雙葉学園(東京都世田谷区玉川田園調布1-20-9 九品仏駅から徒歩約10分)のある当たりの南の盆地には、室町時代には籠谷戸(ろうやど)と呼ばれ、当時は多摩川の水が此処まで来て入江となり、武器や食料が陸揚げされる等軍事拠点となっていました。(田園調布雙葉学園の出身者には天皇陛下皇后の雅子様、元郵政大臣野田聖子様、長嶋茂雄夫人の長嶋亜希子様がいます。)その後も深い谷でまむし沢と呼ばれ、明治の前迄は、ここには普段人々はあまり近寄らない場所でした。馬が荷役の主だった時代では、その馬の数も多かったことでしょう。これら大事な馬を祀った馬頭観音が田んぼのあちこちに建てられていたといいますが、今はその面影も見られなくなりました。

明治5年(1872年)頃の尾山には農家が28戸しか有りませんでしたが、大正時代になると37、8戸と少しづつ増えてきました。農家の構えはわらぶき屋根が殆どで、茅葺屋根の家でもカヤと藁を混ぜて葺(ふ)いたものが多く、家の形は田の字型と言われる作りで、部屋の中央は檜の大黒柱で支えて有りました。どの農家も取り入れの時の作業や子供の遊び場には事欠かない位の広い庭が有って、風よけの大木の柿、栗等の実になる木が植えられ、境界にはお茶の木が植えて有りました。この高台から晴れた日には遠く鶴見の海がキラキラと見え、農家の人々は畠仕事の合間にその眺めを楽しんだことでしょう。

夜になると、むら一帯は暗い闇の世界に替わり、キツネ塚に住む狐やムジナ達が我が世とばかりに横行したのでした。月のない夜は、鼻をつままれても分からないほどの闇で、木々や竹やぶが怪しくざわめき、遠くお台場の灯台の灯がぽつんと一つ見えるだけの気味悪さでした。また夏の夜等は降る様な星座の下で、人々は涼を求め明日の仕事について語ったこともあったのでしょう。この村には道は東西に通じる一本の道が有るだけで、そのほかの道というのは農家への行き止まりの細い道だけでした。

しかし、大正12年（1923年）9月1日の関東大地震の後、この玉川村一帯は大きく変わっていきました。この日、下町から焼け出された人々は、親戚や縁故を求めてこの尾山にも避難してきて、そのまま住み着く人々も出ています。玉川村は大正15年（1926年）には玉川全面耕地整理の為の組合が結成され、昭和2年（1927年）～4年（1929年）にかけて事業が行われ、新しい道も作られて人々の生活は便利になりました。野菜作りが盛んになる一方で、耕地が減って宅地化が進んでいくことにもなったのです。

それでも、昭和初期頃にはまだ畑作中心の農家が多く、六郷用水沿いの東側に作られた温室村からは、冬はストーブの煙が何本もたなびき、そのはるか向こうの方には富士山や大山連峰がそびえているのが高台から眺められたという事です。この温室の中では多くのカーネイションを栽培して、まだ暖房の乏しいこの時代の子供は、温室の中に入り込んでむくむくと遊んだり、カーネイションをそっと折って帰る等した懐かしい思い出もあるという事です。



学校給食



二子玉川の風景－昭和40年代

写真の電車は東急電鉄の大井町線です。右に見える二子玉川駅から出て来たのでしょうか。よく見ると駅付近は複線ですがこれから先は単線です。しかも路面電車のように自動車を待たせて進んでいます。

電車はこれから二子橋を渡り終点の溝口に向かいますが、橋の中央に線路があり、両側に車道がありました。

自動車のひしめく道路はこの写真的情報を進むと坂を上り渋谷方面に向かいます。この道は当時の大山街道です。現在の大山街道は写真情報の坂の上にある瀬田からバイパスで小田原方面に向かいます。この旧大山街道に沿うように東急田園都市線が渋谷に向かっています。田園都市線のもう一方の終点は小田急線の中央林間駅に接続しています。

大井町線はJR京浜東北線の大井町駅と、JR南武線の武蔵溝口駅を結ぶ線です。途中旗の台駅で池上線と、大岡山駅で目蒲線（現在は目黒線）と、また自由が丘駅で東横線と接続しています。さらに二子玉川駅から溝の口駅までは田園都市線と並走しています。なお田園都市線には一切踏切がありません。

尾山台付近は玉川村と呼ばれていました。その範囲は東側南部で大田区に接し、東側北部は途中まで目黒区との境のままで、東多摩川、奥沢が玉川村になります。また北の堺は深沢が世田谷町で等々力が玉川村になります。玉川村はその後、高級住宅地になる用賀、等々力や瀬田周辺を含む一帯になります。



村の鉄道は明治40年の玉電の二子玉川までと、大正12年の目蒲線、そして、昭和4年の大井町線で、この一帯も昭和になるまでは田圃と畠と雑木林の続く地帯でした。

玉川村は多摩川に接しているので、明治の終わりに神奈川県と領土の交換があり、切り離して現・神奈川県川崎市に移管されたのは、現在の等々力緑地、下野毛1-3丁目、二子新地駅東側の瀬田になります。編入された地域は、現在の上野毛1や玉川1、以前の二子玉川園があった場所、二子玉川緑地運動場の周辺です。

当時の国勢調査による人口は、1920年では約7千人、関東大震災後の1925年では約1万2千人、1930年には、約1万6千人です。

人生を豊かに（雑学のすすめ）【体重を減らす三つの方法—作家 村上春樹】

ノーベル文学賞候補の作家村上春樹氏が、読者からの質問メールに答えています。

（質問）私はダイエットをしています。ですが、痩せたい、自分を変えなければいけないと思いつつ食べてしまします。

（回答）17歳でダイエットをしているんですか。大変ですね。体重を減らす方法は三つあります。三つしかありません、というべきか。だからダイエット本なんて読む必要ないんです。とてもシンプルなことです。①食べ物を減らす（適正な量にする）。②日々適度な運動をする。③恋をする。最後のやつはけっこうききますよ。がんばってくださいね。でもくれぐれも拒食症になったりしないようにね。

耳寄り情報

【目の下のクマ・肌のくすみ・むくみの意外な原因】

綺麗になりたいと野菜ばかり食べている方は、鉄不足の危険が有ります。日本人女性の4人に1人が貧血・鉄不足と言われています。（2015年国民栄養調査より）。貧血の症状は肌荒れ、睡眠障害、うつ、慢性的な疲労感、長引く風邪等です。全身に酸素を運ぶ役目のヘモグロビンは、鉄と蛋白質から作られます。

鉄が不足すると酸素をうまく運べないので、集中力や思考力が低下します。脚に酸素が運ばれなければむくみ、皮膚の場合は顔色が悪く、肌がくすみます。目の下のクマがひどい、顔色が悪い、肌がくすんでいる、頭がぼんやりする、足がむくみやすい等の症状がある人は、鉄不足を疑って下さい。

鉄には体に吸収されにくい非ヘム鉄と体に吸収されやすいヘム鉄の二種類が有ります。動物性蛋白質の赤身の牛肉や豚、鳥のレバー、マグロやカツオを食べることで、ヘム鉄が多く摂取出来ます。また、赤身肉には鉄分やアミノ酸等の女性に不足しがちな栄養素が含まれ、脂肪を燃焼させ痩せやすくなるL-カルニチンも一番多く入っているので、ダイエットにも効果的です。冷えや肌荒れの改善にも役立ちます。肉食女子が顔色も良く、生き生きしているのも納得する理由が有ります。70代、80代でも自分の歯で、ステーキをステーキ（素敵）に食べましょう。

第10.3節 食生活

(2021年08月 第43号)

村の位置や地形、の次は日々の暮らしや食生活についてお知らせします。

農家の食べ物は殆どが自給自足による大変つましい物でした。普段は主食が麦で、米を混ぜたごはん（ひきわりご飯）でした。おかずは自分の家で漬けた漬物やたくあんに味噌汁で、味噌も大豆を仕込んで、どの家でも作りました。漬物は梅干し、たくあん、味噌漬け、山東菜、白菜等と種類も多く、ぬかみそ漬けは家によっては茄子、胡瓜（きゅうり）等を四斗（18.039L x 4=72.156L）樽に漬ける程でした。でも時には物売りが声を張り上げながら村を訪ねると、珍しい食べ物にあります。

「いわしこう一、いわしこう一」と威勢の良い呼び声で大森からやってくるのは、魚屋さんでした。この声はお正月やお祭りになると、農家で買うということを知っていてか、必ずやって来ました。でもこの声は魚の息が落ちない様にさっさと通り過ぎていきました。朝ラッパを鳴らしながら天秤棒で担いで売りに来る的是灯具屋さんで、買う家があると、蓋に上手にお豆腐を乗せ、真鍮（しんちゅう）のピカピカした大きな包丁でトントンと手際よく切ってくれました。切り方は「やっこに」とか「おつゆに」等と、言うのに合わせて違った切り方でした。

そのほかにも、わら袋に入れた納豆売り、塩鮭や目刺し等の干し物売り、アサリ、シジミ売りも来ました。アサリをその場でむいてたり、売りに来た葉唐辛子を家で佃煮にして食べていました。その頃は六郷用水にも、ハヤ、フナ、タナゴ等の魚やシジミが取れました。

日頃は粗食な農家ですが、特別な日には手間をかけたものを作ります。「入りこわめし（赤飯）、中日ぼたもち、明け団子」、これは春と秋のお彼岸に仏様に供えるご馳走の言い伝えでした。この頃になると、家々の台所に小豆を煮る良い匂いが漂ってきました。またヨモギのとれる3、4月の頃には草団子、端午のお節句には筍（たけのこ）ご飯を作りました。どの家も祝い事には必ず赤飯を炊きましたが、弔時には精進料理しか食べないのが決まりでした。このはか小麦粉を挽いて手打ちうどんを作りますが、肉は殆ど食べませんでした。

年の暮れに突く餅は、農家にとっては大切な貯蔵用の食料になっていました。それは米の餅だけでなく粟餅、キビ餅等を含めてたくさん作り、醤油や黄粉を付けて食べ、また水餅にしておいて、春先から畠仕事が忙しくなると昼ごはんやお茶うけ（おやつ）にして6月頃迄食べました。また餅を細かく切ってかき餅やあられにして、子供のお八つにもしました。お八つは季節によって、ふかし芋、衣かつぎ等もおいしい物でした。たまに威勢よく太鼓を叩きながら頭の上にお盆を載せて、飴売りがやってくると、子供たちは欲しさのあまり、みな走って行ったものです（江戸時代「八つ」は現在の2時頃でした）。

その頃尾山には、げた屋と呼ばれる万屋（よろずや）さんが一件しか有りませんでした。この万事屋さんの人は、朝御用聞きに回りながら、一日遅れの新聞を配達していました。ですから、生活に必要な物品は時には、溝の口方面迄買い出しに行くか、売りに来る物売りによって買うかしていました。農家

にとて必需品の竹箒、大小のかご類、ごみとり、すげ笠、蓑（みの）、生活上欠かせないまな板、包丁、砥石、鋸（のこぎり）、鉈（なた）、蒸籠（せいろ）、たばこ入れやキセル、鍋、釜、お玉、味噌漉し等の器具は、時には商人が売りにきました。

また年の瀬やお盆近くになると、隣の等々力村の栄屋さんが自転車にシャツ、股引、子供用の衣類等を積んで売りに来ましたが、この店の人はそれぞれの家族の様子迄よく知っていて、その家によく合う品物を揃えていました。その他鍋、竈（かまど）等の修理をするいかけや（鋳掛屋）や、キセルの掃除をするラオ屋、卵を産まなくなった鶏をひな鳥と交換に来る業者もいました。今の環状八号線沿い当たりに、安政時代から明治の終わり頃迄代々桶屋を商っていた尾山の桶屋（原田家）も有ったそうです。尾山の農家はもともと戸数が少なく耕地も小さいので、店はごく限られていましたが縁日やお祭りになると、大福餅や飴を作って売る兼業農家も出始めました。



(1958年（昭和33年）の尾山台商店街)

世田谷区は玉川地域、世田谷・北沢・砧・烏山の5地域に区分されます。この5地域は、それぞれが独自の街を形成し、雰囲気も生活環境も文化も少しづつ違います。中でも玉川地域は独立意識が強かったようです。尾山台駅を含む玉川地域が、ほかの世田谷4地域より独立意識が強かったのは、村長を先頭に熱心に玉川村の開発計画に取り組んだことと言われています。

尾山台駅を開設したのは大井町線開通（1927年（昭和2年）の2年後の1929年（昭和4年）で、尾山台商業会が発足したのは1949年（昭和24年）です。

今年（2021年）3年7月26日（月）より世田谷生活応援券（プレミアム25%付）応募受付が始まり（※抽選・完全予約販売）、一冊1万円で、1,000円券10枚+500円券5枚=12,500円分（8冊/名まで）とかなりお得です。

尾山台付近にはV6の井ノ原快彦と女優瀬戸朝香（2007年に結婚）夫妻が住んでいるそうです。



（1958年（昭和33年）の自由が丘駅

旧武蔵工業大学は、1955（昭和30）年より「東急グループ」の「五島育英会」の経営となった大学で、2009（平成21）年に「東京都市大学」に改称しました。前身の「武蔵高等工科学校」は1939（昭和14）年に現在地（現・世田谷区玉堤）に移転しています。

1927（昭和2）年、東京横浜電鉄（現・東急東横線）が「丸子多摩川駅」（現「多摩川駅」）から「渋

谷駅」まで延伸され、現在の「自由が丘駅」から北寄りに「九品仏駅」が開設されました。1929（昭和4）年の目黒蒲田電鉄（現・東急）二子玉川線（のちの大井町線）の開通で、「九品仏」の寺院から近い場所に現「九品仏駅」が開設されることになったので、元の「九品仏駅」は改称が必要となり、新駅名は「衾（ふすま）駅」と内定しました。しかし、石井漠（舞踊家）（1886年生～1962年没）をはじめとする文化人の住民の強い要望を受け、「自由ヶ丘駅」へ改称になりました。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

【「等々力」という地名の由来】

深沢の都立園芸高校は、「兎々呂城」（とどろじょう）の城趾です。戦国時代の武将でこの地を領有した北条（ほうじょう）氏康（うじやす）（1513－1571）の家来、南条（なんじょう）右京亮（うきょうのすけ）の居城「兎々呂（とどろ）城（じょう）」がありました。その後「兎々呂城（とどろき）」そして時代を経て、等々力という地名になったというのが有力な説です。

都立園芸高校は日時を決めて校内を見学開放しています。「史跡 兎々呂城趾」の石碑をぜひご覧下さい。（情報提供：豊田正雄氏）

耳寄り情報

【夏目漱石と歌枕】

「歌枕」とは不思議な語です。「枕草子」の古典にも「枕」がつきますし、「枕詞」等の修辞法もあります。この「枕」について、折口信夫（おりくちしのぶ）は「神靈がよりつき、國魂が寓する」場所と言っています。日本人は信仰の上では枕を「魂、殊に生魂（いきみたま）の集中保持せらるゝ処（ところ）」と信じていたと述べています。

能の物語としての場も、よく歌枕が使われます。能の主人公であるシテは幽霊や神様であることが多いのですが、彼らがこの世に再び現れるのは、残して行ってしまった「思い」に引かれてです。彼らの「思い」は魂の寓する「枕（真蔵一まくら）」である「歌枕」の地に残り、そこで生魂となります。

昔の旅人は、だから歌枕の地を通過するとき必ず歌などを詠みました。それは万葉の昔から江戸時代まで続きました。奈良、平安の文学はいうに及ばず、江戸時代の「奥の細道」をはじめとする芭蕉のさまざまな紀行文もそうですし、また彼が愛好していた「竹斎（ちくさい）」の物語なども歌枕を巡った「伊勢物語」のパロディのようです。また近代でも夏目漱石の紀行文などにもその名残を見ることはできます。（能に学ぶ「和」の呼吸法（安田登一祥伝社）より）

第10.4節 年中行事

(2021年11月 第46号)

農家の人々は忙しい中にもその時々の行事を大切に守り、そうした祈り事には普段とは異なるご馳走を頂くのが楽しみでした。こうした行事は、村人達の大事な相談事や助け合いの機会でもありました。

年越しとお正月の行事は、昔からの大きな行事です。秋の収穫も済んで、明けには麦が少し伸び始めました。この時期は麦の値付けや分闕（ぶんけつー稻、麦等の茎が根元で枝分かれする事。）を良くする為に、何回か麦踏をします。また夏野菜を取り込んだ後の畠には、大根が育っています。年越しの行事の初めは、12月8日、八日堂といって鬼が来るので、竿に笊（ざる）、籠等をさして門口に立てておまじないをし、その後は小豆粥を食べる習わしでした。そしてお正月用品を市場に出荷した後は、市内に親戚のある家ではお正月の物を手車に積んでお歳暮として配って回りました。その後、それぞれの農家では新しい藁（わら）でしめ縄を作り、すす払い（大掃除）をし、年越そばを作ります。女性は正月用の煮物作りも大変でした。とりわけ大変だったのは餅つきです。餅つきをする時には、御団子を棒に刺して門口に置き、「ミカワリバアサン」に供えました。これはその昔六郷用水（丸子川）で子供を亡くした母親が、我が子を探してこの辺を歩き回るので、お腹を空かしたら食べる様に供えるのです。

餅つきは今より大家族の上に、本家でまとめてつくことが多く、分家や近所の分まで含めると、7、8俵はついたと言いますから、なみ大抵のことでは有りません。それぞれの家から人手を借り、まずもち米が蒸かし上がると臼にあけて杵でつき、一回毎に手返しをしながらお餅になる迄繰り返すのです。この時は米の餅だけでなく、栗、吉備やもろこし餅を、安倍川餅やあんころ餅にして近所に配る等、忙しく立ち回らなくてはなりませんでした。

さて年の瀬も押し詰まって30日になると、家々では神棚にしめ縄を張ってお神酒（みき）とお灯明をあげ、元旦には家の主人が鏡餅を供えて家族の一年の安全を祈って、新しい年が始まります。また、仏壇には花やお供え、お正月のご馳走をあげてお念仏を唱えました。この後から一家揃って新年のお祝いの膳が始まります。初詣に行く習慣は有りませんでした。子供たちにとっては、1月15日の「せいの神」が楽しみなお正月行事でした。

閑話休題 大晦日の歴史はかなり古く、平安時代まで遡ります。大晦日は正月に迎え入れる歳神様をまつるための準備の日で、歳神様は稻の豊作をもたらすとされている神様のことです。農作物が豊かに実り、食べるものに不自由することなく暮らせるようにと、昔から大切に扱われてきた神様です。また、歳神様は各家庭にやってくることから、家を守ってくれる祖先の靈とも考えられていたそうです。昔は1日が夜から始まって朝に続くとされ、大晦日の日暮れからすでに新年の始まりでした。そのため、大晦日の夜は歳神様を待ち、一晩中寝ずに起きておくという習わしがありました。

人生を豊かに（雑学のすすめ）**【村上春樹の生き方】**

ノーベル文学賞候補の作家村上春樹氏が、読者からの質問メールに答えています。「村上さんの生き

方の原点は？」 村上さんの搖るぎない、ある意味頑なな生き方は、少年あるいは青年時代に、これといった大きな何かに影響を受けたからだという方はありますか。

(回答) どうしてこういう性格になったのか、僕にもよくわかりません。両親ともまったく似ていないし、まわりの誰とも似ていません。若いうちに結婚、自立して商売を始め、それから小説家に。そうするうちにだんだん自分の世界、というか生き方が固まってきたということだと思います。

各段階で身銭を切っていろんなことを学んで、それが身についてきたということだと思います。身銭を切るって大事ですよね。他人のお金を使っては何も身に付きません。本当に大事なことは多くの場合、痛みと引き換えにしか手に入りません。(村上さんのところ (村上春樹著 新潮社) より)

耳寄り情報【カミソリ大隈重信と橋本徹馬】

大正年間から昭和にかけて活躍した橋本徹馬という政治評論家がいました。辛辣を持って知られた人ですが、この人がある新聞で、大隈重信を徹底的に批判しました。まだ若くて成年客氣(かっき)の頃なので、大得意になり、どれだけ大隈が意氣消沈しているか見てやろうと思い、早稲田を訪ねました。そうすると、大隈が応接間に現れて、石原莞爾と笑いながら、「おお、げんきにやっちょるのう」といって、機嫌よくソファに腰かけ、何のわだかまりもなく話をしたそうです。橋本が完敗したわけです。

大隈という人は、そもそもとこういう人では有りませんでした。怜俐で剃刀みたいな人でした。馬鹿な事、くだらないことをいう奴と見てとると、全く話をしません。会おうともしないのです。どうでもいい人間と合うのは時間の無駄だと言って、選び抜いた少数の人間としか会わない、触れれば切れる様な人でした。

この様な性分ですから、周りに人は集まりません。雑多な人が寄ってくるのではないと、政治家はつとまりません。それを見ていて、かつて大隈家の居候だった実業家の伍代友厚が大隈に諫言し、更に手紙を送って忠告しました。

要点は、①愚説愚論を聞くべし。一を聞いて十を知ってしまうのが、閣下の短所である。②地位が下の人間が、閣下と近い意見を述べたらすぐに採用すべし。他人の論を褒め、採用しないと徳は広がらない。③怒るべからず、怒気怒声は禁物。④事務の処断は、急ぐべからず。即決せずにぎりぎりまで待つべし。⑤閣下が人を嫌うと、向こうも閣下を嫌うようになる。進んで、嫌いなとの交際を求むるべし。

さすがに元居候だけあって、よく見ています。大隈が偉いのは、伍代の建言を受け入れたことです。それだけで、やはり器量人だという気がします。どんな愚論愚説も終わりまで聞き、ちょっとといいと思った提案は残らず採用し、決して怒らず、怒鳴らず、処理を急がず、大嫌いな相手に交際を求める、という流儀に変えました。180度の転換ですね。50歳を超えて、これが出来たのですから、やはり大人物です。誰でも受け入れるので、一時、大隈家の居候は100人近くになったと言いますが、これ位開けっぴろげになれば、誰でも厚意を抱かずにはいられません。

大隈が身をもって示してくれたのは、器は修行によって大きくなる、人は何歳になっても変わることが出来るということだと思います。なかなか出来ることではありませんが、決意すれば明日からでも、変わることが出来る、その事を大隈重信は示してくれます。(人間の器量 (福田和也より)

第11.1節 お花見一緑ヶ丘霊園

(2018年03月 第2号)

川崎支部活動として恒例のお花見が、2018年3月24日（土）に川崎市津田山霊園内緑ヶ丘公園（噴水広場）で無事開催されましたことをご報告します。お花見は812年に嵯峨天皇が始められた行事で、約1200年も脈々と受け継げられています。今回は湘南支部からも参加して頂き、笑いが絶えない芸達者なお花見となりました。

最初は熱い紅茶で体を温め（ポットを準備）から、岸野副支部長の指導で臨時邦楽舞台となり、小鼓、篠笛（しのぶえ）、鉦（かね）での合奏となりました。小鼓を肩甲骨に当てて構え、右手の第三関節と掌の接点を小鼓の下部を当てて、その反動で指が小鼓の前面に当たって音が出ます。自分で小鼓を体験をすると、指先に力を入れない様に注意しても、力が入り音が出ません。簡単に見えますが、難しいものです。次は、全員で篠笛で「さくらさくら」の合唱をしましたが、譜面には234等の数字と四五六等の和数字からなっています。和数字は半音下げて弱く吹くのです。今回は、女子グループから素晴らしい和音が流れました。隣では、ブルーシートを敷いた家族連れや花見客が足を止めて熱心に聞き入っていました。この20代から70代まで的一体化した雰囲気は、川崎支部ならではの特徴です。（シートの前に空き缶を置けば良かった！？）



セッションの後はお待ちかねの「お花見限定特製二段重ねのお弁当」やお花見リーダーの地元からの青森りんごを頂き、淡い桃色の花びらが幾重にも重なり、独特の甘い蜜の香りと共に堪能しました。

ここ津田山霊園に踏み込むと石碑が目に入ります。作延城址跡です。鎌倉幕府の御家人・稻毛三郎の居墨があったことが、新編武藏国風土記稿に記されています。現在、遺構は全く残っていませんが、高地での城砦が置かれたことが容易に判ります。元亀、天正の時代に後北条氏が物見櫓的なものを建てたのでしょう。





第 11.2 節 東海道中膝栗毛 川崎万年屋とは？

(2018 年 09 月 第 7 号)

「東海道中膝栗毛」を覚えていますか。江戸時代後期に十返舎一九（1765 年静岡県生まれ）という戯作者（ユーモア作家）が書いた滑稽本（娯楽小説）です。主人公は弥次郎兵衛（弥二次さん）と喜多八（喜多さん）です。ご存知ですよね。有名な方です。月光仮面みたいに。♪どこの誰だか知らないけれど、誰もがみんな知っている…♪

さて、江戸（東京）の日本橋を出発して、色々な人と出会い、各名所を訪ねながら上方（京都や大阪）を目指します。伊勢神宮（三重県）に参拝するお伊勢参り等の旅行ブームが起こり、大ベストセラーになりました。江戸に戻ってきたのは、なんと 21 年後でした。当時は電車も車もないので宿場に泊まり、茶屋で名物を食べながら約 500km の道のりを 10~15 日間かけて歩きました。健脚ですよね。

弥次さんと喜多さんは神田八丁堀の長屋でその日暮らしの生活を送っていましたが、厄払いの為に伊勢参りに出発しました。日本橋、高輪から品川へ、そして多摩川下流の六郷から川崎へ。二人は万年屋、昼ご飯に名物の「奈良茶飯」を食べることにしました。「奈良茶飯」とは何でしょうか。万年屋の名物で、茶碗に大豆や小豆、栗、くわい等を入れたものに濃いお茶をかけて食べるのです。

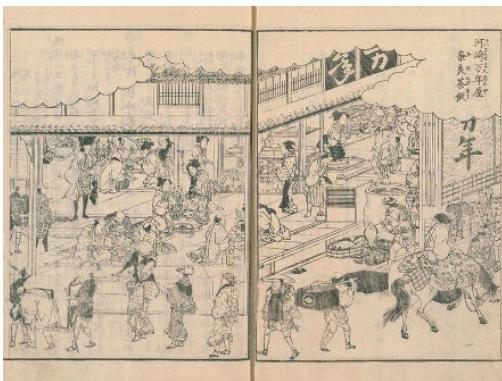
ここで、弥次さん、喜多さんに道中の様子を教えてもらいましょう。茶屋の人気メニューは何ですか。「茶屋では団子だぜ。串に 4 個刺して 4 文（約 100 円）で、江戸の初期は砂糖が高かったので、饅頭は塩味だな。中期から後期にかけて登場した甘い饅頭は人気のお菓子になったな」。では、旅籠のご飯は豪華ですか。「いやいや、家での食事と変わらない一汁一菜の質素な食事だぜ」。どの様なおかずですか。「ご飯は白米と麦を混ぜ、味噌汁の具は大根、しじみ、わかめ、豆腐です。おかずは魚や野菜の煮物等が 1 品で漬物が付くな」。食事は 1 日 3 食ですか。「「1 日 3 食は江戸中期からで、人々の暮らしは少しずつ豊かになり、菜種油やろうそくの灯火が広がり、1 日の活動時間が伸びたからだろうな。」

千代田区の人口（平成 27 年国勢調査）は 58,406 人ですが、1851 年（嘉永 4 年）の日本橋付近の推定人口は、259,000 人と千代田区全体の約 4.4 倍になります。江戸時代のお店というと呉服屋のイメージですが、実際はお米屋が全体の三割程度と多くて（195 人に 1 軒の店舗数で 70 世帯に 1 軒の割合）、それに匹敵するのが炭屋です。炭は暖房や食事の煮炊きの必需品です。野菜や魚の様な軽いものは、行商人が長屋まで売りに来ます。

江戸は地方から多くの人が訪れては帰国していく場所です。彼らは単身で江戸に入り、古着や小道具を買って生活や商売を始めます。国に帰る際に、身の周りの物を店に預け、店はそれを新しく来た人に売るというリサイクルが発達していました。1811 年（文化 8 年）の外食産業の店舗数は、菓子・甘味店が 2912 店、飲食店が 2439 店、居酒屋が 1808 店、惣菜店が 435 店だそうです。江戸幕府は数年に一度町人の人口調査をし、武士以外の町方の人口をかなり正確に調査しています。

小説家の宮部みゆきさんのエッセイに、深川めしが「きわめてざっかけない丼であります。」との記述

が有ります。「ざっかけない」は、江戸語の「ざっかけなし=がさつ者」からでたようで、「雑然とした」「あらあらしい」の意味の様です。今では、古典落語の中で聞けます。



人生を豊かに（雑学のすすめ）

皆様はカラオケに行きますか。ストレス発散？コミュニケーション？テレサ・テンをご存知ですか。1995年5月8日に42歳で鬼籍に入りました。浅田真央は試合前に聞いて、気持ちを落ち着かせたと言っていました。彼女の曲をうまく歌う秘訣をお教えしましょう。（ここだけの話です。）

母音の「エ」が歌詞の末尾になる時は、「エイ」とイの音を小さく歌うのです。例えば、♪♪泣きぬれてい、そして愛されてい♪♪となります。

ここ数年かき氷がブームになっています。100%マンゴーでできた凍りを使ったり、シロップ代わりにカクテルをかけたりと高級化が進んでいます。元々「氷」という字は、氷の割れ目を表す象形文字の「ン(にすい)」を使った「冰」と書いたそうです。ちなみに「冰」と書かれた旗は「氷旗(こおりばた)」と呼ばれていて、日本全国「波に千鳥」の図柄が一般的です。それにしても氷旗の「氷」の文字はなぜ赤いのか？誰か教えて下さい。

耳寄り情報

空気の重さは1m³当り1.2kgです。意外と重いと思いませんか？しかし水は1,000kgですから833倍重い。東北大地震の折、秒速4~5mの津波が家々を押し流していました。風圧や水圧は重さに比例して、速度の二乗に比例します。だから、換算すると秒速4.5mの津波でも、秒速130mの台風と同じ力が加わっていることになります。津波に限らず水流のある所での水遊びは要注意です。

スーパーGTの燃費はレーシング走行で約2.0km/Lですが、セイフティカー導入時は速度が遅いから4.0km/Lになります。鈴鹿の1周は5.8kmだから、セイフティカーが入った時の5周分は5.8km × 5周 ÷ 4.0km/L = 7L。即ち燃料タンクに有効に使える7Lを残してピットインを繰り返していくれば、いざそのタイミングでセイフティカーが入っても5周は引き延ばせることになります。ちなみに100Lタンクでも燃料ロスがあり、有効に使えるのは96L。従って、7L引いて実質89Lでレースを走行できるのは、約30周となります。ということは、30周以下の感覚でピットインしていればセイフティカーへの対処は出来るのです。では5回のピットストップで1000km走り切れるのでしょうか？鈴鹿1000kmレースは173周です。計算してください。GT-R戦記(柿本邦彦著)を読むと、レースの舞台裏が見えます。

第11.3節 台湾新幹線

(2019年04月 第14号)

2007年3月2日に全線開通した台湾の新幹線は、台湾高鐵お抱えの「外国人トリオ」（欧米や香港）によるネガティブキャンペーンで難産の末に開通したものです。その全長は台北・高雄間345km（東京～新大阪515km）で、往復38本/日が運航しています。

欧洲の技術の良いとこ取りのベストミックスシステムと日本の統合システムとの対立です。日本の統合システムは、各部品は最先端ではなくとも、トータルシステムは最先端の総合技術力です。

ユーロトレインチームの12項目のネガティブキャンペーンでのコメントは、「新幹線は欧洲システムと異なり孤立したシステムで、日本人が運営・保守をするから動くのではないか。新幹線は一度も海外に進出したことが無い。」とローカルスタンダードと決めつけられました。

台北の年間降雨量は2,800mm、静岡は2,300mm、ベルリンは600mm、山岳トンネルは台湾高速鉄道が13%、東海道新幹線が13%、フランスTGV南東線が0%と日本と近い状況です。新幹線は雨対策による危険なスリップ事故防止の改良で、最初に突入する先頭車両のブレーキ負担率を平均値の40%、2両目は95%、3両目からはフルに負担しています。トンネル断面積は台湾高速鉄道では90m²、韓国KTXは107m²、新幹線は64m²と、かなり小さくなります。つまり、コスト低減が可能です。しかし、小さなトンネル断面を車両が通過する際のトンネル内圧力変動は列車速度の3乗にほぼ比例します。

（耳ツン現象や汚水逆流等）今は、疲労（圧力変動による金属疲労）に強い車体や気密性を保持しての連続換気をしています。



台湾では新幹線の約1.5倍の断面を採用したので、地質が軟岩で約700億円、硬岩で約300億円のコスト削減が出来ませんでした。また、採用されたドイツ製分岐器（ポイント）は構造が複雑で、多雨多湿な台湾では微妙な時間差で制御するには不安が有り、開通後も不具合を引き起こしました。1998年6月のドイツ高速鉄道ICE-1がハノーバーからハンブルグに向かって走行中、エシェデ駅付近で車輪が割損し脱線、死者101名、負傷者105名との大惨事を引き起こしたのは有名です。

世界一信頼性の高い新幹線の新入社員教育を約2か月間JR東海の葛西社長（当時）が台湾高鐵に申し出ましたが外国人トリオの反対で拒否されました。台湾高鐵開業予定日から3年前の2002年9月にJR東海研修センターで「運転手指導員（トレーナー）研修」が約5か月行われました。しかも無償で。

1日遅れると3.6億円以上の損失といわれる開業を1年半近く遅らせる原因の一つを作り、新幹線の特徴である「インフラ工事費の大幅削減」のチャンスを潰した外国人トリオは、今どこにいるのだろうか。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

「正座と日本人」（著者は医学博士の丁宗鐵氏）によると、正座は外国人から見ると極めて特異な独自の文化だそうで、正座がフォーマルな座り方になったのは、明治政府が国民をシャキッとさせようと意図的に広めたそうです。驚いたことに、それ以前は、胡坐や立膝が礼儀正しい座り方だそうな。千利休も茶室が狭いので、立膝で座っていたなんて知りませんでした。正座は脳の血流を良くして認知症予防効果があるそうです。

柳家小三治師匠は、当代きっての江戸落語の名人です。師匠の嘶は本編が面白いのは勿論ですが、本題に入る前の「まくら」が抜群です。「知らないのに知っているふりをする、知ったかぶり」という迷惑な人がいます」高座からこう語りかけると、客席には笑いが湧き上がります。「その人以上に始末の悪いのが、知っているのに知らぬふりをする人です」師匠の言う意味が、うまく飲み込めません。そんな客席の反応を、師匠は予期していたのでしょうか。続いてのセリフです「みなさまも散々、テレビで見たでしょう。記憶にありません」という答弁を」。

ここで客席に大爆笑がきました。偽証罪には問われない参考人として国会に召喚された者への、やり場のない怒りを溜めていたのでしょう。知っているながら知らぬと言い張るのは、だれもその場を見ていないと、当人が勘違いをしているのです。

「後漢書」の中に、清き官吏と強欲な商人が人通りのない辻で出会い、商人が「誰も見ていないから、いいじゃないですか」と賄賂を渡そうとすると、官吏は商人を一喝し、「天は見ているし、地も見ている。わたしが見ているし、お前も見ている」。知っているながら知らぬふりをするのは、わきまえのない大人の振舞でしょう。

職人（とび職）は 第12章に移行しました

第11.4節 日本の一年間の最後の月、12月の話題のワード①

(2020年12月 第34号)

毎年12月に入ると、今年もいよいよ残り1か月か、無事に今年も年越しし、来年も元気でいられる様に、残り1か月を頑張ろうと皆様は思いませんでしょうか。私は、毎年強く思います。と同時に、いよいよ慌ただしい「師走」に入るとの思いと、頭に浮かぶワードは「クリスマス」「忠臣蔵」「ボーナス」そして「年賀状」です。皆様もそれぞれ思い思いのワードを持っていることでしょう。最初は「師走」についてご紹介しましょう。

1) 【師走】(12月の別称)

「師走」とは、「師馳（しは）す」とも言い、誰もが年の瀬を控えて何かと気ぜわしく慌ただしくなる時期となり、年末は「師」が忙しく走り回るから「師走」という説が有力の様です。「師」とは誰なのか。「僧侶が仏事の為に走り回る」「御師（おし、おんい）」(特定の寺社に所属して、その寺社への参拝者の参拝・宿泊のお世話をする人)が一年で一番忙しい時期」等、様々な諸説が有ります。

平安時代（794年～1185年）の末期に成立した古辞書、色葉字類抄（いろはじるいしょう）（橘忠兼編の三巻本、他の編もあり）の説明によると、民間語源（日常に使う語や慣用句は、習慣として長い間使われた言葉）として、現代の「師走」が当てられたと考えられている様です。

また、別説では年が果（は）てる（終わる）との意味の「年果（は）つ」が「しはす」に変化した説もある様です。四季（春夏秋冬）の果てる月を意味します。「四極（「しはつ」）、また一年の最後になる意味の「為果（しは）つ」等の説もある様です。

更に師走の別名・異称として「晩冬（ばんとう）」（冬の終わりの月）、「三冬月（みふゆづき）」（冬の三番目の月）、「梅初月（うめはつづき）」（梅が咲き始める月）、「春待月（はるまちづき）」（旧暦で12月は冬の最後の月で、春と待つ月）、「歳極月（としはずき）」（一年の最後の年の終わり）、「苦寒（くかん）」（寒さが厳しい様子、寒さに苦しむ）等です。

今まで「師走」という言葉は当たり前に使っていましたが、いろいろと多くの言葉からの集約された中からの代表の言葉であり、大変奥の深い「師走」の意味を知ることが出来て驚きました。

12月の呼称として師走の他には、極月（ごくげつ、ごくづき）、窮月（きゅうげつ）、限りの月（かぎりのつき）、除月（じょげつ）、梅初月（うめはつづき）、春待月（はるまちづき）などがあります。

時候の挨拶として手紙などで用いられる言葉としては師走、寒冷、初冬、歳末、歳晚、明冷、初雪、霜夜、霜寒、新雪、極月、孟冬、忙月、短日、厳冬、換気などが用いられます。

閑話休題 借金をしている人達は、借金取りに合わない様に「師走」大晦日の江戸市中を逃げ回り、除夜の鐘が鳴り終えて年を越す迄は家には帰れませんでした。また、「師走女房に難（なん）つけるな」と言われ、師走は忙しいので、女房達も身なりに気を配る暇が無いので、そのことに文句をつけるな、の意味です。一年の締めくくりなので集金する側も命がけです

2) 【日本のクリスマスの歴史】

皆様もキリスト教を日本に伝えた聖フランシスコ・ザビエルをご存じだと思います。1506 年（室町時代）にスペインに生まれ、後にイエズス会を創設し、1549 年（天文 18 年）8 月 15 日（室町時代・戦国時代）にキリスト教を日本に伝える為に来日し、薩摩国鹿児島に上陸しました。しかし日本には 1551 年迄の 2 年 2 か月の短い滞在でした。

聖フランシスコ・ザビエルは 1549 年 8 月 15 日、聖母被昇天（せいぼひしょうてん）の祝いの日に、現在の鹿児島市祇園之洲町に来着しました。イエス・キリストを生んだ母であるマリア様は、イエスを深い愛を持って育てましたが、イエスが 33 歳の時、イエスを快く思わない人の手にかかり、磔刑に処されました。マリア様の生涯は清く、正しく神様の信頼にかなった生涯だったと思います。

カトリック教会では、マリア様を「聖母マリア」と呼び、マリアがこの世の命を終えた時、神様が間違いない天国へお召しになったことを信じ、「神様がマリアを天に上げられた」と宣言しました。これが聖母被昇天で、この出来事を祈念する祝日が 8 月 15 日なのです。私は戦後二年間、川崎市多摩区登戸の多摩区役所の近くのキリスト教の幼稚園にお世話をになりました。当時のキリスト教はよく理解出来ないまま、卒園しました。フランシスコ・ザビエルは薩摩藩主島津貴久（たかひさ）に謁見し、許可を受け平戸、山口、京都で宣教活動をした様です。

いよいよ日本最初のクリスマスの話題です。フランシスコ・ザビエルは山口県（周防国）の大内氏 31 代当主、大内義隆の許しを受けて宣教活動をしていましたが、1552 年（天文 21 年）12 月にフランシスコ・ザビエルの後任宣教師コスメ・デ・トーレス（山口で布教中）が司祭館で信徒を集め、12 月 24 日のミサ（カトリック教会での儀式）を行ったことが、「日本で初めて祝われたクリスマス」とされています。また、当時のローマでは、太陽神を崇拜する異教が大きな力を持ち、12 月 25 日が太陽神を祭る祝祭日としていました。そこで、初代キリスト教の指導者たちが、異教徒との対立や摩擦を生むことなく異教徒にキリスト教を広める為に、12 月 25 日をクリスマスとされた様です。

1560 年頃（戦国時代川中島の戦いの第 4 次の最大の激戦前年頃）京都にキリスト 100 人程が集まり、盛大な降誕祭（聖人や偉人などの誕生祝の祝典）を行ったとの記録があるそうです。1566 年（永禄 11 年・織田信長が足利義昭を奉じ入京した年）にイエズス会ルイス・フロイトによって「織田信長と松永久秀がクリスマスに一時休戦した」との記録が残っているそうで、信者がいる各地でクリスマスが行われていたと考えられている様です。現代の様なプレゼント交換とか、食事会とかクリスマスツリーの飾り等は無く、飴とかお菓子程度と思います。1612 年の江戸時代初期に禁教令（キリスト教禁止令）を

発し、その後一旦はクリスマスの姿は消えました。各地の隠れキリスト教の人々は、外部からは分らない様にお祈りや会合をしていたのでしょうか。六文銭をある形に並べると、マリア様に似ているそうです。

その後、明治6年（1873年）禁止教令が解かれ、クリスマスも復活しました。1904年（明治37年）に、銀座の「明治屋」が商業用ディスプレイとして初めてクリスマスツリーを店頭に飾り、大きな話題を呼んだことで広く知られる事になったそうです。1910年（明治43年）には、「不二家」がクリスマスツリーのデコレーションケーキを発売し、1919年（大正8年）に「帝国ホテル」が一般の客向けのクリスマスパーティーを開催し、その後も次々とデパートやホテルでクリスマスの装飾や販売が日本中に始まりました。昭和になってからも、銀座、渋谷や浅草の喫茶店やレストランがクリスマスに合わせたメニューを取り入れ始めました。

第二次世界大戦（1939年～1945年、昭和14年～昭和20年の6年間）が始まり、一時下火になりましたが、戦後再び活気を取り戻して現在に至っています。日本での「クリスマス」の歴史がこの様に長いことは、まさに驚きです。



閑話休題 クリスマスツリーの飾りの意味

- ① ツリー頂部の星（トップスター）：キリストが生まれた時、強く輝いた星。
- ② 丸い飾りのボール：アダムとイブのリンゴで、豊かな実りや生きる喜び。
- ③ キャンドル：ロウソクの炎は、世界をまばゆく照らす光。
- ④ 栒（ひいらぎ）：葉の「とげとげ」は、キリストが被った茨の冠。葉のとげは魔よけの意味もある。
- ⑤ キャンディ：杖の形をしたキャンディで、牛飼いが使う杖。聖書ではヒツジは人で、羊飼いはキリストとなる。
- ⑥ ベル：キリストの誕生を知らせる喜びの鐘を鳴らすベル。
- ⑦ クリスマスリース：終わりなき永遠の神への愛。
- ⑧

人生を豊かに（雑学のすすめ）

「90歳で恕を知る」

江戸時代初期の老中に松平信綱という人物がいました。「チエ伊豆」と呼ばれ、頭の回転が速く、それもウイットとユーモアに富んだ対応をしていました。

ある時、江戸で火事が有り、川越（埼玉県）城主の信綱は領地で大火の経験が有ったので、すぐ対策本部を設置しました。それも江戸城内ではなく現場です。大名が続々と詰め掛けたので、信綱は非常時なので先着順に席に座らせました。

酒井という大実力者がやってきました。席次にうるさく、どこでも一番上席に座らないと承知しないのです。しかしこの時、空いていたのは入口近くの末席だけでした。酒井は怒って帰ろうとしていた時、信綱は末席に座ることを求め、笑いながらこう言いました。「たとえ末席であろうと、私たちは酒井様がお座りになる席を、その場での最上席と考えております。」酒井もごねるのは大人げないと苦笑しながら、末席に座りました。不便な時代だったので、知恵を絞ったのでしょうか。相手をうまく立てるのも、必要ではないでしょうか。

耳寄り情報

玄米は白米より体にいいか？

玄米を精白したのが白米です。精白で取り除かれるのが糠（ぬか）です（糠には胚芽も含まれます）。その点で玄米は白米よりも優れています。小麦等の麦類では、精白しない「全粒穀物」を多く食べる人ほど脂肪率が下がるというデータが有り、全粒穀物には大きな健康効果が認められています。

玄米は「ヒ素」を白米の約2倍程度含み、ビタミンB1は白米の約5倍、鉄分は約3倍、マグネシウムは約5倍、蛋白質は約1.1倍含みます。土や地下水、海水等に天然に存在するヒ素は、水田で育つ米や、ひじき等の海藻にも必然的に含まれています。日本人は平均的に、体重1Kg当たり毎日0.34マイクログラムの無機ヒ素を摂取しています。障害の発がんリスクは「2000人に1人程度」に相当します。

なぜ米に無機ヒ素が多いのでしょうか。小麦や大豆と比較して、米（玄米や白米）は無機ヒ素を10～20倍程度多く含みます。米は水田で栽培される為、水を張ることで土に含まれるヒ素が吸収し易くなります。

ひじきは大量の水（お湯）で乾燥から戻せば、最大で9割ほどの無機ヒ素を減らせます。食品安全委員会は「バランスの良い食生活を送れば健康への問題はない」と評価しています。（解答）玄米にはヒ素のリスクが有るが、健康効果が上回る様です。

第 11.5 節 日本の一年間の最後の月、12 月の話題のワード②

(2021 年 01 月 凱 36 号)

1) 賞与（ボーナス）

昨年の年末は、新型コロナウイルスの感染者の多くが日本も、世界的にも発生し、経済的に影響を受けた企業が多く、長い日本の賞与の歴史に多大な影響が出たり、賃金にも未払い、又失業の方々も出ました。早期の新型コロナウイルスの収束を日本政府に期待し、日本の経済の回復を願い、失業者も無く、安定した給与・賞与の復活を願っています。

日本では賞与として定期給の労働者に対し、定期給とは別に支払われる特別な給料の事で、ボーナスともいわれます。欧米では特別配当・報奨金の事で、会社への勤め人、サラリーマンとして十分お判りの事です。会社の業績や世の中の景気によっても支給額の変化が有りました。しかし、私もサラリーマンの一人として、給与以外でのボーナスの金額も織り込んで、買い物の計画を立てたものでした。

この毎月発行の川崎支部便りの読者には、現役でご活躍の方は頑張って多く支給される様、業績向上に努力して頂きたいし、年金生活者は賞与・ボーナスの名称は懐かしく思い出すでしょう。私は賞与・ボーナスは基本的に夏と冬の年 2 回の支給でしたが、企業によっては年 1 回とか 3 回もあった様で、外資系企業のばあいは月額が多く、賞与・ボーナスを導入していない場合も有ります。

さて、日本の賞与支給の歴史は、古くは江戸時代（時期は不明ですが、江戸時代中期から末期と想像）に商人がお盆（夏季）と年末に奉公人に配った「仕着（しきせ）」が由来と云われています。主人が使用人にその季節の衣服を与えたこと、またはその衣服を指します。普通は盆と暮れの二度です。また、江戸時代の幕府が諸役人に衣服を与えたことで、その衣服を「御仕着（おしきせ）」と言いました。奉公人への場合、夏は氷代、冬は餅代の事もあり、この支給は現金支給と思います。

賞与の最古の記録では、1876 年（明治 9 年）の三菱商会の例が有るそうです。また、江戸時代に近江商人の西川家が賞与を年 2 回与えていた記録が有る様です。当初の日本は欧米のシステムと大差のないシステムであった様ですが、第 2 次世界大戦後のインフレーションで労働運動が高まり、生活への出費がかさむ夏と冬に生活保護的な「一時金」としての性格を帯びる様になり、支給 1 回につき月給の 0.5 月か月から 3 か月分が支払われる様になったそうです。多くても 0.5 か月から 1 か月分と言われている欧米の賞与（支給されないことも多い）に比べると、日本は夏と冬 2 回も賞与が出ています。今後も賞与の支給は、生計の大切なものなので、継続してもらいたいと思います。

2) 年賀状

日本での年賀状は、平安時代から始まったとされています。平安時代中期に貴族・儒学者・文人の藤原明衡（あきひら）（989 年？～1066 年）がまとめた手紙の文例集の中に、年始の挨拶の文例があり、これが残存している最も古い例と言われています。この頃からお世話をされた方や親族に、新年の挨拶をして回る「年始回り」という習慣が広まり、現代でも企業同士で年末年始の挨拶をし、「手拭い」と

か「タオル」をもって、年末年始の挨拶、年賀と書いたものや、「謹賀新年」と刷り込んだ名刺を持つて挨拶をしていますが、長い歴史があったのですね。

平安時代でも挨拶に手紙を使用するのは一部の貴族で、直接会えない様な遠方の方へ賀状を送っていました。この習慣が平安・鎌倉・室町・安土桃山の各時代に行われていました。江戸時代になると、現在の郵便の先駆けとなる「飛脚」が充実し、庶民が手紙で挨拶を済ませることも増えた様です。この頃は更に「名刺受」を玄関に設置して、不在時には新年の挨拶を書いた名刺を入れる文化もあったそうですが、庶民達はなくて武士や大店にはあったと思います。

現代の様なはがき型になったのは、1873年（明治6年）に官製はがきが登場したことが契機でした。明治20年前後には年賀状を出すことが年始の恒例行事になったそうです。多くの人達が1月1日の消印をもらうため、年末の郵便局の仕事量が普段の何十倍にも跳ね上がったため、その対策として「年賀郵便」の特別取扱いが始まったのです。その後、1949年（昭和24年）に一民間人の林正治氏のアイデアで「お年玉付き年賀はがき」が登場しました。

そもそも年賀状を出す目的は、①お世話になった方や大切な方、親族への「年始回り」の代わり②お世話になった方に感謝の気持ちを伝える③普段会わないと連絡が取れる④友人だけでなく、親族や仕事関係の人に出すことで、お互いの信頼関係を高められる、等々が有ります。

現代はパソコン・スマホ等が発達し、年賀状を1枚ずつ書くよりも機械化が進むことで、賀状はどんどん減少していくのではないかと思います。残念ながら日本の伝統文化が少しづつ消えていくと思います。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

ノーベル文学賞候補の作家村上春樹氏が、読者からの質問メールに答えています。「親切心が極意です」

（質問）病院で広報を担当しています。しかしながら想いが伝わらないことが多いです。村上さんが相手にメッセージを伝える時に意識していることは何ですか。

（回答）親切心です。それ以外にありません。親切心をフルに使ってください。それが文章を書く極意です。おもねるのではなく、親切になるのです。

閑話休題 言葉は時代とともに変化します。「おもねる」（阿る）も使用する割合が少なくなった言葉の一つでしょう。さらにこの言葉の活用法を考えますと、否定形は「おもねず」ではなく「おもねらず」です。同様に「おもねた」とか「おもねて」のように下一段に活用させて使うのは誤りとされています。しかし「ら」抜き言葉が氾濫しているこの頃、「おもねず」が近い将来国語辞典に採用されるかもしれません。

川崎支部便りの各号の内容を製本するあたり、その内容を偶数ページ数に限定しました。その結果納まりきれない記事が出てしまいましたので、この章でまとめて掲載します。なお掲載の順番はテーマの五十音順といたしました

か 化学調味料

(2019年05月 第15号に収録)

子供達をお持ちの方必見です。調味料（アミノ酸等）とは、いわゆる「化学調味料」のことです。化学調味料のメーカーや原料メーカーが「化学合成品」というイメージを嫌ったのか、まるで醤油やみりんと同等の調味料の様な名称に変更されてしまいましたが、れっきとした「合成添加物」です。例えば、カロリーを控えたマヨネーズ状の商品が有ります。名称は「マヨネーズ」ではなく「サラダクリーミードレッシング」「半固形状ドレッシング」となっています。その多くには、マヨネーズでは認められない食品添加物が使用されています。日本のマヨネーズの定義は、「食用植物油脂、醸造酢及びかんきつ類の果汁、卵黄及び卵白、たん白加水分解物、食塩、砂糖類、はちみつ、香辛料、調味料（アミノ酸等）、香辛料抽出物以外のものを使用しないこと。」となっています。

原産国とは最終加工地のことです。原材料表示の下段に記載されている「販売者」がそれにあたります。ここに日本の会社が有り、所在地が国内であれば原産国は「日本」です。でも原材料原産地が記載されていなければ、どこで作られたかはわかりません。原料原産地とは原料が作られた国や地域のことです、原材料名の後ろの（かっこ）内に記載されます。表示されていないものは、外国産かも知れないし、産地が特定出来ないものかも知れません。

そこで、摂取を避けたい例として、調味料のアミノ酸等（カップラーメン・スナック菓子等）、イーストフード（コンビニやスーパー等の菓子パンや惣菜等）、甘味料のアウパルチーム、アセスルファムK、スクラロース等（ダイエット甘味料・「0」「オフ」を謳うドリンク剤やゼリー等）、赤色○号・青色○号（タール系色素）（ドライフルーツ・駄菓子・かき氷シロップ等）、発色剤の亜硝酸Na（ハム・ソーセージ・たらこ等）、コチニール色素（カニかまぼこ・ハム・ソーセージ等や着色したお菓子等）、リン酸ナトリウム（加工物・練り物・原材料が表示されない物・和洋菓子等）、保存料のソルビン酸K・ソルビン酸Na等（プロセスチーズ・漬物・魚肉ソーセージ・練り製品等）です。皆様の身の回りの食品が、知らないうちに子供までむしばんでいるのではないでしょうか。添加物を多く摂取した方が亡くなると、自然に身体が融けてくると僧侶から聞きました。怖いですね。



か 霞が関ビル

(2020年12月 臨時増刊号に収録)

日本最初の超高層「霞が関ビル」竣工52年。(竣工日:1968年4月12日(昭和43年))

日本中の人々の多くがご存じだと思いますが、東京都千代田区霞が関3丁目の見上げるビル、地上36階、高さ147mの建物が霞が関ビル(註1)です。当時、日本の法改正前の建物は、地上100尺(31m)が最高高さで、日本の建設の考え方を大きく変革させた建物でした。地震国ゆえの高さ制限で、9階建て以下の低いビルが敷地いっぱいに所狭しと並ぶ息苦しい空間でした。

その後、東京浜松町、大阪の超高層ビル、そして新宿西側のエリアに大型超高層ビルが次々と建設され、高さ競争になったのです40年代の超高層ビル建設には、鹿島建設がかかわる物件が多くありましたが、現在は高層ビルを請け負う多くの建設会社が、各社独自の超高層建築工事を進めています。

この工事は鹿島建設として、今までの工事と異なる多くの問題に遭遇したと言われています。そして、多くの特許を取得したと聞いています。スライドアップするクレーンや、床型枠のデッキプレート等が開発した工法の一つと思います。タクト工程表等も新しい考え方でした。この現場の二階所長は、「ニカイ」が36階を建てたと言われていました。(笑)

私が入社した当時は、工事に着手していませんでしたので、工事見学で案内されました。あまりピンとこないまま説明を受けたことを思い出します。私が他現場に赴任した時、鉄筋圧接の引張用サンプルを複数回に分けて、霞が関ビルに運搬したこと覚えています。また、赴任現場が東洋大学の記念館工事で、以降東洋大学内の改修・増築工事等の多くの現場を、入社2年目から一人で任せられましたが、増築工事の中に霞が関超高層ビルの構造の一部分(柱・梁(はり))を切り取った時と同様の構造の現場がありました。設計の構造担当者が霞が関ビルも監理し、この方から言われた「超高層の味わい」を感じました。私もいつの日か、超高層ビルの体験を希望していました。その後、超高層ビル3棟の施工に出会うとは、思いませんでした。又、日本で最初のこの超高層「霞ヶ関ビル」工事を新入社員で経験したT氏(後、多くの高層ビル工事の体験者)と、T氏31歳、私が33歳の時に、当時日本一、東洋一の高さの超高層ビル「サンシャイン60」の工事で出会い、お互いに社員はもとより、多くの職長初め、作業員をけん引して、工事の最前線で頑張って完成させたことは生涯忘れられない人生での思い出です。

完成から50年を迎えた2018年4月11日夜、女優の蒼井優さんを招いて、ライトアップの点灯式が霞が関ビル前の広場で開かれ、思い出深いお祝いでした。

(註1) 所有者は三井不動産、建築主は三井不動産・霞会館、設計者は三井不動産・山下設計、施工は鹿島・三井建設共同事業体。建設工事費は約163億円(2018年時点)で約554億円(物価換算)



が 外国人(旭日中綬章)が日本に学んだ10のこと

(2021年10月 第45号に収録)

2014年に英国人マーチン・バローが旭日中綬章を受賞しました。前天皇から授与された理由は、英國で日本文化を広め、日英親善に貢献したことです。マーチンはジャーディン・マセソン商社日本社長等を務め、イギリス商工会議所の日本代表でもありました。ジャーディン・マセソン照会は、幕末から日本に深く関わり、長崎のグラバーは同商会の代理店でした。

マーチンは東日本大地震の直後に、日本人の姿に感動して、「日本から学ぶべき十点」を知人たちに発信しました。

1. おだやか（カーム）さ：号泣し、泣きわめく姿をまったく見ることが無かった。個人の悲しみを内に秘め、悲しみそのものを昇華させた。
2. 尊厳（ディグニティー）：整然と列を作り、水や食料が渡されるのも待った。罵詈雑言や、奪い合いは一切なかった。
3. 能力（アビリティ）：驚きくべき建築技術。建物は揺れたものの、倒壊しなかった。
4. 気品（グレイス）：人々は、必要なものだけを購入した。買い占めることなく、そのためすべての人が必要なものを手にすることが出来た。
5. 秩序（オーダー）：車がクラクションを鳴らしたり、道路を占拠したりすることが全くなかった。
6. 犠牲的行為（サクリファイス）：福島第一原発で事故が起きた時に、50名の作業員が海水を注水するために、逃げずにその場で作業を続けた。彼らの犠牲的行為は、どう報いてあげられるだろうか。
7. 優しさ（テンダーネス）：食堂は値段を下げ、ATMには警備が付くこともなく、そのまま使えるようにされた。弱者には、特に助けが差し伸べられた。
8. 訓練（トレーニング）：老若男女の分け隔てなく、すべての人々がどうすれば良いかが分かっており、その通りに行動した。
9. 媒体（メディア）：メディアは、冷静かつ穏やかに報道をした。
10. 良心（コンスイエンス）：店で買い物をしている人々たちは、停電になると手にしていた商品を棚に戻して、店を出た。

日本人が自然に身に着けていた高い倫理的な行動規範は、世界に感動を巻き起こしたのです。

こ 皇居宮殿造営

(2019年03月 第13号に収録)

2019年は平成最後の年となり、元号は645年（大化元年）に大化と定められて以来、現在に至るまで使用されています。途中、654年（白雉（はくち）4年）～686年（朱鳥（しゅちょう）元年）、686年～701（大宝（だいほう）元年）年には使用が中断されていました。源平合戦時、南北朝時代には異なる元号が並行して使用されたりした時代もあります。明治以降は天皇在位と元号が一致するようになりましたが、それ以前では何か出来事が起こる度に改元されていたので、平成までで247もの元号が使用されました。

昨年の2018年（平成30年）は明治時代150年目、全国高等学校野球選手権大会100回記念、築地市場開場83年目、東京タワー完成60年目、霞が関ビル（日本最初の超高層ビル）竣工50年目、ポンカレー（大塚製薬 モデルの松山容子も続投しています）発売50年目、成田国際空港開港40年目、ディズニーランド開演35年目、地下鉄サリン事件23年目、等々思い出深い年でした。以前、東京タワーの話題を記載しましたので、今月は皇居宮殿造営50年目の話題です。

皇居宮殿は明治・大正・昭和の三代に亘り、数々の重要な国際行事を担ってきました。1923年（大正12年）9月1日の関東大震災にも建物の損傷が無く、優秀な建物であることが立証出来ました。1945年（昭和20年）5月25日の夜、アメリカからの無差別大空襲では、皇居南側の霞が関一体の官庁街は猛火に襲われ、そして宮殿へと吹き荒れたのです。翌26日午前1時過ぎには宮殿が出火し、壮麗な建築群が次々と焼失し、なんと4時間で灰と化したのです。（ウォルトディズニーは戦時に日本を爆撃している映画を作成し、公開した好戦家でした。）

皇居内の宮内庁舎の一部を改築した仮宮殿で戦後の賓客を招き入れたのです。1964年（昭和39年）6月29日に新宮殿造営工事の起工式が行われ、4年後の1968年（昭和43年）10月15日に工事が完成、翌月11月14日に落成となりました。毎年新年の年賀で天皇陛下・皇后陛下・各皇族方が立たれるのは、この正殿です。天皇誕生日一般参賀では、参拝者は皇居正門（二重橋）から参入し、坂下門、桔梗門（ききょうもん）、大手門、平川門、北桔橋門（きたはねばしもん）から退出します。天皇陛下・皇后陛下のお出ましは、第1回 午前10時20分頃、第2回 午前11時頃、第3回 午前11時40分頃です。参賀会場内において、お言葉の手話通訳も行っているので、参拝に来やすい様です。



尚、動物（身体障害者補助犬を除く。）を同伴する者、危険物を携行する者、旗竿、小型無人機（ドローン）、大きな荷物等で参賀行事を妨げ、又は他に危害や迷惑等を及ぼす恐れのある物を携行する者、その他参賀行事の運営上支障があると認められる者は入門出来ませんので、注意して下さい。

し 食品添加物

(2019年07月 第17号に収録)

日本人が食べている添加物の総量は、年間約4.6キログラムと厚生労働省の調査の約4倍です。

例えば、よく食べているポークワインナーを見てみましょう。(×)は問題の添加剤です。原材料名は、豚肉、豚脂肪、糖類(水あめ、ぶどう糖、砂糖)、でん粉、食塩、香辛料、調味料(アミノ酸等)(×)、リン酸塩(Na)(×)、酸化防止剤(ビタミンC)(×)、香辛料抽出物(×)、発色剤(亜硝酸ナトリウム)(×)です。おにぎりはどうでしょうか。原材料は、ご飯、辛子明太子、海苔、pH調整剤(×)、増粘多糖類(×)、調味料(アミノ酸等)(×)、着色料(紅?、トウガラシ色素)(×)、酵素(×)、発色剤(亜硝酸Na)(×)と添加剤のオンパレードです。オレンジ味の炭酸飲料は、果糖ブドウ糖液糖、オレンジエキス、香料(×)、酸味料(×)、ビタミンC(×)、カロテン色素(×)、甘味料(ステビア)(×)で、添加剤を飲んでいるようなものですね。コンビニのおにぎりではなく、スーパーやデパ地下ならどうでしょうか。店内で加工されたものは、保存料を使用しないところもあるでしょう。ところが、容器に入れ包装して、売り場で販売する場合は「加工食品品質表示基準」に基づく表示が必要ですが、バラ売りでトレイに乗せてセルフ販売の場合や対面式の場合などは、表示の義務が有りません。すぐそこで作っているから、出来立てだからといって、無添加であるとは言えないのです。

この添加剤は、約1500品目も有ります。長年使用してきた添加剤は大丈夫ですか?いえ、その様なことはないそうです。たとえば2004年7月には遺伝毒性及び腎臓への発がん性が認められ、アカネ色素等が使用禁止になりました。安全性試験では対象となる添加物の濃度が1%に満たないケースもあり、影響が出ないレベルの実験では意味がないでしょう。欧州連合(EC)では最低でも20~30%の濃度で行うことが指示されています。

日本人が食べている添加物の総量を需要量から推測すると、1日・1人12.7グラムで、年間約4.6キログラムになります。厚生労働省の調査では、約1.2キログラムとされていますが、この調査には新規の指定添加剤や既存添加物、更に一般飲料食品添加物が含まれていないのです。アレルギーを発症する恐れのある添加物を含む食品を可能な限り避けなければなりませんが、現在は特定原材料としてアレルギン表示が義務化されているのは、乳、卵、小麦、そば、落花生、えび、かにの7品目のみで、食品添加物は含まれていません。最近では、甘味料のソルビトール等にもアレルギー誘発リスクが有ると注意を呼び掛ける小児科医もいます。下記の要注意食品添加物リストには具体的な添加物を載せています。良くご覧になって下さい。



- ・約60万トン（2012年）を超えると推定される食品添加物の国内生産量は、2011年には保存料・ソルビン酸塩のトップメーカーが国内生産を中止し、100%が輸入品になりました。品質改良剤のリン酸の原料は中国からの輸入に依存し、栄養強化剤としてのビタミン類もほぼ100%を中国からの輸入品で賄われているそうです。この様な輸入品の添加物は、どこで、誰が、どの様に製造し、どの様な品質（純度）が不明なことが少なく有りません。中国産食品にまつわる問題点が多く指摘されていますが、添加物は例外とは言えないのです。
- ・遺伝子組み換え技術の利用についての不安もぬぐえません。増殖を続ける「組み換え添加物」の第一号は酵素の「キシモン」で、1994年に安全性審査を経て使用が認められました。キシモンは牛乳を固める酵素で、チーズの製造に使用されています。もともと仔牛の胃に存在している物質で、これを取出すのが非常に困難なので、遺伝子組み換え技術を使用しました。キシモン同様の遺伝子組み換え食品添加物は2013年5月現在で16品目、そのほとんどが酵素です。しかし、これらを使用した食品に、「遺伝子組み換え」の表示は有りません。

し 職人（とび職）

（2019年04月 第14号に収録）

とび職になる人は、工事現場や鳶の仕事に特別な思い入れがあるわけではなく、「手っとり早くお金を稼ぎたい」人が多いようです。まず必要なのは忍耐力です。体力や力に自信が無くても、仕事を続けていくことで体は次第に作られます。しかし、右も左もわからなくても、丁寧に教えてくれません。勿論、資材や工具の名称等、基本的なことは教えてくれますが、仕事は見て覚える他有りません。分からないうちからボーッと見ていると、怒鳴られます。かといって、訳も分からず働いているだけでも怒鳴られます。鳶の仕事を始めて1年は、毎日の様に怒鳴られ、怒鳴られ続けます。この期間にどれだけ人の仕事、技を盗めるかが、成長の速度を左右します。

若き日の様に己の力を過信し、怖さを知らずに怖くないと思い込んでいる人が、最も危険です。安全帯に付けられているフックはたった1本のロープに身を預ける生死を分ける大切な道具です。鳶職は技術的努力だけでなく、精神的努力も出来る人が、より高みを目指すことが出来る職業と言えます。人の話が聞けて、コミュニケーションが上手な人は、人の上に立つことが出来、鳶の親方に向いているでしょう。仕事は一人では何も出来ません。ただ技術があるだけでは一流と言えず、人間としての器も大きくなければ親方は務まりません。鳶の親方は「オヤジ」と慕われ、その存在感は圧倒的で、崇高です。一流になるには、気性の荒い職人たちを統率出来る人間力が絶対不可欠になります。

時折、外部から現場に来られる方で、露出の多い服装や、かかとの高い靴を履いていると、「現場をなめてるのか！！」と白い目を向けられ、現場内にピリピリムードが漂います。「現場の危険度＝戦場レベル」。常に緊張感を持っていなければなりません。現場に出る時は、まず確認を。周囲の確認安全ヨシ！！

鳶職人たちちは職を極めたものの身なりを「作業服」や「鳶服」と言わないで、「ゴト着」と呼んでいます。ダボダボのズボンのことを「七分」と呼びます。一般的にはニッカボッカと言われ、ズボンの長さが七分丈だからです。この七分は危険を回避するための機能がダボダボの部分にいくつも隠されています。職人の仕事は足を高く上げて仕事をすることが多いので、腿の部分にゆとりが無いと足がスムーズに上げられません。膝を曲げたりするのに服が邪魔にならない、つかえないことが一番の理由です。次の機能は「センサー」です。鉄骨建て方などの高所作業中は、柱や梁の出っ張りや尖った部分にズボンが触れ、危険を回避する猫のひげです。また、「風力計」の役目もあります。

ゴト着の一流ブランドは押上の「種田」で、一度はくと他ははけない様です。種田をしのぐ人気は「豊多屋」で紺の色具合も美しく、目を引きます。大阪では「丸源」が圧倒的な支持を集めている老舗です。「カセヤマ」も人気ブランドです。東京は裾が短めで、全体的にスマートですが、大阪は地面に裾が着くほどに長く、全体的に太いフォルムです。更に関東の七分は足の裾と股間部分が大阪のチヤックではなく、ボタンが使用されています。事故の時にボタンなら引き裂いて脱がすことが出来るからです。

スカルノ夫人の声

(2020年01月 第23号に収録)

今回はデヴィ・スカルノ氏の声です。

貧しさというのは、素晴らしい天からのギフトであり、イデオロギーやパワーの素となるエネルギーをくれます。私は、人の三倍勉強して、人の三倍働いて、人の三倍努力して、睡眠は三分の一で来ました。そして今でもそうです。人間は誰にでも必ず、一生に何回もチャンスを与えられるのです。しかし、それに気付かない人があまりにも多いのです。その人たちとは目標や目的、使命感を持っていない人たちです。

気がついたら、それを掴む！掴んだら、自分の全ての能力と時間をつぎ込んで、英知を發揮し、努力して成功を維持する。成功を掴んだら、今度はそれをいかに維持するか。維持するほうが、成功を掴むより難しいのです。自分を不幸に思う人がいたならば、自分よりもっと不幸な人がいることを知りなさい。この世の中には限りなく不幸な人がいるのです。

人は生まれ落ちた時から、生き抜かなければならぬ業を背負っているのです。

私は自分を戦場の一戦士だと思っています。皆、戦場の戦士なのです。休息なんてないです。幸せというのは、その人の考え方一つで在るものなのです。私は遊雅（ゆうが）、裕雅（ゆうが）、優雅の究極を「秀雅（しゅうが）」となすことをモットーとしています。

ラトナ・サリ・デヴィ・スカルノ

す スリランカからの恩恵

(2021年05月 第40号に収録)

私達日本人はスリランカから大きな恩恵を受けました。それは1951年（昭和26年）9月6日、第二次世界大戦の戦後処理が話し合われたサンフランシスコ対日講和会議での出来事です。

分割討議など、日本に対して厳しい制裁を科そうと集まった人々を前に、セイロン（元スリランカ）代表のジュニウス・リチャード・ジャヤワルデネ蔵相（1906年～1996年。後に大統領）が演壇に立った時、意外なことに彼は、真理のことば（ダンマパダ）の詩を引用して、日本に自由を与え、賠償放棄することを宣言したのです。「…空襲による損害…大軍の駐屯による損害、…ゴムの枯渇的樹液採取によって生じた損害は、（日本に対し）損害賠償を要求する資格を我国に与えるものであります。しかし我国はそうしようとは思いません。何故なら我々は大師（釈尊）のこの言葉を信じていています。すなわち一 「実にこの世においては、怨みに報いるに怨みを以てしたならば、ついに怨みの息（や）むことがない。怨みをすべてこそ息む。これは永遠の真理である」

このジャヤワルデネ代表の言葉は人々の胸を打ち、我が国に対して厳しい措置を科すつもりであった各国代表の心を動かしました。ひいてはこのことが戦後日本の早期の立ち直りを可能にし、我が国の国際舞台への復帰を促すことになったのでした。（スリランカ大使館HP他）

この様なブッダ・マジックに憧れるだけでなく、実際にその様に生きることを実践して見せてくれました。彼は後に首相と大統領をつとめ、死を迎えた時には、自分の眼の片方はスリランカ人の人に、もう片方の眼は日本人に贈る様にと遺言していました。実際に片方の眼の角膜が日本にもたらされ、関東地方に住む女性に移植されて、彼女の眼は光を取り戻しました。（知の古典は誘惑する（岩波ジュニア新書）岡田真美子著から）

ち 長寿のコツ9ヶ条

(2019年10月 第20号に収録)

蒸し暑い夏のピークを過ぎると、急に抜け毛が気になる方が多い様です。漢方では、髪は「血（けつ）の余り」と言われ、体に栄養を与える「血」が十分ならば、髪は丈夫でつややかになります。しかし、暑さで食欲が落ちバランスが良い食事がとれなかったり、冷たいものの食べ過ぎで胃腸の働きが弱ると血が不足し、髪の毛が細くなったり、抜ける原因になります。季節にかかわらず、胃腸が弱い人も抜け毛も同じ原因です。また、産後の抜け毛も出産に伴う血の消耗によるものです。

不足した血を補うレバー、豚肉、卵、ブルーン、ほうれん草、胃腸の調子を整える山芋、カリフラワー、キャベツ、生姜、とうもろこし等と一緒に取ると良いです。加齢による髪の抜け毛（バーコード状態）は腎精不足が原因の一つなので、黒豆、ブルーン、鰯等が効果的です。

お茶の水大学名誉教授の外山滋比古（「思考の整理学」や「老いの整理学」で有名）の長生きのコツをラジオ番組（NHK）で伝授していました。

- ① 夜眠れない時は、朝寝をする。昼寝や朝寝では、眠らなくても 20 分程度横になると、睡眠とあまり違わない効果がある。
- ② 「ノンレム睡眠」（脳が休息を取る為の深い眠り）と「レム睡眠」（脳が少し活動している）があり、レム睡眠が非常に大事。頭の中を掃除する時間になる。前日の様々な情報を整理して、いいものは残し、頭をすっきりさせる。昼間に体を動かすと、頭の掃除が出来る。
- ③ よく忘れて、よく覚える。うまく忘れる事は、頭の衛生上非常に良く、この繰り返しで頭が良くなる。
- ④ 腹 5 分目で、空腹を感じる程度が良い。年齢を加えると、空腹感が少なくなるので、栄養価の高い物を少量食べる。牛乳を多く、辛い物は控えること。食事後は、「美味しかった。」と喜ぶと、周囲も楽しくなる。
- ⑤ 運動だけではなく、動くところはすべて動かす。これが健康の基本となる。編み物をして元気な方は、頭と目と手を同時に使用するので、非常に良い刺激になる。
- ⑥ 耳を使う。ブルーノ・タウト（世界的に有名なドイツ人の建築家）は、「日本人は目で試行する。」と言う様に、日本では「勉強とは文字を読むこと。」の伝統がある。文字になっているものは、殆ど過去のこと。「耳学問」の様に、耳を使う事。日本人が独創性に乏しいのは、目で考えることを重視しているからではないか。
- ⑦ さ らに良いのは、口を動かすこと。カラオケや読経で大声を出すと、全身運動の代わりになる。
- ⑧ おしゃべりをする。三人以上で話すのは、大きな刺激になる。思いがけない「セレンディピティ」（偶然に思いがけない幸運な発見をする能力、またはその能力を行使すること）が起こる。人の悪口やゴシップは言わないことが大事。
- ⑨ 失敗から学ぶ。すぐに成功した人は、あまり努力をしていない。失敗の後に、「よし」と反発して挽回する時の力は、元の力よりも強い。その時のエネルギーは 120% 以上となる。失敗を繰り返すうちに、恐れなくなり、更に一層高みに行ける。

皆様も真似をして、100 歳を目指しましょう。

と 豆苗

(2020 年 04 月 第 26 号に掲載)

豆苗は豆と緑黄色野菜の長所が豊富です。ビタミン類、ミネラル、植物纖維も豊富で、成長に必要な大きなパワーが有ります。親であるエンドウ豆と比べ、 β -カロテンは 31 倍、ビタミン E は 16 倍、ビタミン K は 13 倍、葉酸は 5 倍にもなります。しかも、本来微量なファイトケミカルも爆発的に生成する豆苗は、2 回再生が可能です。切った根を水に浸けると、残った成長パワーを余すところなく発揮します。

豆苗を最初にカットする時に、生長点である腋芽を残すと、2 回再生で元気な豆苗を収穫出来ます。

注意点は、1 日 1 回の水替えと、水温が高いと夏場は腐り易くカビが生え易いことです。

ど 童門冬二の健康法

(2020年12月 臨時増刊号に掲載)

作家の童門冬二（1927年～）（1979年、51歳の時に美濃部都知事引退とともに都庁を去り、作家生活に専念）が推薦する健康法です。

①歩く時によろめいたりつんのめったりするのを防ぐには、まず靴のかかとから地面に着けること。竹を割って切ったもの（市販品が有る）を家の中で300回位踏むこと。

②電車の駅やバス停で待つ時は、ベンチに腰かけて両足をまっすぐ前に伸ばす。そして、出来れば両手を尻の下に入れ、自分で自分の体を持ち上げ、30秒出来れば健康、1分支えられれば大健康。

③立ってかかとを上げ、つま先に体重をかける。その姿勢で両手を前に出し、水平状態から上に振り上げる。最低100回繰り返す。

④寝ている時に足の指をじゃんけんのグーとパーを繰り返す。グーの時もパーの時も思い切り力を入れ、すねに響く様にする。更に足の指と指の間に手の指を挟んで、グイグイ締め付ける。

⑤息は鼻で吸い、口を細目に開けて一拳に吐き出す。これを繰り返す。

それ以外に、水を絶やさずに飲むこと、かならず散歩をすること、寝る時は部屋の電気を消すこと等、耳寄りな健康法です。

に 新嘗祭

(2022年04月 第26号に掲載)

コメンテーターの辛坊治郎氏によると、新嘗祭とは天皇がその年に収穫された秋の実りを神に捧げ、自らも口にする神道儀式です。五穀豊穫と国家安寧を祈りますが、「五穀」とは何か。日本の古い文献によると、「米」「麦」「粟（あわ）」以外では、「稗（ひえ）」「黍（きび）」「大豆」「小豆」「胡麻」等各種が有り、特定できない様です。「様々な穀物」との理解でしょうか。

新嘗祭は廃された祝日の一つですが、代わって同日が勤労感謝の日として祝日に指定されています。なぜでしょうか。当時の日本の指導者層には「新嘗祭」は絶対に祝日として残したい思いが有り、GHQの中心にいたアメリカには、丁度その時期に「サンクスギビングディ（感謝祭）」が有り、「秋の収穫に感謝するために11月23日を祝日にする」ことについて、日米双方の合意が作り易かった様です。アメリカのサンクスギビングディは「11月の第四木曜日」と定められていて、アメリカの習俗を日本に定着させたいと思っていたGHQには、好都合だった様です。

毎年、勤労感謝の日が有る様に、宮中では毎年この日に新嘗祭が行われます。現在、天皇家、皇太子家には、日々の生活費として毎年合計3億円程の予算が内廷費として組み込まれ、税金から支出され、新嘗祭等の神道儀式の費用も、この費用で賄われています。

現在の上皇の皇位継承に際して行われた大嘗祭は、祭りに出席した知事等に対して、「公務として神

道儀式に出席するのは、政教分離を定めた憲法に違反する」等の裁判が行われました。あなたはどう思いますか。以上

に 二ヶ領用水と池田家

(2018年12月 第10号の追加記事)

池上氏は平安時代の公卿 藤原忠平（880～949）の末裔といわれ、武州荏原郡千束村（現在の東京都大田区千束）に住んでいましたが、初代 池上宗仲は日蓮に深く帰依し、日蓮宗大本山 池上本門寺を建立します。幸豊の曾祖父 21代幸広は、「水鳥記」に酒豪として登場する豪傑で、池上家の土地7万坪のほか、日蓮ゆかりの品々を本門寺に寄進し、一族郎党を引き連れて、武州橘樹（たちばな）郡大師河原村（現在の川崎市川崎区）に移住します。二ヶ領用水工事が開始された頃の様です。

その後池上幸広は、多摩川河口に「稻荷新田（現在の川崎区殿町、江川、田町）」を開拓し、名主となりました。新田開発技術は、幸広からその子幸忠、孫幸定へと引き継がれます。川崎市が梨、桃やぶどう等を広めたのは、二ヶ領用水による水の確保による池田家の新田開発と江戸時代の川崎では珍しい果樹栽培に取り組んだためではないでしょうか。

また、江戸時代の多摩川の代表的な漁は「鮎漁」で、鮎は淡水魚なので生育に伴い住処を移動します。毎年9月から10月にかけて上川原堰の中野島付近から下流に向かい、アユは卵を産卵します。多摩川の鮎は大変品質が高く、大消費地である江戸日本橋の魚問屋に流通し、江戸人の好評でした。

池上家については、川崎市史料「池上家文書」を参照して下さい。

は はやぶさ2

(2019年12月 第22号に掲載)

2019年4月5日、宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所の完成室内は、緊張感に包まれていました。いよいよ「はやぶさ2」が人工クレーターの生成に挑むのです。小さな天体に人工的にクレーターを作るのは世界初では有りません。2005年にNASA（アメリカ航空宇宙局）が打ち上げた探査機「ディープインパクト」（日本のサラブレッドで、2005年（平成17年）に日本競馬史上6頭目の中央競馬クラシック三冠（無敗での達成は1984年のシンボリルドルフに次いで2頭目）を達成し、2006年（平成18年）には日本調教馬としては初めて芝部門・長距離部門で世界ランキング1位となったこと、とは異なります。）が彗星に向かって370kgの装置を衝突させました。但し、この時はクレーターが出来る様子を遠くから眺めただけでした。

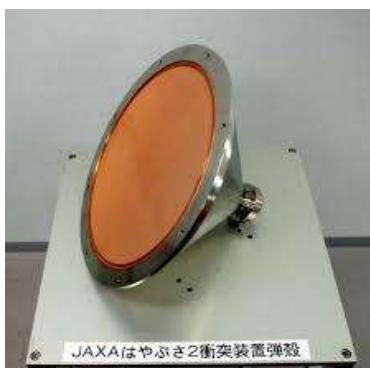
はやぶさ2は太陽系の起源・進化と生命の原材料物質を解明するため、C型小惑星「Ryugu」（リュウグウ）を目指します。太陽系の起源や進化を知るために、代表的なタイプであるS型、C型、D型の小惑星を調査する必要があります。はやぶさ2が目指すC型小惑星は、S型小惑星のイトカワと比べると、より始原的な天体で、同じ岩石質の小惑星でありながら有機物や含水鉱物をより多く含んでいると考えられています。

「搭載型小型衝突装置（Small Carry-on Impactor : SCI）」を使用して人工クレーターを作り、現場に戻りクレーターの様子をつぶさに観測します。クレーターの近くに降りてサンプルを回収するのは世界初です。はやぶさ2のホームポジションである高度約20kmから降下を始めたのは、日本時間の4月4日午後1時17分（地上で確認された時刻）で、4月5日には高度500mに達し、午前11時13分に衝突装置を分離させました。衝突装置は姿勢を安定させる為に、水平方向に回転ながら、5cm/秒というゆっくりとした速度で、小惑星リュウグウに向かって降りました。

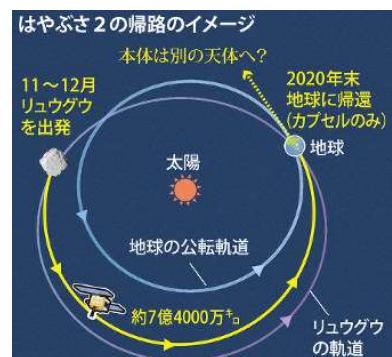
はやぶさ2の衝突装置は直径30cm、重さは14kgの円錐形で、そこに重さ2kg、厚さ5mmの銅板がはめられています。はやぶさ2から衝突装置が分離されると、円錐部内の爆薬がタイマーにより40分後に宇宙空間で爆発が起こります。それにより銅板が吹き飛び、リュウグウの表面に衝突する仕組みになります。繊細な機器類を搭載した探査機に爆薬を積み込んでの航行は危険極まりないことで、万が一にも途中で爆発しない様に、確実に爆発する様な緻密な設計をしています。爆発により装置の破片や砂、がれきが周囲に散乱することを想定し、爆発迄の40分間で爆発が直接見えないリュウグウの裏側に逃げる必要が有りました。そこで導入したのは「分離カメラ（DCAM3 : Deployable Camera 3）」で、約1km離れた位置から衝突装置の行方を見守り、分離カメラがとらえた画像は、はやぶさ2を経由して地球に送られます。

銅板がリュウグウに衝突した際、砂等の放出物（イジェクタ）が推定で数十m舞い上がる様子を分離カメラが捉えました。銅板が衝突して人工クレーターを作ったのは「S01」領域から約25mの位置で、分離カメラが分離されたのは、衝突装置が分離された約1,000秒後で、宇宙空間に「置き去り」にされたカメラは、その更に約1,000秒後に撮影を開始し、降下していく衝突装置及び衝突後にイジェクタが舞う様子を捉えました。分離カメラは予定通りに、5時間ほど動作してから停止しました。

はやぶさ2の退避も順調で、衝突装置の分離後、横方向に1kmほど移動、そこから垂直方向におよそ20km移動して最終的にホームポジションに戻ります。はやぶさ2は、人工クレーター実験から2週間が経過した4月20日にホームポジションに戻り、4月25日には再び現場に戻ります。高度約1.7km迄降下し、高度を保ちながら地表の観測をするはやぶさ2は、1か月前の3月に2度同じ領域の地表を観測しました。その時得られた画像と、今回得られた人工クレーター実験後の画像を比較し、どの様なクレーターが出来たかを調査するのです。



衝突装置弾殻と人工クレーター



その結果得られた画像を解析すると、クレーターの直径は10mを超え、深さは2~3mであることが判明しました。JAXAが一丸となり、3億4,000kmかなたの探査機を自由自在に動かせるまでに、チームは熟練しました。2020年11~12月にリュウグウを出発し、地球まで約7億4000万キロの帰路に就き、採取試料の入ったカプセルを2020年末に帰還させる予定です。探査機本体はその後、さらに別の天体の探査へと向かう可能性もあるそうです。はやぶさ2は無事にミッションをやり遂げて、地球に帰還してほしいと切に願います。

は 万能ソース（フレッシュトマトソース）

（2019年12月 第22号に掲載）

- ①玉ねぎのみじん切りを一つかみ分とニンニクのみじん切りをオリーブオイルやバターで軽く炒める。
- ②そこにざく切りにしたトマトを入れて炒める。皮が気になる方は、ガスの火にかざすか、沸騰したお湯に入れて湯剥きをする。
- ③塩と胡椒で味を調えたら出来上がり。物足りないと感じたら、しょうゆを数滴たらすと、変わります。
 - ・白身魚のソテーにかけたり、ポークソテーに合わせたり、そうめんに乗せて麺つゆをかけ、温泉卵を添えると、更に美味しくなります。
 - ・トマトは糖尿病や高血圧等の生活習慣病を予防するリコピン成分が、野菜の中で一番多いといわれています。是非お試し下さい。

ひ 羊のメエーメエーはなぜ必要か

（2021年01月 第30号に掲載）

ヒツジの母親は、赤ん坊がメエーメエーという声を出しているのを聞き続けていないと、世話を行動を維持しないそうです。この事実の為に、長谷川真理子氏（現総合研究大学院大学学長・教授－夫は東京大学名誉教授）が、北海の孤島、セントキルダ島で野生ヒツジの研究をしていました。生まれた子ヒツジ達がどの様に成長していくかを計測する研究で、定期的に子ヒツジを捕まえて体重を測定しました。なにしろ野生のヒツジなので、子ヒツジを捕まえるのも大変ですが、こちらの作業に怯えて遠くに行った母親の注意をつなぎとめるのも、大変な作業でした。

子ヒツジを捕まえられた母親は、やがて歩き去ります。こちらはその間に、子ヒツジの血液を採取し、体重を測定し、耳に識別のタグ付けは2人1組で行います。1人は勿論、この様な作業をしますが、もう1人は、双眼鏡で母親の動きを見ながら、子ヒツジの鳴き声をまねて声を限りにメエーメエーと呼び続けるのです。そうしないと母親は、自分の子供が死んだと思い、子育てを止めるので、作業を終わって放しても、受け入れないことがあります。放した子ヒツジが走っていくのを双眼鏡で追い、母親と一緒に再び乳を吸い始めるのを確認すると、ほっとしたそうです。

生き物をめぐる4つの「なぜ」（長谷川真理子）から。

び 美容と健康

(2019年12月 第22号に掲載)

健康で美しい髪を目指している方は、食事に気を付けています。髪の主成分は蛋白質で、体を作るうえでも重要な栄養素です。次に必要なのがミネラルで、中でも注目したい栄養素は亜鉛です。亜鉛は蛋白質を合成する際に必要で、更に髪に栄養を届ける重要な役割も担っています。亜鉛は体内では作り出せないので、積極的に食事から摂取する必要があります。

亜鉛が多く含まれる食材は、魚介類、肉類、海藻、野菜、豆腐等で、特に牡蠣には亜鉛が豊富に含まれているので、美髪のためにも取り入れたいですね。主食の中で亜鉛が多いのは、乾麺のスパゲッティで、ビタミン類も髪のために欠かせません。また、細胞を活性化したり代謝を促す効果があるビタミンC、毛細血管を拡張して血行を良くする働きがあるビタミンEは髪のために摂取したい栄養素です。

便秘になると乾燥肌、ニキビ、吹き出物が出て、髪もパサついて不健康になります。腸内環境を整えるには、乳酸菌と食物繊維を十分に摂取します。食物繊維は乳酸菌の餌になるので、同時に摂ることで相乗効果が生まれます。

へ 平均寿命

(2020年01月 第23号に収録)

厚生労働省が2018年7月に公表した簡易生命表によると、2017年の日本人の平均寿命は男性81.09歳、女性は87.26歳で過去最高を更新しているのは喜ばしい限りです、都道府県別に見ると第1位の滋賀県と最下位の青森県では男性は3.11歳、女性は第1位の長野県と最下位の青森県では1.74歳の開きがあります。

同じ日本で、なぜこれほどの「寿命格差」ができるのでしょうか。この手のデータが公表された後は決まって、ご長寿県の郷土料理や習慣が注目されますが、平均寿命の地域差には、実はもっと気になることがあります。同じ都市の中での地域間格差です。

都道府県別平均寿命では、男性が5位、女性が17位で、特筆すべきことはない様に見える神奈川県ですが、2018年1月に発表された市町村別の平均寿命(2015年)では、トップ10に横浜市と川崎市の各区がずらりとランクインしています。

市町村別平均寿命 上位10は下記となります。

(男性) 1位 神奈川県横浜市青葉区 83.3歳 2位 神奈川県川崎市麻生区 83.1歳 3位 東京都世田谷区 82.8歳 4位 神奈川県横浜市都筑区 82.7歳 5位 滋賀県草津市 82.6歳 6位 大阪府吹田市 82.6歳 7位 大阪府箕面市 82.5歳 8位 長野県大町市 82.5歳 9位 奈良県生駒市 82.4歳 10位 神奈川県川崎市宮前区 82.4歳

(女性) 1位 沖縄県中頭郡北中城村 89.0 歳 2位 沖縄県中頭郡中城村 88.8 歳 3位 沖縄県名護市 88.8 歳 4位 神奈川県川崎市麻生区 88.6 歳 5位 石川県野々市市 88.6 歳 6位 神奈川県横浜市都筑区 88.5 歳 7位 熊本県菊池郡菊陽町 88.5 歳 8位 東京都世田谷区 88.5 歳 9位 神奈川県横浜市青葉区 88.5 歳 10位 神奈川県川崎市宮前区 88.4 歳

この調査は5年に一度行われ、前回2010年では、男性の2位が川崎市宮前区で82.1歳、3位が横浜市都筑区で82.1歳、8位が横浜市青葉区81.9歳で、ベスト10に神奈川県の3つの地域がランクインしていました(女性は入っていません)。ただ、改善しつつあるも転換しきれていない地域が有ります。川崎市川崎区です。

市町村別平均寿命のワースト50には、川崎市川崎区の男性が78.2歳で、下から数えて11位です。トップ4の麻生区の83.1歳との差は4.9歳。都道府県別の1位と最下位の差よりも更に大きなこの差は、どこから生じるのでしょうか。川崎市に「南北問題」があることは、以前から知られていました。南東部の川崎区と北西部の麻生区、宮前区には、様々な違いが有るのでしょう。具体的にはどのような違いか、数字で比較してみましょう。

【所得】

2012年の川崎市の生活保護率は2.23%(全国平均は1.65%)。多摩、麻生、宮前、中原、高津の北部5区が平均1.49%なのに対し、川崎区は4倍の6.05%。

平均世帯年収は、麻生区が678万円なのに対して、川崎区は491万円。世帯年収1000万円以上の富裕層の割合は麻生区17.64%、川崎区6.35%。ちなみに年収1000万円以上の世帯の割合は全国平均で8.6%です。(「日本最大級の富裕層限定クラブ“YUCASEE(ゆかし)”」が、神奈川県の「平成25年度市町村税課税状況等の調査」をもとに算出)

【教育】

15歳以上人口の卒業者(卒業して在学していない者)に対する、短大・高専・大学・大学院の卒業者の比率と首都圏(東京、千葉、埼玉、神奈川)ランキング。麻生区は53.1%で3位、川崎区は23.7%で147位(川崎市中最下位)。(【都道府県】貴志原の情報局【市区町村】が2005年国勢調査データより算出)

【治安】

平成30年の犯罪認知件数は麻生区517件に対し、川崎区は2237件と4倍以上。(神奈川県警察 犯罪統計資料 平成30年確定値より)

【愛着】

川崎市が2017年に実施した調査では、自身が暮らす区に住むことの推奨度(NPS:ネット・プロモーター・スコア)は、麻生区が20.8に対して、川崎区はマイナス14.1。なかでも成功しているのは工場夜景の観光資源化で、川崎市が全国に先駆けて行ったものです。

川崎駅からバスで約10分のコリアタウンはグルメスポットとして人気がある反面、ヘイトデモなどが問題視されてきましたが、川崎市は2005年に全国に先駆けて『多文化共生社会推進指針』を設け、共生を進めています。一般市民の賛同者も多く、ヘイトデモに対抗する反ヘイトデモも行われるようになり、川崎区は今や、全国一多文化共生が進む地域と言っていいでしょう。

更に川崎駅西口は2021年の完成をめざし、高層のオフィスビル、低層の商業ビル、訪日外国人客を取り込めるホテル等を建設する他、回遊性・安全性を強化する歩行者デッキやエクステリアの整備も進んでいます。また駅徒歩圏にはマンションが次々と建設されてファミリー層が入居し、地域の雰囲気は一変しました。

2015年の国勢調査によれば、川崎市内で最も人口が増えたのは川崎区港町で3166人、2位の中原区小杉町(映画『新ゴジラ』のロケ地にもなったタワーマンションが林立する武蔵小杉)の1982人を大きく引き離すダントツ1位です。次いで、3位も川崎区で小田栄が来ていることからも、川崎区が住みやすく、魅力ある街に変わってきてていることがうかがえます。

オフィスビルが増えて雇用状況が改善すれば、平均所得が伸びます。人口が増加し、活気が生まれ、街の雰囲気が変われば更に病院やスポーツ施設など、健康づくりにかかるインフラも充実していくでしょう。

また川崎市では『川崎市こども・若者の未来応援プラン』と題し、2018年～21年までの3か年計画で、子育て家庭支援や貧困問題の解決、教育格差の解消など、幅広い視点に立った総合的な取り組みを進めています。

ほ 北条重時の家訓

(2020年08月 第30号に収録)

- ・武将の家訓の中で最も古いものは、北条重時の家訓と言われています。この家訓は鎌倉時代のもので、鎌倉幕府執権北条義時の三男重時が書いた家訓です。「極楽寺殿御消息」と題するものと、「六波羅殿御家訓」と題するものとの二種類が有るそうです。主として、主従の関係、家督問題、朋輩に対する心得、下僕の使い方、婦人を尊重すべきこと等を説いて、重時の子の長時や時茂・義政・業時等に与えたものです。相当長文で、日常生活の細かなことに立ち入って、懇切に教え諭している点、我が国の武家の家訓の代表的なものと言って差し支えないでしょう。
- ・例えば、「訴訟やその他の煩わしい問題をも、よく聞き届けて処理するようにしたい。嘆きにかき暮れている者は、自分のことを、思うようにのべるのも困難な場合が多い。必ず自分の方に正しさがあると思っていたのが訴訟に負けたりなどすると、その歎きはいかばかりであろう。有力なるものにだけ荷担するのは眞の賢者ではない。曲がったことをすれば罪科が多い。それを恐れるのも賢者であるが、また、身分が低くて無力な者に荷担するのも、眞の賢者である。誰もそのような賢人を

望んでいる。」となっています。

み 美輪明宏の故郷長崎時代のこころに刺さる思い出 (2019年02月 第12号に収録)

NHK の夜のラジオ放送で、美輪明宏が故郷長崎時代のこころに刺さる思い出を語っていました。小学校低学年の父兄会で、おしゃれをして澄ましている母親たちの中に頭に手拭いを被った法被姿のお母さんがいらっしゃいました。おみ足がちょっと不自由で、隅で小さくなっていても目立つんですね。皆「誰のお母さんだろう」とてジロジロ見るんです。休憩時間になったら、一番出来の悪い子が、「母ちゃん」と駆け寄ってきました。するとそのお母さん、わが子が垂らした鼻水をいきなり口ですすって窓からペッと吐いたんです。で、子供の着物を直してやり、かわいくてしょうがないという顔で接しているんです。その顔が、如来薬師の様に輝いて見えましてね。むしろ周りの、気取った顔で互いの着物を品定めしてる他のお母さん達が卑しく映ったんです。

ある日その子がいじめられて、「お母さんに言いつけにいく」と言うので私もついていったことがありました。お母さんは、当時「ヨイトマケ」と呼ばれた、工事現場の労働者。不自由な足でよろけるたびに、「お前なんか、やめちまえ！」と怒鳴られていきました。でも「すいません、すいません」と謝りながら懸命に働いているんです。わが子の視線に気付くと胸を張ってにっこり笑って「心配すんな」みたいな顔をしてね。

休憩時間にその子がそばに寄って「貧乏人っていじめられた」というと、「金持ちだからって偉いことじゃなかとよ。勉強できるから、けんかの強かからて偉かことじやなかと。人間で一番偉かとは、神様の前でまっすぐにその目を見られること。清らかで、一生懸命働いて、陰ひなたなく正直なこと。だから泣くな、お前は偉かとぞ」って言ってね。

字もろくに書けないような方だったけど、その言葉にとても感動しました。素晴らしい人生哲学ですよね。そんな思い出が、ある日突然よみがえって、あの歌が天から降りる様に下りてきたんです。美しいものは見た目でわからないんですよ。

み 民法改正 (2019年12月 第22号に掲載)

民法が改正され令和4年（2022年）4月1日から、成年となる年齢が20歳から18歳に引き下げられます。明治時代から今日迄の約140年間、日本での成年年齢は20歳と民法で定められていました。成年になると出来ることは、親権者等の同意がなくても自分の意志で決められ、有効な契約が出来ます。例えば、クレジットカードを作ること、ローンを組むこと、お金を借りること、携帯電話を契約すること、一人暮らしの部屋を借りることも出来ます。しかし、未成年者が親権者等の同意なく結んだ契約は一定の場合（註1）取り消せます。これを未成年者取消権と言い、成年になるとこの未成年取消権がなくなります。この他、女性が結婚できる最低年齢は、16歳から18歳に引き上げられ、結婚

出来るのは男女とも18歳以上になります。20歳以上にならないと出来ないのは、飲酒、喫煙、公営ギャンブル（競馬や競艇等）です。

（註1：小遣い範囲の少額な契約、婚姻している者、成人であると意図的に嘘についての契約、親権者等の同意があると嘘をついた場合は、「未成年者取消」が出来ないことがあります。）

む 武蔵国橘樹郡梶ヶ谷村

(2019年02月 第12号に収録)

旧武蔵国橘樹郡梶ヶ谷村（現在川崎市高津区梶ヶ谷）の名主を永年にわたって勤め、明治初年には神奈川県第5大区の区長を務めた田村家（当主 田村義美氏）に収蔵されてきた「武蔵国橘樹郡梶ヶ谷村明細帳」（明治3年庚午11月）は、現在筑波大学（旧東京教育大学）日本史研究室の所蔵となっています。本文書をマイクロフィルムに収めたものを川崎市総務局総務部文書課で保管しています。

この梶ヶ谷村は江戸時代の初め村高約150石（米1石の重さは150kg（米1合の1,000倍））、天領と旗本領の相給地（一つの村落に対し複数の領主が割り当てられている状態）となっていました。正保年間（1644～47）の国絵図（徳川幕府が徵税その他の治政上の必要から各大名に命じて作成させた国単位の行政用地図）に付属していたとみられる「武蔵田園簿」によれば、天領は代官今井八郎左衛門の支配に属して約112石、旗本領は700石取の蜂屋源右衛門の知行所で38石ほどありました。こえて元禄10年（1697年）幕命によって織田越前守らが橘樹郡下の一斉検地を行った際、梶ヶ谷村も新田高ともで約3割7分の打出しとなり、天領分は178国8斗4升2合となりました。翌11年に、いわゆる「地方直し」が行われ、蜂屋氏の知行分は収公されて、一村全て天領となりました。しかし、その後も元天領分は古料（江戸時代における江戸幕府の元直轄地の俗称）、元旗本領は上知（江戸時代の大名や旗本が領地である知行地を官に返すこと）と呼ばれて、分郷の遺制（昔の制度で今に残っている物）を残しつつ明治維新に及びました。同村はいわゆる山附きの村で、近傍の馬絹・蟹ヶ谷・子母口・上作延・下作延・長尾・平・下菅生の各村と共に「山附九ヶ村」と呼ばれ、幕府の御林がおかれたことがあり、年貢も定式買納の制がとられました。

例えば、山内一豊の知行が400石ですから、現在に換算して約7万円×400石で、年商2千8百万円ですが、そこから家来の給与、支出、維持費等を除くと年収は数百万円程度でしょうか。従って、一豊の知行の年の生産高は2千8百万円分です。

明治4年4月、太政官布告戸籍法にもとづき神奈川県橘樹郡第22区梶ヶ谷村と称されましたが、6年5月戸籍区制（戸籍を編製するため区が設けられること）の廃止と共に区・番組制（地域を区や番（グループ）に分ける制度）が実施されると、神奈川県第五区第五番組に編入され、翌7年6月大小区制の施行と共に、神奈川県第五大区第五小区梶ヶ谷村となりました。この時田村家の当主義員氏が第五大区長に選任され、溝の口村の区長役場に勤務しました。なお、第五番組ならびに第五小区は、野川村、有馬村、馬絹村、土橋村、それに梶ヶ谷村の5箇村から成り、戸長（小区ごとに置かれた役人）役場は梶ヶ谷村に置かれました。こえて11年7月、郡区町村編制法の施行と共に大区、小区は廃

止され、さらに22年4月の市町村制の実施により、前記5箇村に溝ノ口村飛地を加えて宮前村が誕生し、梶ヶ谷はその大字（オオアザー土地の大きい区画単位のこと）となりました。

目録の詳細は、川崎市史料目録第4集 旧梶ヶ谷村田村家文書目録（昭和41年2月） 川崎市総務局総務部文書課 発行を参照して下さい。

む 武蔵小杉（プラタモリ）

（2019年03月 第13号に収録）

2019.02.09 放送のNHKのプラタモリで武蔵小杉が紹介されました。

- ① 2018年6月号（第4号）の川崎支部便りで紹介した様に、新丸子から武蔵小杉にかけて、ゴジラ（高さ118m）が現れました。（映画「シン・ゴジラ」）
- ② 最近10年間で11棟のタワーマンションが完成し、交通機関の5路線が利用出来ます。
- ③ 80年前は田圃でしたが、昭和初期には川崎の重工業地帯と異なり、通信や精密機器工場に適していました。バルブ崩壊後は工場が移転したので、この広い敷地が近代都市に生まれ変わりました。
- ④ それまでの武蔵小杉駅は、南武線の武蔵中原駅寄りにあり、中原街道の西明寺近くの供養塔台座には、江戸→中原と彫ってあるので、江戸～平塚の中原間を結ぶ街道であったことが分かります。（歌手福山雅治の「桜坂」はこの辺りをイメージ♪♪揺れる木漏れ日薫る桜坂、頬にくちづけ染まる桜坂と歌われています。）
- ⑤ 徳川家康は東海道が不通の時のサブ街道として、中原街道を整備しました。
- ⑥ 健康増進を兼ねた鷹狩りを好んでいたので、現在の「小杉御殿町」に小杉御殿（川崎市中原区一丁目及び二丁目）を設置し、街の中心地としました。小杉御殿前の中原街道がクランクしているのは防犯の為だけではなく、多摩川が小杉御殿の裏側を流れ、自然堤防の役目も負っていました。（真言宗西明寺（川崎市中原区小杉御殿町1-906）近くの川崎フロンターレ本拠地グラウンド前には、約2mの段差があります。）つまり、カギ道とお堀の役目をしていました。
- ⑦ 蛇行していた多摩川を直線状に移動したので、現在の瀬田、下野毛、等々力が分断され、飛地になりました。
- ⑧ 現在のグランツリー（セブン&アイ・ホールディングスの複合商業施設、東京機械製作所玉川製造所第一工場の跡地で武蔵小杉駅前に2014年にオープン）周囲の道路が蛇行しているのは、二か領用水の形跡です。1611年（慶長16年）に完成した幹線水路約32kmの二か領用水は、江戸が高台で田圃が出来にくいので、付近60の村々や約2000haの田圃を潤し、江戸の生活に欠かせない水路です。
- ⑨ 武蔵小杉付近の二か領用水は埋め立てられましたが、以前は工場の公営工業用水として使用されていました。

も ものづくりへの思い

（2019年12月 第22号に掲載）

あるモータリスト（某CG社の編集長）がマツダの広島本社で取材をした時に、これはと思える「モ

ノづくりへの思い」を見たそうです。社員の指導を受けながら地元の高校生達が往年の三輪トラック「GA型マツダ号」のレストアを行っていました。マツダは自分たちのモノづくりに触れてもらおうと、広島県内の工業高校等から11人の生徒を本社工場に招き、レストアの体験会を開いていました。

マツダはこのレストア・プロジェクトを2015年に始め、これ迄にコスモスポーツ（作業期間は2015年～16年）、R360クーペ（2016年～17年）、ルーチェ・ロータリーカー（2017年～18年）、5代目FFファミリア（2018年～19年）の4台の復元を終了しています。プロジェクトの最後を飾る5台目は今回の三輪トラックで、2020年3月の完成を目指しているそうです。

1930年代から40年代にかけて生産されたクルマを分解し、その復元に関われる機会などあるものではないのです。彼らがこの日、携わっていたのは、フレームの錆落としやパーツの洗浄といった比較的軽い作業でしたが、当時のマツダのモノづくりに対する思いや、戦中・戦後の日本の社会や時代の気配は十分に感じ取れたに違いありません。真剣なまなざしで作業をしたこの体験は、何年か後にモノづくりの芽生えを後押しするのでしょうか。

資料編

A. 引用および参考文献

- ・ 川崎市ホームページ
- ・ 川崎市教育委員会発行資料
- ・ 川崎市建設緑政局計画部企画課発行資料
- ・ NPO法人多摩川エコミュージアム発行資料
- ・ 川崎市史料目録第4集 旧梶ヶ谷村田村家文書目録（昭和41年2月）
川崎市総務局総務部文書課
- ・ 川崎市中原図書館資料
- ・ 世田谷区ホームページ
- ・ 「せたがやゆかりのひと」（世田谷区区長室広報課）
- ・ ふるさと世田谷を語る 尾山台・奥沢（世田谷区生活文化部文化・国際課）
- ・ 世田谷の河川と用水
- ・ 世田谷の地名
- ・ 関宗里氏ふるさと発見講座資料
- ・ 京都国立博物館ホームページ
- ・ ウィキペディア フリー百科辞典
- ・ 江戸近郊八景ホームページ
- ・ 行善寺提供資料
- ・ 宿河原常照寺提供資料
- ・ 大山ふるさと館提供資料
- ・ 高津区地名資料室提供資料
- ・ 日本地名研究所提供資料
- ・ 横浜みなと博物館ホームページ
- ・ 公益財団法人 帆船日本丸記念財団
- ・ Yahoo JAPAN
- ・ B S ・ T B S 放映の高島礼子日本の古都江戸ミステリー忠臣蔵
- ・ INAXサンドオブマイスター（くにまる東京歴史探訪）
- ・ 南の島の新幹線（田中宏昌著 ウェッジ社）
- ・ 井上準之助傳

- ・ 東京ゴルフ俱楽部50年史
- ・ 大阪大学 武氏論文
- ・ 萩原博子のどんと来い、老後！（萩原博子）
- ・ 宗教改革者（佐藤優）
- ・ 村上さんのところ（村上春樹）
- ・ 生き物をめぐる4つの「なぜ」（長谷川眞理子）
- ・ 日本の軍事力（中村秀樹）
- ・ 鞄の中の仲間たち（板坂元）
- ・ 南武線物語（多摩川新聞社）
- ・ 南武線いまむかし（多摩川新聞社）
- ・ 能に学ぶ「和」の呼吸法（安田登）
- ・ 人間の器量（福田和也）
- ・ GT-R戦記（柿本邦彦）
- ・ 会社万葉集（青木雨彦）
- ・ 信長の原理（垣根涼介）
- ・ 鳶－上空数百メートルを駆ける職人のひみつ－（多胡弘明）
- ・ からだの声をきく（多田富雄）
- ・ ビジネス社税金を払わない奴ら－なぜトヨタは税金を払っていなかったのか？－（大村大次郎）
- ・ お皿の上の生物学（阪大出前講座）（小倉明彦）
- ・ F B I 元心理分析官が教える 危険な人物の見分け方（マアリー・エレン・オトゥール）
- ・ 「ビートルズ！」をつくった男－レコード・ビジネスへ愛をこめて－（高嶋弘之著）
- ・ 見せかけの正義の正体（辛坊治郎）
- ・ 武士の家訓（桑田忠親）
- ・ 知の古典は誘惑する（岡田真美子）
- ・ 日本の軍事力（中村秀樹）
- ・ ラジオ深夜便 NHK
- ・ VOICE
- ・ サライ
- ・ NEWTON

B. 川崎支部会則

東京都市大学校友会川崎支部規約

2020.02.26 (水) 改定

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は平成23年3月8日に設立し、東京都市大学校友会（以下校友会と称する）川崎支部という。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の親睦を厚くし、校友会の組織を充実させるとともに、会員の教養の向上及び東京都市大学との関係を密にし、連携を強化することで、東京都市大学の事業を援助する。

(事務室)

第3条 本会は事務室を次の2カ所で行う。

総務事務室を支部長宅に、会計事務室を会計宅におく。

(事業)

第4条 本会は第2条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 一 支部総会の開催
- 二 役員会の開催
- 三 校友会事業の援助
- 四 地域社会に貢献する事業
- 五 母校学生への支援事業
- 六 親睦会その他適正と思われる事業

第2章 会員

(会員資格)

第5条 本会は、次の会員をもって組織する。

- 一 正会員
- 二 準会員
- 三 賛助会員
- 四 学生会員

(会員区分)

第6条 会員の区分は、次の各号による。

- 一 正会員: 川崎市近郊に在住する校友会の正会員
- 二 準会員: 次の各号に定める者を準会員とする
 - (a) 川崎市近郊に居住する東京都市大学あるいは武蔵工業大学の教職員または退職教職員で本会の趣旨に賛同する者
 - (b) 川崎市近郊に居住し、本会の趣旨に賛同する者

三 賛助会員：川崎市に事業所を置く企業・団体で、本支部の趣旨に賛同するもの

四 学生会員：東京都市大学各学部または大学院に在籍し、本会に協力する者

五 既に正会員である者は、新たに学生会員になることはできない。

(会費)

第7条 会員は、所定の会費を納入するものとする。

2 会費に関する事項については、別に規約をもってこれを定める。

(届出)

第8条 会員は、その住所、氏名および職業を変更した時は、速やかに本会に届け出るものとする。

(慶弔)

第9条 支部役員が災害・障害、本人または配偶者の喪失、その他役員会で決定した場

合は、見舞金等として応分を支給することができる。

2 緊急時は支部長の判断に委ね、相応額を支給し、役員会で確認をするものとする。

第3章 役員

(役員の構成)

第10条 本会に、次の役員をおく。

一 支部長 1名

二 副支部長 1名以上

三 幹事 若干名

四 会計1名

五 会計監査 2名

六 その他本会が必要と認める役員

2 本会は、次の各号に定める事項に異動または変更が生じたときは、校友会本部に届け出るものとする。

一 支部長、副支部長およびその他の役員

二 事務所の所在地

(役員の職務)

第11条 役員の職務は、次のとおりとする。

一 支部長は、会務を統括し、会を代表する。

二 副支部長は、支部長を補佐し、支部役員会の決定に基づき、会務を執行しその責任を負う。状況に応じた作業分担をし、必要に応じて、幹事、会計及び会計監査に会務の執行を分担させることができる。

三 役員は、支部長を補佐し、会の運営に携わる。

四 会計は、支部に関わる会計を校正明瞭に執行する。

五 会計監査は、会計を監査する。

六 第10条六項による役員は、支部運営に際し、適正な助言を与える。

(役員の選出方法)

第12条 役員は、次の方法により選出する。

- 一 役員は総会において正会員の中から選任する。

(役員の任期)

第13条 役員の任期は原則2年とする。ただし再任を妨げない。また役員に欠員を生じた場合の補充者は支部長が任命する。

- 2 補充者の任期は前任者の残任期間とする(会計年度)。

(役員の補充)

第14条 役員に増員が必要なときは、第12条の規定に基づき、補充する。この場合の任期は、次の改選期までとする。

第4章

(会議)

第15条 本会は次の会議を行う。

- 一 支部総会

- 二 役員会

(支部総会)

第16条 支部総会は本会の最高意思決定機関である。

- 一 毎年1回は開催する他、必要に応じて臨時総会が開催できる。

- 二 電磁的方法（インターネット等）による総会の開催を軸とする。

- 三 文書とインターネット等により重複して議決権を行使された場合は、インターネット等による最後の議決権行使を有効とする。

- 四 役員改選時には、役員を承認する。

- 五 事業報告、会計報告、監査報告、事業計画案、予算案を承認する。

- 六 本支部規約の改廃。

- 七 支部総会の議決は出席正会員（委任状有効）の過半数の賛同により決するものとする。

- 八 支部総会の定足数は委任状（メール可）を含め正会員の5分の1以上とする。

第17条 役員会は支部長が招集し、第14条に定める役員で構成し、本支部の計画、執行機関である。

- 一 第4条に掲げる事業の計画と実施。

- 二 支部長及び幹事の選任。

- 三 予算、決算、ならびに重要事項の策定。

- 四 規約の変更および改廃案の策定。

- 五 実施要員が必要とされる場合の、事業別事業幹事の選任。

- 六 その他この会の運営に関する重要事項。

- 2 役員会は、出席者の過半数をもって決議する。

第5章 会計

(会計年度)

第18条 本支部の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(経費)

第19条 本支部の経費は、会費、寄付金、校友会本部の支援金等をもって支弁する。

(運営資金積立金)

第20条 每会計年度の収支に収入超過を生じたときは、運営資金積立金に繰入れ、支出超過を生じたときは、運営資金積立金より補填する。

2 前項の場合を除く運営資金積立金の使用については、総会の同意を経て、これを行うことができる。

(予算)

第21条 本支部の毎会計年度の収支予算は、支部長・副支部長・会計の三役が編成し、前年度終了までに役員会の承認を得なければならない。

(決算)

第22条 本支部の毎会計年度の決算は、支部長・副支部長・会計の三役が作成し、会計監査の意見を付した上、役員会で確認し、インターネットを含む総会において承認を得なければならない。

(会計規約)

第23条 本会の会計に関するその他の事項については、別に規約をもってこれを定める。

第5章 雜則

(規約の変更)

第24条 本規約は、役員会の3分の2以上の同意を経なければ、これを変更することができない。

(規約の制定および改廃)

第25条 規約の制定および改廃は、最高意思決定機関である総会の決議をもってこれを行う。

附則

この規約は2011年3月8日制定・施行する。

2 この規約は2013年11月30日に一部改定し施行する。

3 この規約は2020年4月1日に一部改定し施行する。

東京都市大学校友会川崎支部運用内規

(内規の目的)

第1条 この内規は、本会の運営に関する必要事項を補助し、もって本会の円滑な運営を図ることを目的とする。

(会計規約の根拠)

第2条 この規約は、規則第23条に基づいて定めるものであって、支部の会計に関する事項については規則の定めによるほか、この規約の定めるところによる。

(会計規約の目的)

第3条 この規約は、本会の会計に関し、正確明瞭なる経理を行ない、本会の活動の計数管理を有効にするために必要な処理基準を示すものである。

(会計業務総括)

第4条 支部の会計に関する業務は、役員会が総括する。

(帳簿などの保存期間)

第5条 この規約に定める帳簿、伝票および証憑書類の保存期間は、次のとおりとする。

なお、期間が過ぎれば、廃棄することができる。

- 一 予算書類および決算書類 5年程度
- 二 会計帳簿 5年程度
- 三 会計伝票および証憑書類 5年程度

(会計報告)

第6条 本会の会計報告は、決算報告と半期報告とに区分する。

2 規則第23条に定める決算に関わる決算書は、支部長に報告の上役員会に公告する。

3 半期報告については、支部長に報告の上役員会に報告する。

(会計事務に関する細部事項)

第7条 会計事務に関する細部事項については、役員会がこれを定める。

(その他)

第8条 この規約に定めのない事項については、役員会の議を経て、インターネットを含む総会で定める。

あとがき

川崎市部を立ち上げてしばらくすると、イベントへの参加者が固定化され、さらに参加者が減少する傾向が顕著になってきました。そこで川崎市部の基本方針として、一堂に会する機会だけでなく、何らかの方法で会員の参加意識の高揚を図れる機会を設けることにしました。

その一つが「個人の経験した事を気軽に会員に発信できる場」でした。当初は掲示板のようなものを考えていたのですが、歴史や地域の成り立ちに興味を持たれた方からの提案で、気楽にカワラ版的な物でも出そうではないかとなりました。ところが関係者の尽力により、毎月発信することが出来、気がつけば2018年の創刊号から第50号を数える程になりました。

武蔵工業会（武蔵工業大学の同窓会）から東京都市大学校友会と繋がる同窓会の活動としてこれだけの労力を結集した活動は過去に例がないと自負いたします。そこで今回その歴史をとどめる意味で製本版を作成することに致しました。

オンライン版から製本版に移行するに際し、内容の再チェックに時間をかけ、読みやすくするため必要に応じて見出しや、小見出しを付けました。また各テーマごとに見開き偶数ページに統一するために部分的な削除や加筆を加えたところがあります。

さらに「閑話休題」と称するコラムを新設し、本文との強弱を意識しました。

もとより文筆活動の専門家でもありませんし、専門編集スタッフもいない中ですので用語の統一等徹底していないところもありますが、ご笑納ください。

岸野 哲

執筆者一覧

河合節男・山岸一雄

編集者一覧

岸野哲・山岸一雄・河合節男

川崎支部役員一覧

山岸一雄・赤津武雄・岸野哲・吉野光春・加々見文子・衣斐喜美子・河合節男・
親川芳和・松本浩一・大藪元宏

川崎支部便り発行基金寄付者一覧

山岸一雄・赤津武雄・岸野哲・加々見文子・河合節男・大藪元宏

出版を待たずに逝去された吉野光春氏に弔意を表します。

これまでの活動の一部



バスツアー（青梅老舗酒蔵の澤乃井へ）
校友会元会長、校友会事務局、湘南支部も参加



パークゴルフ大会



親子で遊ぼう！（校友会元会長、横浜支部一家も参加）



校友会前会長一家も参加（横浜のカップヌードルミュージアムでマイカップ作り）



橋樹官衙遺跡群から武藏小杉を望む



川崎支部から在校生への応援メッセージ

ご使用時の注意

この冊子は個人的に閲覧するもので、カメラや携帯による撮影、コピー等による印刷及び第三者への販売・貸与はお断りします。